



MFJ **ライディング** 臨時増刊

1997年度版  
**国内競技規則**

**MFJ**  
MOTORCYCLE FEDERATION OF JAPAN

**MOTORCYCLE  
SPORTS RULES**

**97**

この国内競技規則書は、日本小型自動車振興会からオートレースの公益資金の補助を受けて作成されたものです。

プラスαは

価値ある自分に

# Astro



●機種名:ASTRO-1(アイ) ●仕様:GLR(コトブックス・フレーム・コンストラクション) ●規格:スネル1995、JIS C種 ●内装:フルシステム内装 ●ヘルド:スーパーアドシム(特許)内蔵中 ●色:白、黒、フライトシルバー、メタリック、イタリアンレッド、キャンディレッド ●サイズ:(53-54)、(55-56)、(57-58)、(59-60)、(61-62)

¥36,500

●価格に消費税は含まれていません。  
●アライ製品については、品質管理課までお問い合わせください。直通TEL(048)645-3661  
株式会社 アライヘルメット 〒330 埼玉県大宮市東町2-12 TEL(048)641-3825~7



より美しく、より快適に、より安全に走るために———。  
アライの技術の粋を集めてフルモデルチェンジした《アストロ-I》。



低速走行でも頭頂部まで確実に風を誘導する  
新フローベンチレーションシステム。



ワンタッチ微開でシールドの曇りを  
除去する新設計デミストロック。



アストロだけの風の巻き込みを防ぐ  
エアロフラップ。(ヒルトインタイプ)

## 自分らしさ。



脱着自在なノーズディフレクター。  
レーシングディフレクターの装着も可能。  
(頭の形に合わせて形状調節可能な  
レーシングディフレクター ¥1,200)



ライディングポジションに合わせて  
調節できる、マウスシャッター。



活性炭フィルターを採用  
したマウスフィルター。  
(取り外しメンテナンス可能)

取り外して洗濯機で洗える  
丸洗い内装設計。



フルシステム内装

安全性能や軽さだけでなく、ライダーとしての風格と先進の装備の充実をテーマにした《アストロ-I》。アストロ-Iのフォルムを崩さないフラッシュフェイスダクト(FFダクト)は、前方のエア・インテークから走行風を大量にヘルメット内に導き、負圧により後方から一気に排気する画期的なベンチレーションシステムである。ベンチレーション孔も従来の7.5mmから10mmに拡張し、FFダクトとの相乗効果により、低速走行でも確実にクールダウンが体感できる。これは、帽体天井部の強度をこれまで以上にアップさせたFF専用帽体をアライが開発したため可能となった。また、フローベンチレーションはアライがSZ-βから採用している薄型高性能シャッターに加え、新設計のインナーブローにより大きな能率向上を果たした。次に、ハイフィッティング内装によるフィット感の向上。サイドパッド、天井パッドが一体のフルシステム内装は、新素材を採用し内装フレームを撤去。頭全体をソフトに包み込み、かぶり疲れのない心地よいフィッティングを実現した。そして、活性炭入りマウスフィルターの採用。新型マウスシャッターから取り入れた外気は2方向に分かれ、一方はセンターパッド内蔵の活性炭入りフィルターで濾過されて口元に送られ、もう一方はシールド内面の曇りをおさえる。この他、風の巻き込みと冬場の防寒に威力を発揮するエアロフラップ。曇りを除去するニューデミストロックシステムなど。すべての先進機能は、ライダーたちのメンタルな要求に対して、アライからの「自分らしさ」の贈り物といえる。(アストロ-I)は、磨きのかかった、大人のためのフルフェイスなのだ。

リトラクタブルタイプ  
FFダクト



**Arai**  
アライヘルメット  
変わります。

Come ride with us.  **HONDA**

PROSPEC

# RVF

美しい、フォース。

洗練された方はかくも美しい。優れたスポーツマンの鍛え抜かれた肉体を見るように、私たちはRVFを見て思う。

そのフォルム、そのパワー、そのライディングフィール。

すべてにシリアスなレースシーンで培われたテクノロジー、フォースV4が息づいている。



主要諸元 ● 型式 NC35 ● 水冷4サイクルDOHC90度V型4気筒・399cc ● 最高出力 53PS/12,500rpm ● 最大トルク 3.7kgm/10,000rpm ● 乾燥重量 165kg ● 車体色  
● 価格は、メーカー希望小売価格（北海道、沖縄および一部地域を除く）です。価格には保険料・税金・消費税も含む。登録などに伴う諸費用は含まれておりません。本機は参考価格です。詳しくは販売店にお尋ねください。● 本機警告の長

バイクが好きだから、セーフティライド。

カタログご希望の方は、カタログ請求券と切手190円（送料）を同封し、機種名と住所・氏名・年齢・職業を明記の上、〒150 東京都渋谷区郵便局留 本田技研工業（株）カタログ係まで。

**CHAMPION**

FIM 96 ロードレース世界選手権シリーズ  
500ccクラス

M.ドゥーハン & NSR500

3年連続チャンピオン獲得  
ご乗賞がはじかっています。

カタログ請求券  
RVF  
52



TAKUMA AOKI ON THE RVF/RC 45

**CHAMPION**

'96 MFJ ALL-JAPAN ROAD RACE  
CHAMPIONSHIP-SUPERBIKE

全日本スーパーバイク二連覇達成!  
ご声援ありがとうございました。



ロスホワイト ¥780,000  
標準もタイプ指定してあります。(10,000円増)

**CHAMPION**

FIM 96 ロードレース世界選手権シリーズ  
500ccクラス

マニファクチャラーズ・チャンピオン

ご声援ありがとうございました。

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スローインクダウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクは、いつも、光ってる



- 各店の主な取扱い車のカテゴリーをロードレースはR/R、トライアルはT/Rの記号で店名の右側に表示してあります。
- ここに掲載してある店名は96年11月現在のものです。
- HRC市販レーサー及びパーツは現在専用ですので一般公道での使用はできません。



株式会社 **ホンダレーシング**  
 〒351 埼玉県朝霞市泉水3-15-1  
 営業ブロック直通  
 TEL.048-461-8781 FAX.048-469-0306

**ササキスポーツクラブ** **[R/R]**  
 〒910-02 鶴岡市南町795-1 TEL.0393-86-9600

**ザ・バイク・イック** **[R/R]**  
 〒910-02 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-49-3470

**藤原** **[R/R]**  
 〒910 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**横YNMインターナショナル** **[R/R]**  
 〒910 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**梅モリワキエンジンリング玉** **[R/R]**  
 〒910 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-49-4301

**ポテックラフト284** **[R/R]**  
 〒910 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-1302

**ハトルファクトリー** **[R/R]**  
 〒910 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-9851

**MITANI MOTOR SPORTS** **[R/R]**  
 〒910-21 多賀郡多賀町北沢334 TEL.0393-8-2022

**レーシングガレージ ニフ** **[R/R]**  
 〒910 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-2343

**新オートレック** **[R/R]**  
 〒910 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-51-5322

**ホンダロード小丸** **[R/R]**  
 〒922 彦根市東町4-45 TEL.0749-26-4128

**バイク工房岩城** **[R/R]**  
 〒922 彦根市東町4-45 TEL.0749-26-4128

**新オートショップ新川** **[R/R]**  
 〒922 彦根市東町4-45 TEL.0749-26-4128

**新バリエーション ナカムラ** **[R/R]**  
 〒922 彦根市東町4-45 TEL.0749-26-4128

**新車庫** **[R/R]**  
 〒922 彦根市東町4-45 TEL.0749-26-4128

**モトマック** **[R/R]**  
 〒922 彦根市東町4-45 TEL.0749-26-4128

**新ホンダ京南** **[R/R]**  
 〒922 彦根市東町4-45 TEL.0749-26-4128

**カズン・バイク** **[R/R]**  
 〒922 彦根市東町4-45 TEL.0749-26-4128

**新カスノモーターサイクル** **[R/R]**  
 〒922 彦根市東町4-45 TEL.0749-26-4128

**新久保村モーターズ** **[R/R]**  
 〒922 彦根市東町4-45 TEL.0749-26-4128

**RSBひたあびん** **[R/R]**  
 〒922 彦根市東町4-45 TEL.0749-26-4128

**セーブティスポーツ カヤマ** **[R/R]**  
 〒922 彦根市東町4-45 TEL.0749-26-4128

**新カメオカ トライアルランド** **[R/R]**  
 〒922 彦根市東町4-45 TEL.0749-26-4128

**石原自動車商会** **[R/R]**  
 〒624 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**大坂** **[R/R]**  
 〒624 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**在古自動車** **[R/R]**  
 〒532 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**モトスポーツGLAD** **[R/R]**  
 〒532 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**新ホンダショップアルト** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**モトバネ** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**長瀬モーターズ** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**TECHNICAL SHOP GOLD WING** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**レーシングワールド** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**レーシングチーム トクノ** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**新大東** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**新ニューホンダビル** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**オーガワレーシングサービス** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**ヨシレーシング** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**ばわあくらん** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**ライダーズ・スクエア** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**新キタコ** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**オートマック** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**新スーパーモーター** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**新スターヒコ** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**ベストスポーツ** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**オートプラザ** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**新ウィング** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**新ルーニー** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**新日本ビート工業** **[R/R]**  
 〒564 大津市宇治町982-3 TEL.0773-78-7378

**バイクランド** **[R/R]**  
 〒985 盛岡市東町2-20-19 TEL.0755-22-7549

**新丹波オートセンター** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**新山** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**新ホンダバイクザサキ** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**ホンダオート・ファミリー** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**新サイクルワールド** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**スポーツコーナーマツモト** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**新バイクライン** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**イシモーターサイクル** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**新J・A・S** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**オートバイ** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**BITO R&D** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**新モト** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**スーパープライベートR2** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**モト・ビット フジワラ** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**パワーサービス イマズ** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**新大橋オート** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**新山** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**シマ エンタープライズ** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**木村商会** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**新航海オート** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**新バドック** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**新ホンダウイング カダヤ** **[R/R]**  
 〒987-0 栗原市東町450-1 TEL.0754-41-1130

**X-LANDオガサワラ** **[R/R]**  
 〒708 津島市泉町4-4 TEL.0868-22-1018

**鳥取** **[R/R]**  
 〒708 津島市泉町4-4 TEL.0868-22-1018

**HIRO SPORTS** **[R/R]**  
 〒685-0 鳥取市東町4-4 TEL.0867-84-2158

**山形** **[R/R]**  
 〒980-0 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**ホンダオート山田** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新バイクステーション** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新バイクサイクル** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新ホンダスポーツ ステージワン** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新ホンダウイング クタリ** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新橋本** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新ホンダグロリア** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新バイクワールド エルフ** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新車庫** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**バイクハウス てらそ** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**山口** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新ホンダアロー** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新バイクハウス** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**新山** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**グランドオート ヨシムラ** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**ホンダショップなな** **[R/R]**  
 〒730 尾道市東町2-2-1 TEL.0823-72-7888

**大分** **[R/R]**  
 〒870-0 大分市東町1-13-15 TEL.0972-28-0656

**新山** **[R/R]**  
 〒870-0 大分市東町1-13-15 TEL.0972-28-0656

**オートスポーツJIN** **[R/R]**  
 〒870-0 大分市東町1-13-15 TEL.0972-28-0656

**宮崎** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R/R]**  
 〒980 鶴岡市南町799-15 TEL.0393-78-5101

**新山** **[R**

ビッグツインは、走りの質を問う。



この写真はプロフェッショナルライダーのテスト走行を撮影したものです。一般公道では無理な走行をせず、安全な運転をお願いします。

●価格にメーカー希望小売価格（北海道・沖縄および一部地域を除く）●価格に消費税です。●価格には保険料、税金（店別消費税）・登録などに伴う費用等は含まれていません。●消費税は別途計算の5%を申し受けます。●詳しくは、販売店にご相談ください。●メーカーオプションで追加費用が掛かる仕様も

見る・見られる・いい運転。

- バイクは軽便もライトオン!
- ホープ・文庫店では、スローイングダウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクは いつも 光ってる



全日本ロードレース選手権  
招待券プレゼント実施中  
7/27(土)～8/1(日)にモーターサイクル  
スクーターも人気UPの再登場に

●デモバーターサイクルに関するお問い合わせは、下記のお客相談センターへ。

お客様相談室 ☎0120-090-819

●お客様相談室は、機密・個人情報・氏名・住所・職業を厳しく保護し、お電話受付時間内（受付時間）にのみ対応いたします。下記へお申し込みください。  
7/27(土)～8/1(日)にモーターサイクルスクーターも人気UPの再登場に



# BIG TWIN SUPER SPORTS TRX850

バイクの楽しさは、エンジンに火を入れてから、その火を落とすまで、途切れることなく持続されるべきだと思う。

道は直線ばかりではない。ストレートを飛ばすこともバイクの楽しさのひとつではある。

しかし、大小さまざまな曲率のカーブと短いストレートからなる日本のワインディング。

そのおいしさを、一滴のこらず楽しもうというのなら、ビッグツインだ。

ビッグボアがもたらす力強いトルク、270°位相クランクの不等間隔爆発が生み出すグッドトラクション、そして軽量な車体。

それを生かしたコーナリングは、乗る者にたとえようもない充実感をもたらすはずだ。

エンジンの仕事、車体の挙動が、文字通り手に取るように伝わるビッグツイン。

2つのピストンを捨てたことで、得た美点は多い。

これだから、バイクはおもしろい。



○Model type: 4NX ○Engine type: Liquid Cooled DOHC 5valve Parallel Twin ○Displacement: 849cm<sup>3</sup> ○Max Power: 83ps/7,500rpm  
○Max Torque: 8.6kgf·m/6,100rpm ○Transmission: 5 speed return ○Dry weight: 188kg ○Body coloring: Heat Red, Bluish White Cocktail(White) . . . ¥850,000

ヤマハは、いま、大人の週末バイクライフを応援しています。

**週末はバイク人**  
WE

**週末はバイク人 懸賞論文作品集を差し上げます。**

【週末はバイク人】懸賞論文作品集の中から、入選作を1冊にまとめ、小冊子を作成しました。「週末はバイク」をテーマにした夢や提案がたっぷりの読み物です。ご希望の方は、住所・氏名・年齢・職業・二輪免許の有無・バイクをお持ちの方は車名、また郵送料として、郵便切手340円分を同封のうえ、下記キャンペーン事務局へお申し込みください。  
〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社「週末はバイク人」キャンペーン事務局 | 係

**YAMAHA**

ヤマハ発動機株式会社

# RSS Racing Service Shop

コンペモデル(レース専用車)

82ccに2000ccのキッドパーツ

は、RSS で扱っています

コンペモデルに関する最新情報は目録と最新のRSSをお読みください。お近くのRSSに詳細が載っています。



**Racing spirit** 頂点を支えるスペックがある。



**'97TZ125**  
¥998,000

**'97TZ250**  
¥1820,000

**'97モデル登場!**

※写真は参考のためにカラーリングしてあります。  
 ※改良のため、製品の仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。  
 ※台数に限りがありますのでRSSにお早めにお申し込みください。  
 ●価格は全てメーカー希望小売価格です。メーカー希望小売価格には消費税は含まれていません。

見る見られるいい運動。  
 ●バイクは仲間からライオン!  
 ●カーブ・交差点では、スローインクダウン!

バイクでひろがるいい仲間  
 バイクはいつも覚ってる

●ヤマハディーラー・サイクルに関するお問い合わせは、下記のお客様相談室へ。  
**お客様相談室 ☎0120-090-819**  
 ●カタログご希望の方は、お名前・お住まいの住所・氏名・年齢・職業を明記し、郵送料として郵便切手190円分を同封の上、下記へお申し込みください。  
 〒430 静岡県静岡市東区2000ヤマハ 株式会社ヤマハ発動機株式会社広報室(グループカタログ係)

ヤマハは、大人の週末バイクライフを応援しています。  
**週末はバイク人**  
 キャンペーン実施中

北海道地区

**YSP札幌南** **RR・MX・TR**  
北海道札幌市中央区南2条西1丁目1-1  
TEL.011-563-6021

**YSP札幌西** **RR・MX**  
北海道札幌市西区宮の沢2条1丁目10-21  
TEL.011-662-6526

**ホニカホスポーツ** **RR・MX**  
北海道札幌市東区25条南3丁目30  
TEL.011-742-9507

**YOU SHOP トヨキ** **MX**  
北海道札幌市東区25条南2丁目7 北栄C-9  
TEL.011-641-5878

**天内モーターズ** **RR・MX・TR**  
北海道札幌市東区14条南10丁目2-1  
TEL.011-753-9668

**はくはうす サラッド** **RR**  
北海道札幌市白石区中央1条5丁目3-15  
TEL.011-824-2497

**オートランド札幌** **RR・MX・TR**  
北海道札幌市東区南一条1条1丁目1-43  
TEL.011-822-3323

**YOU SHOP 勝木** **MX**  
北海道札幌市東区16条南9丁目17  
TEL.011-741-3132

**ホクムス SAPPORO** **RR**  
北海道札幌市東区20条南1丁目3-5  
TEL.011-723-4364

**バイクプロ** **RR・MX**  
北海道札幌市中央区南1条4丁目1-26  
TEL.011-886-1577

**新アサモーターサイクル** **RR・MX・TR**  
北海道札幌市中央区南一条1丁目1-2  
TEL.011-852-6600

**オートフレンド北海道** **RR・MX**  
北海道千歳市旭4丁目1-2  
TEL.0123-23986

**YSP小樽** **MX**  
北海道小樽市南町13-211  
TEL.0134-33-3211

**藤沢オートサイクル** **RR**  
北海道小樽市南町148-9  
TEL.0136-57-5552

**狭野村商会** **MX・TR**  
北海道小樽市本町1丁目1-3  
TEL.0144-32-8986

**YSP旭川** **MX**  
北海道旭川市山手3条4丁目331  
TEL.0166-61-9086

**YOU SHOP 世紀屋** **RR・MX**  
北海道旭川市山手7条3丁目101  
TEL.0166-48-0321

**バイク屋 にかろめ** **RR**  
北海道旭川市東光14条6丁目  
TEL.0166-33-8578

**モーターサイクルプロショップZP** **MX**  
北海道旭川市東1条10丁目  
TEL.0166-54-9051

**オートストア ワールドフォー** **MX・TR**  
北海道小樽市南町14852-21  
TEL.0144-56-0110

**新モトショップ ワークス** **RR・MX**  
北海道旭川市東光町6丁目7  
TEL.0166-51-3069

**YOU SHOP オカジマ** **MX**  
北海道旭川市東光町4丁目4-27  
TEL.0126-23-2579

**YSP帯広** **RR・MX**  
北海道帯広市南町南7条25  
TEL.0155-48-1417

**ハヤシモータープロジェクト** **RR**  
北海道帯広市南町南254-11  
TEL.0155-47-1296

**YOU SHOP 勇三** **RR・MX**  
北海道帯広市南町南25丁目3-17  
TEL.0155-42-8198

**YSP釧路** **MX**  
北海道釧路市南大通19丁目8-4  
TEL.0154-53-0025

**YOU SHOP 野上** **RR・MX**  
北海道釧路市安東1丁目25-3  
TEL.0154-37-8950

**函館マジマ様** **MX**  
北海道函館市北町17-11  
TEL.0138-51-4686

**YOU SHOP ライディングスポーツ** **RR・MX**  
北海道函館市神楽町271-1  
TEL.0138-46-0111

**有スナダオート** **RR・MX**  
北海道函館市東町大船町2丁目1-42  
TEL.0138-12-7773

**YOU SHOP 山本** **MX**  
北海道函館市八幡町東町5-6  
TEL.01376-3-3857

**YOU SHOP 大橋** **MX**  
北海道函館市東町大通り南2丁目20-2  
TEL.01927-3-3288

**YSP北見** **MX**  
北海道北見市東町南町1053-1  
TEL.0157-741-3132

**南松村商会** **RR**  
北海道北見市神野町40-9  
TEL.011-723-4364

**モトマタドール** **MX**  
北海道小樽市山手1条1丁目13-9  
TEL.01237-2-6171

東北地区

**YOU SHOP フジオート** **MX**  
青森県青森市西内川町171-2  
TEL.0177-86-5349

**モーターファン小田切** **MX**  
青森県青森市南町3丁目7-18  
TEL.0176-57-4049

**YOU SHOP ホットスタッフ** **MX**  
岩手県盛岡市山形1丁目4-12  
TEL.0196-22-8451

**ビッグボックスくら** **RR・MX・TR**  
岩手県盛岡市山形2丁目15-14  
TEL.0196-36-2671

**花巻オート** **MX**  
岩手県花巻市南町1丁目29-2  
TEL.0196-24-1266

**YSP水沢** **RR・MX**  
岩手県水沢市北町49-1  
TEL.0197-23-3963

**岩崎モーターズ** **MX**  
岩手県水沢市中央2条72-1  
TEL.0196-23-8393

**ライダーズサロン 大泉** **RR・MX**  
岩手県南上市川内町南25-2  
TEL.0229-23-3933

**岩手本館車庫** **RR・MX**  
岩手県盛岡市東4-22  
TEL.022-366-3810

**YSP大河原** **MX**  
岩手県盛岡市大河原町新築56-6  
TEL.0224-52-1369

**YOU SHOP よこえ** **RR**  
岩手県盛岡市東町町中4丁目45-10  
TEL.022-358-8952

**BS ハタヤマ** **TR**  
岩手県盛岡市南町南9条5丁目10-25  
TEL.022-559-5056

**新藤オート バイパス店** **RR**  
岩手県盛岡市北町東橋2丁目6-31  
TEL.022-244-1555

**YOU SHOP 黒松** **MX**  
福島県福島市青葉区東葉ヶ丘17丁目22-21  
TEL.022-234-3582

**YSP仙台西** **MX**  
宮城県仙台市青葉区大崎2丁目1-12  
TEL.022-234-2012

**YSP仙台中央** **MX**  
宮城県仙台市青葉区大崎2丁目4-3  
TEL.022-239-4222

**NOVA モーターサイクル** **RR・MX**  
宮城県仙台市太白区山田上ノ町1-5  
TEL.022-243-2263

**ズビードショップ イノ** **MX**  
宮城県仙台市青葉区大崎2丁目3-16  
TEL.022-271-9393

**YSP山台北** **MX**  
宮城県仙台市青葉区山王3丁目41-15  
TEL.022-278-9955

**ピットイン たなべ** **MX**  
宮城県仙台市太白区ひばり台30-10  
TEL.022-245-4077

**PSSティース** **RR・MX**  
宮城県仙台市青葉区大崎3丁目1-44  
TEL.022-225-2785

**モトショップ ビックライフ** **MX**  
宮城県仙台市青葉区大崎4丁目12-1  
TEL.022-392-6315

**YOU SHOP スカイロード** **RR・MX**  
宮城県仙台市青葉区大崎2丁目4-8  
TEL.022-239-2339

**YSP石巻西** **TR**  
宮城県石巻市北町南2丁目286-1  
TEL.0225-22-6272

**YSP名取** **MX**  
宮城県名取市南町2丁目4-43  
TEL.022-383-0427

**YSP気仙沼** **MX・TR**  
宮城県気仙沼市上町中2丁目1-8  
TEL.0226-24-1331

**有三織モーターズ** **TR**  
宮城県仙台市青葉区1-14  
TEL.0236-33-0261

**YSP山形南** **RR・MX**  
山形県山形市南町2丁目4-1  
TEL.0236-31-9307

**YSP山形西** **RR・MX**  
山形県山形市中央4丁目37-26  
TEL.0236-44-1316

**モトショップ ワンバイク** **MX**  
山形県山形市北町2丁目26-28  
TEL.0236-84-0623

**YOU SHOP テラオ** **RR・MX**  
山形県新庄市北町1325-22  
TEL.0233-22-2905

**YOU SHOP ヤマカ** **RR**  
岩手県水沢市中央4丁目1-76  
TEL.0238-23-1108

**YSP酒田** **MX**  
山形県酒田市中町2丁目1-16  
TEL.0234-23-3232

**YSP福島南** **MX**  
福島県福島市南町南258-1  
TEL.0246-46-3116

**バイクワールド ハイブリッジ** **RR**  
福島県福島市上名倉字南倉25-1  
TEL.0246-53-0248

**YSP福島北** **RR・MX**  
福島県伊達市伊達町南町16-3  
TEL.0245-84-2033

**新オートエクスレーシング** **RR**  
福島県山形市北町331  
TEL.0229-46-9455

**新藤本館車庫** **RR・MX**  
福島県山形市南町10-8  
TEL.0249-22-1794

**YSP郡山中央** **RR・MX**  
福島県郡山市南町南258-1  
TEL.0249-38-0026

**大倉オート** **MX**  
福島県郡山市南町南4-53  
TEL.0249-28-2873

**太平オート** **MX・TR**  
福島県郡山市南町南10-30  
TEL.0249-24-0026

**YSP秋田大曲** **MX・TR**  
秋田県大曲市南町1-13  
TEL.0197-66-2969

東京地区

**スポーツショップコム** **RR・MX**  
東京都江戸川区南129-3  
TEL.029-247-5215

**バイクハウス モト** **MX**  
東京都江戸川区南町247-2  
TEL.029-247-9526

**YOU SHOP タカノ** **RR・MX**  
東京都葛飾区小中倉南町1-15 40  
TEL.029-572-2539

**YSPつくば守屋** **RR・MX**  
茨城県つくば市中央南町700-1  
TEL.0298-57-3321

**新オートショップ大月** **RR・MX**  
茨城県西茨城郡大月町1丁目1-10  
TEL.0296-77-6524

**有井原商会** **MX**  
茨城県水戸市南町2736-1  
TEL.0297-62-0148

**カシマレーシング** **RR**  
茨城県水戸市南町311  
TEL.0299-83-7428

**オートショップ板** **MX**  
茨城県水戸市南町15-24  
TEL.0298-21-3830

**モトショップ タカシ** **RR・MX・TR**  
栃木県宇都宮市南町1789-4  
TEL.0286-52-4166

**モトハウス マツモト** **MX**  
栃木県鹿沼市南町1-10 40  
TEL.0287-63-6656

**新バイクショップ竹沢** **MX**  
栃木県鹿沼市南町523-31  
TEL.0289-76-1030

**新小島堅三輪業** **RR**  
栃木県足利市南町239-2  
TEL.0284-71-2730

**新モトショップ シロタ** **RR・MX**  
栃木県高崎市中央町456-4  
TEL.0273-61-0222

**YSP前橋西** **RR・MX**  
群馬県前橋市大町1丁目15-15  
TEL.0272-53-1076

**新スーパーバイク 夢夢** **TR**  
群馬県前橋市北町733-5  
TEL.0272-53-5364

**YSP前橋** **MX**  
群馬県前橋市南町3-15-5  
TEL.0272-21-4375

**新真** **MX**  
群馬県太田市内中1447-1  
TEL.0276-63-1735

**ジェイ・トリック** **RR**  
群馬県法政町新町南小坂2719-2  
TEL.0276-63-6255

**ザオート イシハラ** **MX**  
群馬県前橋市南町南1丁目大橋574-1  
TEL.0276-57-0055

**YSP大宮中央** **MX**  
埼玉県大宮市中央4-57-12  
TEL.048-663-3730

**新サイクルロード イト** **RR・MX**  
埼玉県大宮市南町1902-157-7  
TEL.048-651-7677

**ストラダ** **RR・MX・TR**  
埼玉県上尾市南9-17  
TEL.048-775-8726

**大倉オートサービス** **RR・MX**  
埼玉県東松山市南1丁目大倉130-1  
TEL.0480-33-0079

**Mファクトリー** **RR**  
埼玉県東松山市南町1-2-17  
TEL.0489-87-0940

**モトショップ 藤** **RR・MX**  
埼玉県東松山市南4-1-23  
TEL.048-832-2530

**YSP川越東** **MX**  
埼玉県川越市南川越1-5-6  
TEL.029-245-2306

**赤口カッカーズ** **RR・MX**  
埼玉県東松山市南町132-6  
TEL.0429-54-6681

**YSP上福岡南** **MX**  
埼玉県所沢市南町南2-3-11  
TEL.0492-66-5550

**YSP龍原** **RR・MX**  
埼玉県所沢市南町南大宮19502-2  
TEL.0495-32-1090

**海イトウ** **RR**  
埼玉県東松山市上郷字1244  
TEL.0293-23-0113

**YSP東松山** **RR・MX**  
埼玉県東松山市南町22-24  
TEL.0483-24-0488

**新倉城サイクル 三郷店** **RR**  
埼玉県三郷市南町2181  
TEL.0486-52-7881

**新プレスト** **RR**  
埼玉県所沢市南町2-3-3  
TEL.0489-52-8930

**スリーA** **RR**  
埼玉県所沢市南町南2181  
TEL.0489-57-6638

**オートプラザ KAME** **MX**  
千葉県千葉市中央区南1-10-4  
TEL.043-241-8198

**ビートル 千葉中央店** **RR**  
千葉県千葉市中央区南2丁目2-7  
TEL.043-232-7770

**YSP貝塚** **MX**  
千葉県千葉市貝塚区南町1100-9  
TEL.043-233-4806

**YOU SHOP Alice** **RR**  
千葉県千葉市見沼区南町453-1  
TEL.043-272-9071

**コジカモーターズ 沼津店** **RR**  
千葉県八千代市南町南25-1  
TEL.0474-84-2217

**YSP習志野** **RR**  
千葉県習志野市南町2-30  
TEL.0474-78-6218

**オートショップ クラウド** **RR・MX**  
千葉県千葉市上野1782-12  
TEL.043-461-8729

**新ガヤオートサービス** **RR**  
千葉県千葉市南町1207-1  
TEL.0479-63-1558

**YSP松戸東** **MX**  
千葉県松戸市南町南2-2 ユーケンショップ  
TEL.0473-69-0456

**MOTORCYCLE SHOP クラト** **MX**  
千葉県松戸市南町南87  
TEL.0473-48-5000

**野田ヤマハ** **RR・MX**  
千葉県野田市中野町543  
TEL.0471-23-2536

**YSP市川西** **MX**  
千葉県市川市南町193-5-10  
TEL.0473-71-8362

**RSマスタ** **RR**  
千葉県船橋市南254  
TEL.0471-45-6581

**YSP流山** **MX**  
千葉県流山市南流山6丁目28-5  
TEL.0471-50-1821

**YSP足立中央** **RR・MX**  
東京都足立区本木2-29-15  
TEL.03-3886-5122

**村上製作所** **RR・MX**  
東京都野村町南9-9-6  
TEL.03-3896-5885

**MCSイイヤマ** **MX**  
東京都練馬区南1-30-11  
TEL.03-3512-1345

**YOU SHOP 3カク** **RR・MX**  
東京都練馬区南1-30-20  
TEL.03-3580-1800

**ピットイン トライアングル** **RR・MX**  
東京都江戸川区南葛西4-30-8  
TEL.03-3689-1207

**YSP京葉** **MX・TR**  
東京都江戸川区区南1-121-14-14  
TEL.03-3656-5485

**YSP葛飾南** **RR**  
東京都葛飾区南町南3-35-13  
TEL.03-3695-5556

**モタロー** **RR・MX**  
東京都世田谷区南町1-55-10  
TEL.03-3321-6288

**EIJYU PRO** **RR・MX**  
東京都世田谷区南町南3-15-9  
TEL.03-5716-6337

**MHプロダクツ** **RR・MX**  
東京都世田谷区南町南3-24-5  
TEL.03-3389-1011

**YSP練馬** **RR・MX**  
東京都練馬区南町南1-1-4  
TEL.03-3526-7111

**YSP谷原** **RR**  
東京都練馬区南町南3-3-5  
TEL.03-3998-1011

**太平洋モーターズ** **MX**  
東京都世田谷区南町南4-6-30  
TEL.03-3330-8000

**もとしよぶ神楽坂** **MX**  
東京都練馬区南町南2  
TEL.03-3235-3141

**YSP上板橋 上板橋店** **RR**  
東京都板橋区南町南3-12-4  
TEL.03-3334-6666

**YSP成増**  
東京都板橋区南町南3-9-4  
TEL.03-3377-5025

**YSP目黒中央** **RR**  
東京都目黒区中央1-19-10  
TEL.03-3712-0287

**ハヤシカスタム** **RR**  
東京都目黒区下等2-1-1-101  
TEL.03-3756-2160

**SP忠男** **RR**  
東京都目黒区南町南3-6-6  
TEL.03-3741-1771

**ブルーライトニング** **RR**  
東京都目黒区南町南2-2-14  
TEL.03-3763-3028

**YSP下丸子** **RR・MX**  
東京都目黒区下丸子3-15-3  
TEL.03-3759-9590

**YSP豊の宮** **RR**  
東京都豊島区南町南3-2  
TEL.03-3825-1479

\*各ショップの取り扱い区分を、RR（ロードレース）、MX（モトクロス）、TR（トライアル）、の記号でショップ名の右側に表示しております。

●TZ250/125は運輸省の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取得することはできません。  
●TZ250/125は道路を走行できません。道路を走行しますと、道路交通法及び道路運送車両法の違反となります。  
●私道、社内の境内、公園、海辺、堤防上、農道、林道など、いわゆる道路の形態を整えていないところで人や車が自由に出入りできるところは、道路と見なされます。走行場所には十分注意してください。



# RSS Racing Service Shop

コンペモデル(レース専用車)

約 ¥1000 のキッドナップ

は、RSS で扱っています。

コンペモデルに関する詳細は技術と経験の RSS をおすすりませう。  
お近くの RSS にお問い合わせ下さい。



'97YZ250 ¥569,000



'97YZ125 ¥479,000



※写真はYZ80LWです。

'97YZ80LW/YZ80  
¥319,000 ¥299,000



'97WR250Z ¥580,000

ALL NEW

Never give up  
極限を支える  
スペックがある。

'97モデル登場!

※改良のため、製品の仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。  
※台数に限りがありますので RSS にお早めにお申し込みください。  
●価格は全てメーカー希望小売価格です。メーカー希望小売価格には消費税は含まれていません。

見る・見られる・いい運転。バイクでひろがるいい仲間

●Yは全日本選手権シリーズ

●Yは全日本選手権シリーズ

バイクはいつも、笑ってる

●Yは全日本選手権シリーズに関するお問い合わせは、下記のお客相談室へ。

お客様相談室 ☎0120-090-819

●Yは全日本選手権シリーズに関するお問い合わせは、下記のお客相談室へ。  
●Yは全日本選手権シリーズに関するお問い合わせは、下記のお客相談室へ。  
●Yは全日本選手権シリーズに関するお問い合わせは、下記のお客相談室へ。

Y.E.S.S. ヤマハ新車ご購入と同時にご入会すると  
初年度年会費すべて無料!

●Yは全日本選手権シリーズに関するお問い合わせは、下記のお客相談室へ。  
●Yは全日本選手権シリーズに関するお問い合わせは、下記のお客相談室へ。  
●Yは全日本選手権シリーズに関するお問い合わせは、下記のお客相談室へ。



<b>YSP 福生</b> <b>RA</b> 東京都練馬区西町165-11 TEL.0425-53-2345	<b>YSP 田奈</b> <b>MX</b> 神奈川県横浜市青葉区田奈町15-1 TEL.045-962-4650	<b>YSP 甲府バイパス</b> <b>RA</b> 山梨県甲府市南町5-12-22 TEL.0552-28-1961	<b>モトショップ スキウラ</b> <b>TR</b> 静岡県浜松市東区13-30 TEL.054-241-4843	<b>堀場サイクル</b> <b>TR</b> 静岡県浜松市東区21-1-13 TEL.0779-22-0823	<b>バイクショップ ウカ</b> <b>RA-MX-TR</b> 愛知県名古屋市中川区中島町2丁目102 TEL.052-253-6664
<b>YSP 調布</b> <b>RA-MX</b> 東京都練馬区有馬町181-34-15 TEL.0424-62-7881	<b>YSP 横浜旭</b> <b>RA-MX</b> 神奈川県横浜市旭区東葉塚4-5-108 TEL.045-363-5111	<b>ケニー・モト・モーター</b> <b>RA</b> 山梨県甲府市高砂1丁目3-27 TEL.0552-53-0636	<b>海モト・ランド三澤</b> <b>MX</b> 静岡県浜松市東区丸の内179-4 TEL.0545-71-3829	<b>ヤマハオートセンター</b> <b>RA-MX</b> 愛知県岡崎市大平町南28 TEL.0564-22-0024	<b>YSP 尾道小牧</b> <b>RA-MX-TR</b> 愛知県尾道市小牧町稲富180 TEL.0567-54-3278
<b>ライディングハウス</b> <b>TR</b> 東京都大田区羽根町2-27-9 TEL.0425-28-0455	<b>YOU SHOP 北ニュータウン</b> <b>RA</b> 神奈川県横浜市西区新田町3-7-27 TEL.045-942-4888	<b>YOU SHOP はらあ</b> <b>RA-MX</b> 山梨県韮崎市上沼3-2-6 TEL.0554-45-2819	<b>森青山商会</b> <b>MX</b> 静岡県津島市東町411-1 TEL.0559-22-0311	<b>YSP 岡崎中央</b> <b>RA-MX</b> 愛知県岡崎市小坂町1丁目5 TEL.0564-21-0511	<b>YOU SHOP 栗木</b> <b>RA-MX</b> 愛知県豊明市下町1丁目1-18 TEL.0567-32-2762
<b>秀明サイクルモーター</b> <b>MX</b> 東京都大田区東馬場5-884-12 TEL.0425-65-0775	<b>YSP 洋光台</b> <b>MX</b> 神奈川県横浜市西区洋光台5丁目12-1 TEL.045-831-0778	<b>山梨中巨摩</b> <b>RA</b> 山梨県中巨摩町西花田2725-2 TEL.0552-73-6640	<b>森中島技術開発研究所</b> <b>RA</b> 静岡県富士市大沢1240-1 TEL.0559-24-0817	<b>街オートショップ トヨタ</b> <b>MX</b> 愛知県豊明市大野町2-22-1 TEL.0565-29-1388	<b>YSP 名古屋北</b> <b>RA-MX</b> 愛知県豊明市日野町山崎東町55 TEL.0568-29-0505
<b>バイクルーム多摩</b> <b>MX-TR</b> 東京都八王子市大塚1457 TEL.0426-76-3304	<b>YSP 鎌倉</b> <b>RA-MX</b> 神奈川県鎌倉市東園710 TEL.0467-31-8439	<b>YSP 長野中央</b> <b>RA-MX</b> 長野県長野市立崎1丁目2-1 TEL.0262-41-7841	<b>石田オートサロン</b> <b>MX</b> 静岡県富士市東沢41-5 TEL.0559-77-4737	<b>街セフティモーター大道</b> <b>RA</b> 愛知県豊明市小坂町1丁目5 TEL.0565-34-0330	<b>オートスポーツプラザ二輪倶楽部</b> <b>RA</b> 愛知県豊明市日野町山崎西2-1 TEL.0568-29-5921
<b>YSP 八王子南</b> <b>RA</b> 東京都八王子市片倉町713-1 TEL.0426-36-3344	<b>YOU SHOP 小野田</b> <b>MX</b> 神奈川県小野田市3-11-25 TEL.0467-45-5933	<b>YSP 安曇野</b> <b>RA</b> 長野県安曇野市豊科町4898 TEL.0263-72-2334	<b>バイクショップ 金鐘</b> <b>RA-MX</b> 静岡県浜松市東区255-4 TEL.0559-82-0344	<b>トカーオートレーシング</b> <b>MX</b> 愛知県豊明市日野町山崎西2-1 TEL.0568-29-5911	<b>RACING GARAGE Support</b> <b>RA</b> 愛知県豊明市日野町山崎西2-1 TEL.0568-29-5911
<b>YSP 八王子中央</b> <b>RA</b> 東京都八王子市新町7-12 TEL.0426-49-6381	<b>YSP 南川崎</b> <b>RA-MX</b> 神奈川県川崎市南川崎区南1-4-18 TEL.044-233-3333	<b>YSP 松本</b> <b>RA-MX</b> 長野県松本市北3丁目2-20 TEL.0263-26-2780	<b>クラブ シングルス</b> <b>RA</b> 静岡県浜松市東区東町1051-3 TEL.0559-34-0370	<b>協和自動車株二輪部</b> <b>MX</b> 愛知県豊明市大野町南平子43 TEL.0565-52-5811	<b>YSP 一宮中央</b> <b>MX</b> 愛知県一宮市小野町南宮南33-4 TEL.0566-44-2323
<b>YSP 八王子西</b> <b>MX</b> 東京都八王子市西浅川町357-7 TEL.0426-63-1148	<b>YOU SHOP PHANTOM</b> <b>RA</b> 神奈川県横浜市南区北加賀2-9-1 TEL.044-589-1875	<b>三栄モーター</b> <b>RA-MX-TR</b> 長野県松本市島立橋本町977 TEL.0263-47-2167	<b>石野モーター</b> <b>RA-MX</b> 静岡県浜松市下町南27-1 TEL.054-641-2913	<b>モトスイング</b> <b>TR</b> 愛知県豊明市日野町2丁目6-8 TEL.0568-80-3123	<b>街小モーター</b> <b>RA-MX</b> 愛知県豊明市日野町山崎西2-14 TEL.0567-26-3894
<b>YOU SHOP サンライズ</b> <b>MX</b> 東京都武蔵野市市町2丁目1-1 TEL.0425-63-1148	<b>YSP 川崎中央</b> <b>RA-MX</b> 神奈川県川崎市中原区中野6447 TEL.044-750-1141	<b>有翔武</b> <b>RA-MX</b> 長野県松本市南町4丁目6-32 TEL.0263-34-1751	<b>中央モーター</b> <b>RA</b> 静岡県浜松市東区新町358-1 TEL.053-421-3518	<b>街モトハウス21st</b> <b>MX</b> 愛知県豊明市日野町2丁目30-1 TEL.0566-36-2248	<b>岡本ヤマハ商会</b> <b>MX</b> 三重県桑名市栄1丁目899-2 TEL.0594-23-2071
<b>街サム</b> <b>MX</b> 東京都町田市南町2207-16 TEL.0426-26-1123	<b>街モトショップ 梶ヶ谷</b> <b>RA</b> 神奈川県横浜市港南区下作818 TEL.044-865-8333	<b>バイクショップ ヒロ</b> <b>MX</b> 長野県松本市市川町2丁目5-6 TEL.0263-25-6339	<b>狭川島モーター</b> <b>MX</b> 静岡県浜松市城北1丁目10-6 TEL.053-471-2543	<b>ライダーズエージェント オオカ</b> <b>RA</b> 愛知県豊明市神野町南1-880-3 TEL.0532-31-6087	<b>サンビモーター</b> <b>RA-MX</b> 三重県津市南町23 TEL.0594-27-1616
<b>YSP 町田中央</b> <b>RA</b> 東京都町田市南町2-29-4 TEL.0427-29-6456	<b>YOU SHOP PAST</b> <b>MX-TR</b> 神奈川県横浜市南区高砂13-1-1 TEL.044-954-5512	<b>YSP 伊那</b> <b>RA-MX-TR</b> 長野県伊那市大野伊那1308-2 TEL.0263-47-2167	<b>YSP 浜松北</b> <b>RA-MX</b> 静岡県浜松市東区南町471 TEL.053-434-4127	<b>YOU SHOP モト・キッズ</b> <b>RA</b> 愛知県豊明市日野町山崎西2丁目8-1 TEL.0532-63-6103	<b>YOU SHOP コダマ</b> <b>RA-MX-TR</b> 三重県鈴鹿市南町南町西2丁目38-10 TEL.0594-76-5407
<b>YSP 小平</b> <b>RA-MX</b> 東京都小平市小川町1-11-11 TEL.0429-45-4731	<b>街マックス</b> <b>MX</b> 神奈川県横浜市港南区2丁目11-7 TEL.0468-56-0200	<b>テクニカルショップ Q</b> <b>MX</b> 長野県諏訪郡下諏訪町清水4-255-22 TEL.0266-28-2289	<b>タイラレーシング</b> <b>RA</b> 静岡県浜松市北區1丁目12-7 TEL.053-437-2125	<b>YSP 豊橋南</b> <b>RA-MX</b> 愛知県豊橋市南町南町南29-2 TEL.0532-48-2818	<b>モトスペース</b> <b>RA-MX</b> 愛知県豊橋市南町南町南192-1 TEL.0533-88-2886
<b>YSP 三鷹</b> <b>MX</b> 東京都三鷹市野崎4-3-48 TEL.0426-32-5454	<b>街サカエオート</b> <b>TR</b> 神奈川県横浜市南区大塚2-1-10 TEL.0469-36-0210	<b>YSP 小諸</b> <b>RA-MX</b> 長野県小諸市南町乙300-8 TEL.0267-32-0640	<b>有スピードアンリミテッド</b> <b>TR</b> 静岡県浜松市南町2728 TEL.053-464-5048	<b>YSP 豊川中央</b> <b>MX-TR</b> 愛知県豊川市南町2丁目1-34 TEL.05338-5-0388	<b>モルギー ジョイ</b> <b>RA-MX</b> 三重県鈴鹿市栄5丁目14-35 TEL.0593-79-4488
<b>YSP 東小金井</b> <b>RA-TR</b> 東京都小金井市南町1-7-34 TEL.0423-52-9656	<b>街クラブパティス横濱</b> <b>RA</b> 神奈川県横浜市南区高砂45-3-3-101 TEL.0469-34-4440	<b>北沢モーター</b> <b>RA</b> 長野県小諸市大町丸下町丸下福川132-6 TEL.0268-35-2334	<b>レーシングスポーツ</b> <b>RA-MX</b> 静岡県浜松市東区南町1718 TEL.053-471-7001	<b>YSP 豊橋南</b> <b>RA-MX</b> 愛知県豊橋市南町南町南29-2 TEL.0532-48-2818	<b>モルギー ジョイ</b> <b>RA-MX</b> 三重県鈴鹿市栄5丁目14-35 TEL.0593-79-4488
<b>YSP 小金井南</b> <b>RA-MX</b> 東京都小金井市南町1-7-30 TEL.0423-55-6511	<b>街ジュモーターサイクル</b> <b>RA</b> 神奈川県横浜市港南区7-3-27 TEL.0468-35-5567	<b>YSP 佐久</b> <b>RA-MX</b> 長野県佐久市3丁目14の4南町115 TEL.0267-82-2008	<b>YSP 浜北大橋</b> <b>RA-MX</b> 静岡県浜松市東区大橋2-2 TEL.053-586-6860	<b>モーターショップ トヨハシ</b> <b>RA</b> 愛知県豊明市日野町山崎西4-3 TEL.05338-6-1568	<b>YOU SHOP 刈谷</b> <b>RA-MX</b> 愛知県刈谷市一ツ木町南町50-1 TEL.0566-23-2541
<b>YS 国分寺</b> <b>MX</b> 東京都国分寺市南町5-12-7 TEL.0423-23-3997	<b>YSP 藤沢</b> <b>RA-MX</b> 神奈川県藤沢市磯976 TEL.0467-24-0211	<b>YSP 上田</b> <b>MX-TR</b> 長野県上田市西町1-237-1 TEL.0268-29-2750	<b>モトスポーツ アベ</b> <b>RA-MX</b> 静岡県浜松市東区大橋151 TEL.0538-34-4817	<b>YSP 刈谷</b> <b>RA-MX</b> 愛知県刈谷市一ツ木町南町50-1 TEL.0566-23-2541	<b>de'N LIGHT</b> <b>RA</b> 三重県鈴鹿市栄5丁目38-20 TEL.0593-70-2528
<b>街多摩川輪業</b> <b>RA</b> 東京都稲城市中町南5-22-11 TEL.03-3488-2967	<b>YSP 茅ヶ崎</b> <b>MX</b> 神奈川県茅ヶ崎市南町1-3-5 TEL.0467-51-2983	<b>ティーティースポーツ</b> <b>RA-MX-TR</b> 静岡県静岡市東区609 TEL.0265-24-1702	<b>YSP 静岡</b> <b>RA</b> 静岡県静岡市東区南町476-7 TEL.0538-34-6936	<b>YSP 刈谷</b> <b>RA-MX</b> 愛知県刈谷市一ツ木町南町50-1 TEL.0566-23-2541	<b>YSP 四日市</b> <b>RA-MX-TR</b> 三重県四日市市東町2丁目1108-1 TEL.0593-53-7371
<b>YOU SHOP ティース</b> <b>RA</b> 東京都豊島区北町747 TEL.0423-73-3910	<b>街梅田モーター</b> <b>MX</b> 神奈川県横浜市磯区中島255 TEL.0467-63-9000	<b>街ブライトン</b> <b>RA</b> 静岡県静岡市東区南町476-7 TEL.0538-34-6936	<b>YSP 静岡</b> <b>RA</b> 静岡県静岡市東区南町476-7 TEL.0538-34-6936	<b>YSP 刈谷</b> <b>RA-MX</b> 愛知県刈谷市一ツ木町南町50-1 TEL.0566-23-2541	<b>三谷モーター</b> <b>RA-MX-TR</b> 三重県鈴鹿市栄5丁目38-20 TEL.0593-70-2528
<b>バイクショップ アミューズ</b> <b>MX</b> 東京都稲城市南町2-7-16 TEL.0426-46-9456	<b>YSP 高座渋谷</b> <b>RA-MX</b> 神奈川県大和市下町南町504 TEL.0462-69-3777	<b>街新瀬中央</b> <b>RA</b> 静岡県静岡市東区南町476-7 TEL.0538-34-6936	<b>街トヨタ</b> <b>RA-MX</b> 静岡県静岡市東区南町476-7 TEL.0538-34-6936	<b>モロ商会</b> <b>TR</b> 愛知県名古屋市中区栄南2丁目289 TEL.052-411-0037	<b>街ナグ エス・イー・ティ</b> <b>RA</b> 静岡県静岡市東区南町241 TEL.0533-83-7998
<b>ライダーズショップ ケー・ビーム</b> <b>RA</b> 東京都豊島区南町24-1-22 TEL.0427-51-7121	<b>YSP 大和</b> <b>MX</b> 神奈川県大和市南厚木4-1-1 TEL.0462-63-6000	<b>YOU SHOP さいとう</b> <b>MX</b> 静岡県静岡市東区南町476-7 TEL.0538-34-6936	<b>街トヨタ</b> <b>RA-MX</b> 静岡県静岡市東区南町476-7 TEL.0538-34-6936	<b>バイク &amp; バイク</b> <b>MX</b> 愛知県名古屋市中区栄南2丁目289 TEL.052-411-0037	<b>街ケー・レーシングクラブ</b> <b>MX</b> 静岡県静岡市東区南町415 TEL.0537-34-6303
<b>SP 忠実 横浜店</b> <b>MX</b> 神奈川県横浜市西区南町1-11-9 TEL.045-333-3544	<b>街モトショップ OUT RUN</b> <b>RA</b> 神奈川県横浜市東区南町3-2 TEL.0467-78-0194	<b>YSP 小林ヤマハ</b> <b>MX</b> 静岡県静岡市東区南町476-7 TEL.0538-34-6936	<b>YSP 長岡岡</b> <b>RA-MX-TR</b> 静岡県岡崎市南町1-3-2 TEL.0268-32-5078	<b>バイクカーステーション</b> <b>MX</b> 愛知県名古屋市中区栄南2丁目289 TEL.052-411-0037	<b>スポーツプラザ サイト</b> <b>TR</b> 愛知県名古屋市中区栄南2丁目289 TEL.052-411-0037
<b>B-H-WOOD'S</b> <b>MX</b> 神奈川県横浜市西区南町1-11-9 TEL.045-332-4731	<b>YSP 船橋中央</b> <b>RA-MX</b> 神奈川県船橋市土土土5-2-18 TEL.0472-98-4618	<b>YSP 長岡岡</b> <b>RA-MX-TR</b> 静岡県岡崎市南町1-3-2 TEL.0268-32-5078	<b>YSP 金沢中央</b> <b>MX</b> 石川県金沢市南町南町27-275-2 TEL.0762-94-6181	<b>YSP 名古東</b> <b>RA-MX-TR</b> 愛知県名古屋市中区栄南2丁目289 TEL.052-411-0037	<b>バイクショップ カツラガ</b> <b>RA</b> 愛知県名古屋市中区栄南2丁目289 TEL.052-411-0037
<b>YSP 鶴見</b> <b>MX</b> 神奈川県横浜市鶴見区鶴見3-37-16 TEL.045-575-0885	<b>モトウィン マルフク</b> <b>MX</b> 神奈川県大和市大塚町南町南883 TEL.0463-71-1784	<b>YSP 静岡南</b> <b>RA-MX</b> 静岡県静岡市東区南町476-7 TEL.0538-34-6936	<b>YSP 富山東</b> <b>RA-MX</b> 富山県富山市上巻山2-1-25 TEL.0764-33-4828	<b>YSP 名古東</b> <b>RA-MX-TR</b> 愛知県名古屋市中区栄南2丁目289 TEL.052-411-0037	<b>モトハウス ポジション</b> <b>MX</b> 愛知県名古屋市中区栄南2丁目289 TEL.052-411-0037
<b>YSP 横浜南</b> <b>RA-MX</b> 神奈川県横浜市南区大塚2-1-10 TEL.045-741-6123	<b>サンユー バイクサービス</b> <b>RA</b> 神奈川県大和市大塚町南町南883 TEL.0463-71-1784	<b>街YSP 静岡中央</b> <b>MX</b> 静岡県静岡市東区南町476-7 TEL.0538-34-6936	<b>YSP 富山中央</b> <b>MX</b> 富山県富山市南町南町274-12 TEL.0764-31-8269	<b>YSP 名古東</b> <b>RA-MX-TR</b> 愛知県名古屋市中区栄南2丁目289 TEL.052-411-0037	<b>街トムス</b> <b>TR</b> 愛知県名古屋市中区栄南2丁目289 TEL.052-411-0037
<b>ツツミ モーター</b> <b>RA</b> 神奈川県横浜市港北区小机町1512 TEL.045-471-8186	<b>モーターサイクルショップ いのち</b> <b>RA</b> 山梨県静岡市南町4-11-15 TEL.0552-28-3377	<b>街YSP 静岡中央</b> <b>MX</b> 静岡県静岡市東区南町476-7 TEL.0538-34-6936	<b>YSP 福井南</b> <b>MX</b> 福井県福井市南町7-5 TEL.0776-53-8331	<b>YSP 名港</b> <b>MX</b> 愛知県名古屋市中区栄南2丁目289 TEL.052-411-0037	<b>街トムス</b> <b>TR</b> 愛知県名古屋市中区栄南2丁目289 TEL.052-411-0037

※各ショップの取り扱い区分を、RA（ロードレース）、MX（モトクロス）、TR（トライアル）、の記号でショップ名の右側に表示しております。

- YZ250、YZ125、YZ80、YZ80LW（ラージキール）、WR250Zは運輸省の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取付することはできません。
- YZ250、YZ125、YZ80、YZ80LW（ラージキール）、WR250Zは道路法を走行できません。道路法を走行すると、道路交通法及び道路運送車両法の違反となります。
- 公道、社寺の境内、公園、海辺、堤防など、いわゆる道路の形態を替えていないところでも人や車が自由に出入りできるところは、道路と見なされます。走行時には十分注意してください。

**YAMAHA**  
ヤマハ発動機株式会社

# RSS Racing Service Shop

コンペティション専用車!

1000ccのキックアップ

は、RSSで扱っています

コンペティションに関する詳細は技術と経験のRSSをおすすめします。お近くのRSSに御相談下さい。



# Fantastic scene

常識を変えるスウェットがある。



**TY250Z**  
¥750,000

※改良のため、製品の仕様は予期なく変更する場合がありますのでご了承下さい。  
※台数に限りがありますのでRSSにお早めにお申し込みください。  
●価格は全てメーカー希望小売価格です。メーカー希望小売価格には消費税は含まれていません。

見る見られる・いい運転。

●バイクは人間もライオン!  
●カーブ・交差点では、スローインクダウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクは、いつも光ってる

●マフラーメーカーサイズワムに関するお問い合わせは、下記のお客相談室へ。

お客相談室 0120-090-819

●このカタログの発行には、掲載名、製品名、住所、氏名、生年、職業を明記し、郵送料として郵便料金100円分を同封の上、下記へお申し込みください。  
〒430-0801 静岡県静岡市清水区山崎1-1-1 山崎製作所 営業課



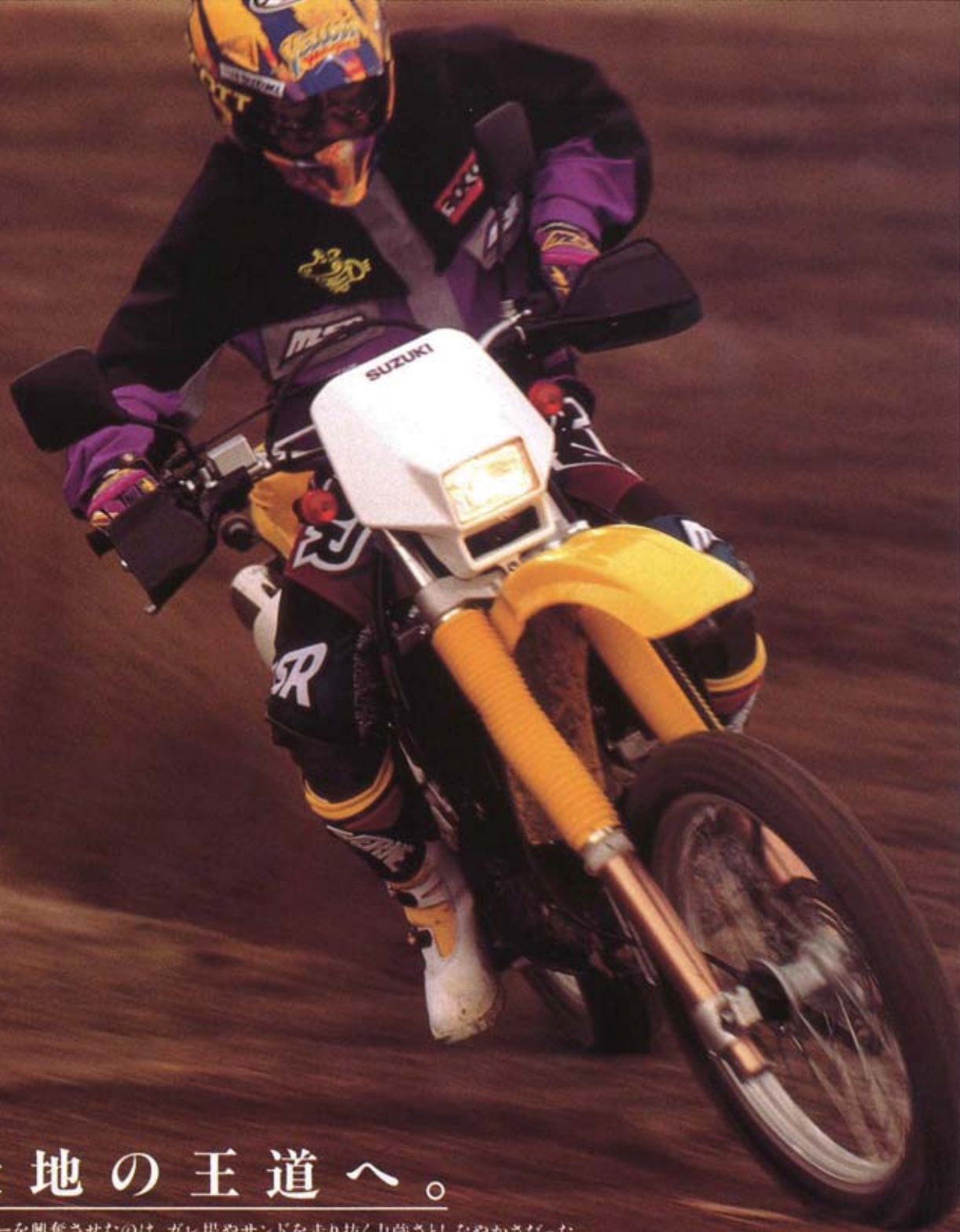
全日本ロードレース選手権

招待券プレゼント実施中

97年1月～12月にモーターサイクル

ノスクーターをお買上げの方全員に

<p><b>機カ入モーターサイクル</b> <b>RR・MX</b> 京都府京都市伏見区下鳥羽西園寺町25 TEL.075-622-0225</p> <p><b>まつもとモーターズ</b> <b>TR</b> 京都府京都市伏見区納所ノ下24-8 TEL.075-631-7144</p> <p><b>親おト タニモト西院店</b> <b>MX</b> 京都府京都市伏見区西院西寺町13-2 TEL.075-314-0051</p> <p><b>オートショップ小西</b> <b>MX</b> 京都府京都市中津区中55-2 TEL.0774-32-2519</p> <p><b>バイクハウス ファースト</b> <b>MX</b> 京都府京都市中津区北104-1 TEL.0774-24-5810</p> <p><b>南YSP長岡</b> <b>MX</b> 京都府長岡京市今里北ノ町11-12 TEL.075-954-0389</p> <p><b>バイク工房 岩城</b> <b>RR</b> 京都府京都市下京区中堂寺南町18-11 TEL.075-622-0840</p> <p><b>YSP 南京都</b> <b>RR</b> 京都府京都市山科区南大谷41 TEL.0774-62-6819</p> <p><b>南ナカキ ホンダ</b> <b>MX</b> 滋賀県彦根市八幡町上野分庫277-1 TEL.0749-31-7111</p> <p><b>南高田モーターズ</b> <b>TR</b> 滋賀県八日市市南町7-21 TEL.0749-22-0757</p> <p><b>南瀬口オート商会</b> <b>MX</b> 滋賀県瀬川町南町3-6 TEL.0749-22-2126</p> <p><b>クヤマ オートバイ</b> <b>RR・MX</b> 大府府中津市本森3丁目10-1 TEL.06-643-6615</p> <p><b>スポーツショップ豊中</b> <b>MX</b> 大府府中津市南興寺町4丁目3-23 TEL.06-682-3877</p> <p><b>YOU SHOP御殿山</b> <b>RR</b> 大府府大津市御殿山町38-6 TEL.0770-40-1817</p> <p><b>YSP大阪北</b> <b>RR・MX</b> 大府府茨木市市川町2-8 TEL.0770-24-6560</p> <p><b>YSP茨木</b> <b>MX</b> 大府府茨木市西新町13-19 TEL.0770-25-8989</p> <p><b>RSタイチ</b> <b>RR・MX・TR</b> 大府府大津市中環内3丁目1-25 TEL.0770-74-5315</p> <p><b>YSP大阪東</b> <b>RR・MX</b> 大府府八尾市法川町1丁目1-32 TEL.0770-93-7766</p> <p><b>YOU SHOPエル</b> <b>MX</b> 大府府高槻市北3丁目8-40 TEL.0772-74-3830</p> <p><b>YOU SHOPクボ</b> <b>MX</b> 大府府堺市日置瓦原寺町443-1 TEL.0772-67-5378</p> <p><b>YOU SHOP P's products</b> <b>MX</b> 大府府堺市東区神志保4600-1 TEL.0774-94-0247</p> <p><b>YOU SHOP P.M.ミタニ</b> <b>RR</b> 大府府大津市東区江津区新5丁目21-4 TEL.06-322-6323</p> <p><b>YOU SHOPイタヤ</b> <b>MX</b> 大府府大津市鶴見区中津中1丁目4-30 TEL.05-951-2561</p> <p><b>YOU SHOPエビハラ</b> <b>MX</b> 大府府大津市池田町1丁目24-4 TEL.0770-62-1767</p> <p><b>バイクプラザ 光</b> <b>MX</b> 大府府大津市小瀬町5丁目5-9 TEL.0770-96-1217</p>	<p>クイジーモーターワークス <b>MX</b> 兵庫県川西市東区南町25-5 TEL.078-24-4411</p> <p><b>YSP 飛鳥</b> <b>MX</b> 兵庫県川西市橋本250-13 TEL.07844-21-0201</p> <p><b>オートショップイナムラ</b> <b>MX</b> 兵庫県六甲郡山手町小林町110 TEL.07835-6-5749</p> <p><b>YOU SHOP TAKAI</b> <b>MX</b> 兵庫県芦屋市下国5丁目8-5 TEL.07845-8-0086</p> <p><b>YOU SHOPMOTO I</b> <b>MX・TR</b> 兵庫県神戸市東灘区3丁目4-5 TEL.0776-34-1035</p> <p><b>モトスポーツ マルタ</b> <b>RR</b> 兵庫県神戸市東灘区5丁目3-11 TEL.0776-34-1873</p> <p><b>YSP和歌山</b> <b>RR・MX・TR</b> 和歌山県和歌山市平井1丁目5 TEL.0734-25-0750</p> <p><b>YSP神戸灘</b> <b>RR・MX</b> 兵庫県神戸市東灘区7丁目5-12 TEL.078-843-2747</p> <p><b>YSP西神戶</b> <b>RR・MX</b> 兵庫県神戸市西区伊川谷南町11-2 TEL.078-974-9261</p> <p><b>YOU SHOP パートII</b> <b>RR</b> 兵庫県神戸市中央区喜多町2丁目1-24 TEL.078-251-2280</p> <p><b>イシイ MTC</b> <b>RR</b> 兵庫県西宮市上ノ瀬南町7-45 TEL.0796-52-2094</p> <p><b>YSP甲子園</b> <b>RR・MX</b> 兵庫県西宮市八雲町2-16 TEL.0798-22-1102</p> <p><b>MOTO SHOP ハンネ</b> <b>RR・MX・TR</b> 兵庫県花田市浅見1丁目16-11 TEL.06-498-1211</p> <p><b>株伊丹 カワサキ</b> <b>MX</b> 兵庫県伊丹市野芝ノ上15-6 TEL.0777-77-0018</p> <p><b>オートスポーツ加古川</b> <b>TR</b> 兵庫県加古川市神野町南町1440 TEL.0794-24-5060</p>	<p><b>YSP五日市</b> <b>RR・MX</b> 兵庫県三田市東地区南町2-1-7 TEL.082-923-2023</p> <p><b>YSP 呉</b> <b>MX</b> 兵庫県高市市南町7-24 TEL.0823-21-8198</p> <p><b>RSキノシタ</b> <b>MX</b> 兵庫県高市市東区2丁目5-17 TEL.0823-25-6824</p> <p><b>YOU SHOP ASO</b> <b>RR・MX</b> 兵庫県高市市松永町高松島1484-4 TEL.0845-34-2884</p> <p><b>正和産業</b> <b>RR・MX・TR</b> 山口県徳山市大字伊保2554-1 TEL.0820-27-0076</p> <p><b>泉商會</b> <b>TR</b> 山口県徳山市大字伊保2554-1 TEL.0820-27-0076</p> <p><b>YSP徳山</b> <b>RR・TR</b> 山口県徳山市大字徳山字大塚1412-1 TEL.0834-25-0122</p> <p><b>YSP宇部</b> <b>RR・TR</b> 山口県宇部市東町1丁目3-35 TEL.0836-31-6476</p> <p><b>バイク・サン</b> <b>MX</b> 山口県萩市大字新町911-1 TEL.0835-21-8193</p> <p><b>ライダーズスポット ムラ</b> <b>MX・TR</b> 高知県高知市山形町2丁目125 TEL.0857-26-5334</p> <p><b>青フープ田中オート</b> <b>MX</b> 高知県安芸市朝島町293-4 TEL.0954-22-1107</p>	<p><b>エム・ファクトリー</b> <b>MX</b> 高知県高知市中央9-554 TEL.0888-71-7058</p> <p><b>YSP松山南</b> <b>RR・MX</b> 愛媛県松山市新庄町502-2 TEL.0899-32-7611</p> <p><b>YSP松山東</b> <b>MX</b> 愛媛県松山市北町1240-20 TEL.0899-16-3577</p> <p><b>YSP愛媛</b> <b>RR</b> 愛媛県松山市北1丁目41-47 TEL.0899-25-0074</p> <p><b>海小野商会</b> <b>RR</b> 愛媛県松山市松本町1-40 TEL.0891-37-0624</p>	<p><b>YSP南大分</b> <b>MX</b> 大分県大分市東区新町1648 TEL.0975-49-3050</p> <p><b>YOU SHOP松田</b> <b>MX</b> 大分県大分市橋本2575-4 TEL.0975-92-0071</p> <p><b>ローリングショップカワキ</b> <b>RR</b> 大分県宇佐市大字山下1136-1 TEL.0970-33-3663</p> <p><b>YSP佐賀</b> <b>RR・MX</b> 佐賀県佐賀市東区1丁目3-14 TEL.0952-23-4357</p> <p><b>アバンテージュ</b> <b>MX</b> 熊本県熊本市区北5丁目5-167 TEL.096-385-8475</p> <p><b>YSP蓮台寺</b> <b>MX</b> 熊本県熊本市区南町781-1 TEL.096-385-0832</p> <p><b>YSP熊本東</b> <b>MX</b> 熊本県熊本市区東1丁目15 TEL.096-368-1231</p> <p><b>ミスターバイクヤマバ</b> <b>RR</b> 熊本県熊本市西区今福東3丁目39-12 TEL.096-306-7777</p> <p><b>YSP福岡東</b> <b>RR</b> 福岡県福岡市東区渡辺ノ原3丁目12-24 TEL.092-672-5223</p> <p><b>YSP友泉</b> <b>MX</b> 福岡県福岡市城南区高見2丁目7-12 TEL.092-521-3330</p> <p><b>YSP博多</b> <b>RR・MX</b> 福岡県福岡市博多区中環2丁目2-76 TEL.092-474-2369</p> <p><b>B・フィールド</b> <b>MX</b> 福岡県福岡市南区長尾1丁目41-1 TEL.092-511-4393</p> <p><b>モーターランドフジモト</b> <b>RR</b> 福岡県福岡市博多区東新町2丁目7-27 TEL.092-411-0764</p> <p><b>萩尾商会</b> <b>MX</b> 福岡県筑紫郡志村町773-1 TEL.092-932-9067</p> <p><b>グランドオート ヨシムラ</b> <b>RR</b> 福岡県春日市白糸ノ内150-1 TEL.092-581-2155</p> <p><b>アクト・オブ・ファクトリー</b> <b>RR・TR</b> 福岡県春日市東4丁目1-1、イ・エム・ビル1F TEL.092-585-1121</p> <p><b>ライダーズショップWIN</b> <b>RR</b> 福岡県春日市南2-7193-1 TEL.0946-23-5819</p> <p><b>YSP南くろめ</b> <b>MX</b> 福岡県大牟田市野中町1166-1 TEL.0942-33-9688</p> <p><b>YOU SHOP SAKO</b> <b>RR・MX</b> 福岡県大牟田市荒木町1325 TEL.0942-27-3398</p> <p><b>YSP筑後</b> <b>MX</b> 福岡県大牟田市大字吉田798-1 TEL.0943-22-5089</p> <p><b>モト・ボーイ</b> <b>MX</b> 福岡県大牟田市市ノ宮1丁目2-1 TEL.0944-57-7781</p> <p><b>RSSレイラスト</b> <b>RR</b> 福岡県大牟田市小倉北区東原3丁目20-9 TEL.093-265-8672</p> <p><b>YSP大分中央</b> <b>MX</b> 大分県大分市下都1-1-3 TEL.0970-69-8700</p> <p><b>香川コンプレクション</b> <b>RR・MX</b> 大分県大分市東区1丁目1-40 TEL.0975-51-0811</p> <p><b>ツチャオート</b> <b>MX</b> 大分県大分市石1丁目3-17 TEL.0975-32-5087</p>	<p><b>九州地区</b></p> <p><b>YSP福岡</b> <b>RR</b> 福岡県福岡市中央区天神3丁目15-2 TEL.092-461-2003</p> <p><b>花オートセンター福岡</b> <b>MX</b> 福岡県福岡市西区今福東3丁目39-12 TEL.092-906-7777</p> <p><b>YSP福岡東</b> <b>RR</b> 福岡県福岡市東区渡辺ノ原3丁目12-24 TEL.092-672-5223</p> <p><b>YSP北九州</b> <b>RR・MX・TR</b> 福岡県北九州市東区東2丁目158-1 TEL.093-22-8788</p> <p><b>バイクショップつねよし</b> <b>MX</b> 福岡県福岡市東区中環2丁目3-76 TEL.092-474-2369</p> <p><b>オートハウスアツ</b> <b>RR・MX</b> 高知県高知市千原町21-15 TEL.092-511-4393</p> <p><b>バイクショップHÖZÖZI</b> <b>TR</b> 長崎県西海市杵築町西海橋1714-1 TEL.0958-84-1825</p> <p><b>佐賀ローリングプロジェクト</b> <b>RR・MX</b> 長崎県佐賀市南浜町390-2 TEL.0956-54-0463</p> <p><b>モトファッション</b> <b>MX</b> 沖縄県宜野湾市南宜野湾1丁目7-87 TEL.098-998-1424</p> <p><b>呉屋オート</b> <b>MX</b> 沖縄県宜野湾市南宜野湾2-29-8 TEL.098-993-3528</p> <p><b>YSP那覇</b> <b>MX</b> 沖縄県那覇市中央区2-23-12 TEL.098-962-8711</p> <p><b>YSP那覇南</b> <b>MX</b> 沖縄県那覇市南中環129-1 TEL.098-953-2562</p> <p><b>YSP首里</b> <b>MX</b> 沖縄県那覇市首里字中環1-15 TEL.098-984-7086</p> <p><b>アクティブ・オート</b> <b>MX</b> 沖縄県石垣市宇知1351-1 TEL.098-679-7028</p> <p><b>グリット</b> <b>MX</b> 沖縄県浦添市大坪1-2-1 TEL.098-679-9628</p> <p><b>比嘉モーターズ</b> <b>RR</b> 沖縄県浦添市朝陽2-1-72 TEL.098-933-3529</p> <p><b>YOU SHOP 全城オート</b> <b>MX</b> 沖縄県浦添市宇知1351-1 TEL.098-679-5275</p> <p><b>オートスポーツKEN</b> <b>MX</b> 沖縄県具志川市宇江932 TEL.096-971-9600</p> <p><b>照屋モーターズ</b> <b>MX</b> 沖縄県豊後郡豊原町宇城125 TEL.098-989-0215</p>
<p>●各ショップの取り扱い区分を、RR(ロードレース)、MX(モトクロス)、TR(トライアル)、の記号でショップ名の右側に表示してあります。</p>					
<p>●TY250Zは運輸省の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取得することはできません。</p> <p>●TY250Zは道路を走行できません。道路を走行しますと、道路交通法及び道路運送車両法の違反となります。</p> <p>●私道、社内の境内、公園、海辺、堤防上、農道、林道など、いわゆる道路の形態を整えていないところでも、人や車が自由に出入りできる場所は、道路と見なされます。走行場所には十分注意してください。</p>					



# 大地の王道へ。

ライダーを興奮させたのは、ガレ場やサンドを走り抜く力強さとしなやかさだった。  
濃密なまでの進化を遂げた、ニューRMX250S。そこには大地を堪能するエンデューロの醍醐味がある。

仕様諸元 ● 型式: SJ14A ● エンジン形式: 水冷・2サイクル・単気筒・249cc ● 最高出力: 40ps/8,000rpm ● 最大トルク: 4.0kg・m/6,500rpm ● 最低地上高: 310mm ● 乾操重量: 112kg ● ボディカラー: スペシャルホワイトNo.2

カタログご希望の方は、機種名・雑誌名と住所・氏名・年齢・職業を明記し、切手190円分(送料)を同封のうえ、右記までお申込み下さい。〒432-91 浜松市高塚町300スズキ(株)カタログ発送センター-RMX250S係まで。

**見る・見られる・いい運転。**

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スロー・インクダウン!

**バイクでひろがるいい仲間**

バイクは いつも 光ってる

全日本ロードレース選手権  
招待券プレゼント実施中  
98年1月~12月にモーターサイクル  
/ スクーターを買い上げの方全員に



※ 送料・送料は必ずお支払い下さい。  
※ 送料は、送料を必ずお  
支払い下さい。





# '96 RMX250S

AGGRESSIVE ENDURO

/サイエンスイエロー、スペシャルホワイトNo.2/アイリスパープル ●¥479,000

●価格はメーカー希望小売価格（北海道・東北・沖縄および一部地域を除く）●価格には保険料・税金（消費税を含む）・登録などに伴う諸経費は、含まれていません。●消費税額は、別途計算の上、申し受けます。●価格は参考価格です。詳しくは販売店にお問い合わせください。●速度警告灯装着率もタイプ設定してあります。（10,000円高）●写真はクロードコースにおけるプロライダーの走行を撮影したものです。一般公道では無理をせず安全運転をしましょう。

**CHAMPION**  
 '96全日本ロードレース選手権  
 GP250クラスチャンピオン  
 沼田憲保 / RGV-I250

**CHAMPION**  
 '96全日本モトクロス選手権  
 国体A級125ccクラスチャンピオン  
 川島雄一郎 / RM125

もっと個性的にもっとあなたらしく  
**Personal Best**  **SUZUKI**

Let the good times roll.  
人と乗り物と、そして「遊び」のいい関係

ARK ARKはカワサキの  
信頼ある正規取扱店です。

伝統のマッシブ・フォルムに光る、最新のパフォーマンス。  
まだ誰も知らない走りの次元が、ここにある。  
誕生〈ZRX1100/ZRX1100-II〉—いま、すべてのライダーたちの胸を熱くする。

# ZRX1100/ZRX1100-II



※写真はZRX1100です。

●水流4ストローク4気筒/DOHC16バルブ・1,052cc ●最高出力:100ps/8,500rpm ●最大トルク:9.8kg・m/6,000rpm ●乾機重量:222[221]kg ●カラー:ミッドナイトパープル、メタリックセレストシルバー  
※価格には保険料、税金(消費税など)、登録のための諸費用などは含まれていません。 ※オプションで速度警告灯装備仕様車(¥10,000高)もあります。

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクはいつも光ってる

全日本ロードレース選手権  
招待券プレゼント実施中  
97年11月～12月にモーターサイクル  
/スクーターもお買上げの予定あり

SUPERBIKE  
2023

未踏のゾーンへ。



[ミッドナイトパープル、キャンディワインレッド] ● ¥940,000 [¥920,000] ※ [ ]内は2RX1100-1です。 ※価格はメーカー希望小売価格(北海道・沖縄を除く)です。詳しくはARKにおたずねください。

**KAZE**  
Kawasaki Amusing Zone for Everybody  
KAZEはどなたにでも、思う存分スポーツやアウトドアライフをお楽しみいただけるメンバーズクラブです。ぜひ、あなたもご入会ください。

ご入会のお申し込みはARK。またはKAZEフリーダイヤルまで。お気軽に ☎ 0120-100819

Kawasakiに関するご意見、ご要望はお気軽に **お客様相談室**  
東京: ☎03(3595)0563 明石: ☎078(925)2003  
カタログご希望の方はお名前と住所、氏名、生年月日、職業をご記入になり、送料150円分の切手を同封して、下記までお申し込みください。  
〒673 明石市山崎町1-1 カワサキモーターズ ジャパン(カタログ係)まで。

 **Kawasaki**  
株式会社 カワサキモーターズ ジャパン

# 勝利の道はカストロールから



## A747

YAMAHA TZ125/250 YZシリーズ  
HONDA RS125/250R TLM280  
KAWASAKI KXシリーズ  
MORIWAKI MH80  
メーカー指定エンジンオイル

2サイクルレース専用混合専用オイル  
SAE:50 化学合成油・植物油の混合油  
1ℓ/¥4,000



## R30

YAMAHA TZ125/250ミッションオイル  
YAMAHA YZシリーズエンジンオイル  
メーカー指定オイル

2サイクルレース専用エンジンオイル/  
ミッションオイル  
SAE:30 植物油  
1ℓ/¥3,000



## TTS

YAMAHA TYZメーカー指定エンジンオイル

2サイクル混合・分離両用オイル  
100%化学合成油  
0.5ℓ/¥1,500



## RS SUPERBIKE

### 5W-40

HRC RC45 推奨エンジンオイル

4サイクルエンジンオイル  
SAE 5W-40 SG 100%化学合成油  
1ℓ/¥3,800



## RS SUPERBIKE

### 10W-50

KAWASAKI メーカー推奨エンジンオイル

4サイクルエンジンオイル  
SAE 10W-50 SG 100%化学合成油  
1ℓ/¥3,800



## B353

レーシングエンジンを支えてきたオイル

4サイクルレース専用オイル/  
2サイクルレース専用ミッションオイル  
SAE 40 化学合成油・植物油の合成油  
5ℓ/¥13,000

◆植物油を使用しているため、1回使用する毎にオイル交換してください。また、他のオイルと混ぜて使用しないで下さい。



## Pure Racing

### TAF-X

乾式用2サイクルミッションオイル

SAE 75W-90 100%合成油  
1ℓ/¥2,800



## Gearbox Oil

### for 2-stroke Motorcycles

湿式用2サイクル2輪専用ミッションオイル

HONDA CRシリーズに適しています。

鉱物油  
1ℓ/¥980



## Racing Brake Fluid

カストロールサポートチームが使用している定番

レーシング専用ブレーキフルード  
ドライ沸点290°C、ウェット沸点150°C  
1ℓ/¥3,200



## Universal

### Brake & Clutch Fluid

KAWASAKI KXシリーズ  
メーカー指定・推奨オイル

ディスクブレーキ/ドラムブレーキ用  
ドライ沸点265°C、ウェット沸点165°C  
DOT 3/4タイプ  
1ℓ/¥3,800



カストロール株式会社

〒164 東京都中野区本町2丁目46番1号中野板上サンライツイン ☎03(5371)1021(代表)



# SIGNAL FLAGS

公式シグナル(シグナル旗およびシグナル)

旗の種類	旗の意味	
	ロードレース	モトクロス
 国旗	レーススタート (通常シグナルで示す)	レーススタート (スターティングマシンで行なう場合もある)
 黄旗	静止 危険予告・追い越し禁止	危険予告・減速
	振動 コース上(ランオフエリア含む)に危険がある。 減速・停止準備・追い越し禁止	危険予告・徐行・停止準備・安全確認・追い越し禁止
 白旗	静止 1つ先のポスト付近に徐行中の介入車両あり	コース上にサービス車両(救急車等)あり
	振動 直前に徐行中の介入車両あり	
 ホストライプ付黄旗	コース表面が滑りやすい状態	
 緑旗	先に出した合図の解除 (コースクリアー)	先に出した合図の解除
 赤旗	レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さと注意を持ってそれぞれのピットに戻る。サーキットを閉鎖する場合にも用いる。	全ライダー停止
 黒旗+黒地に白文字のサインボード	速やかにピットインしオフィシャルの指示に従う。(オイル漏れ等の場合は速やかに安全な場所に停止する)	サインボードで示された番号の競技車両は速やかにピットインする。
 黒旗+黒地に白文字の付いたサインボード	サインボードで示された番号の競技車両は、速やかにピットインし一旦停止のペナルティを受ける。	
 オレンジボール/黒地にオレンジの円(直径40mm)の旗	提示されたゼッケンナンバーのライダーに対して彼のマシンが、彼もしくは他のライダーに危険をおよぼすような問題に見舞われており、早急にコース上から退去しなければならない事を知らせるものである。	
 青旗	静止 追い越しシグナル。1台またはそれ以上のスピードの速いマシンが追い越そうとしている。	
	振動 追い越される直前	警告、ラップされようとしている。
 チェッカー旗	レース終了	レース終了
 青旗+チェッカー	・トップライダーはゴール ・トップライダーの直前を走るライダーはゴールではない。	

# レースナンバープレート

(ナンバープレート色見本)

ロードレース	タテ235×ヨコ285mm		
			
GP125	GP250	SP	
			
SB耐久	SB		
注：タテ×ヨコの数字はナンバープレートの寸法。 数字の書体は、FIMの指定に基づくMFJの正規のものである。			
モトクロス	タテ235×ヨコ285mm		
			
ジュニア	国内B級	国内A級	
			
国際A級 (125cc)	国際A級 (250cc)	国際B級	
トライアル	タテ150以上×ヨコ175mm以上		
			
ジュニア	国内B級	国内A級	
			
T.NIPPON 国際B級	T.NIPPON 国際A級	T.NIPPON 国際A級スーパークラス	
ヘルメットのMFJ公認マーク			
ロードレース特選	ロードレース用・モトクロス用	トライアル用・ツーリング用	
			
※MFJ公認ヘルメットでMFJ公認マークが貼付されていないヘルメットは、特別検査料(1,000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。			
レーシングスーツのMFJ公認マーク			
			
※使用するレーシングスーツには、MFJ公認マークが付いていなければならない。			

# MFJ

# 国内競技規則書

## 1997年版

### CONTENTS

信号旗/レースナンバープレート・ライセンス識別カラー	22
MFJ 国内競技規則	24

### ROAD RACE

細則 1	ロードレース競技細則	48
細則 2	'97全日本選手権大会特別規則	63
細則 3	'97エリア選手権大会特別規則	70

### MOTOCROSS

細則 4	モトクロス競技細則	84
細則 5	'97全日本選手権大会特別規則	91

### TRIAL

細則 6	トライアル競技細則	104
細則 7	'97全日本選手権大会特別規則	112

### DRAGRACE

細則 8	ドラッグレース競技細則	118
細則 9	'97全日本選手権大会特別規則	126

### TECHNICAL RULES

MFJ 技術規則	132
基本仕様 (ロードレース)	139
基本仕様 (モトクロス)	148
基本仕様 (トライアル)	153
SP クラスの仕様	158
耐久レースの追加仕様	163
国内 GP クラスの仕様	165
国内モトクロスの仕様	169
国内トライアルの仕様	173
全日本・エリア選手権ロードレース技術仕様	175
FIM 技術仕様 (モトクロス・トライアル)	190
ドラッグレースの仕様	192
ロードレースジュニアクラスの仕様	200
ミニバイクの仕様	204

### SUPPLEMENT

細則10	MFJ ライセンス昇格・降格に関する規則	207
細則11	MFJ 公認クラブ等の名称に関する規程	213
MFJ 共済会制度	215	
MFJ 公認車両・部品・用品	216	
全国公認サーキット	233	
歴代チャンピオンリスト	236	
ピットクルーに関する指導要項	240	

1997年1月1日発行  
ライディング臨時増刊・通巻331号

財団法人 **日本モーターサイクルスポーツ協会**

〒104 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館7F ☎03(5565)0900

■発行所：財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会

■編集：亜玄騎ライディング編集部 ■印刷：河和田屋印刷株

国内競技規則

ロードレース

モトクロス

トライアル

ドラッグレース

技術規則

付録

この国内競技規則書は、日本小型自動車振興会からオートレースの公益資金の補助を受けて作成されたものです。

# 1997

## MFJ国内競技規則

### ▼第1章 総 則

- 1. モーターサイクルスポーツの国内的統括 .....25
- 2. 公認競技会、承認競技会の格式および種目 .....25
- 3. 大会特別規則ならびに公式通知 .....26

### ▼第2章 競技ライセンス

- 4. 競技ライセンスとその種目 .....27
- 5. 競技ライセンスの取得資格 .....28
- 6. 競技ライセンスの有効期間 .....30
- 7. 競技ライセンスの効力の失効等 .....30
- 8. 競技ライセンス資格の昇格および降格 .....30

### ▼第3章 競技会

- 9. 競技参加者 .....31
- 10. 競技参加者の遵守事項 .....31
- 11. ライダーの装備(MFJ公認ヘルメット及びレーシングスーツ) 32
- 12. 出場車両 .....33

- 13. MFJ公認車両および公認部品・用品 .....33
- 14. 燃料およびオイル .....33
- 15. 競技出場の申し込み .....33
- 16. 出場料およびMFJ共済会掛金 .....34
- 17. ライダーおよび車両の変更 .....34
- 18. 車両検査 .....34
- 19. 競 技 .....34
- 20. 優勝者の決定 .....35
- 21. 入 賞 .....35
- 22. 入賞者の車両検査 .....35
- 23. 競技結果および記録の公表 .....35
- 24. 公式得点(ポイント) .....35
- 25. 競技会の延期および中止等 .....36
- 26. 損害に対する責任 .....37
- 27. 抗 議 .....37
- 28. 控 訴 権 .....37
- 29. 違反行為に対する罰則 .....38
- 30. 大会審査委員会の権限 .....38

本国内競技規則は、国際モーターサイクリスト連盟(Fédération Internationale Motocycliste: 略称 FIM)の国際スポーツ憲章、FIM 競技規則に基づいて作成され、日本国内のモーターサイクル・スポーツ規則の一部として発行する。

本国内競技規則は、総則と細則に大別され、競技種目によって内容に差異のある事項は細則に示される。



# 第1章

# 総則

## 1 モーターサイクルスポーツの国内的統括

- 1) この規則は、わが国のモーターサイクルスポーツの国内管理並びにこれの普及振興、競技の安全、公正および秩序を保持することを目的とする。
- 2) 財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（以下「MFJ」という）は、国際モーターサイクリスト連盟（Fédération Internationale Motocycliste 以下「FIM」という）の日本における代表機関として、国際スポーツ憲章、FIM 競技規則に準拠してこの規則を制定する。
- 3) モーターサイクルスポーツに参画するすべての者は、スポーツマンとしての誇りを堅持し、本国内競技規則ならびに特別規則等を遵守する等、善良なる市民でなければならない。
- 4) この規則は、MFJ の主催または MFJ の公認する競技会に適用され、各競技種目の細部については、別に定めるそれぞれの細則による。また公認競技会以外の競技会（以下「承認競技会」という）についても適用される。
- 5) 個々の競技会における判定および競技規約全般の解釈は、本規則に基づいて当該大会審査委員会が行い、これを最終的なものとする。

また競技会において疑義が生じた場合、本規則に規定されていない事項は FIM 国際スポーツ憲章、FIM 競技規則およびその趣旨により判定する。

## 2 公認競技会、承認競技会の格式および種目

### 1) 公認競技会の格式

#### (1) 国内格式競技会

国内格式競技会は、MFJ ライセンス所持者のみが参加することができ、この競技会運営には MFJ 国内競技規則が適用される。

#### (2) 国際格式競技会

国際格式競技会は、各国モーターサイクル協会（以下「FMN」という）が発行する FIM インターナショナルライセンスを所持する複数の FMN のライダーが参加することができ、この競技会は FIM 競技規則が適用される。

### 2) 格式の内訳およびその優先順位は、下記のとおりとする。

公 認 競 技 会		公 認 競 技 会	
優先順位	国 際 格 式	優先順位	国 内 格 式
1	世界選手権競技会 (FIM カップ含む)	6	全日本選手権競技会
2	国際選手権競技会 (パンパシフィック選手権含む)	7	特別競技会
3	日本 (MFJ) グランプリ	8	エリア選手権競技会
4	全日本選手権 (インターナショナル)	9	地方選手権競技会
5	国際競技会	10	県選手権競技会
		11	その他公認競技会
		12	承認競技会

3) 公認競技会の種目

公認競技会の種目は次のとおりとする。

- (1) ロードレース
- (2) モトクロス
- (3) トライアル
- (4) スノーモビル
- (5) ドラッグレース
- (6) エンデューロ
- (7) その他 MFJ スポーツ委員会で認める競技

4) 承認競技会の種目は、競技会の格式が銘柄競技会およびそれ以外の競技会で次のとおりとする。

- (1) ロードレース
- (2) モトクロス
- (3) トライアル
- (4) スノーモビル
- (5) エンデューロ
- (6) ミニバイクレース
- (7) その他 MFJ スポーツ委員会で認める競技

### 3 大会特別規則ならびに公式通知

1) 競技会は、本規則および各種目別細則に基づいて行われるほか、競技会の運営、競技の細部および指示は、大会ごとの特別規則、公示または公式通知によって行われる。

2) 大会特別規則および公式通知は、競技会主催者（以下「主催者」という）が制定または発行する。

(1) 大会特別規則には次の各項が示される。

- ① 競技会の名称・格式
- ② 競技会の組織
- ③ 主催者の名称、所在地および連絡先
- ④ 開催日時・場所
- ⑤ 競技の種目および内容
- ⑥ 参加資格
- ⑦ 出場申し込み受け場所
- ⑧ 出場申し込み期間
- ⑨ 出場料と MFJ 共済会掛金
- ⑩ 出走者の定員
- ⑪ 賞およびその詳細
- ⑫ その他

3) 公式通知には大会特別規則に規定し得なかった競技会運営の細部にわたる規則および大会特別規則発表後に生じた問題を処理するため、主催者は参加者に対し、公式通知をもって指示することができる。

ただし、その内容は大会特別規則および MFJ 国内競技規則に反するものであってはならない。

# 第2章

# ライセンス

## 4 競技ライセンスとその種目

- 1) ライセンスには、競技ライセンス、Lライセンスおよびピットクルーライセンスとがあり、競技ライセンスは公認競技会に、Lライセンスは承認競技会に参加するために必要な証書である。
- 2) 競技ライセンスの種目と競技会の参加区分は、次のとおりとする。

### ●競技ライセンス別の種目

ロードレース		モトクロス/トライアル		スノーモビル	
クラス	国際	クラス	国際A級	クラス	A 級
	国内		国際B級		B 級
	フレッシュマン		国内A級		ジュニア
	ジュニア		国内B級		
	ジュニア		P C		

ドラッグレース	
クラス	A 級
	B 級

### ●競技ライセンス別の参加できる競技会

参加できる種目	取得しているライセンス	競技ライセンス						Lライセンス
		ロードレースライセンス	モトクロスライセンス	トライアルライセンス	スノーモビルライセンス	ドラッグレースライセンス	エンデューロライセンス	
公認競技会	ロードレース	○	—	—	—	—	—	—
	モトクロス	—	○	—	—	—	—	—
	トライアル	—	—	○	—	—	—	—
	スノーモビル	—	—	—	○	—	—	—
	ドラッグレース	—	—	—	—	○	—	—
	エンデューロ	—	—	—	—	—	○	—
承認競技会	ロードレース	○	—	—	—	—	—	—
	モトクロス	○	○	○	○	○	○	○
	トライアル	○	○	○	○	○	○	○
	エンデューロ	○	○	○	○	○	○	○
	ミニバイク	○	○	○	○	○	○	○
	スノーモビル	○	○	○	○	○	○	○
その他 MFJ スポーツ委員会の認める競技会	○	○	○	○	○	○	○	

※運転免許を受けている、ピットクルーライセンス(ライセンスに④と表記されているもの)所持者に限りライダーとして承認競技会に参加できる(Lライセンスと同じ)

## '97ロードレースライセンス区分

ライセンス区分	参加可能格式
国際ライセンス (インターナショナル)	世界選手権 (参加資格は別途) 国際選手権 (参加資格は別途) 国内で行われるインターナショナル競技会 全日本選手権 エリア選手権 その他承認・公認競技会
国内ライセンス (ナショナル)	エリア選手権/地方選手権 地方大会/その他承認・公認競技会
フレッシュマン	地方選手権/地方大会
ジュニア	その他承認・公認競技会

## 3) FIM ライセンス (MFJ を経由して取得)

国内・国外における世界選手権競技会、国際競技会に参加することのできるライセンスの区分は、次のとおりである。

種目	競技会	必要なライセンス		申請資格
		シリーズ参加の場合	I大会のみ参加(国外でも使用可)	
ロードレース	世界選手権 GP (グランプリ)	世界選手権 GP 用年間ライセンス	世界選手権 GP 用 I 大会ライセンス	ロードレース国際ライセンス 所持者 最低年齢 ・ 125cc = 15歳 ・ 250cc = 16歳 ・ スーパーバイク、その他 = 18歳
	スーパーバイク世界選手権	SB 世界選手権用年間ライセンス	SB 世界選手権用 I 大会ライセンス	
	世界耐久選手権	世界耐久選手権用年間ライセンス	世界耐久選手権用 I 大会ライセンス	
	その他の国際競技会	FIM インターナショナルライセンス年間用 ※国内での国際競技会には必要ありません。	FIM インターナショナルライセンス I 大会用	
モトクロス	世界選手権 GP (グランプリ) 及びスーパークロス	世界選手権 GP 及びスーパークロス用年間ライセンス	世界選手権 GP 及びスーパークロス用 I 大会ライセンス	モトクロス国際 A 級ライセンス所持者 最低年齢 1 世界選手権用 ① 125cc = 15歳 ② 250cc = 16歳 ③ その他 = 18歳 2 その他の国際競技会用 125cc、250cc = 14歳
	その他の国際競技会	FIM インターナショナルライセンス年間用	FIM インターナショナルライセンス I 大会用	
トライアル	世界選手権	世界選手権用年間ライセンス	世界選手権用 I 大会ライセンス	トライアル国際 A 級ライセンス所持者 運転免許証を受けていること
	その他の国際競技会	FIM インターナショナルライセンス年間用	FIM インターナショナルライセンス I 大会用	
エンデューロ	ISDE 等	ISDE 用ライセンス		MFJ モトクロスライセンス所持者でスポーツ委員会にて実績を認められた者
ラリーレイド	ラリーレイド	ラリーライセンス		

## 5 競技ライセンスの取得資格

競技ライセンス取得申請を行う者は、次の要件を満たしていなければならない。

- 1) 日本にスポーツ国籍を有すること。
- 2) 日本にスポーツ国籍を有しない者は、日本国内に3ヶ月以上継続的に居住した期間を公的に証明できる書類を提出でき、かつ本人が所属する国の FMN の承諾書を受けていること。ただし、本人が所属する国の FMN から FIM インターナショナルライセンスの発給を受けており、かつ FMN からの移籍許可を得、MFJ スポーツ委員会が認めた場合は、3ヶ月の居住証明は不要とする。

MFJ から他国協会 (FMN) にスポーツ国籍を移籍した者は、当該年度内は MFJ ライセンスの再取得はできない。

- 3) 過去6ヶ月以内に重大な刑法上の犯罪により処罰された者でないこと。
- 4) 種目による条件
  - (1) モトクロス、トライアル、スノーモビル、エンデューロ、L ライセンス
    - ① 運転免許 (小型特殊免許を除く・以下同じ) を受けていること。

- ② 運転免許を受けていない者はMFJの公認する競技ライセンス講習会の修了証（発行後6ヶ月以内のものに限る・以下同じ）を受けていること。
- ③ 運転免許を受けることのできる身体的要件を備えていること。
- (2) ロードレース
- ① 国内ライセンス  
下記いずれかの要件を満たしていること。
- ① MFJの公認するロードレース国内ライセンス講習会の修了証を受けていること。  
有効期間：受講日より6ヶ月
- ② MFJ国内公認以上のサーキットにおける3時間以上の走行証明書を受けていること（走行券やカードは不可）。  
準国内公認サーキットにおける走行の場合は上記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。  
有効期間：発行日より1年間
- ③ フレッシュマンライセンスにて、公認・承認ロードレース大会に2回以上出走の実績があること。  
準国内公認サーキットにおけるレースの場合は上記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。  
有効期間：前々年度（'95年1月1日以降）の大会より。
- ④ フレッシュマンライセンスにて、MFJ国内公認サーキット以上の施設で開催された公認・承認ロードレース大会にて下記の成績を得たもの。  
準国内公認サーキットにおけるレースの場合は下記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。  
・予選出走台数が20台以上のレースで10位以内に入賞。  
・予選出走台数が10台以上のレースで6位以内に入賞。  
有効期間：前々年度（'95年1月1日以降）の大会より。
- ② フレッシュマンライセンス  
下記いずれかの要件を満たしていること。
- ① MFJ国内公認以上の格式のサーキットにてサーキットライセンス講習会の修了証を受けていること。
- ② MFJ準国内公認サーキットにてサーキットライセンス講習会の修了証を受けたものは上記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。
- ③ MFJの公認するフレッシュマンライセンス講習会を受講し修了証を得たもの。
- ④ 満16歳以上で運転免許証を有しないものはMFJの公認するロードレースジュニアライセンス講習会を受講し修了証を受けていること。
- ③ ジュニアライセンス  
満12歳以上16歳未満の者はMFJの公認するロードレースジュニアライセンス講習会を受講し修了証を受けていること。
- (3) ドラッグレース  
運転免許を受けており、下記要件を満たしていること。  
MFJの公認するドラッグレース講習会を受講し修了証を受けていること。
- (4) ピットクルー  
16歳以上であること。
- ※本規則でいう「スポーツ国籍」とは競技参加者が最後にライセンスを交付されたFIM加盟の各国モーターサイクル協会「FMN」の国籍とする。

※ライセンス取得後の昇格については別に定める MFJ ライセンス昇格・降格に関する規則による。(207頁参照)

## 6 競技ライセンスの有効期間

1. MFJ の発行するライセンスの有効期間は、交付された日から当該ライセンスに表示された年の12月31日までとする。
2. MFJ ライセンスは未更新期間がある場合、ライセンス区分が降格したり、再度走行証明を取得する等の条件が付される場合がある。詳細については別に定める MFJ ライセンス昇格・降格に関する規則による。(207頁参照)

## 7 競技ライセンスの効力の失効等

- 1) 次の者のライセンスの効力は失効し、または停止される。
  - (1) 日本のスポーツ国籍を失った者。
  - (2) 運転免許の効力を失った者、または停止されている者。
  - (3) 氏名・年令等を偽り、不正にライセンスを受けた者。
  - (4) 前条の有効期限を経過し、継続申請をしなかった者。
  - (5) MFJ スポーツ委員会の裁定により、停止処分を受けた者（スポーツ委員会の定める期間）。
  - (6) 海外での競技会への参加に関しては、事前に MFJ に報告し、許可を得なければならない。(相手国協会に対し MFJ より出場許可を文書で発行する)

## 8 競技ライセンス資格の昇格および降格

- 1) 競技ライセンスの昇格および降格については、別に定める MFJ ライセンス昇格・降格に関する規則による (207頁参照)。



# 第3章

# 競技会

## 9 競技参加者

- 1) MFJの公認または承認する競技会に参加することのできる者は、次のとおりとする。
  - (1) ライダー
    - ① 当該競技に必要なMFJ競技ライセンスを受け、参加申請した者(効力の停止中の者を除く)で当該競技に必要な身体的条件を備えていること。
    - ② 当該競技の参加に必要な諸手続きを行なっているもの。
    - ③ 満20歳未満の者は、親権者の承諾書を提出したもの。
    - ④ 負傷しているライダーは、主催者の指定する医師の競技参加の承諾を得ているもの。
  - (2) ピットクルー
    - ① 当該競技に必要なMFJピットクルーライセンスを受けて参加申請をした者。
    - ② 当該競技の参加に必要な諸手続きを行なっているもの。
  - (3) エントラント  
ここで規定するエントラントとは下記の者で競技参加申請を行なった団体または個人を言う。
    - ① MFJ公認クラブ(別に定める「MFJ公認クラブ等の名称に関する規程」(213頁)参照)
    - ② MFJライセンス取得者
    - ③ MFJメーカーライセンスを所有している車両メーカー
    - ④ MFJ賛助会員ライセンスを所有しているコンストラクター、部品関連メーカー※ エントラント資格を有し、エントリー用紙により参加申請をすることによりMFJ国内競技規則に定められている抗議者の資格が得られる。
- 2) 主催者および競技役員は、競技会当日随時ライセンスの提示を求めることにより、ライダーおよびピットクルーの資格要件を確かめることができ、もし本規則に違反している者に対しては、所定の罰則が適用される。

## 10 競技参加者の遵守事項

- 1) 競技参加者は、次の事項を守らなければならない。
  - (1) 競技会中は、MFJ国内競技規則に従って行動し、参加者は、すべての行動に対して責任を持たなければならない。
  - (2) 国内競技規則および競技管理上のあらゆる規定および競技役員の指示に従い、かつレース場以外では交通規則を守らなければならない。
  - (3) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、下品でいやしい言葉や言動は厳に慎まなければならない。

- (4) 競技に関する業務についているときは、アルコール類あるいは薬品（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはならない。
  - (5) 競技会中は、有効なライセンスを必ず携帯していなければならない。
  - (6) 競技会に参加することが認められた者が出場しない場合（競技現場での不参加を含む）は、正当な理由をもって、その旨主催者に通告しなければならない。この通知を怠るか、または欠場の理由が正当でない場合、主催者は速やかに MFJ スポーツ委員会に報告し、ペナルティを求めることができる。
  - (7) ライダーまたはエントラントが集団で競技または予選を欠場した場合、または、そのような働きかけをした場合、主催者は速やかに MFJ スポーツ委員会に報告し、ペナルティを求めることができる。
- 2) 特にライダーは、上記のほか次の事項を守らなければならない。
- (1) 必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離し、または外につき出したりするような危険な姿勢をとってはならない。
  - (2) 他のライダーの走行を妨害するような走りかたをしてはならない。
  - (3) 競技中（公式練習も含む）は、他人の迷惑、または危険を伴うような行為をしてはならない。
  - (4) 車両は、それ自体が持つ動力およびライダーの筋力、または重力などの自然現象以外の方法で、走ったり、加速したりしてはならない。
  - (5) 他の者の援助を一切受けてはならない。  
他の者による援助とは、そのレースに参加しているライダー、決められた位置についている担当のメカニックおよび業務執行中の競技役員以外の者が車両に触れることをいう。  
なお、援助に関する細部については、別に定める競技種目別細則による。
  - (6) 競技中の車両には、いかなる者も同乗させてはならない。
  - (7) ライダーは、コース（ラン・オフ・エリアを含む）にある間は、MFJ が公認したヘルメットを装着しなければならない。
  - (8) ライダーは競技中、アルコール類、または薬品等（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはならない。
  - (9) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し医師団長もしくは指定医師による診断を受けさせ、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。

## 11 ライダーの装備(MFJ 公認ヘルメット及びレーシングスーツ)

- 1) ライダーの装備は、次のとおりとする。
  - (1) ヘルメット
    - ① 競技に使用するヘルメットは MFJ が公認したものでなければならない。
    - ② MFJ 公認ヘルメットには、規定の認証マークが貼付されていなければならない。
    - ③ MFJ が公認するヘルメットの規格については、各競技種目別細則により定める。  
なお、国際競技会においては FIM で認められた各 FMN 規格のマークが前項のマークとみなされる。
    - ④ 競技会の車両検査の際、ヘルメット検査が行われ、MFJ が公認したものであっても、損傷しているなど著しくその機能を失っていると認められるものは、ライダーの安全上からその使用を禁止する。
    - ⑤ MFJ 公認ヘルメットで、その認証マークの貼付されていないヘルメットについては、その場で特別検査を受け合格すれば使用することができる。  
この場合は、別に定める特別検査料（各競技種目別細則による）を支払わなければな



らない。

(2) 服装

- ① ロードレースのレーシングスーツについては、MFJ 公認のものでなければならない。
- ② ライダーの服装は、競技中ライダーの身体の安全を確保し、運転を妨げるものであってはならない。
- ③ その他細部については、各競技種目別細則により定める。

- (3) 装備の公認とは国内競技規則に合致する事を認めるものであり、その安全性及び耐久性を保証するものではない。

## 12 出場車両

- 1) 競技に出場する車両のクラス区分等は、各競技種目別細則の定めるところによる。
- 2) 車両は細則に示す「出場車両」と「基本仕様」に合致し、かつ大会特別規則の条件を満たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。
- 3) 大会審査委員会により危険であると判断された車両は、理由のいかんを問わず競技に使用することはできない。
- 4) 本規則に基づき改造・変更を行う場合、その選定・保守・管理は自己の責任において行うものとする。

## 13 MFJ 公認車両および公認部品・用品

- 1) MFJ 公認車両および公認部品・用品については、「MFJ 車両・部品公認ならびに承認に関する規則」の定めるところによる。  
 なお、公認された車両および部品・用品については、MFJ の発行する月刊「ライディング」誌、その他により公示される。
- 2) 公認は、MFJ 技術委員会において審査し、承認された日を基準にして一定の告知期間の後に正式に発効する。告知期間は、MFJ 技術規則第 6 章公認制度 (136 頁) を参照のこと。
- 3) 車両は、当該競技会公式車検日時点で公認が発効されている車両でなければ出場申し込みをすることができない。
- 4) 公認とは国内競技規則に合致する事を認めるものであり、その安全性及び耐久性を保証するものではない。

## 14 燃料およびオイル

- 1) 競技に使用する燃料・オイル等については別に定める MFJ 技術規則による。
- 2) その他燃料については、次のとおりとする。
  - (1) ガソリンおよびオイルは、オクタン価や燃焼効率を高めるような添加剤、あるいは起爆剤を加えてはならない。
  - (2) ガソリンにオイルを混合する必要がある場合、安全を確認して作業しなければならない。
  - (3) ガソリンおよびオイルを入れる容器とその取扱いは、消防法に適合する金属製の容器を使用すること。
- 3) 世界選手権に関しては FIM 規則が適用される。

## 15 競技出場の申し込み

- 1) 競技会への出場の申し込みは、次のとおりとする。
  - (1) 主催者が準備した用紙の記載事項のすべてを記入し、この競技規則を厳守することを誓約しなければならない (エントリー時で当該ライセンスを取得していること)。

- ① 車両の登録はエントリー用紙に下記事項を記入すること。参加受理書発送後記入事項に変更がある場合は、選手受付時に車両変更手続きを行わなければならない。  
①a 銘柄 ①b 車名 ①c 年式 ①d フレーム打刻型式頭番号 ①e エンジン打刻型式頭番号
  - (2) 主催者は、エントラント、ライダーおよびピットクルーのいずれに対しても、その理由を明らかにすることなく申し込みを拒否、または無効とする権限を有する。
  - (3) 申し込み期間、申し込み場所、その他の詳細については、当該競技主催者の定める大会特別規則に示される。
- 2) 競技出走者数または出場申し込み者数の定員は、大会特別規則に示される。  
なお、出場申し込み者数が10名に満たない場合は、そのクラスの競技会を中止することがある。

### 16 出場料およびMFJ 共済会掛金

- 1) エントラントまたはライダーは、出場申し込みのとき、大会特別規則に明示する出場料を支払わなければならない。
- 2) ライダーは、出場申し込みのときMFJ 共済会掛金を主催者に支払わなければならない。主催者は、その共済会掛金をMFJ 共済会に納める。(別に定めるMFJ 共済会規則による)
- 3) いったん主催者に受理された出場料および共済会掛金は、競技会の延期および中止等(36頁)に合致する以外は払い戻しされない。

### 17 ライダーおよび車両の変更

- 1) エントリーされたライダーの変更は認められない。
- 2) 登録された車両の変更は、原則として認められない。変更する必要がある場合は、所定の書式に従って車両の変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り、車両の変更が認められる。車両変更手数料は5,000円とする。
  - (1) 公式予選終了後、安全上の理由により、フレームボディおよびエンジンなどを交換する必要がある場合は、競技監督に申告し、元の部品を提示して、許可を受けなければならない。
  - (2) 公式車検終了後ライダー間でマシンを交換することは禁止される。
  - (3) 紛争に際して製造メーカーについての立証の責任は、参加者側にあるものとする。

### 18 車両検査

- 1) 競技車両は、本規則および各競技種目別細則の定めるところにより、車両検査を受けなければならない。車両検査の時刻、および場所は公式通知により示される。
- 2) 車両は、競技直前に車両検査を受けたままの状態に保たれているかどうかのチェックを受けなければならない(スタート前チェック)。チェックの時刻およびチェックの場所は、公式通知により示される。
- 3) ライダーが車両仕様申告を行う場合は、車両検査時に大会事務局より配布された車両仕様書をもって申請することができる。

### 19 競技

- 1) 出場者数が多い場合は、予選またはタイムトライアルによって決勝競技出場者を決定することがある。その詳細については、各競技種目別細則および大会特別規則の定めるところによる。
- 2) スタートの方法は各種目細則および大会特別規則の定めるところによる。

- 3) 競技中競技役員が合図旗（シグナル旗）を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。
- 4) 合図旗（シグナル旗）とその意味については、各競技種目別細則の定めるところによる。
- 5) 停止
  - (1) 競技中、コース内で停止する場合には、ライダーはただちに車両をコース脇によせ、他のライダーの走行の邪魔にならないように十分注意しなければならない。
  - (2) 競技中、車両をコースの進行方向と逆方向に移動してはならない。ただし、競技役員の指示による場合はこの限りではない。
  - (3) 事故または車両故障などの理由によってリタイヤ（中途退場）する場合は、その地点からもっとも近い競技役員（コース審判）に報告し、用意してある用紙によってリタイヤ届けを提出しなければならない。
  - (4) ライダーは、リタイヤ届を提出した競技役員に車両をあずけて退場しなければならない。
  - (5) ライダーは、停止車両をその競技が終了するまで、競技役員の管理下におかななければならない。

ただし、その競技に支障のない地点まで、車両を移動させることを競技役員（コース審判）から指示された場合には、これに従わなければならない。
- 6) ゴールライン通過の際、ライダーは、マシンと離れた状態にあってはならない。
- 7) 競技の終了

競技の終了は、チェッカー旗によりトップ走者がゴールしたのち、細則および大会特別規則に示す時間を経過した時点である。

## 20 優勝者等の決定

優勝者、入賞者および完走者の定義については、それぞれ種目の細則の定めるところによる。

## 21 入賞

入賞者は、原則として6位までとし、その詳細は大会特別規則に示される。  
また賞は主催者（大会事務局）から交付されるが、これの交付時間等詳細は大会特別規則により示される。

## 22 入賞者の車両検査

- 1) 競技終了後、原則として1位から6位までの車両は、レース終了後、ただちに車両保管区域に確保され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) その他、種目別細則ならびに大会特別規則による。

## 23 競技結果および記録の公表

- 1) 競技終了後、暫定結果の公表を行う。
- 2) 競技の正式結果は、暫定結果発表後3時間以内に公表される。
- 3) 参加者は、公表された競技の正式結果に対して抗議することはできない。

## 24 公式得点（ポイント）

- 1) 公認競技会における成績により、MFJから公式に与えられる得点（ポイント）は、下記のとおりとし、これの詳細は、別に定める「MFJライセンス昇格・降格に関する規則」による。

## ① 全日本選手権・エリア選手権および地方選手権競技会

順位	出場台数	25以上	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位		17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3位		15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
4位		13	13	13	13	13	13	13	13	13			
5位		11	11	11	11	11	11	11	11				
6位		10	10	10	10	10	10	10					
7位		9	9	9	9	9	9						
8位		8	8	8	8	8							
9位		7	7	7	7								
10位		6	6	6									
11位		5	5										
12位		4	4										
13位		3											
14位		2											
15位		1											

## ② 県大会その他

順位	出場台数					
	12台以上	10~11	8~9	6~7	5	0~4
1位	10	10	10	10	10	不成立
2位	9	9	9	9	9	
3位	8	8	8	8		
4位	7	7	7	7		
5位	6	6	6			
6位	5	5	5			
7位	4	4				
8位	3	3				
9位	2					
10位	1					

※出場台数とは競技会に参加した総数であり、予選に参加した台数もこれに含まれる。

## 25 競技会の延期および中止等

- 1) 競技は、天候・異変その他安全確保に支障をきたすおそれがある等、特別の理由がある場合にかぎり、競技の一部を打ち切りまたは中止することができる。
- 2) 前項の判断決定は、大会審査委員会が行う。
- 3) すべての関係者は、大会審査委員会の決定した競技の一部打ち切りまたは中止に従わなければならない。
- 4) 原則として中止されたレースは別の日程で再レースを行なわない。
- 5) レースの短縮及び打ち切り

## (1) 決勝レース出走前の短縮

- ① 出走前にレース周回数・時間を短縮する場合は、原則として本来のレースの2/3以上とする。(但し、モトクロスの場合+2周は考慮しない)
- ② 2/3以上に短縮し参加者に発表した後にさらに状況が悪化し、短縮が必要となった場合さらにその2/3以上まで短縮することが出来る。
- ③ 上記を上回る短縮の場合は選手の得点(ポイント)は半分とする。
- ④ 上記の短縮の決定は大会審査委員会が行い、参加者にこのことが速やかに通知されなければならない。

## (2) 決勝レース出走後の短縮・打ち切り

- ① トップ走者(トライアルの場合は、選手の95%以上)が定められた周回数/時間/セクション数の2/3を完走しないうちにレースを打ち切った場合。(但し、モトクロスの場合+2周は考慮しない)
  - Ⓐ ロードレース：走行が2周以下=中止・ノーポイント  
走行が3周以上=再スタートが不可能な場合は半分の得点(ポイント)
  - Ⓑ トライアル：選手の95%以上が終了したセクション数が、全セクションの25%未満のクラス=中止・ノーポイント  
選手の95%以上が終了したセクション数が、全セクションの25%以上のクラス=半分のポイント

## ◎ モトクロス他：中止・ノーポイント

- 6) トップ走者（トライアルの場合は、選手の95%以上）が決められた周回数（または時間）の2/3以上を完走して競技を打ち切った場合は、大会審査委員会は、その競技の判定結果にその理由を付して発表するものとする。
- 7) 競技の中止と出場料等の返却は、下記表の通りとする。参加者はその他の一切の損害賠償を主催者に請求することは出来ない。

事 例	出 場 料	共 済 会 掛 金
予選が1回も行われず中止	選手受付した全員に返却	共済会の適用となる練習走行が行なわれていなければ返却する
予選は行われ、決勝グリッド発表後中止	決勝進出者のみ返却	返却しない
決勝スタートが行われたのち中止	返却しない	返却しない

- 8) 大会審査委員会が本項に関して下した裁定に対しては、抗議することはできない。  
※上記の2/3またはパーセント表示で端数が出る場合、小数点以下は切り捨てる。

**26 損害に対する責任**

- 1) 競技中、車両およびその付属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。ただし、車両が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間中に生じたものを除く。  
車検長または大会審査委員会は、車両を保管している期間中に、これらの車両がなんらかの理由によって破損した場合には、1台当たり10万円を最高限度額として、その所有者に補償する。
- 2) 競技会開催期間中、またはその前後に起こされた傷害は、参加者自ら責任を負うものとする。
- 3) 競技役員は、その職務に最善をつくすが、仮に競技役員らの行為によって起きたエントラント、ライダー、ピットクルーおよび車両等の損害に対しても、競技役員はいっさいの責任を負わない。

**27 抗議**

- 1) 抗議は、暫定結果発表後30分以内に当該ライダー及びエントラント代表者だけが行うことができる。抗議しようとする時の手続きならびにこれの措置は、次のとおりとする。
- (1) 大会事務局に準備されている抗議申し立て書に記載し、1項目ごとに抗議保証金を添えて大会事務局に提出すること。
- (2) 正式の手続きにより提出された抗議申し立て書のみが受け付けられ、大会審査委員会において審議裁定される。
- (3) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査した上で裁定を下すものとする。
- (4) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、いっさい抗議することはできない。
- (5) 抗議保証金は、抗議が成立した場合のみ返還される。  
抗議保証金は、1項目につき10,000円、ガソリンに関する抗議保証金は100,000円とする。

**28 控訴権**

- 1) すべての当該競技参加者（ライダーまたはエントラント代表者）は、競技会審査委員会が宣告した罰則または裁定に対し、本協会に控訴する権利を有するものとする。
- 2) 裁定機関  
・大会審査委員会決定に関する控訴に関してはスポーツ委員会にて裁定される。

- ・スポーツ委員会決定を最終とする。
  - ・スポーツ委員会が証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、充分に実情を調査した上で裁定を下すものとする。
- 3) 控訴の期限  
大会審査委員会決定に対する控訴：通知されてから5日間
  - 4) 控訴保証金  
控訴保証金は5万円とする。  
裁定機関は事情に応じて保証金の返還または没収について、または経費処理について指示する。
  - 5) 控訴が受理される為に必要な手続き
    - ・期日までに控訴文書と控訴保証金がMFJ事務局まで提出されなければならない。
    - ・文書には訴え出る決定の詳細・理由が的確に述べられていなければならない。

## 29 違反行為に対する罰則

- 1) 大会中(競技中も含む)における本規則または大会特別規則に違反する行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会ならびに競技監督の権限で下記の罰則を科することができる。

軽重 順位	罰 則	内 容	決定機関
1	訓 戒	文書による注意……始末書を提出	大会審査委員会
2	罰 金	現金100,000円以下	大会審査委員会
3	タイム/ポイント/ 周回数に対する罰則	当該ライダーの実際の成績に影響を及ぼすタイム/ポイント/周回数の加算・減算のペナルティ	大会審査委員会
4	失 格	大会、イベント、レースまたは結果から失格となる	大会審査委員会
5	資格停止	一定期間競技会に参加する資格を停止する	スポーツ委員会
6	資格剥奪	競技会に参加する資格を剥奪する	スポーツ委員会

※罰金はMFJにて保管され、安全対策等に使用される。

※罰則の詳細はリザルトに提示される場合がある。

違反の事実認定は、競技監督の判断を優先するが、罰則の量刑ならびに適用は、大会審査委員会の決定によるものとする。

- 2) ライセンスについての罰則は、大会審査委員会の報告に基づき、MFJスポーツ委員会によって、さらに事後の出場停止、資格停止まで及ぶかどうか審査裁定され、30日以内に通告される。

## 30 大会審査委員会の権限

大会審査委員会は、本規則ならびにその細則に基づき、当該競技会において最終的な権限を行使することができる。

# 附 則

1. 本規則は、1997年1月1日から施行する。

# 1996 Superbike World Champion



4ストロークのGPと呼ばれ、各メーカーが持てる技術の全てを投入して競う「SBK世界選手権」。競技車両に僅かな変更しか許されないため市販モデルの完成度が問われるこの熾烈な闘いで、DUCATIは他の優秀なライバルに伍して1990年から現在までに6度のライダー・マニファクチャラーチャンピオンに輝き、技術水準の高さを証明しています。'94年からは画期的な新世代のモーターサイクル916を投入。圧倒的なアドバンテージは前例のないシーズン



中のルール改定をもたしました。この驚くべき強さの秘密は、長年にわたって熟成された独自のなデスモドロミックツインエンジンの長所を最大限に生かし、「CRC」がCAGIVA-GPレーサーのデータに基づいて革新的な発想で研究開発したパッケージの優秀性と、ファクトリーチームの細かな改良作業の積み重ねによる賜物であり、「独創・革新・伝統」のテクノロジーが最適な状態でバランスした結果なのです。

**Engine :** Twin-cylinder "L"  
**Timing system :** Toothed belt control double head camshaft with desmodromic 4 valve system  
**Cooling system :** Liquid  
**Total displacement :** 916cc  
**Engine management system :** Marelli-I.A.W

# 916

## DUCATI

**Crank horse power :** 109ps/9,000rpm  
**Maximum speed :** 260km/h  
**Compression ratio :** 11±0.5 : 1  
**Dimensions :** 2,050(L) × 685(W) × 1,090(H)mm  
**Seat height :** 790mm  
**Dry weight :** 204kg

ドゥカティ純正オイル



ガジバグループ モーターサイクル輸入総代理店

株式会社 **村山モータース**

営業時間 AM9:00-PM6:00 定休日 金曜日、第2、第4土曜日、祝祭日

本社 〒151 東京都渋谷区笹塚2-7-8  
 TEL.03(3378)0181

八王子営業所 〒192 八王子市宇津木町729-1  
 TEL.0426(91)6511

横浜営業所 〒234 横浜市港南区日野8-1-2  
 TEL.045(84)0181

# CLASH KING OVERGUARD SUITS

造ったもん勝ち!



全国的な盛り上がりの草レース、既にセパレートつなぎで賢く楽しんでる（密かに一人勝ち気分らしい）御同輩も多い事かと思えます。そうレースに使わない時は街乗り、ツーリングに大活躍中の事は言うまでもないでしょう。そこで、「まだもってない?」という貴方の為に便利でお得なクラキンスーツをご案内いたしましょう!



**パンツに装備の背椎パッド!**  
なんととっても最大のウリはこれ。そうパンツ裏に背椎パッドを標準装備しました。大きすぎず、体の動きを損なわず、見栄えよく安全にプロテクトを掛け負います。さらに、ウエスト部のサポーターが背下衝撃予防は勿論のこと、種んだお腹もキュッと引き締めてくれます。それにして外だしの際は脚が長く見えちゃうからあら不思議?



**MFJ公認のレーシングスーツ!**  
セパレートタイプでも安全に設計されています。レース用として認められているという、初めてのつなぎなのです。8耐を始め、草レースまでいろんなレースに出場してみても安全性はハイ、実証済み。最近じゃ、ターミネータークラスにもチュークでエントリーなんぞしております。でも皆様は転倒しないよう頑張りましょうネ。



**セパレートは美ちゃん美ちゃん!**  
真夏のツーリングは暑くて大変。でも安全性を考えるとつなぎは着用したい。そこでセパレートの出番。着けりゃ脱げば良いんだからそれでレースにも使えりゃ石二舞。そんなもって夏場のレースだとパンツだけでピット作業もほらこの通り、バンバンで勝負。お前はハリエーションモデルのOHVタイプ、883レースじゃお馴染みだ。



**フルオーダーの素晴らしさ!**  
貴方サイズのバターンによる完全ハンドメイドの職人製だから、必ずやご満悦頂ける道のりはず。勿論アフターケアも万全。フルオーダーだからデザインやカラー、サイズ・仕様も思いのまま、自分の趣味でワンオフモデルの出来上がり! 上下別々の注文もOKだから、パンツだけ先に送るもよし、2着目のジャケットを夏用として送るもよし。

## CLASH KING OVERGUARD SUITS [PRICE]

### ●STANDARD TYPE (写真のデザイン)

- ロゴマーク入り JACKET : ¥80,000
- ロゴマークなし JACKET : ¥70,000
- ロゴマーク入り PANTS : ¥80,000
- ロゴマークなし PANTS : ¥75,000

特別仕様の他ワンピースタイプも承ります。オーダーについての詳細、申し込みは本社までお問い合わせください。通信販売でのオーダーも受け付けております。

●オーダー申込資料、総合カタログご希望の方は下の三角券と600円分の切手を同封の上、カドヤ本社連絡係までお気軽にご請求下さい。  
カドヤ本社連絡係 TEL.03 (3942) 2000  
〒111 東京都台東区西浅草3-29-21

## KADOYA

RACING SPIRIT AND CRAFTSMANSHIP SINCE 1935

(株)カドヤ 本店 〒111 東京都台東区西浅草3-29-21 TEL.03(3943)2000  
仙台店 〒980 宮城県仙台市青葉区北根2-6-15 TEL.022(233)8000  
栃木店 〒326 栃木県足利市大前町688-2 TEL.0284(63)0769

●営業時間/AM10:00~PM7:00 ●定休日/毎週水曜日

CATALOG MFJ '97





# BORN in SUZUKA

“鈴鹿育ち”それはライダーにとって言葉以上の意味を持っている。  
 「彼は“鈴鹿育ち”だ。」とは何をものがたっているのか？  
 答はマールボログランプリジャパン・鈴鹿8耐に現れる。  
 彼らは今年も鈴鹿に帰ってくるだろう。  
 “鈴鹿育ち”の誇りを熱帯に。  
 —BORN in SUZUKA  
 世界の頂点を目指すならここを避けては通れない。  
 鈴鹿は君達のチャレンジを待っている。

## 1997年 鈴鹿サーキットロードレース暫定レースカレンダー ※正式日程および開催クラスは特別規則書(ご連絡いただければ郵送いたします)にてご確認ください。

選手種 ライセンス 日程	大会名	コース	世界選手権/全日本選手権				エリア選手権			鈴鹿選手権				承認競技会				主催者 (出場申込先)
			国 際				国内・国際			FRE・国内				FRE・国内				
			GP500	GP250	GP125	S B	GP250	GP125	GP250	GP125	SP400	SP250	S-NK	NK4	GP80	GP-mini		
1月19日	鈴鹿サンダーロードレース第1戦	東																鈴鹿サーキット
1月26日	プロズカップ鈴鹿ロードレース第1戦	南																ミスターヒロ
3月2日	鈴鹿サンダーロードレース第2戦	東																鈴鹿サーキット
3月15-16日	鈴鹿スーパーバイク100miles	全	○	○	○													鈴鹿サーキット
4月18-20日	マールボログランプリジャパン	全	☆	☆	☆													鈴鹿サーキット
5月4日	鈴鹿サンダーロードレース第5戦	南																テクニカルスポーツ
5月17-18日	鈴鹿サンダーロードレース第6戦	全																鈴鹿サーキット
5月31日-6月1日	鈴鹿スーパーバイク200km	全	○	○	○													鈴鹿サーキット
6月15日	鈴鹿サンダーロードレース第8戦	南																テクニカルスポーツ
7月6日	プロズカップ鈴鹿ロードレース第2戦	南																ミスターヒロ
7月18-20日	鈴鹿ナイトフェスティバル	全								○予選								鈴鹿サーキット
7月23-26日	鈴鹿8時間耐久ロードレース/SP4耐久戦	全				☆				○4耐決勝								鈴鹿サーキット
8月9-10日	サンダー10戦/GP-mini 3戦	南																テクニカルスポーツ
9月5-7日	鈴鹿スーパーバイク2戦	全	○	○	○													鈴鹿サーキット
9月28日	プロズカップ鈴鹿ロードレース第3戦	南																ミスターヒロ
10月18-19日	鈴鹿サンダーロードレース第11戦	全																鈴鹿サーキット
11月16日	鈴鹿サンダーロードレース第12戦	南																テクニカルスポーツ
12月6-7日	第33回NK杯鈴鹿サンダーロードレース	全																鈴鹿サーキット
開催枚数 (○+●+■)			1	3+1	3+1	3+1	4+1	5+1	6+1+1	5+2+2	5+1+1	6+1+2	6	7+2	5	5		

○●…異格ポイント対象種目 ●…特別異格可能種目 ■…プロズカップ(原則的にサンダー予選未通過者を対象とします) ※NK4耐は国際+国内ペア(ハンド付)出場可 ※S-NKクラスにはNK4車両は出場できません。  
 ※1/19サンダー第1戦-GP125クラスは有給車出場可のノントラトル。選手種ポイントは与えられません。

## '96-'97 スーパーバイカーズ in SUZUKA カレンダー

日 程	日 程
第1戦	'96年12月15日(日)
第2戦	'97年1月19日(日)
第3戦	'97年2月23日(日)
第4戦	'97年3月23日(日)

※開催クラス  
 プロダクションTwo…2ストローカー一般生産車両  
 プロダクションFour…4ストローカー一般生産車両  
 エン…エンモトクッター  
 ロードスポーツ…市販レーサーを除く一般生産  
 車両で主催者がロードスポ  
 ツとして公認した車両  
 オープン…改造無制限

### 主催者連絡先/参加申込先

- テクニカルスポーツ 〒513 三重県鈴鹿市佐吉町6786 TEL.0593-78-1455
- チームミスターヒロ 〒580 大阪府松原市立部2丁目499-1 TEL.0723-36-1550
- Jレーシング 〒468 名古屋市天白区植田西3丁目901 TEL.052-802-0117
- 鈴鹿サーキット/SMSC事務局 〒510-88 三重県鈴鹿市相生町7932 TEL.0593-78-3405

※主催者/参加申込先:レーシング  
 ※全クラスMFJライセンス以上にて出場可能  
 ※南特設コースにて開催

## 「トップライダーへのパスポート。SMSCライセンス」

### 走行ライセンスご案内

- 2輪会員(国際レーシングコース/南コース)
  - ミニバイク会員(南コース)
- 講習日:フルコースレースの開催がない日曜日  
 (あらかじめTELにてご確認ください)  
 ※レース・スポーツ走行でライダーをアシストされる方の  
 ための「ピットクルーパスポート会員」も募集しております。  
 (講習不要・毎日受付中)



SMSC会員には鈴鹿サーキット開催レース入場無料(世界選手権除く)やサーキットホテルの宿泊割引などさまざまな特典がございます。  
 SMSCライセンスについての詳細は鈴鹿サーキット/SMSC事務局までお問い合わせ下さい。



鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)では鈴鹿サーキット(国際レーシングコース/南コース)でスポーツ走行をお楽しみ頂くための会員を募集中です。マールボロGPジャパン・8耐が開催される世界最高峰のコースに君もチャレンジしてみませんか? 鈴鹿サーキットではそんな君の為にレーサー・プロダクションレースはもちろん、GP-miniなどの入門クラス、鈴鹿で生まれた人気のNK4、オンオフの異種格闘技スーパーバイカーズなどいろいろなレースを用意しています。明日のトップライダーを目指す君の第1歩。それがSMSCライセンスです。

## SMSC会員に朗報!

鈴鹿サーキットの最新情報をお伝えする「鈴鹿サーキットジャーナル」というページをRIDING SPORT誌にて好評掲載中です。スポーツ走行スケジュールをはじめ、新レギュレーションの案内など「これが知りたい!」という情報をとどんどん流していきます! ご期待下さい。



# トップ プライベーターの 選択。

SUPER-QUALITY

WAKOS

オイルの重要性を体感しているライダーたち。  
彼等の意見でオイルは進化し続ける。

GP250 '96ランキング5位(プライベータートップ)  
15コンパイル・レーシング  
松戸直樹選手(TZ)



2CRV-R  
混合専用2サイクルエンジンオイル  
2,200円/500ml  
2stエンジンの耐久性向上を開発コンセプトに、  
各パーツの摩耗性能を引き出し、パーツ自体の耐  
久性up=ローコスト化を実現している。  
(混合比ロード/25:1~35:1)

2CRV-R  
無鉛ハイオクOK!

WAKOS  
TOPICS

開発スタッフによる  
無鉛ハイオク仕様、実走テスト。



お求めはお近くの WAKOS ステッカーのお店で。

(株)和光ケミカル

本社/神奈川県小田原市前川16-2  
TEL:0465-48-2211 代:0465-48-3351

【営業所】東北 福島 群馬 栃木 茨城 埼玉 埼玉南 千葉 千葉南 東京 東京西 横浜  
西港 湘南 山梨 長野 静岡 浜松 岡崎 名古屋 岐阜 三重 大阪 大阪南

【グループ】ワコーズサッポロ ワコーズ新潟 ワコーズ神戸

# 自分への新たな挑戦



## 1997SUGOレーススケジュール

### RACING COURSE 2輪

開催日	大会名
3 / 20(祝)	SUGOスプリングサウンドフェス'97
3 / 29(土)・30(日)	SUGOロードレース選手権第1戦
4 / 26(土)・27(日)	全日本ロードレース選手権
4 / 29(祝)	Max Speed & Custom Fes
5 / 10(土)・11(日)	SUGOロードレース選手権第2戦
6 / 22(日)	第14回SUGO400km耐久ロードレース
7 / 5(土)・6(日)	全日本ロードレース選手権
7 / 26(土)・27(日)	SUGOロードレース選手権第3戦
8 / 10(日)	SUGOサマーサウンドフェス'97
8 / 30(土)・31(日)	SUGOロードレース選手権第4戦
9 / 20(土)・21(日)	SUGOロードレース選手権第5戦
10 / 4(土)・5(日)	スーパーバイク世界選手権レース
10 / 11(土)・12(日)	SUGOロードレース選手権第6戦
11 / 1(土)・2(日)	全日本ロードレース選手権MFJ GP

### RACING COURSE 4輪

開催日	大会名
5 / 24(土)・25(日)	スーパーツーリングカー選手権レース
8 / 2(土)・3(日)	フォーミュラ・ニッポン
8 / 23(土)・24(日)	スーパーN1耐久レース
10 / 25(土)・26(日)	SUGO GT選手権レース

### MOTOCROSS COURSE

開催日	大会名
6 / 7(土)・8(日)	全日本モトクロス選手権第5戦
9 / 6(土)・7(日)	全日本モトクロス選手権第10戦

(レース日程は'96年11月暫定)

### SSCMライセンスで新しい世界へ!

何かに挑戦してみたいキミ、SUGOサーキットライセンスを  
ゲットして、サーキットデビューしてみませんか?  
詳細は、SUGOスポーツクラブまで気軽にお電話ください。

■ SUGOスポーツクラブ ☎0224(83)3127



- テニス(27面) ● 冒険ジャルダン(フィールドアスレチック)
- ゴカート ● レーシングカート ● ランドカー ● フール
- アーチェリー ● おかしな自転車 ● つり堀
- ガーデンゴルフ ● ローラースケート ● カフェテリア
- オリエンテーリング ● ウォークラリー ● ミニ運動会
- レーシング、カート、モトクロス、トライアル、各コース 他



- ホテル「くぬぎ山荘」40室200名収容
- 会議室・ダイニング・ラウンジ・バー
- パーベキューガーデン 他
- キャンプ場
- 5人用・8人用テント・営火場 他
- オートキャンプ



ランド内休園日:火曜日(7・8月除く)



'97 MODEL



Prodotti da  
**competizione**  
(レーシングホイール)

**GIRA**  
**COMPETIZIONE**  
TOP QUALITY & RELIABILITY

RUOTE **marchesini** 総発売元

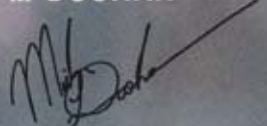
**株式会社ジーラ** 二輪事業部

〒488 愛知県尾張旭市東本地ヶ原町3丁目20番地  
TEL.0561-52-4500 FAX.0561-52-4454

製品に関するお問い合わせ(価格・仕様・適応車種・納期等)は、  
お電話いただくか資料をご請求下さい。



WGP 500cc  
'94 '95 '96  
**V<sub>3</sub>**  
WORLD CHAMPION  
M·DOOHAN




ツナギの中のツナギ

GPライダーのノウハウが生きる！  
高品質で安心できる本格仕様。

NANKAI契約の歴史  
の世界チャンピオン、ス  
ベンサー・ガードナー・レ  
イニーたちやドゥーハン、  
ビーター・平など国内  
外のトップライダーたち  
から絶大な信頼と絶賛を  
受けているNANKAI。それ  
は30年にわたり蓄積され  
たNANKAIのノウハウ  
とNANKAI契約ラ  
イダーたちの実戦からの  
的確なアドバイス、そし  
て厳選された素材と最先  
端技術を駆使し、製作さ  
れた究極のレーシングス  
ーツです。



MFJ公認

NANKAIレーシングスーツの3大要素は  
「革」・「縫製」・「プロテクション」

**革** 柔軟性に優れた国内  
産の最高級牛革を厳  
選し、純レース用として  
特殊なナメシ加工を施し、  
引き裂き強度・耐摩耗性、  
衝撃吸収性に抜群の性能  
を発揮します。革の厚さ  
も一六ミリ〜一八ミリと  
し、安全性・運動性・機  
能性・耐久性のすべてに  
おいて、よりパフォーマンス  
を追求しています。

**縫製** NANKAIの  
縫製技術とコンピュータ  
ミシンの導入により、  
確実な縫製と繊細かつ丈  
夫で美しい仕上げ、そし  
て耐久性の向上も実現し  
ています。ファスナー・  
スナップ・ベルクロ・裏  
生地・縫糸などのパーツ  
類は長年の経験の中から  
厳選された逸品だけを採  
用しています。

**プロテクション**  
GPライダーたちの経験  
とアドバイスを活かし、  
随所にソールボセイ・ケ  
ブラー・硬質ウレタン・  
特殊プラスチックなどの  
最新の素材をNANKAI  
独自のプロテクション  
として装備しています。

# すべてに拘る。

安全性・機能性・品質

GPライダーのノウハウを得てナカイが徹底的にこだわった  
プロテクション重視のレーシンググローブ



●NRG-22  
レーシンググローブ  
AR 白/蛍光青  
BR 白/パープル  
CR 白/ガンメタ  
DR 白/ブラック  
¥18,000  
M.L.LL

ROAD  
RACE

## ▼細則1 ロードレース競技細則

1. 適用の範囲	48
2. ロードレース	48
3. 競技会と開催クラス	48
4. 公式シグナル	49
5. 参加資格	50
6. 出場申し込み	50
7. 参加受理	50
8. ゼッケン・ナンバー	51
9. ライダーの装備	51
10. 出場受け付け	51
11. 出場車両の変更	52
12. 車両および装備の検査	52
13. プリーフィング	52
14. 公式予選	52
15. 決勝レース出場台数	53
16. スタート方法	54
17. スタートにおける反則	56
18. “ウェット”および“ドライ”レース	56
19. レース中の行為	57
20. 停車指示	58
21. レースの停止	59
22. 中断されたレースの再スタート	59
23. リタイヤ(棄権)	60
24. レース終了	60
25. 優勝者、入賞順位、完走者および得点	60
26. レース終了後の車両保管と再検査	61
27. レースおよび大会の延期・中止等	61
28. 抗議	62
29. 違反に対する罰則	62
30. 本規則の解釈	62
31. 本規則の施行	62

## ▼細則2 '97全日本選手権大会特別規則

1. 公 示	63
2. 開催種目と競技会の日程	63
3. 追加のクラス	64
4. コース	64

5. 大会審査委員会	64
6. 参加資格	64
7. 出場料およびMFJ共済会掛金	64
8. ピット要員	65
9. スポーツ走行	65
10. レース当日の練習走行	65
11. ゼッケンナンバー	65
12. 車両の変更	66
13. タイヤ使用本数制限	66
14. 公式予選	66
15. タイムキーピングシステム	67
16. スターティンググリッド	67
17. レース距離	67
18. 賞および得点	67
19. 2ヒート制の規定	67
20. 主催者の権限	68
21. 本規則の施行	68
*97全日本ロードレース選手権開催日程	69

## ▼細則3 '97エリア選手権大会特別規則

1. 公 示	70
2. 開催種目	70
3. 追加のクラス	70
4. 選手権	70
5. コース	70
6. 大会審査委員会	70
7. 参加定員	70
8. 出場料およびMFJ共済会掛金	70
9. ピット要員	71
10. ゼッケンナンバー	71
11. 車両の変更	71
12. タイヤの使用本数制限	71
13. 公式予選	71
14. タイムキーピングシステム	71
15. スターティンググリッド	71
16. 賞および得点	72
17. 主催者の権限	72
18. 本規則の施行	72

# 細則 1

## ロードレース 競技細則

### 1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則に基づき、すべての国内のロードレース競技会に適用される（世界選手権を除く）。

### 2 ロードレース

ロードレースとは、舗装され、完全にクローズドされたサーキットで行われるレースであり、国内競技規則およびこの細則により運営・管理される。スプリントレースと耐久レースに区別される。

耐久レースの詳細については特別規則による。

スプリントレースの定義：①レースの総走行距離250km以下もしくは走行時間2時間以下

②個人競技

耐久レースの定義：下記いずれかに合致すること。

①レースの総走行距離が250kmを超えるものもしくは走行時間2時間を越えるもの。

②2人もしくは3人の交代で行われる。

### 3 競技会と開催クラス

競技会と開催クラスは下記とする。

出場可能 ライセンス	大会格式	昇格ポイント対象種目				その他承認レース (特別昇格は可能)
		自動昇格		申請昇格		
国際ライセンス	全日本選手権	GP125	GP250	スーパーバイク		
国際ライセンス 国内ライセンス	エリア選手権	↑ GP125	↑ GP250	↑ スーパーバイク (国内ライセンス参加)	SP250 SP400	ネイキッド その他シングル/ツインレース等
国内ライセンス	地方選手権	↑ GP125	↑ GP250		SP250 SP400	SP125 ネイキッド GP80 その他シングル/ツインレース等
フレッシュマン ライセンス		↑ GP125			SP250 SP400	SP125 ネイキッド GP80 MP12(ミニバイク) その他シングル/ツインレース等
ジュニア						GP80 その他

自動昇格=規定の得点を得た場合は次年度は上級クラスへ強制的に昇格となる。

申請昇格=規定の得点を得かつ申告をしたもののみ昇格する。昇格申請は'98年1月31日消印有効。

特別昇格=規定の得点に満たない者または自動/申告昇格対象種目以外のクラスで同等の成績を得たものが申告を行い、審査される。



## 4 公式シグナル

ライダーは提示される公式シグナルを確認する義務があり、公式シグナルに従わなければならない。

1) 公式練習、予選および決勝レース中は、下記の公式シグナルが使用される。

(1) 寸法

- ・シグナル用旗 60×80cm (最小限)
- ・赤旗 80×100cm

(2) コントロールラインで使用される旗

- ・シグナルライトまたは国旗……レース・スタート
- ・白黒チェッカー旗……レース終了
- ・赤旗……レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さをもってそれぞれのピットに復帰。赤旗はサーキットを閉鎖する場合にも用いられる。
- ・黒旗と白ナンバーを付した黒の合図板との併用……示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダーは次のラップでピット停止。
- ・チェッカーフラッグと青旗を同時に提示……ファイナルラップにフィニッシュラインの手前でトップのライダーの前に他のライダーが走行している場合。トップのライダーはチェッカーであるが、直前を走行しているライダーはもう一周しなければならない事を伝える。
- ・オレンジボール旗と白ナンバーを付した黒の合図版との併用……示されたナンバーの車両は本人または他のライダーに対して危険を及ぼすような問題に見舞われている（主にオイルもれ）ので、早急にコース上から退去し安全な場所に停止する。  
原則的にはコントロールラインで提示されるが、必要に応じて各ポストにおいても提示される。

(3) 各コーナーポストで使用される旗

- ・黄旗……危険！  
静止……追い越し禁止。  
振る……減速・停止準備・追い越し禁止。
- ・赤色ストライプ付き黄旗……コース表面滑りやすい。
- ・赤旗……レース停止。コントロールライン上で赤旗が出されたらすぐに提示する。
- ・緑旗……コースクリア。
- ・白旗……コース上に徐行している介入車両あり。  
静止……1つ先のポスト付近に徐行中の介入車両あり。  
振る……直前に徐行中の介入車両あり。  
介入車両がコース上に停止したら、すみやかに白旗を黄旗に入れかえる。
- ・青旗……追い越しシグナル。1台またはそれ以上の高速マシンが貴方を追い越そうとしている。  
静止……間もなく追い越される。  
振る……追い越される寸前。
- ・黒旗と白ナンバーを付した黒のシグナル板との併用……示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダーはピット停止。  
フライングによるピットストップの場合は区別する為にPの文字をシグナル板に示す。  
オイルもれの場合はすみやかに安全な場所で停止する。

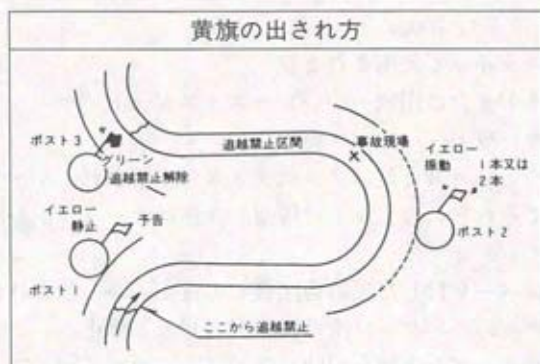
## ロードレース競技細則

### 2) ライトによるシグナル

スタートの際、国旗の代わりに、ライトによるシグナルを使うことができる。

- ・黄色燈の点滅 黄旗と同意味。
- ・緑色燈 緑旗と同意味。
- ・赤色燈 赤旗と同意味、競技監督および監視ポストで使用。

ライトによるシグナルは、スタート時と特に夜間に行われるレースに使用されなければならない。



## 5 参加資格

### 1) エントラントおよびライダー

エントラントおよびライダーは、1997年度版 MFJ 国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕(31頁)に合致していなければならない。

## 6 出場申し込み

1) 出場申し込み場所および期間は、大会特別規則の定めるところのものとする。

### 2) 出場申し込み手続き

- (1) 各部門とも所定の申し込み書に必要な事項をすべて記入し、出場料および MFJ 共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
- (2) 2クラス以上に出場を申し込む場合は、別々に申し込み書を提出しなければならない。
- (3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締切り日当日の消印のあるものが有効となる。
- (4) 電話による申し込みおよび締切り日以後の申し込みはいっさい受け付けない。  
(締切り日以降のエントリー料金返却に際しての郵送料、送金手数料は返却金から差し引かれる)

## 7 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書、金額を大会事務局が受理したもののみ、参加受理書が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ 共済会掛金はいかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかったものも同様である。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加申請が拒否された場合のみ出場料、MFJ 共済会掛金が返却される。(申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、返却されない)

## 8 ゼッケン・ナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 2) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに、規定の書体および色分けて記入しておかなければならない。
- 3) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。ゼッケンの修正を要求された場合、速やかに修正を行い、再度車両検査を受けなければならない。

## 9 ライダーの装備

- 1) ヘルメット
  - (1) ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。
  - (2) MFJの公認したヘルメットには、下記の認証マークが貼付されている。
  - (3) 競技会の車両検査受付時に、ヘルメット検査が行われる。MFJの公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
  - (4) MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料(1,000円)を支払い、特別に検査を受け合格しなければならない。
- 2) ライダーの服装
  - (1) レーシングスーツ
    - ① 革もしくは革と同等の素材(MFJの許可を得たもの)であり、MFJの公認したものでなければならない。
    - ② MFJが公認したレーシングスーツには、公認マークが貼付されている。
    - ③ 競技会の車両検査受付時にレーシングスーツの検査が行われ、合格しなかった場合は、ライダー本人の安全上使用を禁止する。
    - ④ 競技会使用時には公認時のパット類が装備されていること。



MFJが公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いていなければならない

- (2) ブーツ・グローブ
  - 革もしくは革と同等の素材(MFJの許可を得たもの)であり、フックなどが外部に突出していないものでなければならない。
  - (3) 競技中のライダーは、レーシングスーツの下に肌着を着用しなければならない。ただし、レーシングスーツに裏地がついている場合は着用しなくてもよい。

## 10 出場受け

- 1) 出場受けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ず本人または参加者がMFJライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

## 11 出場車両の変更

- 1) 車両の変更は国内競技規則・第3章〔⑩ライダーおよび車両の変更〕(34頁)による。
- 2) 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

## 12 車両および装備の検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。これ以後の検査は競技監督が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- 3) ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 4) 一大会において同一車両を複数のライダーが使用する事は出来ない。
- 5) 同一車両で複数の種目へのエントリーはできるが、競技運営進行上支障をきたさないことを条件とする。
- 6) 車両検査時持込み台数は、エリア選手権・地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られ、全日本選手権は2台までとする(Tカーは同一メーカーに限る)。
- 7) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不相当と判断された車両は、公式予選を含むいっさいの走行を拒否される。
- 8) テレメトリーは禁止される。
- 9) 音量測定は車検時に全車測定、もしくは予選通過車両全車に対して行なう。
- 10) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行う権限を有する。
- 11) ガソリン
  - ① 地方選手権大会/エリア選手権/全日本選手権においては2サイクル・4サイクルともにMFJの定める無鉛ガソリンを使用しなければならない。MFJの定める無鉛ガソリンの定義はMFJ技術規則による。
  - ② 使用するガソリンおよびオイルはMFJ技術規則(137頁参照)に合致していなければならない。
  - ③ 使用するガソリンは当該レースのサーキットで供給するものを使用しなければならない。供給されるガソリンの仕様は特別規則もしくは公式通知に記載される。
  - ④ 承認競技会における使用ガソリンとその仕様並びに供給方法については各大会特別規則による。

## 13 ブリーフィング

主催者がブリーフィング(競技に関する要領説明)を行なう場合はライダー本人が必ず出席しなければならない。出席なき場合は罰則が課せられる場合がある。

## 14 公式予選

- 1) 公式予選
  - (1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
  - (2) 公式予選の日程および時間は、特別規則に示される。
  - (3) 公式予選は、タイムトライアル方式とレース方式がある。  
通常はタイムトライアル方式で行う。レース方式で行う場合は、特別規則または公式通知等に示される。

## 2) 公式予選の内容

- (1) レースに出場するすべてのライダーは、必ず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
- (2) 公式予選においては、競技役員による車両の安全チェックがなされた後にスタートし、定められた時間内であれば走行を中断し、また再スタートすることができる。
- (3) 公式予選では、ラップタイムが測定されている。この測定で、ベストラップタイムが甚だしく劣る者はたとえ定員内であってもレース出場資格を与えられない場合がある。

## ●基準

全日本選手権：トップタイムの110%以内

エリア選手権以下：トップタイムの120%以内

- (4) 公式予選において測定される各ライダーのベストラップタイムにより、大会特別規則に示されたレース出場台数を限度としてスタート位置が定められる。ベストラップタイムが同じ場合は、セカンドラップタイムによる。
- (5) 各クラスの公式予選義務周回数は、特別規則に示される。なお、最初の1ラップ目は計測されないが、周回数には算定される。
- (6) 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。
- (7) 予選が複数の組にわかれて行われる場合の予選順位
  - ① 予選結果を総合タイム順によって決定する場合と予選組ごとの順位により決定する場合がある。
  - ② 天候の変化等により路面状況に大きな差異が認められると競技監督が判断した場合には各予選組ごとの順位によって決定する。この決定に対する抗議は一切受けつけない。
  - ③ 各予選組ごとのタイム順で決定した場合のグリッドは各予選組のトップのタイムを比較しその順番で振り分けることとする。
  - ④ 各予選組ごとのタイム順で決定した場合にグリッド数によって端数が出る場合の優先順序は下記とする。(ウエイティングも同様)
 

例：グリッド数30台、予選4組

    - Ⓐ 予選組上位7台で28台が選抜される。
    - Ⓑ 残り2台を予選組の8位(4台)のなかから決定するには…
      - ・各予選組の1位のタイムと8位のタイムを比較する。
      - ・各予選組8位のものからタイム差の少ない順に2名を選出する
- (8) 最終的な予選選出方法とスターティンググリッドは大会審査委員会の決定による。
- (9) 予選通過者で出場不可能となった者は、すみやかにその旨を届け出なければならない。
- (10) レース出場が不可能となったことを届け出たライダーがいた場合、予選タイムを基準として繰り上げる場合がある(スタート前チェック時間内に連絡のないライダーはリタイヤとみなす)。
- (11) ウエイティング(繰り上げ出場)の方法
  - ① 予選結果発表後主催者が規定する時間以内にウエイティングの願い書を提出する。
  - ② 願い書提出者のうち上位3名のもは、全装備にてスタート前チェックを済ませてコースインゲートにて待機する。
  - ③ 主催者が規定する時間内にリタイヤがない場合は出走は不可となる。

## 15 決勝レース出場台数

決勝レース出場台数は、各サーキットごとに定められ、特別規則に示される。

## 16 スタート方法

- 1) レースのスタート位置は、各ライダーに与えられているゼッケンナンバーとは関係なく、公式予選の結果によって決定される。
- 2) スタート方法は同時スタートとし、下記の3種類がある。通常はクラッチスタートにて行われる。
  - (1) 押しがけスタート
  - (2) クラッチスタート
  - (3) ルマン式スタート (耐久)
- 3) スタート位置は、すべてのライダーが正規のスタートラインからスタートされたものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは一切考慮されない。
- 4) クラッチスタートの場合のスタート手順は以下の通りとする。
  - (1) スタート約30分前  
ライダーはスタート前チェックを受け、マシンとともにコース外のウエイティングエリアに待機する。
  - (2) スタート15分前  
サイティングラップの為にピットレーン出口が開放される。ピット出口で5分、4分、3分、2分、1分前のカウントダウンボードが表示される。
  - (3) スタート10分前  
ピットレーン出口が閉鎖される。サイティングラップは義務づけられない。サイティングラップに参加しないライダーはウォームアップラップ開始の5分前まではオフィシャルの指示に従って自分のマシンをグリッドに押しつけておくことができる。  
ライダーが所定の位置に着くのを助けるために、コースサイドでオフィシャルがグリッド列を示すボードを掲げる。この段階で競技監督はレースを「ウェット」または「ドライ」のいずれかを選んで宣言する。この宣言はグリッド上にいるライダーとピットレーンにいるライダーに対してボードで示す。ボードが出されない場合は自動的に「ドライ」とみなされる。  
サイティングラップ中に技術的なトラブルに見舞われたライダーは、ピットに戻って調整またはマシンの交換（Tカー登録可能競技のみ。以後同様）を行うことができる。  
この場合当該ライダーはピットレーンからウォームアップラップを開始しなくてはならない。  
この段階でグリッド上のライダーはマシンの調整を行ったりコースコンディションに合わせてタイヤ交換を行うことができる。グリッド上でのタイヤウォーマーの使用は許可されるが、ジェネレーター、バッテリーまたはその他の電源をグリッドに持ち込むことは禁示される。  
すべての調整は「3分前」のボードが出るまでに完了しなければならない。このボードが提示されたら、さらに調整を行うことを希望するライダーはマシンをピットレーンまで押しつけてゆき、そこで調整またはマシンの交換を行うことが出来る。この場合当該ライダーはピットレーンからウォームアップラップを開始する。サイティングラップが開始されてからの給油は厳禁される。
  - (4) ウォームアップラップ開始5分前ボード  
グリッド上で5分前のボードが提示される。
  - (5) ウォームアップラップ開始3分前ボード

グリッド上で3分前のボードが提示される。

この時点でライダー1名につき1名のメカニックとそのライダーのために傘を持って立つ1名、主催者の認めるTVクルー、および必要なオフィシャル以外の人間は全員グリッドから退去しなければならない。

(6) ウォームアップラップ開始1分前ボード

グリッド上で1分前のボードが提示される。(エンジンスタート)

この時点でライダー1名につき1名のメカニック以外の全員がグリッドから退去する。

このメカニックはライダーが押しがけするのを助けその後速やかにグリッドから退出する。

(7) ウォームアップラップ開始30秒前ボード

グリッド上で30秒前のボードが提示される。

全ライダーはエンジンが始動している状態でグリッドの所定の位置に着かなくてはならない。これ以降メカニックの援助は禁止される。マシンをスタート出来ないライダーはマシンをピットレーンに移動し、そこでさらにマシンを始動するよう試みるかマシンを交換することが出来る。このようなライダーはピットレーンからウォームアップラップを開始することが出来る。

(8) ウォームアップラップ開始(レースのスタート約2分前)

ウォームアップラップの開始を示す為にグリーンライトが点灯される。ライダーは1周走行し、その後ろにセーフティーカーが続く。集団が通過したらピットレーンで待機していたライダーはウォームアップラップに加わることが許可される。その後ピットレーン出口は閉鎖される。

ウォーミングアップ走行が開始されたら各ポストはライダーに旗の提示位置を確認させる為にグリーンフラッグを提示する。

グリッドに戻って来たらライダーはモーターサイクルのエンジンを始動したまま、フロントホイールをグリッドポジションを示すラインに合わせ、所定の位置につかなければならない。グリッド最前列の前には赤旗を持ったオフィシャルが立つ。

セーフティーカーが到着した後でグリッドに戻ってきたライダーはピットに導かれ、ピットからレースをスタートする。

ウォームアップラップ途中でトラブルに見舞われたライダーは、ピットレーンに戻って修理またはマシンの交換が出来る。

グリッドでエンジンをストールさせたライダーまたはその他のトラブルに見舞われたライダーは、モーターサイクルにまたがったままの状態腕を上げる。その方法によって意図的にレースのスタートを遅らせることは許可されない。

グリッドの各列が整列したらオフィシャルは担当する列が整列したことを示す為にグリッド列ボードを降ろす。ある列のライダーがエンジンをストールさせた、または他のトラブルに見舞われている時にはその列のボードは降ろされない。すべてのボードが降ろされて、セーフティーカーが戻ってきたら、グリッド後方に待機するオフィシャルがグリーンフラッグを振る。

その後スターターはグリッド前方で赤旗を掲示するオフィシャルにコースサイドに歩くよう指示を出す。

(9) レッドライトが点灯しその1-5秒後にグリーンライトが点灯しレースがスタートする。

フライングをしたライダーに対しては30秒間のタイム加算もしくはピットストップのペナルティが与えられる。ペナルティは当該ライダーのピットクルーにも通達されなければならない。

グリーンライトが点灯された後で、マシンがストールした場合、オフィシャルはエンジ

ンがかかるまでそのマシンをコースに沿って押すことを補佐する。それでも始動しない場合にはオフィシャルの指示に従ってマシンをピットレーンに押して行かなければならない。ピットレーンでは当該ライダーのメカニックがエンジンを始動させる為に援助する事とマシンを交換することが許可される。

ライダー達の集団がピットレーン出口を通過したらオフィシャルはピットレーンに待機するライダーをスタートさせる。

トップを走行するライダーが1周目を終えてフィニッシュラインを通過した後ではレースが中断されない限りマシンの交換は許可されない。

スタート時の安全性を脅かすようなトラブルがグリッド上で発生した場合にはスタートを受け持つオフィシャルがイエローライトを点滅させ「スタートディレイド」のボードを掲示する。この場合ライダーはエンジンを停止させなければならない。各ライダーについて1名のメカニックがエンジン始動を補佐するためにグリッドに立ち入ることが許可される。

スタート手順は「1分前」ボードの段階から再開され、ライダーは追加のウォームアップラップを1周走行し、レース周回数は1周減算される。

※サイティングラップスタートの時間、グリッド列ボードの配列(隔列の場合もある)、またはその他の手順について省略する場合がある。この場合、各特別規則ならびに公式通知に示される。

### 17 スタートにおける反則

- 1) スタートラインについた車両およびライダーは、スタート用意からスタート合図が出されるスタートが終了するまでスタート合図の統制下にある。
- 2) スタート合図が行われる前に自分のスタートポジションから前進した場合は、競技監督の決定により、下記いずれかのペナルティが科せられる。
  - (1) 競技結果への30秒の加算。
  - (2) ピットストップ
    - ① 所定の場所での一旦停止
    - ② 当該ライダーに黒旗と黒のシグナル板にPの文字とゼッケンナンバーを付したペナルティボードを提示する。
    - ③ 当該ライダーが停止指示を出したのちに停止しなかった場合、失格となる。
    - ④ 同時に複数のフライングが発生した場合、原則的に一周ごとに停止させる。停止の順番は予選タイムに基づきタイム順に停止の指示を出す。ボードは複数同時に提示する場合もある。
    - ⑤ ピットストップする前に赤旗中断で再レースになった場合、再レース開始後停止することを要求される(30秒加算の場合もある)。ペナルティを抱えたまま再レースのスタートでもフライングをした場合、当該ライダーは、失格となる。
- 3) ピットクルーがスタートの規則に従わなかった場合も反則とみなされ、当該ライダーに1分間もしくは失格のペナルティが科せられる。
- 4) ペナルティは、当該ライダーのピット要員にただちに通告されるが、判定に対する抗議は一切受けられない。

### 18 “ウェット” および “ドライ” レース

- 1) すべてのレースはウェットかドライに分けられる。グリッド上で、ボードが表示される。ボードが表示されない場合にはレースは自動的にドライとなる。この分類の目的は、ライダ



ーにレース中天候状況の変化による影響があることを示すためである。

## 2) ドライレース

ドライレースと分類されたレースは天候状況が路面状態に影響を及ぼし、ライダーがタイヤ交換を望む可能性がある場合と競技監督が判断した場合に中断される。

## 3) ウェットレース

ウェットレースと分類されたレースは、変化して行く状況、またはウェットの状況で通常開始され、天候の理由により中断されることはない。タイヤ交換を望むライダーはレース中ピットに入りタイヤ交換する。

4) すべての場合において、最初にレースが天候上の理由により中断された場合、再スタートは自動的に“ウェット”レースとなる。

## 19 レース中の行為

1) 走行中の遵守事項は、国内競技規則・第3章〔@競技参加者の遵守事項〕(31頁)のほかに次による。これに違反した場合罰則が課せられる。

(1) ライダーは、指示を伝えるフラッグシグナルに従わなければならない。

(2) もしライダーがコースアウトしたら、ライダーは、オフィシャルが指示した場所または、そのライダーが有利にならないような場所からレースに復帰することが出来る。

※この際オフィシャルは下記の補助ができる。

- ・マシンを起こす補助。
- ・修理・調整が行われている間マシンを支えている。
- ・ライダーの再スタートを補助する。

(3) リタイヤする場合ライダーは自分のマシンをオフィシャルに指示された安全な場所に止めなければならない。

(4) もしライダーがレースからリタイヤを余儀なくされるようなマシントラブルにあった場合、そのライダーは遅いスピードでピットまで戻ろうと試みず、コースアウトしてオフィシャルの指示に従い、安全な場所にマシンを止めなくてはならない。

(5) コース上にオイル等の液体をまき散らす恐れのあるようなトラブルにあった場合、そのライダーはピットまで戻ろうと試みず、コースアウトして安全な場所にマシンを止めなければならない。

又、停止後再スタートを希望する場合はオフィシャルの確認を必要とする。

上記に違反した場合、最低罰金10,000円以上の罰則が課せられる。

(6) 修復作業のためにゆっくりと戻るライダーは、出来るかぎりピット設置側を走行しなければならない。

(7) コース外側より、作業もしくは工具・部品等の援助を受けてはならない。この場合は失格とされる。

(8) いかなる場合でも、逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはならない。これに違反した場合は罰則が科せられる。

(9) レース中(予選中を含む)直線部分では前車を追い越すためあるいは後車のスリップ・ストリーミングを外す目的以外で、進路を著しく変更することは禁止される。

## 2) ピット

ピットとは車両の修理、調整、部品交換、燃料補給などの作業を行うことを目的に、ライダーに与えられた区域である。

## 3) ピットイン

(1) ピットインする車両のライダーは、ピットロード入口手前よりピット側に車両を寄せ、

手または足でピットインの合図を行ったのち、安全を確認してピットロードを徐行しなければならない。

ピットエリア（停車区域）を走行することは禁止される。

- (2) ピットインする車両のライダーは、自己のピットに出来るだけ近いピットロードからピットエリアに入り、出来るだけ自己のピットに近づけて車両を停車させなければならない。
  - (3) ピットインしてピットエリアに入った車両及び当該車両のライダーやピットクルーは、ピットロード及びピットエリアにおいて他の車両の通過を妨げてはならない。
  - (4) ピットインの際、自己のピット前を通り過ぎて停車した車両のライダーは、競技役員の承認を得て、当該車両のライダーおよびピットクルーによって押し戻し、自己のピットにつけることが出来る。
- 4) ピットアウト
- (1) ピットロードにおいてはピットインしてくる車両に優先権がある。
  - (2) ピットロードに出てコースに復帰するライダーは、ピットロードを出て最初のコーナー出口に達するまで、コースピット側に沿って走行しなければならない。その間、後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。
  - (3) ピットでエンジンを止めたライダーは、メカニックの補助を受けてマシンを再スタートすることができる。
- 5) ピット作業
- (1) レース中、車両の修理、調整、部品交換は、ピットに準備してある部品と工具によって行わなければならない。給油中は、必ずエンジンを停止しなければならない。
  - (2) ピット区域内にオイルをこぼしたり、汚したりした場合は、安全上ただちに清掃しなければならない。
- 6) ピット作業人員
- (1) 大会の格式によって登録できるピットクルーの人数が大会特別規則に示される。
  - (2) レース中にピットインした車両に対する作業は、登録した2名のメカニックと、その車両のライダーの計3名だけに限られる。(全日本選手権は細則2 全日本選手権特別規則参照) (65頁)
  - (3) ライダーに対するピットクルー（メカニック、ピットサインマンおよびヘルパー）の合図は、大会競技役員の使用する合図旗にまぎらわしいものであってはならない。また主催者により定められたピット区域またはピットサインエリアのみで合図を送ることができる。
  - (4) ピット作業を行う者は、すべてピットクルーライセンス所持者で、大会への参加申請がなされた者でなければならない。大会当日の追加は一切認められない。ただし参加申請がなされている者の変更は認められる（変更料1,000円）。
  - (5) ピットクルーは競技期間中を通じて、すべて大会競技役員の指示に従わなければならない。
  - (6) ピットクルーが諸規則に違反した場合の責任は、そのピットクルー担当のライダーに帰属し、罰則が科せられる。

## 20 停車指示

- 1) レース続行が危険とみなされるライダーまたは車両について、競技監督は、大会審査委員会の同意を得てピットインを命じるか、レースから除外することができる。
- 2) 天災、大事故等の不慮の事態が発生した場合は、競技監督は、赤旗によって全ライダーに対し、停止を指示することができる。

## 21 レースの停止

- 1) 競技監督が天候上の理由、あるいはそのほかの理由からレースを中断することを決定したら、赤旗がスタートラインとすべてのマーシャル・ポストで掲示される。ライダーはただちにスロウダウンし、ピットレーンに戻らなくてはならない。当該レースの結果は前の周を終えた時点でのものとされる。

したがって、結果はレースを続行していたライダー全員が、赤旗が掲示されずにフルラップを完了した時点でのものとされる。

- 2) トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全員が3周未満しか走行していないことを結果が示した場合、当該レースは無効とされ、まったく新たにレースが行われる。もしレースの再スタートが不可能だと判明した場合、このレースは中止になったと宣言される。
- 3) トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全員が3周以上、しかし本来のレース距離の2/3未満(小数点以下切り捨て)であった場合、レースの最終結果は二つのレースの周回数とタイムを合計して出される。もしレースの再スタートが不可能だと判明した場合、ポイントは半分与えられる。

30週のレースの場合の例：

トップのライダーは9周目を終えて10周目に入ったが、その他のライダー全員が9周目を終えていない時点で赤旗が掲示された場合、レース結果は8周目を終えた時点でのものとされ、セカンド・ヒートは22周となる。

トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全員が9周目を終えて10周目に入っていた時点で赤旗が掲示された場合、レース結果は9周目を終えた時点でのものとされ、セカンド・ヒートは21周となる。

- 4) トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全員が本来のレース距離2/3(小数点以下切り捨て)を走行した場合、当該レースは完了したとみなされ、ポイントはフルに与えられる。

## 22 中断されたレースの再スタート

レースが再スタートされる場合、再スタートはコース・コンディションが許すかぎり早く行われなくてはならない。ライダーがピットに戻りしだい、競技監督は新たなスタート時刻を発表する。このスタート時刻は状況が許すかぎり最初の赤旗が掲示されてから30分以内に設定される。

- 1) 競技結果が2周以下の場合の再スタートには下記各項が適用される。
- (1) 全ライダーがスタート出来る。
  - (2) マシンは修理・給油が出来る。
  - (3) 転倒車両を使用する際には車検長の許可を必要とする。
  - (4) 登録され車検に合格しているTカーに交換できる。
  - (5) 周回数は原則的にもとのレースと同じとする。
  - (6) グリッドポジションは本来のレースと同じとする。
  - (7) 再スタート出来ないライダーのグリッドはそのまま空席とする。
  - (8) スタートの手順は通常にサイティングラップから始める。
- 2) 競技結果が3周以上2/3(小数点以下切り捨て)未満の場合の再スタートには下記各項が適用される。
- (1) 前回のレースでトップの周回数の2/3(小数点以下切り捨て)を走行しているライダーだけが再スタートできる。

- (2) 第2レースが開始される前に、第1レースの結果が公示されなくてはならない。
- (3) 転倒車両を使用する際には車検長の許可を必要とする。
- (4) マシンは修理・給油ができる。
- (5) 登録され車検に合格しているTカーに交換できる。
- (6) 第2レースの周回数は、本来のレース距離を満たすために必要な周回数とする。(前回のレース結果の周回数に基づく)
- (7) グリッドポジションは第1レースの結果に基づく。
- (8) レースの最終結果は、二つのレースの周回数を合算し、最大数の周回のライダーが優勝者となる。周回数が同数の場合二つのレースのタイムを合計したタイムによって順位が決定される。

### 23 リタイヤ (棄権)

- 1) リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章〔⑩競技〕(34頁)による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届を提出できないときには、競技役員の判定によりリタイヤと認めることができる。
- 3) ピット以外の地域でリタイヤする場合、ライダーは車両をレース(または予選)終了まで競技役員の管理下におかなければならない。ただし、競技役員から車両移動を指示された場合は、これに従わなければならない。

### 24 レース終了

- 1) トップのライダーにチェッカーフラッグが提示された後、引き続き後続ライダーにも特別規則に示す時間提示される。この時間が経過した時をもってレース終了となる。  
※原則的にコース1周の距離1kmにつき1分とする。
- 2) ファイナルラップにフィニッシュライン手前でトップのライダーのすぐ前に他のライダーがいる場合、スタート・フィニッシュマーカーは同時にチェッカーと青旗を掲示する。これはトップを走行するライダーはレースを終了するが、そのすぐ前を走っているライダーはファイナルラップを完走しチェッカーフラッグを受けなければならないということを意味する。

### 25 優勝者、入賞順位、完走者および得点

- 1) 優勝者
  - (1) 優勝者は規定の距離(周回数)または時間を完走して最初にフィニッシュライン(コントロールライン)を通過したライダーである。
  - (2) 写真判定が用いられる場合には勝者の決定はフロントホイールの先端がフィニッシュラインを最初に通過した方を有利とする。
  - (3) 優勝者がフィニッシュラインを通過したら他のライダーはその時点で走行している周回を終え、フィニッシュラインを通過したら終了となる。
- 2) 入賞者および順位の優先順位(耐久レースは特別規則による)  
入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定される。なお、周回数が同じ場合は、ゴールライン通過の順位による。
- 3) その他の優先順位  
周回数の多い者を優先する。同周回数の場合は、ゴールライン通過の順位による。
- 4) 完走者
  - (1) 優勝者の周回数の75%(少数点以下は切り捨てる)以上を走行したライダー。

- (2) 優勝者がフィニッシュラインを通過したのち特別規則に示す時間内にフィニッシュラインを通過したものの。
- 5) 得点  
得点は、国内競技規則・第3章〔㉔公式得点〕(35頁)によって与えられる。

## 26 レース終了後の車両保管と再検査

- 1) 上位入賞車両は、所定の位置より競技役員の誘導に従って車両保管区域へ入らなければならない。
- 2) 上位入賞車両は、音量測定およびエンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再検査を行うことがある。
- 3) 上位入賞車両は、暫定結果発表後30分間保管される。
- 4) 燃料検査

### 燃料検査の手順

- (1) 燃料検査は各大会の審査委員会が必要と認めた場合実施できる。
  - (2) 燃料検査を行う対象クラス、ライダーは審査委員会が決定する。
  - (3) 燃料テストは審査委員会が必要と認めた場合レース期間中いつでも行うことができる。
  - (4) レース終了後に燃料タンク内に検査に必要な量が残っていないなければならない。
  - (5) 各分析ごとに、それぞれ検査に必要な量のサンプルを2サンプル摂取する。  
ひとつは検査用、ひとつは保管用として封印され、当事者によってサインが施され、主催者が保管する。  
潤滑油を混合した場合は混入したオイルも添えて提出しなければならない。  
車検にて判別出来ない場合はMFJ指定の機関にて分析を依頼し検査する。  
サンプルはエントラントに提出義務があり、その対価は自己負担とする。
  - (6) 結果が不合格であった場合、当事者は本人の費用負担によってMFJ指定の別の機関にて保管用サンプルの分析を依頼することができる。
  - (7) 分析の費用負担は下記の通り
    - ① 大会審査委員会の決定により、特定の大会もしくはクラスに検査を行う場合。
      - ・最初の検査の費用は主催者が負担する。
      - ・結果が不合格で当事者が再度検査を要求する場合は当事者が負担する。
    - ② 抗議が出され特定のライダーの検査をする場合は抗議者が費用を負担し、検査の結果違反が立証された場合は返却される。
    - ③ 検査の結果違反が立証された場合は違反者が検査料を負担しなければならない。
  - (8) 競技結果  
サンプル分析の結果、違反が立証された場合MFJスポーツ委員会に報告され、罰則が課せられる。又、当日受領した賞典等は返却しなければならない。
- 5) 出場者は、車両保管解除と同時に、保管車両を速やかに引き取らねばならない。主催者は車両保管解除発表後、保管車両の責任は一切負わない。

## 27 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は、原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が参加申し込み後に中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ共済会掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

## 28 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔27抗議〕(37頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。
- 3) ガソリンに関する抗議の場合の保証金は100,000円とする。

## 29 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔29違反行為に対する罰則〕(38頁)による。

## 30 本規則の解釈

規則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

## 31 本規則の施行

本規則は、1997年1月1日より有効となる。



## 細則 2

# '97全日本 ロードレース選手権大会 特別規則

### 1 公示

全日本ロードレース選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と全日本選手権シリーズを通じて、共通した項目をまとめた本大会特別規則と各大会の特別規則に基づきFIM・MFJ公認の国際格式競技会として開催される。

### 2 開催種目と競技会の日程

- 開催種目は下記とする。  
INT GP125  
INT GP250  
INT スーパーバイク
- レースフォーマット（各クラス）
  - レースフォーマットは下記とする。
  - 各予選からの進出者は各組ごとのタイム上位者を選抜する。
  - 天候等でセミファイナルは行わない場合がある。セミファイナルが行われない場合は予選結果によってグリッド数を満たすこととする。
  - セミファイナルは原則として出場台数がグリッド数の60%に満たない場合は行われない。
  - セミファイナルからファイナルへの進出数は各大会特別規則による。
  - ファイナルには全日本選手権ポイントが与えられる。

〔例〕



## '97全日本ロードレース選手権大会特別規則

### 3) レースウィークの日程

#### ① 全日本選手権は下記日程で開催される。

月～木曜日：当該大会にエントリーしている選手は走行してはならない。これに違反した場合罰則が適用される。

金曜日：スポーツ走行 各クラス最低30分×2回

土曜日：公式予選 各クラス最低20分×2回

日曜日：午前 ウォーミングアップラン 各クラス10分、セミファイナルレース  
10：30～16：00以内 決勝レース

#### 4) 競技会の日程は巻末に示す。

## 3 追加のクラス

全日本選手権には併催クラスが追加されても良い。ただし全日本選手権対象クラスを含めて全体で6クラスを限度とする。また併催クラスを追加する場合下記の条件が満たされなければならない。

- ・パドックが充分広く、主催者が全日本選手権のレースを優先させ規定の予選時間、決勝レース距離を設定できること。

## 4 コース

コースはMFJが国際公認もしくは準国際公認したコースとする。  
各施設ごとの同時出走最多台数は以下の通り。

施設	決勝	予選
SUGO	40	48
筑波	32	38
FISCO	40	48
鈴鹿	44	52
TI	40	48
CP MINÉ	36	43

## 5 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長はMFJロードレース委員会の委員もしくは主催者が指名する1級競技役員でMFJが任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までに会場に到着しない場合は次席のものがこれにあたる。
- 3) ライダー代表(RMA)が同席する。

## 6 参加資格

- 1) MFJロードレース国際ライセンス保持者。
- 2) エントリーが定数を越えた場合の選択は主催者が行う。
- 3) エントリーを行ない主催者に連絡なく欠席した場合、または選手受付を行なった後に正当な理由なく出場しなかった場合は、以降の当該年度のエントリーは受けつけられない。

## 7 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料：1クラス 14,000円  
MFJ共済会掛金 1人 4,000円(旧4,500円)  
合計：18,000円



## 8 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して6名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- 2) ピットエリアではライダー1名について3人のピットクルーが作業できる。

## 9 スポーツ走行

- 1) スポーツ走行は各クラス(予選組)ごとに最低下記時間が設定され、MFJライセンスにて走行できる。  
無料のスポーツ走行時間：30分間  
有料のスポーツ走行時間：30分間
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮または中止される場合がある。

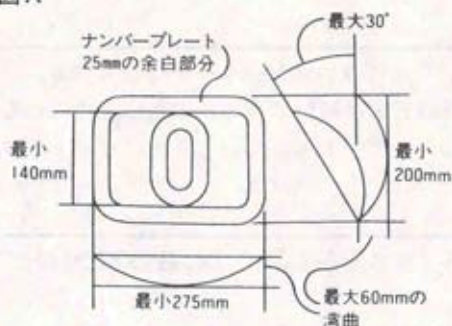
## 10 レース当日の練習走行

- 1) レース当日の朝、各クラスごとに最低10分間の練習走行が行われる。
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮または中止される場合がある。

## 11 ゼッケンナンバー

- 1) 前年度全日本選手権の有得点者には当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。
- 2) その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。
- 3) ランキング順位に従って定められたゼッケンナンバーを変更する場合はスポーツ委員会にて許可が必要であり、別途定める料金を必要とする。
- 4) 全日本選手権ゼッケン(ナンバープレート)規定
  - ① モーターサイクルのフロントと両サイドにナンバーが装着され、観客と競技役員が明確に識別できるようにしなくてはならない。
  - ② 文字およびバックグラウンドは、図A(66頁)に記載されている寸法に適合してはならない。
  - ③ 文字の色は黒か白とし、バックグラウンドの色と判別しやすいようにされなくてはならない。
  - ④ バックグラウンドは最低限、下記の面積が単色でなければならない。蛍光色は禁止される。  
・幅=275mm ・高さ=200mm
  - ⑤ ナンバープレートは、垂直から30°以上傾斜してはならない。
  - ⑥ ナンバープレートは、湾曲による突出が水平方向からも垂直方向からも60mm以上あってはならない。
  - ⑦ 文字の周囲には最低25mm幅の余白が残されてはならない。
  - ⑧ ナンバーの明瞭度に関して議論が持ち上がった場合、車検長の決定を最終のものとする。判別しにくいと判断された場合はすみやかに修正しなければならない。

図A



## 12 車両の変更

- 1) 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 2) 公式車検終了後選手間でのマシンの交換はできない。
- 3) 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを交換する事が出来るが、そのライダーの名前でTカーとして登録され車検に合格していることを条件とする。
- 4) レース停止の場合を除き、通常、Tカーとのマシン交換はサイティングラップのためにコースインするまでとする。

## 13 タイヤの使用本数制限

- 1) 予選において使用出来るタイヤは2セットに制限する。
  - ① 雨天時のレインタイヤの使用本数の制限はない。
  - ② 「雨天時」とは路面が一部でも濡れている状況をいう。
  - ③ 「レインタイヤ」とはスリックタイヤ以外のすべてのタイヤをいう。  
カットスリックもレインタイヤとみなすが、カットスリックのレインタイヤ判定は競技監督が行なう。
- 2) 予選のスタート前チェック時にペイントを行う。
- 3) 予選終了後は制限しない。  
※上記制限は1エントリーに対するものとし、Tカーも含み以上の本数とする。

## 14 公式予選

- 1) 公式予選  
予選が複数の組に分かれて行われる場合、タイム計測による予選にて各大会の特別規則に述べられた台数の決勝進出者を決定し、それ以下の者によってセミファイナルと呼ぶレース形式の予選を行い決勝の残りのグリッドを決定する。(63頁レースフォーマット図参照)
  - (1) 予選
    - ① 予選は各クラス・予選組ごとに最低20分間を2回行う。但し、天候等やむを得ない理由にて短縮される場合がある。
    - ② 予選が複数の組に分かれて行われる場合、各組ごとのタイム順にて決定する。スタートポジションは各組のトップタイムを比較してタイムの速いライダーの組より交互に振り分ける。
    - ③ 予選の同時出走最多台数は決勝レースグリッドの120%である。(セミファイナルレー

スは決勝レースと同じ)

- ④ 予選組数は2組までを原則とするが、エントリー数が著しく多い場合は3組を上限に予選組数を増やすことができる。

(2) セミファイナルレース

- ① セミファイナルレースは出走者がグリッドの60%に満たない場合は行わない場合がある。また、天候等やむを得ない理由にて開催しない場合がある。
- ② セミファイナルレースから決勝への進出台数は各大会の特別規則に記載する。
- ③ セミファイナルの同時出走最多台数は決勝レースと同じとする。

## 15 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなければならない。

## 16 スタートグリッド

スタートグリッドの数、配置は各大会の特別規則に示される。

## 17 レース距離

- 1) 各クラスの決勝レースの距離を下記のように定める。

GP125	50km～130km
GP250	60km～130km
スーパーバイク	60km～250km

※セミファイナルは最低20kmとする。

- 2) 天候等やむを得ない理由によって上記の距離から短縮される場合がある。

## 18 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 得点は国内競技規則・第3章「公式得点」によって与えられる。
- 3) 2ヒート制で行なわれる場合は次項参照。
- 4) MFJのスポーツ国籍以外の選手については賞典は与えられるが、全日本選手権の得点が与えられない。(但し下位は繰上げない)
- 5) MFJグランプリ大会については上記の得点に3点が追加される。
- 6) 全日本選手権のランキングは上記得点の総合計によって決定される。その他の詳細は全日本選手権ランキング決定方法(212頁)に示される。

## 19 2ヒート制の規定

- (1) 第1レース、第2レースとも独立したレースとして行われる。
- (2) 走行距離：2つのレースは同周回数とし、トータルの走行距離は開催規定内にあること。
- (3) 第1レース、第2レースともにグリッドは予選結果に基づき決定される。
- (4) 第1レース、第2レースの間は原則として最低3時間のインターバルを設けること。
- (5) 2ヒート制の場合の賞金の配分については規定の半分ずつそれぞれのヒートの結果に基づき与えられる。
- (6) 2ヒート制の場合のポイントは、各ヒートごとに通常のポイントが与えられる。
- (7) 第1レースにて完走しなかったライダーも第2レースに出場できる。
- (8) 両レースの間にマシンを交換することが許可される。ただしこの場合両方のマシンがT

カーとして登録され車検を通過していること、そして両方が同じ型式であることを条件とする。

## 20 主催者の権限

- 1) 参加申し込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。
- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピット・ガレージの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- 4) やむを得ない理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することができる。
- 5) すべての参加者、ライダー、ピットクルーおよびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。

## 21 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

本規則は1997年1月1日より適用される。

1997年1月1日  
全日本ロードレース選手権  
大会事務局長



## '97全日本ロードレース選手権開催日程

※併催地方大会がある場合は特別規則に示す。

開催月日	大会名/開催クラス	周回数	出場申し込み先	出場申込期間
3月14日(金) 3月16日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦 鈴鹿スーパーバイク100miles 会場:鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	125:15L 250:17L SB:28L	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC 事務局 〒510-88 ☎0593(78)3405	2月4日(火) 2月13日(休)
4月25日(金) 4月27日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 SUGOスーパーバイクレース 会場:スポーツランド SUGO ☎0224(83)3111	125:18L 250:20L SB:25L	SUGO スポーツクラブ RR 係 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎0224(83)3127	3月18日(火) 3月27日(休)
5月16日(金) 5月18日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 筑波スーパーバイクレース 会場:筑波サーキット ☎0296(44)3146	125:25L 250:30L SB:30L	(財)日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 オフィス虎ノ門1ビル2F ☎03(3591)6056	4月8日(火) 4月17日(休)
5月30日(金) 6月1日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦 鈴鹿スーパーバイク200km 会場:鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	125:15L 250:17L SB:35L	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC 事務局 〒510-88 ☎0593(78)3405	4月22日(火) 5月1日(休)
6月20日(金) 6月22日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦 富士スーパーバイクレース 会場:富士スピードウェイ ☎0550(78)1234	125:15L 250:17L SB:20L	MFJ関東内 全日本RR事務局 〒170 東京都豊島区南大塚2-31-11 共栄大塚ビル5F ☎03(3943)6105	5月13日(火) 5月22日(休)
7月4日(金) 7月6日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 SUGOスーパーバイクレース 会場:スポーツランド SUGO ☎0224(83)3111	125:18L 250:20L SB:25L	SUGO スポーツクラブ RR 係 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎0224(83)3127	5月27日(火) 6月5日(休)
8月8日(金) 8月10日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦 CP MINÉ スーパーバイクレース 会場:セントラルパーク MINÉ サーキット ☎08375(8)0321	125:18L 250:22L SB:26L	セントラルパーク MINÉ サーキット 〒759-21 山口県美祿市西厚保町 ☎08375(8)0321	7月1日(火) 7月10日(休)
9月5日(金) 9月7日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第8戦 鈴鹿スーパーバイク2ヒートレース 会場:鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	125:15L 250:17L SB:15x2	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC 事務局 〒510-88 ☎0593(78)3405	7月29日(火) 8月7日(休)
9月19日(金) 9月21日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 筑波スーパーバイクレース 会場:筑波サーキット ☎0296(44)3146	125:25L 250:30L SB:30L	(財)日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 オフィス虎ノ門1ビル2F ☎03(3591)6056	8月12日(火) 8月21日(休)
10月17日(金) 10月19日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第10戦 TIスーパーバイクレース 会場:TIサーキット英田 ☎08687(4)3311	125:16L 250:20L SB:25L	TIサーキット ㈱全日本RR事務局 〒701-26 岡山市英田郡英田町滝宮1210 ☎08687(4)3311	9月9日(火) 9月18日(休)
10月31日(金) 11月2日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第11戦 MFJグランプリスーパーバイクレース in SUGO 会場:スポーツランド SUGO ☎0224(83)3111	125:18L 250:20L SB:25L	SUGO スポーツクラブ RR 係 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎0224(83)3127	9月23日(火) 10月2日(休)

全大会:国際格式

## '97世界選手権競技会の開催日程

開催月日	大会名/会場	開催クラス	出場申込先
4月18日(金) 4月20日(日)	FIMロードレース世界選手権第2戦 マルボログランプリ・ジャパン 会場:鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	GP500 GP250 GP125	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC 事務局 〒510-88 ☎0593(78)3405
7月24日(木) 7月27日(日)	FIM世界耐久選手権第3戦 鈴鹿8時間耐久ロードレース 会場:鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	スーパーバイク	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC 事務局 〒510-88 ☎0593(78)3405
10月3日(金) 10月5日(日)	FIMスーパーバイク世界選手権第13戦 SUGOスーパーバイク日本大会 会場:スポーツランド SUGO ☎0224(83)3111	スーパーバイク SS600 (併催)	SUGO スポーツクラブ RR 係 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎0224(83)3127

※鈴鹿サーキットランドは、郵便番号と宛名のみで郵便物が届きます。

# '97エリア選手権大会 特別規則

## 1 公 示

エリア選手権ロードレースはFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則とエリア選手権レースの共通した項目をまとめた本大会特別規則と各大会の特別規則に基づきMFJ公認の国内格式競技会として開催される。

## 2 開催種目

参加資格：国際／国内ライセンス所持者

ク ラ ス：GP125 SP250

GP250 SP400

スーパーバイク

## 3 追加のクラス

エリア選手権には併催クラスが追加されてもよい。

## 4 選手権

- 1) エリア選手権はサーキットごと、もしくは複数のサーキットにまたがって開催される。
- 2) 選手権のランキング設定は主催者によって任意に設定されるので各主催者より発行される特別規則による。

## 5 コース

コースはMFJが国内公認したコースとする。開催上限クラスはその施設の公認された上限クラスに限定される。

## 6 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長は主催者が任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時まで会場に到着しない場合は次席のものがこれにあたる。

## 7 参加定員

参加定員は定めない。

## 8 出場料およびMFJ共済会掛金

エントリー料金は主催者によって定められる。

MFJ共済会掛金は3,500円 (旧4,000円)

## 9 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して最大4名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要であり、エントリー時に申請が必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- 2) ピットエリアではライダー1名について2人のピットクルーが作業出来る。

## 10 ゼッケンナンバー

ライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。

- 1) 国内ライセンスのプレートカラーはクラスごとに下記に定められる。
 

GP125	黒地に白文字	SP	黒地に黄文字
GP250	緑地に白文字		
スーパーバイク	白地に黒文字		
- 2) 国際ライセンスのプレートは全日本特別規則11-4)・65頁のプレートカラーの規定とする。

## 11 車両の変更

- 1) 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 2) 車検終了後の選手間でのマシンの交換は出来ない。
- 3) 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを交換することが出来るが、そのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 4) レース停止の場合を除き、マシン交換はレーススタート後トップのライダーが1周するまでとする。

## 12 タイヤの使用本数制限

- 1) 予選・決勝を通じ使用出来るタイヤは2セットとする。
  - ① 雨天時のレインタイヤの使用本数の制限はない。
  - ② 「雨天時」とは路面が一部でも濡れている状況をいう。
  - ③ 「レインタイヤ」とはスリックタイヤ以外のすべてのタイヤをいう。カットスリックもレインタイヤとみなすが、カットスリックのレインタイヤ判定は競技監督が行う。
- 2) 予選または決勝のスタート前チェック時にペイントを行う。
- 3) 上記チェックの実施については主催者が定め、公式通知に公示する。

## 13 公式予選

公式予選は主催者により設定される。(最低時間は設けない)

## 14 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなくてはならない。

## 15 スタートグリッド

スタートグリッドの数、配列は各大会の特別規則に示される。

## 16 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 得点は国内競技規則第3章「公式得点」によって与えられる。
- 3) 耐久レースの場合は2倍のポイントがそれぞれのライダーに与えられる。ただしチームが3人からなる場合、レースの総距離あるいは総走行時間の20%以上を走ったライダーに得点が与えられる。
- 4) 国内ライセンスで獲得する昇格ポイントは総合順位によって与えられる。
- 5) やむを得ず排気量クラスの混走を行う場合のポイントは、それぞれのクラスの前選出走台数から適用する。
- 6) 国内ライセンスにて出場し優勝した場合は、国際ライセンスに昇格する権利を与えられる。

## 17 主催者の権限

- 1) 参加者申し込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。
- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピット・ガレージの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- 4) やむを得ない理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することができる。
- 5) すべての参加者、ライダー、ピットクルーおよびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。

## 18 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

本規則は1997年1月1日より適用される。

1997年1月1日  
エリア選手権  
大会事務局長



# ロードレースにおける 2次災害防止について

最近転倒後に後続車にひかれる2次的な事故が多発しております。

転倒、もしくは故障で停止したときに2次事故防止に十分に気を配って行動して下さい。

## 転倒、又は故障停止したら

### 2次災害防止を基本的に

転倒したら2次災害の防止。つまり、後続車にひかれる、あるいは後続車を転倒させる等、事故の増大を防止するよう心がけて下さい。

### まず逃げる

転倒したら、まず安全な所にできるだけ早く逃げて下さい。

特に、オイルによる転倒は、後続車も同じ所に次々と転倒してきます。

### 後続車への合図

ポストから黄旗が振られますが、できるかぎり後続車に知らせる努力をして下さい。タイミングを見て、電源と燃料コックをOFFにして火災やガス漏れの防止をして下さい。

### 障害物のかたづけ

オフィシャルと協力して散乱部品のかたづけを素早く行って下さい。オイルやガソリンがこぼれていたなら処理作業も素早く行って下さい。安全上、走ってくるレーサーに背中を向けないよう心がけて下さい。

### コース内はヘルメットを

自分が転倒した所は他のライダーも転倒しやすい場所です。いつ飛び込んで来るか分かりません。

ガードレールの外に出るまではヘルメットを被ったままで行動して下さい。コース内（グリーンも含む）にライダーがいる間は黄旗が振られ、追い越し禁止です。他のライダーを拘束しますので、出来るだけ早くコース外に退場して下さい。

### 転倒車両を見たら

転倒したマシンは、オイル、ガソリン等をこぼす可能性があります。

走行中に転倒車を目撃したら次の周には充分注意をして通過して下さい。

### 再スタート

マシンが再スタートが可能かどうかの確認をして下さい。

マシンの点検はコース内の危険な場所で行わないで下さい。オフィシャルの指示に従い安全な場所に移動して下さい。

- 1) オイル、ガソリン、冷却水、ブレーキオイル等の漏れがないか確認をして下さい。オイル漏れなどがあつた場合は、無理にピット帰還はしないで下さい。
- 2) 走行に危険のある部分の破損、重要保安部品の破損がないか、また破損部分が鋭利になり2次被害を与えないか確認して下さい。
- 3) カウリング内に泥、砂利、草等が入っていないかを確認し、またタイヤに泥が付着したままライン上に復帰してはいけません。後方の安全を充分に確認し余裕をもってコースに復帰して下さい。

# モータースポーツ情報はFAXに聞け!

## 身近なマルチメディア

## ハローFAX

レース結果表などの他、様々な情報が24時間いつでも好きな時に、手元のFAXで簡単に取り出せます!

# 0990-60-8602

ハローFAX Qネットセンター(通称:ハロQ)  
(利用料1分50円/平均利用約3分)

- ①FAXに接続の電話機から上記にダイヤルして下さい。  
※ダイヤル回線の方はダイヤル後、トーンに切替えて下さい。
- ②音声案内に従って、4ケタの番組No.と#をプッシュ!
- ③後は音声案内に従ってFAXのスタート、又は通信ボタンを押すだけで、簡単に希望の情報が取り出せます。

### 語句説明

1755#: タイスケ  
↑ ↑  
番組No. 月間スポーツ走行  
スケジュール表

※レース結果表は全てサーキット発行の公式結果表で、レース毎に更新されます。

### 富士スピードウェイ

1756#: 予選  
1757#: 決勝  
1755#: タイスケ  
0990-60-8602

### SUGOサーキット

1751#: 予選  
1752#: 決勝  
0990-60-8602

### 筑波サーキット

1761#: 予選  
1762#: 決勝  
0990-60-8602

### HSR九州サーキット

1741#: 予選  
1742#: 決勝  
0990-60-8602

切り取ってFAXに貼ってお使い下さい。

### TIサーキット・英田

1176#: 予選  
1177#: 決勝  
1171#: タイスケ  
0990-60-8602

### MINEサーキット

1731#: 予選  
1732#: 決勝  
1730#: タイスケ  
0990-60-8602

### SPA直入サーキット

1746#: 予選  
1747#: 決勝  
1745#: タイスケ  
0990-60-8602

番組No. 情報内容 【総合メニュー表: 番組No. 1000#】

- 1713# レースや練習の時にタイムやセッティングを記録するレーシングノート。コピーしてお使い下さい。
- 1714# スポンサー等にレースの結果を報告する時に使える報告書フォーマット。コピーしてお使い下さい。
- 1711# 市販のカッティングシートでレース用のゼッケンナンバー(0~9)を作る時の型紙です。
- 1701~1710# 希望のNo.の型紙だけ取り出せます。1ケタ目が数字に対応。例: 9 = 番組No. 1705#

上記以外にも有益情報が満載! 是非一度【総合メニュー表】をご覧ください。

## 年間レースカレンダー・ライセンス取得案内を無料提供中!

東京: 03-3847-8602 関西: 06-324-8602  
川崎: 044-455-0862 福岡: 092-662-8602  
大分: 0975-22-0975

番組No.	情報内容	番組No.	情報内容	番組No.	情報内容
1750#	SUGOサーキット	1760#	筑波サーキット	1755#	富士スピードウェイ
1171#	TIサーキット・英田	1730#	MINEサーキット	1740#	HSR九州サーキット
1745#	SPA直入サーキット	1700#	過去のレース結果表を蓄積! 希望レースをお選び下さい。		

他にもマル得情報が満載! 【総合メニュー表: 番組No. 1000#】

●ファクシミリ放送局 ハローFAX 事業本局 〒813 福岡市東区香椎駅前1-3-15 ☎092-662-8629 【情報提供者募集中!】  
※各種レースの主催者様、レース結果表のFAXサービスを実施してませんか? 無償で引き受けさせていただきますので、お問い合わせ下さい。

# FUJI INTERNATIONAL SPEEDWAY

FISCOは  
あなたのトライを  
待っている。



## '97年 FISCOロードレース開催スケジュール

開催日	タイトル ライセンス クラス	関東選手権				エリア選手権			FISCO選手権	
		GP125	GP250	SP250	SP400	GP125	GP250	SB	NK-N4M0	F・N
3月29日(土)	関東ロード選手権			◎	◎	○	○	○	●	●
5月10日(土)	関東ロード選手権	◎	◎			○	○	○	●	●
6月21日(土)・22日(日)	全日本選手権								● (耐久)	●
8月2日(土)	関東ロード選手権		◎	◎	◎	○	○	○	●	●
9月27日(土)	関東ロード選手権	◎	◎	◎	△ (耐久)			○	●	●

◎印は関東選手権ポイント対象 ○印はエリア選手権ポイント対象 ●印はFISCO選手権ポイント対象 △印はノンタイトル

### 体験走行のご案内

- ◇走行日 レース開催日・定休日を除く毎日昼12時より
- ◇料金 1回1台¥2,000(2輪・4輪共)
- ◇受付 当日、11時～12時まで、コントロールセンター1階
- ◇内容 ベースカー先導により、国際レーシングコース(1周4.447km)を2周

※ご自分の乗用車・オートバイで気軽にご参加ください。

### スポーツ走行ライセンス講習会のご案内

- ◇受付時間 : 9:00～10:00(当日FISCO教室で受付)
- ◇講習時間 : 10:00～12:30
- ◇必要なもの: ①受講料 18,000円  
②運転免許証(公安委員会)  
③印鑑  
④証明写真1枚(3cm×3cm)  
⑤筆記用具  
⑥血液型(各自調べておく)

※20才未満の方は所定の契約書に親権者の署名捺印が必要となります。

※ライセンスの問い合わせ TEL.0550-78-1233



富士スピードウェイ株式会社

■本社

〒100 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル5F)

TEL.03-3216-5611 FAX.03-3216-5619

■レース場

〒410-13 静岡県駿東郡小山町大御神

TEL.0550-78-1234 FAX.0550-78-0205

**BRIDGESTONE**



ダリツプ・ダリツプ・ダリツプ。



全国のサーキットの、さまざまなコーナーでそのグリップ力をいかに発揮している  
BT-90 RADIAL。  
そのグリップ性能の高さも、そのグリップ持続性も、  
すべては「V」のために。

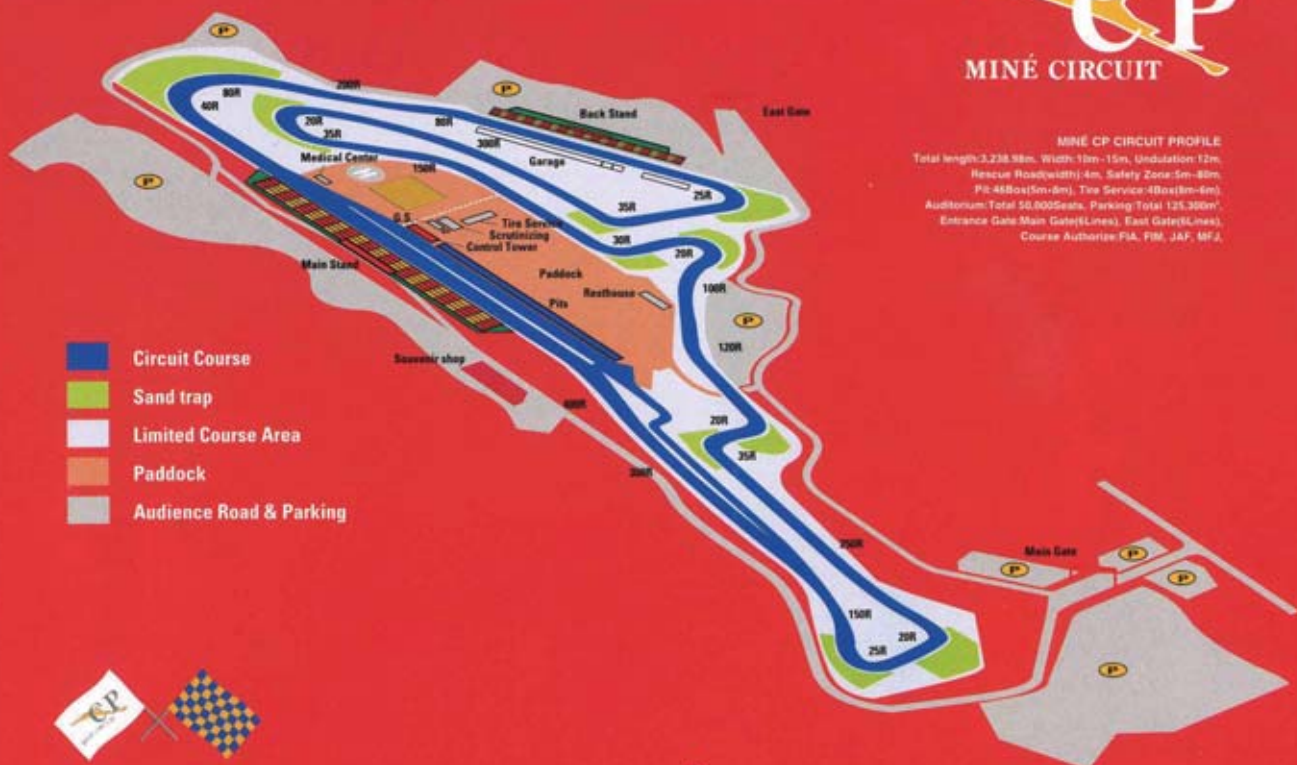
**RACE TYPE  
BT-90 RADIAL**

Front

Rear



**BATTLAX**  
from BRIDGESTONE MOTORSPORT



**MINÉ CP CIRCUIT PROFILE**  
 Total length: 3,238.98m, Width: 10m-15m, Undulation: 12m,  
 Rescue Road(width): 4m, Safety Zone: 5m-8m,  
 PE: 48Box(5m/2m), Tire Service: 4Box(8m-6m),  
 Auditorium: Total 50,000Seats, Parking: Total 125,000m<sup>2</sup>,  
 Entrance Gate: Main Gate(Lines), East Gate(Lines),  
 Course Authorize: FIA, FIM, JAF, MFA.



The 25th Anniversary

# MINÉ 1997

1997 CP MINÉサーキットロードレースカレンダー (暫定ですので変更になる場合があります)

開催日	レース名	承認競技						地方選手権				エリア選手権			
		L	F~INT	F~NAT	NAT		NAT		NAT		INT				
2/9	西日本ロードレース第1戦	S5	NK	5T	S80	GP125B	N250	SP250	SP400	GP125	GP250	GP125	GP250	SB	
3/9	西日本ロードレース第2戦(エリア1)		○			○		○	○			○			
4/6	西日本ロードレース第3戦				○			○	○			○			
6/1	西日本ロードレース第4戦(エリア2)							耐久	耐久			○	○	○	
6/29	西日本ロードレース第5戦		耐久												
7/27	承認ロード-MOTOBUS	耐久	○	○											
8/10	全日本ロードレース選手権第7戦					GP125	GP250	SB(全日本)	SP250(地方)						
9/28	西日本ロード選手権第6戦(エリア3)					○	○	○	○			○	○	○	
11/9	西日本ロード選手権第7戦		○					○	○			○	○	○	
12/7	西日本ロード選手権第8戦(エリア4)					○	○					○	○	○	

モータースポーツの歴史と共に25年  
 セントラルパークMINÉサーキットは  
 ミニバイクからスーパーバイクまで幅広くロードレースを応援します。

セントラルパークMINÉサーキット

〒759-21 山口県美祿市西厚保町 TEL:08375-8-0321 FAX:08375-8-0323

ロードスポーツマガジン

毎月1日発売!!



A4変形判  
定価  
(税込) **650円**  
全国書店・  
サーキットでどうぞ!

# CYCLE SOUNDS

「サイクルサウンズ」は  
ロードレースの  
総合誌です

SINCE  
1982

すべての悩めるライダーに贈る  
**神谷忠のレーシング  
スクールBOOK**

神谷 忠著 定価1500円

マシンの動きは物理の法則に縛られている。レースとは法則の限界に挑戦するスポーツだ。勝つライダーになるための、そして観戦時の着眼点をつかむための一冊。



**サーキットライディングを  
科学する** 和歌山利宏著 定価1800円

ライディングの本質とセッティングの真理を知れ! 走り方を科学的に考え、本質を捉えたセッティングを知っていただくための本。



**ケニー・ロバーツ  
ロードレーシングテクニック**

ケニー・ロバーツ著 定価2800円  
キミのテクニックに関する疑問はケニーがこの本で答えてくれる! テクニックからメンタル強化術  
タイヤ・マシンまで

TIサーキット英田はモータースポーツを愛するすべてのひとを、応援します。



走るために生まれてきた人がある。  
勝利するために生まれてきた人がある。  
TIサーキット英田は、モータースポーツを愛する人々に、  
最高のコンディションのコースと、最大級の声援を送り続けます。

# Run!

もっと、もっと速く、そして力強く。

## ●'97TIロードレース選手権シリーズカレンダー

大会名称	開催日	開催クラス										出場申込期間
		承認競技会				公認競技会						
		F-NK	N250	S80	MH80	地方選手権			エリア選手権			
				SP250	SP400	GP125①	GP125②	GP250	GP125	GP250		
TIロードレース選手権 第1戦	2月16日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1月7日(火)~1月14日(火)
TIロードレース選手権 第2戦	3月23日	○					○	○	○	○	○	2月18日(火)~2月25日(火)
TIロードレース選手権 第3戦	4月27日		○					○	○	○	○	3月25日(火)~4月1日(火)
TIロードレース選手権 第4戦	5月25日			○	○		○	○				4月22日(火)~4月30日(水)
TIロードレース選手権 第5戦	7月13日					○	○		○	○	○	6月10日(火)~6月17日(火)
TIロードレース選手権 第6戦	8月10日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7月8日(火)~7月15日(火)
TIロードレース選手権 第7戦	9月14日	○				○	○		○	○	○	8月12日(火)~8月19日(火)
TIロードレース選手権 第8戦	10月5日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月2日(火)~9月9日(火)
TIロードレース選手権 第9戦	11月23日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10月21日(火)~10月28日(火)
開催数		5	5	5	5	6	6	6	6	5	5	

※ 全日本ロードレース 10月18日~19日(スーパーバイク・GP250・GP125)

### ●ARC入会のご案内

ARC(アイダレーシングクラブ)では、モータースポーツへの参加を希望するすべての方を対象とし、楽しくTIサーキット英田でのスポーツ走行をしていただくクラブです。

#### 入会資格

自動2輪小型運転免許取得者以上もしくは、MFJロードレース競技ライセンス取得者  
※未成年の方は親権者の承諾が必要  
※ジュニアライセンスをご希望の方もお気軽にお問合せ下さい

#### 講習会スケジュール

基本的に毎日開講しておりますのでご希望の日程をあらかじめお電話にてご予約下さい。当日のスケジュールは講義、実技走行の約半日となります

#### 当日ご用意していただく物

- 入会費用 50,000円(税別)
- 運転免許証
- 競技ライセンス
- 印鑑
- 顔写真 2枚
- 実技走行に必要な車両
- 皮ツナギ、ヘルメット、ブーツ、グローブ

### ●交通のご案内

- JR山陽新幹線岡山駅より車で約80分
- JR山陽本線吉永駅より約18km
- 中国自動車道美作ICより約25km
- 山陽自動車道と気ICより約25km



### ●お問合せ・お申込先

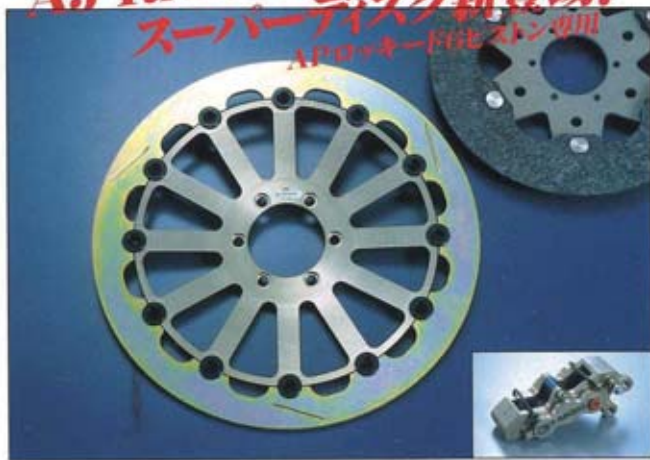
## TI Circuit AIDA

〒701-26 岡山県英田郡英田町滝宮1210 TEL 08687-4-3311

### 全品15%引きのAJカードご入会下さい。

初回の申し込みから15%引きOKです。詳しくは下記をご覧ください。

## AJ-RACING スーパーディスク新登場!



- APロッキード6ピストンキャリパー専用320φフローティングディスク
- |                         |                                |
|-------------------------|--------------------------------|
| GSX-R750 (91-) ¥78,000  | RC-30, CB1000SF ¥76,000        |
| GPZ900R~A7 ¥76,000      | ゼファー750, ZXR750 ¥76,000        |
| FZR1000, YZF750 ¥72,000 | DUCATI 900SS, 851, 888 ¥72,000 |

GP500クラスで多くのライダー達の信頼を得ているAP6ピストンキャリパーと専用パッドは、高い摩擦係数を示し、とても優れたストップングパワーを発揮します。しかし、その高摩擦ゆえにディスクローターは高い熱を発生します。もし他社のディスクローターを使用すると寿命はぐんと短くなり、やがてクラックが入り割れてしまいます。AJのブレーキローターはAPロッキード6ピストンキャリパー専用開発しました。又、AP社の8ピン支持より更に精度の高い12ピン支持にグレードアップし、ローターの安定度と信頼性がぐんと増しました。

キャリパー&Fマスターシリンダーは同価格でチタンボルト仕様があります。

### AP RACING PRICE LIST

- 6ピストン削り出し2ピースキャリパー  
CP4466-2/3EO プレンボウチ(R-L) ¥69,800  
CP4477-2/3EO ニッソウチ(R-L) ¥98,600  
※パッド別売

- マスターシリンダー(ブレーキ&クラッチ)  
CP4125-2 プル別体式 ¥68,000

- リザーバータンク・ラバーホース  
JBFJBA008A 別体式用オイルタンク ¥2,200  
9206-2400 別体式用30cm ¥800

- ブレーキフルード  
CP2874 AP RACING 550 (500ml) ¥1,800  
CP3600 AP RACING 600 (500ml) ¥2,600

- ラバーグリス  
LPK102 オーバーホール用グリス(10g) ¥300

- オイルプレッシャー  
STOPランプスイッチ  
(BJタイプ・Sボルトタイプ) ¥8,200



- ブレーキパッド  
CP3666D22-RCA3 6pot用 ¥7,800  
CP3666D22-5193 6pot用 ¥12,000

- ◆スーパースポーツ用 ¥4,000~¥4,800  
NSR50/80/250, TZR50/250, CBR250RR, CB400/1000SF, XJR400, GSX-IMPULSE, FZR250R, RG250F, ZXR400, ZXR400, GSX-R400R, ZEPHYR400/1100, 他

- ◆オンロードレース用(RR) ¥6,000~¥7,800  
RS125/250, T2250, NSR250R, TZR250R, NC-30, RC-30, RC-45, OW-01, RG250F, ZXR400R, YZF750SP, GSX-R750SP, 他

- ◆オフロードレース用(E) ¥4,800  
CR125/250R, XR200/250R, CRM250R, YZ125/250, WR250R, SERROW 225/W, RMX250, KX125/250, KDX250R, 他

## mansson TITANIUM

MADE IN USA (材質:6AL-4V)

### MANSSONテクノロジー 高品質チタンボルト

#### ◆キャリパーボルトセット

- APロッキード CP4466 (6ピストン) (4本) ¥5,160  
# CP3769/CP3969 (4本) ¥5,700  
# CP3369/CP3385/CP3386 (4本) ¥5,560  
プレンボ レーシングタイプ (8本) ¥10,320  
# キャストタイプ/ヤマハタイプ (8本) ¥10,560

#### ◆ブレーキ&クラッチマスターボルトセット

- テーパーノケットタイプ (2本) ¥1,900  
フランジタイプ (2本) ¥1,900  
プレンボ・ロッキードマスター用 (2本) ¥1,900

#### ◆キャリパーマウントボルトセット

- ZZ-R1100-400/ZXR400/ZEPHYR1100 (4本) ¥8,600  
XJR1200-400/TRX850/GSXR1100-W (4本) ¥8,120  
CBR900RR (4本) ¥6,480  
CB1000SF/CB400SF (4本) ¥6,800  
GPZ900R/GPZ750R/ZX-9R (4本) ¥7,640  
ZEPHYR400 (4本) ¥7,400  
DUCATI 916/748 (4本) ¥6,920  
DUCATI 900SS/900SL/M900 (4本) ¥10,040

#### ◆ブレーキローターボルトセット

- YAMAHA ALL MODEL (F) (12本) ¥15,600  
DUCATI 900SS-SL/M900 (12本) ¥15,600  
CB1000SF (R)/CBR900RR (R) (6本) ¥8,880  
CB1000SF (F)/CBR900RR (F) (12本) ¥12,720  
CB400SF (F-R) (12本) ¥12,720  
SUZUKI ALL MODEL (F) (10本) ¥16,000  
KAWASAKI ALL MODEL (F-R) (10本) ¥17,800

#### ■チタンボルト各種 (各サイズ有ります)



- ヘックスフランジボルト ¥850~¥12,370  
M6~M12 P1.0~1.50 10mm~285mm
- テーパーノケットボルト ¥750~¥3,980  
M5~M12 P0.8~1.50 8mm~240mm
- フラットヘッドボルト ¥950~¥1,260  
M5~M8 P0.8~1.25 12mm~30mm
- ボタンヘッドボルト ¥790~¥1,600  
M4~M10 P0.7~1.25 10mm~50mm
- フランジナット ¥920~¥2,800  
M6~M12 P1.0~1.25

#### ■チタンスペシャルボルト



- ドレインプラグ (オリング仕様)  
ホンダ/カワサキ/ドカティ ¥4,450  
ヤマハ ¥3,450
- キャリパーマウントボルト (中空タイプ)  
M10×P1.25~1.50×25mm~35mm ¥3,600~¥4,200
- チタンアクスルシャフト  
DUCATI 916 フロント ¥51,900 シングアーム ¥52,900  
バリエーションSET ¥45,900 ショックピット ¥13,900  
DUCATI 888/M フロント ¥39,900  
CBR900 フロント/リア ¥51,900 シングアーム ¥52,900  
NC-30 フロント/リア ¥7,000

## BRAKE LINE PARTS



- バンジョアダプター  
首振り角度が自由に調整出来ます。

- AJ-JLSチタン#3オレンジコーティングブレーキホースセット  
チタン Wディスク ¥34,000 シングル ¥19,000
- AJグッドリッチ#2ステンレスメッシュブレーキホースセット  
アルミ Wディスク ¥28,500 シングル ¥15,600
- AJアールズ#3ブラックコーティングブレーキホースセット  
アルミ Wディスク ¥19,000 シングル ¥10,000
- AJアールズ#3クリアコーティングブレーキホースセット  
アルミ Wディスク ¥16,000 シングル ¥9,000  
(セット内容: Bオイル, アルミンジューボルト, アルミワッシャー, タイラップ付)  
※アールズ#3ホースセットはBJアダプター仕様(写真①)  
※アンチタイプ付きは価格をお問合せ下さい。



- チタンバンジョーボルト  
シングル ¥1,800 ダブル ¥2,000

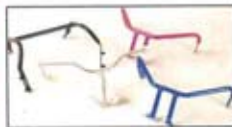


- ブレーキエア抜きキット ¥6,000

## LOCKHART PHILLIPS USA



- アルミレーシングステップ  
(アルマイト加工・2本セット)  
フロント・タンダム 各 ¥8,600  
CBR600F2/3, VFR750, CBR900, CBR1000, ZXR750, ZX-11C/D, ZX-9R, RF400/900R, YZF750, GSXR750/1100, FZR400/1000  
色: ゴールド/ブルー/シルバー/ブルー/レッド



- アルミカウリングステー  
CBR900R, ZXR400/750, ZX-9R, GSXR750, FZR400, YZF600  
(アルマイト加工) ¥12,000



- セッティング  
ガソリンタンク ¥8,800



- ワobbleフラッシュキャップ  
7.9φ 9.2φ (ストップバルブ付) ¥2,500



- ステンレス  
ワイヤー ¥2,500

販売店募集 販販致します。新規の方もご遠慮なくご連絡下さい。

通信販売

価格に消費税3%を加算の上、代金引替または現金書留でお申し込み下さい。1万円以上は送料無料。1万円以下は送料¥1,000。



AJカード会員募集!

### エージェーUC/マスターカード新登場!!

エージェーの取り扱い商品は表示価格の15%割引価格で購入出来ます。しかも20回までの分割払いもOK。エージェーの取り扱い商品全てに有効です。絶対お得です。通帳のお申込の時に同時にカードをお申込ください。初回より表示価格の15%割引で購入出来ます。詳しくはTELにてお問合せ下さい。(一部割引出来ない商品もございます)

### (株)エージェー

〒259-11  
神奈川県伊勢原市伊勢原1-12-28  
TEL. 0463-92-3793  
FAX. 0463-91-1347  
(注) 表示価格が変更される場合もありませんのでご確認ください。





# 『モスラ倶楽部』

那須モータースポーツランド

ただ今会員募集中!

那須モータースポーツランドでは、モータースポーツ愛好者を対象により気軽に当施設をご利用頂くのが目的です。ご参加ください。モスラ倶楽部(那須モータースポーツランド倶楽部)です。会員になってモーターサイクルスポーツをさらに堪能して下さい。



二輪のサーキット走行を  
手軽に楽しみたい方

自動二輪運転免許証の取得者

サーキットライセンス講習

## FRIENDLY CLASS

### フレンドリークラス

手軽に楽しくサーキットランを楽しみたい方のためのクラス。サーキット走行そのものを楽しみたい方のライセンスです。MFJの競技ライセンスは不要。マシン規定は、50cc以上のナンバー付きノーマル車両。ただし、50ccは一部改造可。

MFJ公認・承認レースを  
前提に走行したい方

自動二輪運転免許証の取得者

サーキットライセンス講習

## OPEN CLASS

### オープンクラス

MFJ公認・承認レースの参加を前提とした方のためのライセンス。MFJのフレッシュマン/国内ライセンス取得資格が得られます。マシン規定は、50cc以上のサーキット仕様車、レーサー、S P等。100cc以下はフルチェーニングのレーサーに限りません。

## モスラ倶楽部 ご入会の方法

入会にはライセンス講習が必要です。講習は不定期に開催しています。日程をお問い合わせの上、ご予約下さい。

■講習会(講習には下記のものが必要です)

- 入会申込書/ライセンス講習申込書
- モスラ倶楽部年会費/ライセンス講習料
- 本人写真(2.5×3cm 2枚)
- 自動二輪運転免許証(免許停止中は不可)
- 筆記用具/印鑑/健康保険証
- ※20歳未満の方は、  
1.親権者の承諾書(実印及び署名)  
2.承認者の印鑑証明

■実技講習(実技の講習には以下のものが必要です)

- 完全に整備されたマシン(スクーター、ファミリーバイクは除く)
- フルフェイスヘルメット、皮革製のライディングスーツ、グローブ、ブーツ(安全規格に適合したもの)

オープンクラスで、MFJの競技ライセンスを取得することができます。詳しくは『モスラ倶楽部』まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

スポーツライディングを楽しみたい。  
テクニックを極めたい。  
『那須モータースポーツランド』  
初心者から上級者まで  
誰でも利用できる

# 那須で確認 自分の走り

『那須モータースポーツランド』では自然とのふれあいを、そして走る喜びを提供するとともに、さまざまなイベントも予定しております。テクニックの向上に、また、交友の場として皆様のご来場、ご利用をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

■コース概要

全長	1,120m
幅員	7.5~12m
最大直線長	281m/スタンド前直線174m
曲線半径	最小15R/最大125R
走路面	特殊アスファルト舗装
セクション	最小3m/最大30m
ピット	12区画
監視ポスト	9ヶ所(監視モニター5台)
施設面積	約24,000坪
付属設備	コントロールタワー(3F) 自動タイム計測システム(60台対応)



## 1997年度那須ロードレース選手権シリーズ・レースカレンダー

開催日	那須ロードレース選手権												
	関東ロードレース選手権			ノーマル250ワンメイク				那須スーパースピリッツ		那須ロードレース選手権			
	GP125	SP125	S80	GP250	NS250R	NSR	TZR	RGV-1	GP80	MP12	SP50	SP12F	SP25R
3月2日													
4月6日	●	●	●										
5月5日													
6月22日												☆	☆
8月10日	●	●	●										
9月17日												☆	☆
11月22日													

※那須シリーズ全てのクラスに那須シリーズポイントがつきます。  
 ※関東ロードレース選手権は、該当クラスにポイントがつきます。  
 ※N250選走は、ノーマル250の車両規定に準ずる車両の選走とする。  
 ※スケジュールは変更される場合があります。  
 ○印⇒那須選手権シリーズ  
 ●印⇒関東選手権シリーズ+那須選手権  
 ◎印⇒那須選手権シリーズ+ノーマル250レース  
 ☆印⇒ノーマル250レースの車両規定に準ずる車両の選走レースとする。

## オフィシャル募集中!

那須モータースポーツランドでは、ただ今オフィシャル・スタッフを募集中です。詳しくは当サーキットまでご連絡下さい。

**NASU MOTOR SPORTS LAND**  
**那須モータースポーツランド**  
 〒325 栃木県黒磯市寺子字坂の上677  
 TEL.0287-63-7300  
 FAX.0287-63-7301

大地はボクラらのフィールド

宙を舞う大迫力

空気がうまい林道ツーリング

自然と遊ぶ

OFF-ROAD BIKE 体験マガジン 月刊ガレリ

**GARRRY**

New Excellent Off-Road Bike Magazine

毎月6日発売 ●A4変型判 / 定価480円(税込)

実業之日本社

〒104 東京都中央区銀座1-3-9  
TEL. 03-3535-4441

モトクロス

# MOTO CROSS

## ▼細則4 モトクロス競技細則

1. 適用の範囲	84
2. モトクロス	84
3. コースの仕様	84
4. レース中の公式シグナル (合図)	84
5. 出場車両	84
6. MFJ公認車両・公認部品	85
7. ライダーの装備	85
8. 参加資格	85
9. 出場申し込み	85
10. 参加受理	85
11. 公式通知・タイムスケジュール	86
12. 参加定員	86
13. ゼッケンナンバー	86
14. 燃料およびオイル	86
15. 出場受付	86
16. 車両検査	86
17. ライダーの変更	87
18. 車両の変更	87
19. 部品の変更	87
20. フリープラクティスおよび公式練習	87
21. ビットおよびサインエリア	87
22. 公式予選	87
23. 決勝レース出場台数	88
24. スタート位置の決定方法	88
25. ウォーミングアップ	88
26. レース	88
27. レースの終了	89
28. 優勝者、入賞者、完走者および得点	89
29. 入賞車両の検査	89
30. レースおよび大会の延期、中止等	89
31. 抗議	89
32. レース中の違反行為に対する罰則	90
33. 本規則の解釈	90
34. 本規則の施行	90

## ▼細則5 '97全日本選手権大会特別規則

1. 公 示	91
2. 競技会開催日程等	91
3. 運営・実行組織	91
4. 開催部門・クラス	91
5. 参加資格	92
6. 出場申し込み	92
7. 出場料および共済会掛金	92
8. 参加受理	92
9. 競技内容	92
10. 賞および得点	93
11. 出場車両	93
12. ゼッケンナンバー	93
13. ガソリンおよびオイル	94
14. 車両検査	94
15. 車両の変更	94
16. フリープラクティスおよび公式練習	95
17. 決勝レース出場資格	95
18. スタート	95
19. レース	96
20. 入賞車両の検査	96
21. 総合順位の決定方法	96
22. 抗議	96
23. 本規則の解釈	96
24. 本規則の施行	96
'97全日本モトクロス選手権開催日程	97

※'97年度の規則変更点は太字で示されています。

## 細則 4

# モトクロス 競技細則

### 1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則に基づきすべての国内のモトクロス競技会に適用される。(世界選手権は除く)

### 2 モトクロス

モトクロスとは、走路面に凹凸、急勾配、走路方向が急変するような地形のところで行われるクロス・カントリーレースである。国内競技規則および本細則により管理される。

### 3 コースの仕様

コースの長さは1周1km以上、2km以下とし、その幅は少なくとも追い越し可能なゆとりを持たせなければならない。また、コース等は、別に定めるモトクロス会場に関する規則に準拠し、適切なレーシングコンディションと安全性とが確保されていなくてはならない。

### 4 レース中の公式シグナル(合図)

- 1) 公式シグナル(合図)は、約750mm×600mm寸法の旗を使用し、次のように与えるものとする。

シグナル	意味
赤旗	全員走行停止
黒旗とゼッケンを記したボード	当該ライダーは走行停止
黄旗(静止)	危険予告
黄旗(振動)	徐行、安全確認、追い越し禁止
青旗	警告、ラップされようとしている
緑旗	先に出した合図の解除、コースクリア
白黒チェッカー旗	レース終了

- 2) 競技内容が示されている規定の時間を経過した後、トップのライダーがゴールを通過した時点から、残りの周回数を示すボードが提示される。

### 5 出場車両

車両は、国内競技規則・第3章 [⑫出場車両] (33頁)の限度を充たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

尚、改造されて型式(モデル)が判別できないような車両は競技会に出場することはできない。

## 6 MFJ 公認車両・公認部品

MFJ 公認車両及び公認部品は、国内競技規則・第3章 [③MFJ 公認車両および公認部品・用品] (33頁) を参照。

## 7 ライダーの装備

### 1) ヘルメット

- (1) ヘルメットはジェット型かフルフェイス型のもので、MFJ が公認したものでなくてはならない。
- (2) MFJ の公認したヘルメットには、公認マークが貼付されている。
- (3) 競技会の車両検査時にヘルメットの検査が行われ、検査に合格しなかったヘルメットは、MFJ の公認したヘルメットであっても当該ライダーの安全上、その使用を禁止される。
- (4) MFJ 公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査を受け、公認ヘルメットと判明した時点で、公認シールが貼付される。その際、特別検査料 (1,000円) を支払わなければならない。



### 2) ゴーグル

ガラスを用いたゴーグルの使用は一切禁止される。枠は柔軟な素材を使用したもので転倒時等による衝撃を受けた場合でも危険でないものでなくてはならない。

### 3) ライダーの服装

- (1) 服装は、レース中ライダーの身体の安全を確保し、車両の操縦を防げるものであってはならない。
- (2) 耐火性で溶けない素材の丈夫な生地で自由な動作を妨げない長袖のジャージを着用しなくてはならない。
- (3) 突出部分のない革、または革と同等以上の性能を持つ手袋及びブーツを着用しなければならない。
- (4) ライダーは競技会中、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。

## 8 参加資格

参加者及びライダーは、国内競技規則・第3章 [⑨競技参加者] (31頁参照) に合致していなければならない。

## 9 出場申し込み

- 1) 出場申し込み場所および期間は、大会特別規則の定めるところのものとする。
- 2) 出場申し込み手続き
  - (1) 各部門とも所定の申し込み書に必要事項をすべて記入し、出場料及び MFJ 共済会掛け金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
  - (2) 2クラス以上に出場を申し込み場合でも、申込書は1枚でよい。ただし、2クラス以上出場に必要な事項をすべて記入すること。もし記入漏れのあった場合、申し込みを拒否される場合がある。
  - (3) 郵送の場合は現金書留を使用し、締切日当日の消印のあるものまでが有効となる。
  - (4) 締切日以降の申し込み及び電話・FAX 等の申し込みは一切受けつけない。

## 10 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書、及び所定の金額を大会事務局が受理したもののみ、

参加受理書が発送される。

- 2) 大会が中止された場合、また参加者が何らかの理由によって拒否された場合、(申込者が必要な手続きを怠った場合はこれに当てはまらない)にのみ出場料、共済会掛金が返却される。
- 3) いったん受理された出場料・共済会掛金は、上記2)及び細則4 [㊸レースおよび大会の延期、中止等] (89頁)の場合を除き、いかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。

### 11 公式通知・タイムスケジュール

公式通知及びタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切後に通知される。

### 12 参加定員

定員は定めない。

### 13 ゼッケンナンバー

- 1) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体及び色で記入しなければならない。(22頁参照)
- 2) 年間指定ゼッケンナンバーを与えられているライダーは、ヘルメットの両側にゼッケンナンバーを記入しなければならない。
- 3) ゼッケンナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。  
ゼッケンの修正を要求された場合、速やかに修正を行い、再度車両検査を受けなければならない。
- 4) レース中、ナンバープレートや配布されたゼッケン及びヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合は、また、間違ったゼッケンナンバーを装着して走行した場合は、その周回数は記録されない。
- 5) 雨天の場合、すべてのライダーは、競技監督の指示によりヘルメットの両側面または後頭部部分にゼッケンナンバーを記さなければならない。

### 14 燃料およびオイル

- 1) ガソリンは無鉛ガソリンに制限されている (AV ガス、航空機用燃料等は使用できない)。ガソリン及びオイルに関する詳細は国内競技規則・第3章 [㊸燃料およびオイル] (33頁) 及びMFJ 技術規則第7章、ガソリン・オイル・クーラント (137頁) による。
- 2) ガソリンの銘柄及びその詳細が主催者によって指定された場合は、当該指定ガソリンを使用しなければならない。
- 3) ガソリンの運搬については、消防法第16条の規定に従った方法で行わなければならない。

### 15 出場受付

- 1) 出場受付の時間及び場所は、公式通知によって示される。
- 2) 定められた時間内に、必ずライダー本人または当該ライダーのメカニックがMFJライセンス、参加受理書を提示して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

### 16 車両検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されるタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区

域において行われる。

- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人又は当該ライダーのメカニックが車両仕様書とともに持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。規定時間以外の車両検査は、競技監督が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行わない。
- 3) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判定された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 4) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査を行うことができる。

## 17 ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。

## 18 車両の変更

登録された車両の変更は原則として認められない。変更する必要がある場合は、所定の書式に従って変更申請を行い、競技監督が認めた場合に限り認められる。(国内競技規則第3章⑮競技出場の申し込み、⑰ライダーおよび車両の変更(33~34頁)参照)

- 1) エントリー車両と、車検を受ける車両の変更  
参加受理書発送後エントリー用紙記入車両に変更がある場合、選手受付時に車両変更手続きをしなければならない。
- 2) 車検終了後の車両変更  
車検終了後の変更は、大会事務局にて車両変更手続きをしなければならない。
- 3) 車両変更は同部門、同クラス間の変更のみ許可される。車両変更手数料は5,000円とする。

## 19 部品の変更

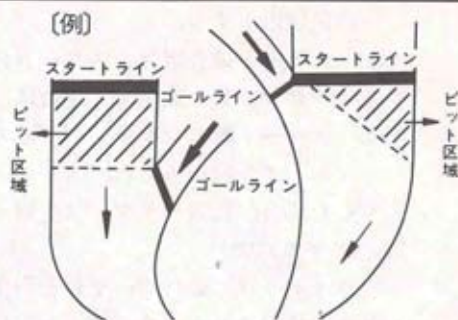
フレーム、クランクケース、サイレンサーの変更は原則として認められない。ただし、交換のためにあらかじめ検査を受けたサイレンサーは除く。フレームの変更、クランクケースの変更は、車両の変更とみなされる。

## 20 フリープラクティスおよび公式練習

ライダーは、安全確保のためにも主催者が設けた(フリープラクティス)公式練習に参加しなければならない。

## 21 ピットおよびサインエリア

ピット及びサインエリアは主催者により指定される。特に指定のない場合のピットエリアは、スタートラインからゴールラインまでの、周回走行にさしかかえないコースサイドまたはコース上である。ピットクルーはサインエリアの区分を厳守しなければならない。



## 22 公式予選

各クラスの出場申し込み台数が、決勝レース出場台数を越えた場合、決勝進出者決定のために

公式予選が行われる。

- 1) 公式予選の内容
  - (1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
  - (2) 公式予選の日程は、特別規則に示される。
  - (3) 公式予選は原則として大会公示に示される周回数のレースによって行われる。

### 23 決勝レース出場台数

決勝レース出場台数は原則として30台とするが、各サーキットごとに定められ公式通知に示される。

### 24 スタート位置の決定方法

スタート位置の決定方法は、大会特別規則もしくは公式通知に示される。

一度スタート位置を選択し、グリッドに着いたものはそのスタート位置を変更することはできない。

### 25 ウォーミングアップ

- 1) エンジンのウォーミングアップは主催者により指定された場所及び時間帯に限られる。
- 2) ウォーミングアップ以降、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。

### 26 レース

- 1) スタートまでの行動
  - (1) ライダーは、特別規則に定められたタイムスケジュールを厳守しなければならない。
  - (2) ライダーは、スタート前チェックの後車両とともに指定区域内に待機していなければならない。
- 2) スタート
  - (1) スタートの方法については、原則として各部門ともスターティングマシンを使用したエンジンランニングスタートとする。ただしスターティングマシンを使用しない場合は、必ずヘルメット上部に左手をあてて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
  - (2) スタート位置は、すべて正規のスタート・ラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは、一切考慮されない。
  - (3) スターティングマシンが使用される場合は、車両の位置はスターティングマシンの後方の区域内とする。
  - (4) スタートの合図は、スタート係の合図（国旗等）によって行われる。ただし、スターティングマシンを使用する場合は、この限りでない。
  - (5) スタート時にフライングが認められた場合は、スタートライン前方（第1コーナー付近）において赤旗が張られ、スタートをやり直す。ただし、同一ライダーが再びフライングをした場合、当該ライダーは失格となる。
- 3) コースアウト  
ライダーは、走行中、やむを得ず定められたコースを外れ、再びコースに戻る場合には、外れた地点よりコースに進入しなければならない。
- 4) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックの数は、2名以内に限定される。
- 5) レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンバーが外れた場合、または破損し



た場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗及びゼッケンを記したボードが提示される。提示されたライダーは速やかにピットインし、修理の後、当該競技役員の許可を得て、再出走が認められる。

## 27 レース終了

レース終了は、優勝者の完走後、チェッカー旗が振られ、マーシャルが定位置を離れるか、またはマーシャルがコースを一巡することによって示される。

## 28 優勝者、入賞者、完走者および得点

- 1) 優勝者  
優勝者は、定められた周回数またはレース時間プラス2周を最短時間で完走したライダーとする。
- 2) 入賞者及び順位の優先順位  
入賞者及び入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合は、ゴールラインの通過順位による。
- 3) その他の順位の優先順序  
周回数の多いものを優先する。同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。
- 4) 完走者
  - (1) 優勝者の75% (少数点以下は切り捨てる) 以上の周回数を完了したライダーを完走者とする。
  - (2) レース途中でリタイヤしたライダーも完走周回数を完了している場合は、完走者とみなされる。
- 5) 得点
  - (1) 得点は国内競技規則・第3章 [㊸公式得点(ポイント)] (35頁) によって得点が与えられる。
  - (2) オープンクラスに関しては、自動昇格得点対象外とする。

## 29 入賞車両の検査

- 1) レース終了後、入賞車両は直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車両は、必要に応じて車両重量及び音量が測定され、規定を満たしていない車両の当該ライダーは失格となる。

## 30 レースおよび大会の延期、中止等

- 1) 大会審査委員会が、特別な理由によってレースを中止しなければならないと判断した場合に限り、レースを中止することができる。
- 2) すべての大会関係者は、大会審査委員会の決定に従わなければならない。
- 3) 特にやむを得ぬ理由によって、トップ走者がそのレースに決められた周回数(または時間)の75%を完走しないうちにレースを打ち切った場合、そのレースは無効となる。
- 4) トップ走者が決められた周回数(または時間)の75%以上の完走した時点でレースを打ち切った場合、大会審査委員会はそのレースの判定結果に条件を付けて発表する。
- 5) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料は返却されるが、他のいかなる損害賠償を主催者に請求することはできない。公式予選終了後の中止については、決勝進出者のみ出場料が返却される。

## 31 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章 [㉞抗議] (37頁) による。
- 2) 抗議は、暫定結果発表後30分以内（全日本選手権では20分以内）に当該ライダーおよびエントラント代表者だけが行うことができる。
- 3) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合は、抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に用じた費用は車検長が算定する。
- 4) 車両の分解検査に立ち合う者は、車検長及び抗議を受けた当事者のみとする。

## 32 レース中の違反行為に対する罰則

レース中の違反行為については、競技監督並びに大会審査委員会がその権限において下記の罰則を課することができる。

- 1) 失格
  - (1) 故意に走路を妨害した場合。
  - (2) レース中に他の援助を受けた場合。
  - (3) コースを逆走した場合。
  - (4) 示された合図旗に従わなかった場合。
  - (5) 1度コース外に出て、明らかに自分に有利となる所より再びコースに復帰したと判断された場合、1周減算または失格とする。
  - (6) フライングを2度繰り返した場合。
- 2) 1周減算
  - (1) ウォーミングアップ中止後、競技役員の許可なくエンジンを始動させた場合。
  - (2) 上記1)失格(5)の場合。

その他、競技規則に対する罰則は、国内競技規則・第3章 [㉞違反行為に対する罰則] (38頁) による。

## 33 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

## 34 本規則の施行

本規則は、1997年1月1日より有効とする。

## 細則 5

# '97全日本 モトクロス選手権大会 特別規則

### 1 公 示

全日本モトクロス選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則、モトクロス競技細則と、全日本選手権シリーズを通じて共通した項目をまとめた本特別規則と、各大会の特別規則に基づき開催される。

### 2 競技会開催日程等

- 1) レースウィークの日程  
月～木曜日：占有走行は禁止される。スポーツ走行は開催されてもよい。  
金 曜 日：すべての練習走行は禁止される。  
土～日曜日：競技会日
- 2) 競技会の日程は巻末に示す（97頁参照）。

### 3 運営・実行組織

大会運営・実行組織は、公式プログラムまたは公式通知に示される。

### 4 開催部門・クラス

- 1) 全日本選手権シリーズの開催部門、クラス区分は次のとおりとする。

部 門	国際B級	国際A級
クラス	125cc・250cc	125cc・250cc

- 2) 全日本選手権は原則として国際B級及び国際A級の2部門にて開催されるが、事前に選抜されたものによる2クラスまでのレースを併催することができる。ただし、そのレースは土曜日に開催しなければならない。エキジビションレースは日曜日に全日本選手権クラスに影響しない範囲にて開催することが認められる。
- 3) 国際A級部門は、125ccクラスと250ccクラスを開催し、各クラスの選手指定は下記のとおり行う。
  - (1) 125ccクラス
    - ① 前年の全日本選手権国際A級125ccクラスにおいて、年間シリーズランキング16位以下の者。ただし、16位～20位の者は、250ccクラスを選択することができる（MFJ事務局への申請が必要）。
    - ② 前年の全日本選手権国際A級250ccクラスにおいて、得点を得られなかった者。
    - ③ 国際B級からの昇格者。ただし、前年度総合ランキングの上位3名までは、250ccクラスを選択することができる。（MFJ事務局への申請が必要）

- ④ 前年の全日本選手権国際A級125ccクラスにおいて、年間シリーズランキング4位～15位の者で、身体的理由（当該年度31歳以上になる、または身長が165cm以下）により125ccクラスへの申請を提出し、認められた者。

(2) 250ccクラス

- ① 前年の全日本選手権国際A級250ccクラスにおいて、得点を得た者。ただし5ポイント以下の者は125ccクラスを選択することができる。（MFJ事務局への申請が必要）
- ② 前年の全日本選手権国際A級250ccクラスにおいて、得点を得られなかったが250ccクラスへの申請を提出し、認められた者。
- ③ 前年の全日本選手権国際A級125ccクラスにおいて、年間シリーズランキング15位以上の者。
- ④ その他スポーツ委員会が特に認めた者。

※各クラス指定の申請手続きは、当該年の12月31日までにおこなうこと。

## 5 参加資格

1) 参加者及びライダー

参加者及びライダーは、国内競技規則・第3章 [⑨競技参加者] (31頁) に合致していなければならない。

2) 日本グランプリ大会の参加資格

国際A級・国際B級の各クラスともフリーエントリーとする。

## 6 出場申し込み

- 1) 競技会への出場申し込みは主催者が準備した用紙の記載事項のすべてを記入し、競技規則を厳守することを誓約しなくてはならない。（エントリー時点で当該ライセンスを取得していること。）

- 2) 申込期間、申込先などの詳細は97ページ参照。

3) ピットクルーの登録

- (1) 出場申込後に、ピットクルーの追加は一切できない。但し大会当日の出場受付時間内に、他のピットクルーライセンス所持者と変更することはできる（変更手数料が必要）
- (2) ひとりのピットクルーを、複数のライダーに登録することはできない。
- (3) 参加ライダー本人を自分のピットクルーとして登録することはできない。（但し作業はできる）

## 7 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料およびMFJ共済会掛金は、以下の通りである。

	総額	内訳	
		出場料	共済会掛金
1 クラス	12,000円	10,500円	1,500円
2 クラス(Wエントリー)	20,000円	18,500円	1,500円

## 8 参加受理

モトクロス競技細則 [⑩参加受理] (85頁参照)。

## 9 競技内容

- 1) 公式予選

公式予選の有無、周回数、予選組分け、その他の詳細は公式通知、またはプログラムに示される。

- 2) ラストチャンスレース (国際A級・国際B級に適用)
 

下記規定に則り、ラストチャンスレースが開催される。

  - ① 公式予選総出場台数が決勝出走台数を越えた場合に開催される。
  - ② ラストチャンスレースの順位により決勝レース出場者、およびリザーブライダー(2名)の優先順位が決定される。
  - ③ 決勝レースへ公式予選より出場できる人数、ラストチャンスより出場できる人数は、予選組数、グリッド数によって異なるため、公式通知に示される。
  - ④ ラストチャンスレースのグリッドは公式予選レースストップタイムの早い組順とする。但し、予選順位のつかない場合、(1周もまわらずにリタイヤした場合等)、予選出走のグリッド順を優先する。
  - ⑤ その他、当該大会審査委員会は天候等の理由により、ラストチャンスレースの有無について決定することができる。
- 3) レース距離 (レース時間)
  - ① 公式予選 国際A級: 15分+2周、国際B級: 公式通知に示す。
  - ② ラストチャンス 国際A級: 5分+2周、国際B級: 公式通知に示す。
  - ③ 決勝レース 国際A級: 30分+2周、国際B級: 25分+2周

※天候等の理由により、変更する場合がある。

## 10 賞および得点

- 1) 賞の詳細は、公式通知に示される。
- 2) 全日本選手権ランキングの得点
  - (1) 得点は国内競技規則・第3章 [②④公式得点] (35頁) によって与えられる。
  - (2) 日本グランプリ大会については、規定の得点に3点が加算される。
  - (3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その得点合計によって決定される。  
その詳細は、全日本選手権ランキング決定基準 (212頁) に示される。
- 3) 賞及び得点の制限  
国内競技規則・第3章 [②④公式得点] (35頁) による。

## 11 出場車両

車両は、細則4 [⑤出場車両] (84頁) を遵守しなければならない。

## 12 ゼッケンナンバー

- 1) 国際A級及び国際B級の一部 (30番まで) のライダーには、年間指定ゼッケンナンバーが割り当てられる。  
指定ゼッケンを与えられた選手については、ジャージ背中側に指定ゼッケンの印刷を義務付けられる。  
国際B級から国際A級への昇格者上位9名及び国際A級125ccより250ccへのクラス移籍者上位9名については、ルーキーゼッケンとし、01番より09番を与えることとする。
- (1) 国際A級の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は以下のとおりとする。
  - ① 125ccクラス
    - a. 前年度国際A級125ccクラス年間シリーズランキング15位以内で、残留申請が認められたものをランキング順に指定する。

- b. 16位以下のものをランキング順に指定する。(有得点者のみ)
  - c. 250ccクラスからの移籍者を前年の年間指定ゼッケン順に指定する。
  - d. 国際B級からの昇格者を、前年の総合ランキング順に指定する。
  - e. 上記以外のライダーは、大会ごとに主催者によって定められる。
- ② 250ccクラス
- a. 前年の全日本選手権シリーズランキング順
  - b. 前年の250ccクラス参加者で250ccへの残留を希望し、認められたもの。
  - c. 125ccクラスからの移籍者を125ccでのシリーズランキング順に追加する。
  - d. その他、特に250ccクラスに指定されたものを追加する。
- (2) チャンピオンゼッケン
- 前年度国際A級シリーズチャンピオンおよび前年度MFJスーパークロスシリーズチャンピオンは、チャンピオンゼッケンとして赤地に白文字とする。
- (3) 国際B級(30番まで)の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は以下のとおりとする。
- ① 各クラスの成績により各ライダーの代表クラスを決定する。
  - ② 各クラスのランキング順位を比較し、ランキング上位のものを優先する。
  - ③ ランキング順位が同位の場合、そのライダーの代表クラスの上位入賞回数が多いものを優先する。
  - ④ ③で決定できない場合は、代表クラスの排気量の大きい方を優先する。
  - ⑤ ④で決定できない場合は、スポーツ委員会にて最終決定する。
- 2) 上記(1)、(2)に記載されている他のライダーには、大会毎に主催者によってゼッケンナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 3) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体及び色で記入しなければならない。(22頁参照)
- 4) ゼッケンナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 5) レース中、ナンバープレートや配布されたゼッケン及びヘルメットナンバーシールを装着しなかったり、間違ったゼッケンナンバーを装着して走行した場合は、その周回数は記録されない。
- 6) 雨天の場合、すべてのライダーは、競技監督の指示によりヘルメットの両側面、または後頭部部分にゼッケンナンバーを記さなければならない。

## 13 ガソリンおよびオイル

ガソリンは無鉛ガソリンに制限されている。(AVガス、航空機用燃料等は使用できない)  
MFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラント(137頁)参照。

## 14 車両検査

- 1) モトクロス競技細則 [⑩車両検査] (86頁) 参照。
- 2) 車両検査持ち込み台数は、1クラスにつき国際B級部門は1台に限定し、国際A級部門については制限を設けない。ただし、車両検査を受けていない車両の使用は一切認められない。

## 15 車両の変更

- 1) モトクロス競技細則 [⑪車両の変更] (87頁) 参照。
- 2) 公式予選終了後の車両変更は、いかなる理由があっても認められない。

## 16 フリープラクティスおよび公式練習

- 1) 競技会前日の練習走行は禁止される。
- 2) ライダーは、主催者が設けた公式練習に参加する義務がある。

## 17 決勝レース出場資格

- 1) 公式予選通過者（予選通過人数は各大会による）
- 2) ラストチャンスでの上位者（人数は各大会による）
- 3) リザーブライダー  
ラストチャンスにて決勝レース出場資格を得られなかったライダーのうち、上位2名は、リザーブライダーの権利を得る。  
リザーブライダーは、各決勝レース前のウェイティングエリアで待機し、ウェイティングエリア閉鎖までに不出場があった場合に限り、優先順位上位者より決勝レースへ出場できる。

## 18 スタート

- 1) スタートの方法
  - (1) 原則として、各部門ともスターティングマシンを使ったエンジンランニングスタートとする。
  - (2) スターティングマシンを使用しないエンジンランニングスタートの際は、必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
- 2) スタートの手順
  - (1) スターティングエリアへは、スターティンググリッドに着くために移動する以前は、ライダーであっても立入りが禁止される。
  - (2) ライダーはスタートの10分前までにウェイティングエリアに待機していなければならない。ウェイティングエリアは、ウェイティングエリアから最初のライダーがスターティンググリッドに着くために移動した時点で閉鎖される。
  - (3) 出場ライダー全員がスターティンググリッドに着くまでグリーンフラッグが、提示される。
  - (4) ライダー全員がスターティンググリッドに着いたことが確認された後、15秒ボードが15秒間提示される。
  - (5) 15秒ボードに引き続き5秒ボードが提示される。
  - (6) 5秒ボードが提示されて5～10秒以内にスタートとなる。
- 3) 予選におけるスタート位置を選択する優先順位  
スタートの位置は、抽選結果の順位による。
- 4) 決勝レースのスタート位置を選択する優先順位
  - 国際B級  
スタート位置を選択する優先順位は、予選順位に基づき決定される。
  - 国際A級  
両ヒート（第1、第2ヒート）ともそれぞれの予選組のトップ走者の周回数の多い組。同周回の場合はタイムの早い組から、交互に上位より順番に選択できる。
- 5) ウォーミングアップ  
エンジンのウォーミングアップは主催者により指定された時間帯及び場所に限られる。
- 6) ウォーミングアップ以降、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタ

イムのサインがあっても競技は続行される。

7) 予選・決勝におけるスタート位置の選択

決められた優先順位に従い、グリッドを選択するために、ウェイティングエリアから移動することができる。

一度スタート位置を選択し、グリッドに着いたものはそのスタート位置を変更することはできない。

## 19 レース

- 1) レース中の遵守事項は、国内競技規則・第3章 [⑩競技参加者の遵守事項] (31頁) による。
- 2) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックの数は、2名以内とする。
- 3) レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンバーが外れた場合、また破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗及びゼッケンを記したボードが提示される。提示されたライダーは速やかにピットインし、修理の後、当該競技役員の許可を得て、再出走が認められる。

## 20 入賞車両の検査

モトクロス競技細則 [⑭入賞車両の検査] (89頁) 参照。

- 1) レース終了後、入賞車両は直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後20分間（全日本選手権以外では30分）保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車両は、必要に応じて車両重量及び音量が測定され、規定を満たしていない車両の当該ライダーは失格となる。

## 21 総合順位の決定方法

レースが2ヒートに分かれて行われる場合の総合順位の決定は、以下に記すとおりとする。

- 1) 1ヒート、2ヒートの合計得点が多い者。
- 2) 1ヒート、2ヒートの合計得点が同点の場合は、上位入賞者を優先する。
- 3) 上記1)、2)で決定できない場合は、2ヒート目の成績を優先する。

## 22 抗議

モトクロス競技細則 [⑮抗議] (90頁) および国内競技規則第3章 [⑳抗議] (37頁) による。

- 1) 抗議は、暫定結果発表後20分以内（全日本選手権以外では30分以内）に当該ライダー及びエントラント代表者だけが行うことができる。

## 23 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

## 24 本規則の施行

本規則は、出場申し込み受付日より有効とする。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則・細則4・モトクロス競技細則による。

1997年1月1日  
全日本モトクロス選手権  
大会事務局長



## '97全日本モトクロス選手権シリーズ開催日程

開催日	大会名	出場申込先	会場	出場申込期間
4月5日(出) }	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第1戦	MFJ 広島 〒733 広島県広島市西区観音新町1-18-9	広島県 グリーンパーク弘楽園	2月25日(出) }
4月6日(回)	中国大会	広島県二輪車安全普及協会内 ☎082(295)6994		3月6日(休)
4月26日(出) }	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第2戦	MFJ 近畿 〒550 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14	奈良県 名阪スポーツランド	3月18日(出) }
4月27日(回)	近畿大会	☎06(534)6422		3月27日(休)
5月10日(出) }	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第3戦	MFJ 九州 〒812 福岡県福岡市東区箱崎ふ頭2-2-51	熊本県 HSR 九州	4月1日(出) }
5月11日(回)	九州大会	福岡軽自動車会館内 ☎092(641)4839		4月10日(休)
6月7日(出) }	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第4戦	SUGO スポーツクラブ MX 係 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1	宮城県 スポーツランド SUGO	4月29日(出) }
6月8日(回)	SUGO 大会	スポーツランド SUGO 内 ☎0224(83)3127	モトクロスコース	5月8日(休)
7月5日(出) }	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第5戦	MFJ 北海道 〒065 北海道札幌市東区東稲来3条1丁目4-3	北海道 わっさむサーキット	5月27日(出) }
7月6日(回)	北海道大会	札幌地区軽自動車会館2F ☎011(782)1492		6月5日(休)
7月19日(出) }	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第6戦	MFJ 東北 〒983 宮城県仙台市宮城野区扇町3-3-10	岩手県 藤沢スポーツランド	6月10日(出) }
7月20日(回)	東北大会	宮城県交通会館内 ☎022(284)9484		6月19日(休)
8月2日(出) }	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第7戦	MFJ 関東 〒170 東京都豊島区南大塚2-31-11	長野県 コングランド	6月24日(出) }
8月3日(回)	関東大会	共栄大塚ビル5F ☎03(3943)6105		7月3日(休)
9月6日(出) }	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第8戦	SUGO スポーツクラブ MX 係 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1	宮城県 スポーツランド SUGO	7月29日(出) }
9月7日(回)	SUGO 大会	スポーツランド SUGO 内 ☎0224(83)3127	モトクロスコース	8月7日(休)
9月20日(出) }	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第9戦	MFJ 愛媛 〒799-11 愛媛県松山市南高井町1812-3	未定	8月12日(出) }
9月21日(回)	四国大会	愛媛県軽自動車協会内 ☎0899(76)4505		8月21日(休)
10月11日(出) }	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第10戦	MFJ 関東 〒170 東京都豊島区南大塚2-31-11	埼玉県 HARP (旧橋川)	9月2日(出) }
10月12日(回)	第35回モトクロス日本グランプリ大会	共栄大塚ビル5F ☎03(3943)6105		9月11日(休)

モトクロス

## '97スーパークロス選手権シリーズ開催日程〈暫定〉

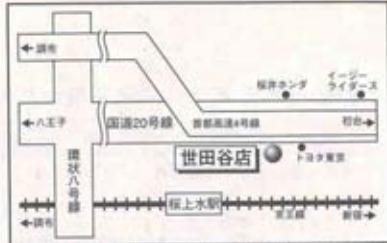
開催日	大会名	出場申込先	会場
11月2日(回)	スーパークロス'97 福岡大会	MFJ 九州 〒812 福岡市箱崎ふ頭2-2-51 福岡県軽自動車協会内 ☎092(641)4839	福岡県 福岡ドーム
11月16日(回)	'97ジャパンスーパークロス 大阪大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒104 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館7F ☎03(5565)0900	兵庫県 阪急西宮スタジアム
11月22日(出) }	'97ジャパンスーパークロス 東京大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒104 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館7F ☎03(5565)0900	千葉県 千葉マリンスタジアム
11月23日(回)			



**大阪支店** TEL.0727(24)1555  
 大阪府箕面堂市2-4-8  
 ●新御堂路・171号交差点そば



**練馬店** TEL.03(3904)3147  
 東京都練馬区高野台4-19-5  
 ●環八通り・目白通り交差点そば



**世田谷店** TEL.03(3327)7732  
 東京都杉並区下高井戸1-18-19  
 ●20号線沿い、京王線桜上水駅そば



**246・駒沢店** TEL.03(5486)4258  
 東京都世田谷区駒沢3-16-13  
 ●246号線沿い、新町1丁目交差点そば



**多摩店** TEL.0425(51)9623  
 東京都福生市豊川1115-7  
 ●横田基地第5ゲートそば



**相模原店** TEL.0427(52)3686  
 神奈川県相模原市横山2-15-8  
 ●相模原市役所通り沿い

**あなたのさがしもの、ここに 있습니다。**  
 コミネのショップは現在14店。ウエア・パーツからアクセサリ・オイルまで  
 国内外の一流ブランドを取り揃えみなさまのご来店をお待ちしております。

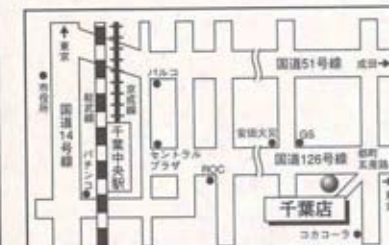
**ANSWER DAINESE**  
 アンサー/ダイネーゼ 日本代理店  
**KOMINE**  
 株式会社コミネオートセンター  
 本社・〒111 東京都台東区小島2-20-11  
 TEL03(3862)9811(代) FAX03(3866)5134(代)



**藤沢店** TEL.0466(81)2757  
 神奈川県藤沢市亀井野3263-4  
 ●藤沢町田線沿い



**平塚店** TEL.0463(24)2888  
 神奈川県平塚市西之宮427-1  
 ●129号線より平塚駅に向いすぐそば



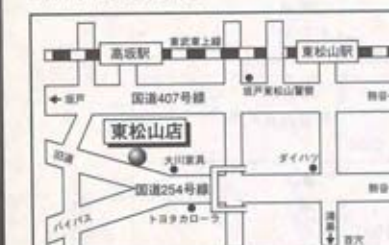
**千葉店** TEL.043(232)1884  
 千葉県千葉市中央区都町3-22-5  
 ●126号、都町五差路そば



**鳩ヶ谷店** TEL.048(284)2961  
 埼玉県鳩ヶ谷市桜町1-6-11  
 ●122号線沿い、川口高校そば



**大宮店** TEL.048(652)1431  
 埼玉県大宮市日進町3-681  
 ●新大宮バイパス沿い



**東松山店** TEL.0493(23)0335  
 埼玉県東松山市今泉277  
 ●旧道254号沿い



**高崎店** TEL.0274(42)3215  
 群馬県藤岡市立石1221  
 ●関越自動車道・17号線交差点そば



**太田店** TEL.0276(32)0438  
 群馬県太田市新道町59-1  
 ●前橋古河線沿い

モーターマガジン社  
東京都港区新橋5-33-10 Tel.03-3434-3151/FX

オートバイ

毎月1日発売/定価550円

Mr. Bike モーターバイク

毎月6日発売/定価280円

Mr. Bike モーターバイク BG

毎月14日発売/定価320円

GOOGLE

毎月24日発売/定価500円

もう、ふりふりキレちゃってしまってます。です。

いいな、欲しいな、がある。

スゲー、がある。ヤルじゃん、がある。

なに考えてんだ、バカヤロ、もある。

バイクファンの気持ち、を、

ギュギュツとつかむモーターマガジンの雑誌たち、

なにか、ギツチリ、

もう、ふりキレちゃって読む読むたえです。

あなたの好きな一冊が、きつとこのなかにある。

モーターマガジン社から、



もう、好きで、好きで。  
モーターマガジン社の雑誌

 国旗	 赤旗	 黄旗	 黒旗
 白旗	SIGNAL FLAGS		 青旗
 緑旗	 赤ストライプ付黄旗	 チェッカー旗	 オレンジボール

サイズ60×80cm (赤のみ) 80×100cm

## PLAYER'S NUMBER



生地 ターボリン  
色 白・赤・緑・青・黄色

生地 メッシュ  
色 白・赤・紺・青・黄色



生地 布  
色 希望の色

## ブルゾン



生地 ポリエステル (防水加工)  
サイズ S・M・L・LL・3L  
色 オレンジ・ピンク・緑・黄色

株式会社 中尾商事

〒164 東京都中野区上高田1-1-43  
TEL 03-3364-5621  
FAX 03-3367-4437

# \*\*\*\*\*ベストライダーの皆さまへ\*\*\*\*\*

ベストライダーに欠かせない

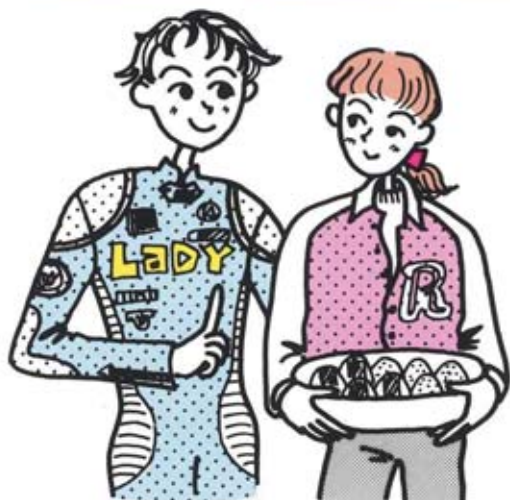
## バイクの《自賠責保険》

★法律によって加入が義務づけられている保険です。

大きな安心、  
おとどけします

自賠責保険をつ  
けずにバイクを  
運転すると

- ◎6ヶ月以下の懲役または5万円以下の罰金
- ◎6点の減点
- ◎30日の免許停止処分



### バイクの自賠責保険料

(平成5年4月1日改定)

	原付自転車 (125cc以下の2輪)	軽二輪自動車 (125cc超 250cc以下)
3年	11,600円	28,000円
2年	9,800円	21,000円
1年	7,850円	13,650円

損害保険代理店

# ホンダ開発株式会社

本 社 〒107 東京都港区南青山2丁目1番1号(ホンダ青山ビル) ☎03-3423-2312

事業部

- |               |                     |               |
|---------------|---------------------|---------------|
| 和光事業部 〒351-01 | 埼玉県和光市本町9番1号        | ☎048-461-0843 |
| 狭山事業部 〒350-13 | 埼玉県狭山市新狭山3丁目9番2号    | ☎0429-53-7351 |
| 浜松事業部 〒433    | 静岡県浜松市葵東1丁目13番2号    | ☎053-436-2241 |
| 鈴鹿事業部 〒513    | 三重県鈴鹿市大池3丁目13番20号   | ☎0593-79-5407 |
| 熊本事業部 〒869-12 | 熊本県菊池郡大津町大字平川1500番地 | ☎096-293-6222 |
| 栃木事業部 〒321-33 | 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台56番地2   | ☎0286-77-3108 |

新  
発売



写真は商品イメージですので  
実際のボトルと細部が異なる場合があります。

香りのある人が好き——  
すべての匂いをカットするなんて味気ない。  
私は香りを残して个性的に生きたい。

ヘルメット専用消臭剤  
**爽やかヘルメット**

定価 1500円 (消費税別) 送料 350円  
TJクラブ会員価格 1350円 (消費税別) 送料350円

【特徴】

海拔1000m以上の天然植物から抽出した成分を最新のバイオ技術で精製した無臭・無害の消臭剤です。果物やボブリの香り、香水などの香料はそのままに、悪臭のみを消臭します。このスプレー1本で汗くさいヘルメットのニオイを解消。また、ブーツやグローブの消臭にも効果を発揮します。

【使用方法】

よく振ってから、ヘルメットやブーツ等にスプレーして下さい。ニオイが強い場合は、一度のスプレーでは消臭しきれない場合があります。その際は、対象物に順次スプレーして下さい。新品のヘルメットには使用後、保管前にスプレーしておくことより効果的です。

主成分 植物抽出物 内容量 ……………100ml

全国へ通信販売いたします。

薬販店募集。詳しくはTELにて。

【通販でのお求め方】

本誌雑誌込みの郵便振替用紙に商品名、本数、氏名、住所電話番号を記入して郵便局にて料金を支払ってください。また、現金書留でも受け付けております。お申し込みの際は郵便振替用紙同様、必要事項を記入してお申し込み下さい。

発売元 株式会社 フラヌエール  
京都市北区上賀茂榊田町78番地 TEL 075-724-1230

# トライアル

# TRIAL

## ▼細則6 トライアル競技細則

1. 適用の範囲	104
2. トライアル	104
3. 出場車両	104
4. 参加資格	104
5. 出場申し込み	104
6. ゼッケンナンバー	104
7. ライダーの装備	105
8. 出場受付	105
9. ライダーおよび車両の変更	105
10. 車両および装備の検査	105
11. 練習	105
12. コース	105
13. セクション	106
14. 競技の進行	106
15. タイムキーピング	106
16. ペナルティ	107
17. ペナルティの定義	107
18. 燃料補給	110
19. 競技の終了	110
20. 車両保管	110
21. 競技結果	110
22. 抗議	111
23. 賞および得点	111

24. 審判員の権限	111
25. 違反に対する罰則	111
26. 本規則の解釈	111
27. 本規則の施行	111

## ▼細則7 '97全日本トライアル選手権大会特別規則

1. 公 示	112
2. 開催クラス	112
3. 運営実行組織	112
4. 大会審査委員会	112
5. 参加資格	112
6. 出場料およびMFJ共済会掛金	113
7. ゼッケンナンバー	113
8. ヘルパー	113
9. 車両検査	114
10. スタート	114
11. セクション	114
12. 採点カード	115
13. タイムキーピング (タイムコントロール)	115
14. ペナルティ	115
15. マシンコントロール	115
16. 賞および得点	115
17. 本規則の施行	116
'97全日本トライアル選手権開催日程	116

※'97年度の規則変更点は、太字で示されています。

# トライアル 競技細則

## 1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべての国内トライアル競技会に適用される。

## 2 トライアル

トライアルとは、自然の地形を利用してさまざまな走行条件を設定し、これを採点区間とし、定められた時間内に走破することで操縦技術の信頼性を試す競技である。大会は1日または2日以上にわたって行われ、採点区間の成績とタイムキーピングによりその結果が表される。

## 3 出場車両

出場車両（以下車両という）は、国内競技規則・第3章〔⑩出場車両〕（33頁）の限度を満たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車両は出場を認められない。

## 4 参加資格

- 1) ライダー  
ライダーは、1997年度版 MFJ 国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕（31頁）に合致していなければならない。
- 2) ヘルパー  
全日本選手権以外では、ヘルパーの参加は認められない。

## 5 出場申し込み

- 1) 出場申し込みは、大会特別規則の定めるところとする。
- 2) 出場申し込み手続き
  - (1) 各部門とも所定の申し込み用紙に必要事項をすべて記入し、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて大会事務局へ提出しなければならない。
  - (2) 郵送の場合は、現金書留または主催者の定める方法とし、締切日当日の消印のあるものが有効となる。
  - (3) 電話による申し込み、および締切日以降の申し込みは一切受けつけない。

## 6 ゼッケンナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割り当てられる。
- 2) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体および色分けで記入しておかなければなら



らない。

- 3) ゼッケンナンバーは車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。

## 7 ライダーの装備

### 1) ヘルメット

- (1) ヘルメットは、MFJが公認したものでなければならない。
- (2) MFJ公認ヘルメットには、公認マークが貼付されている。
- (3) 競技会の車両検査受け付け時に、ヘルメット検査が行われる。MFJの公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
- (4) MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料(1,000円)を支払い、特別に検査を受け合格しなければならない。

### 2) ライダーの服装

- (1) 服装は、下半身は長ズボン、上半身は長袖でなければならない。
- (2) 手袋、および足首以上を保護する突出部分のないブーツなど革靴、またはゴム長靴を着用しなければならない。

## 8 出場受付

- 1) 出場受付の時間及び場所は公式通知に示される。
- 2) 出場受付は、定められた時間内に必ずライダー本人がMFJライセンス、参加受理書を提示して当日の出場資格を確認しなければならない。
- 3) MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

## 9 ライダーおよび車両の変更

ライダーの変更は認められない。車両の変更は国内競技規則・第3章〔⑩ライダーおよび車両の変更〕(34頁)に該当する場合で、出場受付時に手数料5,000円を添えて大会事務局へ申請し、競技監督の許可を受けた場合のみ認められる。

## 10 車両および装備の検査

- 1) 装備および車両の検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、競技開始前にパドック内の車両検査場にて行われる。
- 2) ライダーは、タイムスケジュールに示された時間内に、必ず本人が車両を持参して検査を受けなくてはならない。規定時間以後の検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた以外は行われない。
- 3) 車両検査への持ち込み車両は、1台に制限される。
- 4) 主催者は、大会期間中必要に応じて随時車両の検査を行うことがある。

## 11 練習

大会当日は、コースおよびセクションのいかなる場所においても練習が禁止される。これに違反したライダーは失格とする。ただし主催者が特別に認めた区域内でのウォーミングアップは認められる。

## 12 コース

コースは、コーステープまたはコースマークにより明確に表示される。コースから外れた場合、

ライダーは速やかにコースに戻らなければならない。

### 13 セクション

#### 1) セクションの表示

セクションは、次のセクションマーカ―およびテープで表示される。

- |        |    |               |
|--------|----|---------------|
| (1) 入口 | 右側 | 赤地にセクションナンバー  |
|        | 左側 | 青地に“IN”などの表示  |
| (2) 途中 | 右側 | 赤いマーカ―またはテープ  |
|        | 左側 | 青いマーカ―またはテープ  |
| (3) 出口 | 右側 | 赤地にセクションナンバー  |
|        | 左側 | 青地に“OUT”などの表示 |

(4) テープを使用する場合は、入口および出口に赤と青のマーカ―を置く。

#### 2) セクションの幅

(1) セクションの幅はできる限り自然の障害物で制限されるが、マーカ―によって制限する場合は1.2m以上とし、テープによって制限する場合は2m以上とする。

(2) 同じ側のマーカ―とマーカ―の間を迂回することはできない。

#### (3) 採点区間

セクションにおける採点は、前輪の接地面の先端または外側（スピンドル）がセクション入口のマーカ―を過ぎた時点から開始され、前輪の接地面の先端または外側（スピンドル）がセクション出口のマーカ―を過ぎた時点で終了する。

### 14 競技の進行

- 1) ライダーは、スタートの合図を受けて初めてエンジンを始動させることができる。
- 2) タイムキーピングを採用した場合、各セクションへのライダーの進入順序は自由であるが、審判員によって指示された場合、これに従わなくてはならない。
- 3) セクション間の移動はコースマークまたはテープに従い行わなくてはならない。
- 4) ライダーはセクションに入る準備ができ次第、手を上げて審判員に合図しなければならない。
- 5) ライダーは審判員の指示により速やかにセクションに入らなければならない。
- 6) セクション内でフルペナルティ（減点5点）を受けたライダーは、速やかにセクション外へ車両を移動させなければならない。
- 7) ライダーは、セクション内で一切の援助を受けてはならない。ただしフルペナルティを受けた場合はこの限りではない。
- 8)(1) 車両の部品交換は、マーキングされていない物のみ認められる。  
(2) ライダーは、主催者の定める区域内（パドック）であれば他の援助を受けることができる。  
(3) ライダーは、移動コース上において工具、およびスペアパーツを受け取ることができる。ただし定められた区域（パドック）以外ではその他の援助を受けることはできない。（全日本選手権は規則が異なる。113頁・ヘルパーの項参照）  
(4) 競技中事故を起こした場合や、車両の故障等の理由で競技続行が不可能な場合は、速やかに大会本部に申し出なければならない。
- 9) 不適当な行為について審判員の指示があった場合、ライダーは審判員の指示に従わなくてはならない。

### 15 タイムキーピング

- 1) ライダーは、原則としてあらかじめ決められた順序により1分間隔でスタートする。ただ

し同時スタートの場合はこの限りではない。

- 決められたスタート時刻に遅れたライダーは、1分につき1点の減点が課せられ、20分以上の遅れは失格となる。
- コース走行時の平均速度は原則として20km/hとする。
- ライダーには全コースを走破するための「持ち時間」が与えられ、これに遅れてゴールしたライダーは失格となる。
- 全コースを走り終えたライダーは、定められた場所でタイムチェックを受けなければならない。


## 16 ペナルティ

- セクションにおける減点は0-1-2-3-5-10点とする。
  - クリーン……………0点
  - 足つき……………1点～3点減点
  - 失敗……………5点減点
  - 放棄……………10点減点
- タイムキーピングによるペナルティは、次のとおり科される。
  - 予定されたスタート時間に遅れた場合……1分につき1点減点、20分以上の遅れは失格
  - ゴールタイムチェックへの遅れ……失格
- ライダーの不適切な行為に対するペナルティは、次のとおり科される。
  - 競技役員および審判員に対する不適切な行為……失格・退場
  - セクションにおいて審判員の指示に従わなかった場合……10点減点
  - トライを有利にする目的で、故意に地形を変形させた場合……10点減点
  - 定められたコースを不適当にカットした場合……50点減点
  - 定められたコースを逆走した場合……失格
  - 車検で施されたマーキングが失われた場合……失格

(次の部品は車検後交換が認められない。フレームボディ、クランクケース、サイレンサー)

  - 許可された場所以外で、外部から整備の援助(部品の交換を含む)を受けた場合……失格

注) 上記(4)に関しては、さらにセクション放棄の減点が加算される。

トライアルの減点は0-1-2-3-5-10				
減点ゼロ おみごと/ クリーンです	減点1 雑音、 足つき1回	減点2 無意なり 足つき2回	減点3 足バタバタ 3回以上	減点5 ミスりました 失格です
				
トライを放棄すれば減点10				

## 17 ペナルティの定義

セクションにおけるペナルティの定義は、次のとおりとする。

### 1) 足つきの定義

車両が前進しながら身体のどこかの部分、または車両のどこかの部分(フットレスト、エンジンカード(底部)、タイヤ、ホイールを除く)が地面に接地した場合、これを足つきという。

また車両の進行を停止することなくライダーのどこかの部分が障害物(立木、壁など)に

## トライアル競技細則

もたれた場合、足つきが生じたものとみなされる。

また身体の部分で手、足についてはその付け根から先を同一とみなす。従って足つきと同時に膝を接地しても、1回の足つきとみなす。

なお、足つきによるマーカー移動、破損は足つきのみの減点となる。

### (1) 1点減点 (車両が前進しながら)

- ① 足つき1回
- ② 足つき状態でつま先とかかどが交互についている場合
- ③ 片足を軸にして車両を回転させた場合
- ④ 手を立木・壁等についた場合
- ⑤ 身体または車両が障害物等にもたれかかり、バランスを修正した場合
- ⑥ コーステープの内側または外側への足つき1回

### (2) 2点減点 (車両が前進しながら)

- ① 足つき2回
- ② 前記1)の1点減点となる行為が2回行われた場合
- ③ 両足同時の足つき

### (3) 3点減点 (車両が前進しながら)

- ① 足つき3回以上
- ② 前記1)の1点減点となる行為が3回以上行われた場合

## 2) 失敗 (減点5点)

- (1) ライダーが足つきをし、車両が完全に進行方向に進むのをやめてしまった場合
- (2) 車両が停止した状態で身体または車両が障害物等にもたれかかり、バランスを修正した場合
- (3) 車両が停止した状態での足つき及びバック中の足つき
- (4) 登り坂等での足つきの状態で、フロントタイヤが浮いてタイヤがバックした時
- (5) マーカーの迂回 (下図Aのようなふくらみ、またはターン)

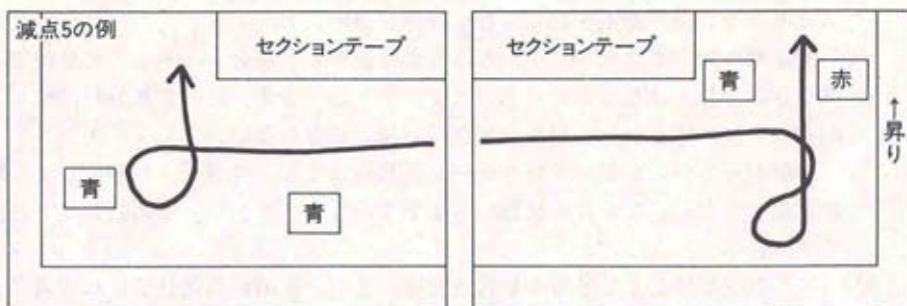
\*ただしセクションテープ併用の場合はこの限りではない (110頁図E参照)

図A



- (6) 車両・ライダーによるテープ切断、たるませ、テープを止めているクイなどを破損、または移動 (修正が必要な移動) させた場合
- (7) 車体の右側、または左側に両足が同時に足つきをした場合
- (8) フロントタイヤまたはリアタイヤがテープの上からテープ外に出て立木、壁、石等に接触した場合
- (9) セクション内でライダー自身の車両がつけたわだちちに再び触れたり、踏みついたり、または飛び越えた場合。ただしリバースおよびホップアップの場合は減点の対象にならない (図B参照)

図B



- (10) 車両によるマーカー移動、マーカー破損  
 (11) 申告エスケープについては、特に審判員の判断により失敗申告とみなされたもののみとする
- 3) 減点の対象とならない行為

(1) 接触

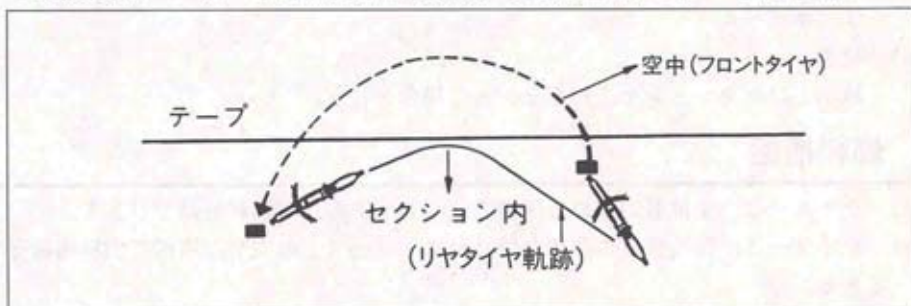
接触とは、ライダーの身体の各部分または車両の各部分が立木、壁、石等その他の障害物に触れることをいい、これによって明らかにバランスの修正が行われない限り減点の対象とはならない。

なおマーカー、テープには車両、身体どちらで接触しても接触のみであればペナルティーは科せられない。

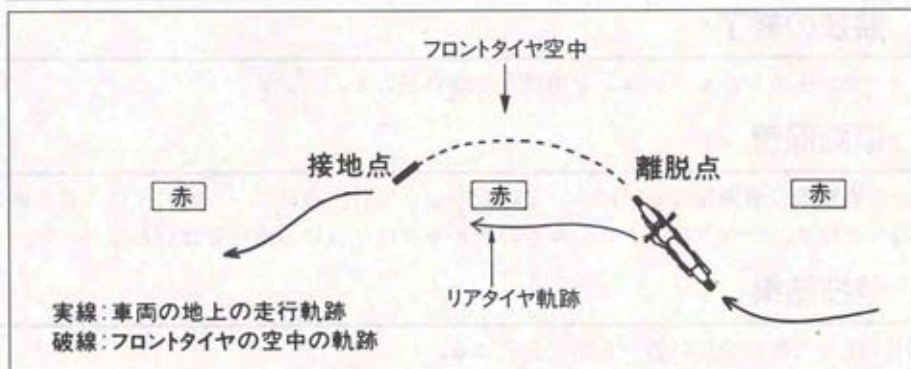
(2) その他減点の対象とならない例

- ① テープの上からフローティングターン等によるフロントタイヤ、またはリアタイヤがテープ外に出た場合で、テープ外の立木、壁、石、地面等に触れずにテープ内に戻った場合。(図C参照)
- ② マーカー付近でのフローティングターン等によるマーカー迂回については、リアタイヤの接地面がマーカーの内側を通れば減点5の対象とはならない(図D参照)

図C



図D

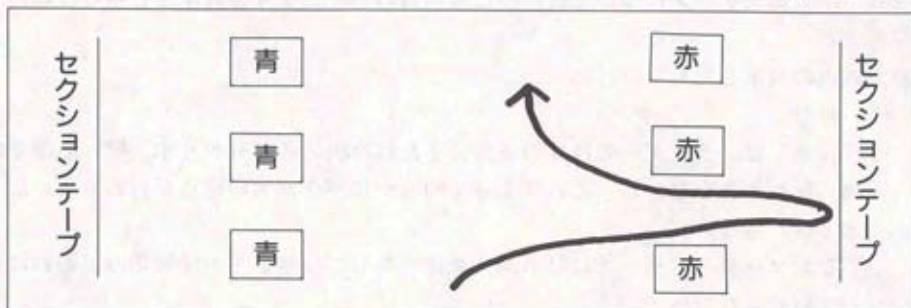


- ③ セクションテープがある場合、マーカーとマーカーを結ぶ直線をはみ出しても、テー

ブより出ない限り減点とはならない（図E参照）。

- ④ V字型の地形でステップがかみ込んで停止をした場合、ステップに足が乗っていれば減点5の対象とはならない。そのステップ上のつま先、足の裏部分が接地しても、意識的なバランス修正がない場合、減点の対象とはならない。
- ⑤ アンダーガードが引っかかりシーソー状態になり、エンジンが停止しても減点5の対象とはならない。なおこの状態から足をつかないでエンジンを始動させて競技の続行もできる。
- ⑥ エンジンが停止して足つきを行った場合でも、車両が前進していれば減点5の対象とはならず、ただの足つきの減点となる。
- ⑦ 足つきの状態で前輪を真横に移動することは前進とみなし、減点5の対象とはならない。

図E



- (3) 減点の対象とならない車両の部分

車両が停止している状態で、下記の部分が立木、壁、石、地面に触れて重心を支えても減点の対象とはならない。

- ① フットレスト
- ② エンジンガード（底部）
- ③ タイヤ
- ④ ホイール

- 4) 放棄

放棄とはセクションを走行しなかった場合を言う。

## 18 燃料補給

- 1) ライダーは、主催者の定める区域内（パドック等）で燃料補給ができる。
- 2) ライダーは、競技役員の許可を受ければ、コース上の安全な場所で燃料補給をすることができる。

## 19 競技の終了

バックマーカーがセクションを閉鎖する場合がある。

## 20 車両保管

公式通知等に車両保管方法について記載のない場合、最終ゴール時に上位入賞車両の検査を行う場合を除き、マシンコントロールでのチェック終了後は車両保管は行わない。

## 21 競技結果

- 1) 総減点数の少ない者から順位を定める。
- 2) 同点者の判定は次の判定基準に従って行う。

- (1) クリーン数の多い者を上位とする
- (2) 1点減点の多い者を上位とする
- (3) 2点減点の多い者を上位とする
- (4) 3点減点の多い者を上位とする
- (5) 以上によって決定できない場合は、当該審査委員会により決定される。

## 22 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔㉔抗議〕(37頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。
- 3) セクション審判員の下したジャッジに対しては、抗議することは一切できない。

## 23 賞および得点

- 1) 入賞は1位～6位とする。
- 2) 得点  
得点は、国内競技規則・第3章〔㉕公式得点〕(35頁)によって与えられる。

## 24 審判員の権限

審判員は、競技規則に則り担当するセクション内における競技の進行、指揮の権限をもつほかセクション内における選手の行為を減点の対象とするか否かを審判する、最終的権限を持つものである。

## 25 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔㉖違反行為に対する罰則〕(38頁)による。

## 26 本規則の解釈

本競技細則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定の最終的なものとして示される。

## 27 本規則の施行

本規則は、1997年1月1日より有効とする。

# '97全日本 トライアル選手権大会 特別規則

## 1 公 示

全日本トライアル選手権は、FIM 国際スポーツ憲章に基づいた MFJ 国内競技規則、トライアル競技細則、全日本選手権シリーズを通じて共通した項目をまとめた本特別規則および各大会の特別規則に基づき、開催される。

## 2 開催クラス

- 1) 全日本選手権の開催クラスは、国際A級部門、国際A級スーパークラス部門および国際B級部門とする。
- 2) 競技方法は国際A級部門・国際B級部門ともに個人に与えられた持ち時間とコース上に設定されたセクションの採点によるものとする。なお、各大会のセクション数及び持ち時間は、各主催者からの公式通知により発表される。

## 3 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラム、または公式通知に示される。

## 4 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長は MFJ トライアル委員会の委員、もしくは主催者が指名する 1 級競技役員で、MFJ が任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までには到着しない場合は、次席の者がこれにあたる。
- 3) 大会審査委員会は違反行為への罰則、競技会の中止・中断、競技運営内容およびセクション設定（難度）等における最終決定を下す権限を持つ。

## 5 参加資格

- 1) 国際A級部門（スーパークラス含む） 当該年度に有効な国際A級ライセンスを所持する者
- 2) 国際B級部門 当該年度に有効な国際B級ライセンスを所持する者
- 3) ヘルパー 当該年度に有効な国内B級以上のライセンスを所持する者



## 6 出場料および MFJ 共済会掛金

	総 額	内 訳	
		出場料	共済会掛金
国際A級部門(スーパークラス含む)	12,000円	11,700円	300円
国際B級部門	12,000円	11,700円	300円
ヘルパーライダー	6,000円	5,700円	300円

参加受理:

- 1) 必要事項を記入した出場申込書、出場料を大会事務局が受理した時点で参加受理書、公式通知等が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合にのみ出場料、MFJ共済会掛金が返還される。(申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない。)

## 7 ゼッケンナンバー

- 1) 主催者がゼッケンナンバープレート、胸ゼッケン等を配布した場合、競技期間中これを取りつけなくてはならない。
- 2) 全日本選手権ゼッケンナンバー決定基準

国際A級(スーパークラス含む)

- (1) 前年度全日本選手権シリーズランキング順により決定する。
- (2) 国際B級部門より昇格した者を、前年度全日本選手権ランキング順により追加する。
- (3) 上記以外の選手については大会毎に与えられる。
- (4) スーパークラスに出場の際は、ゼッケンの色が異なる。(22頁参照)

国際B級

- (1) 国際A級への昇格者を除く前年度の全日本選手権シリーズランキング順により決定する。
- (2) 上記以外の選手については大会毎に与えられる。

## 8 ヘルパー

ライダー1名に対し1名のヘルパーが認められる。ヘルパーの資格、および遵守事項は次のとおりとする。

1) ヘルパーの登録

- (1) ヘルパーは、ライダーの出場申込時に同時に登録しなくてはならない。
- (2) 出場申込後にヘルパーの追加は一切できない。ただし大会当日の出場受付時間内に、他の有資格者と変更することができる。(変更手数料1,000円が必要)
- (3) 大会により、ヘルパーの参加を認めない場合がある。
- 2) ヘルパーミーティングが開催される場合、これに出席しなくてはならない。
- 3) ヘルパーの車両はMFJ公認車両でなくてはならず、選手と同様に車検を受けなければならない。
- 4) 車両のフロントナンバープレートに、選手と同じゼッケンナンバーを表示しなくてはならない。ナンバープレートの地色および数字の色は下記のとおりとする。

国際A級のヘルパー……白地赤文字

国際B級のヘルパー……白地緑文字

- 5) 移動コースは特に指示のない場合ライダーと同一とし、逆走は一切認められない。
- 6) ヘルパーは、登録したライダーと同時にスタートしなくてはならない。

- 7) ヘルパーの不正は、そのヘルパーを登録したライダーに罰則が科される。
- 8) ヘルパーの行ってよい行為（下記以外の行為は認められない）
  - (1) 移動コース上でライダーに工具、スペアパーツ、飲料等の受け渡しができる。
  - (2) パドック以外での車両整備（部品の交換を含む）は、選手本人及びその選手に登録されたヘルパーのみが行うことができる。
  - (3) ヘルパーは原則としてセクション内に立ち入ることはできない。  
ただしトライ失敗の際の補助として、その選手に登録されたヘルパーがセクション審判の許可を受けた場合に限りセクション内への立ち入りが認められる。

## 9 車両検査


- 1) 車両検査においてフレームボディ、クランクケース、サイレンサーにマーキングを行う。以上の部品は競技の期間中使用され、競技が終了するまで交換をすることができない。これらの部品を車両検査後、あるいは競技中無断で交換した場合、および車検で施されたマーキングを失った場合には失格とされる。  
サイレンサーを破損した場合は車検長の許可を得て交換しても良い。  
ただし、競技終了後ただちに音量測定を受けなくてはならない（規定値を越えた場合は失格とされる）。
- 2) 車両検査時には全車に対し、音量測定を行う。

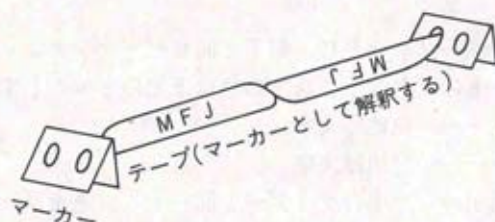
## 10 スタート

- 1) 第1戦のスタート順序はゼッケン下位の者からとする。
- 2) 第2戦以降は、前戦までのランキングの下位の者から先にスタートするが、ポイント獲得者以外のゼッケン下位の者から先にスタートする。

## 11 セクション

- 1) セクションの表示  
全日本選手権においては以下の方法で表示される。ただしテープの色は一部混合して使う場合がある。
 

(1) 国際B級	右側 赤いテープ 左側 青いテープ	矢印 (スーパークラスへ使用される) 
(2) 国際A級	右側 赤いテープおよび赤いマーカー 左側 青いテープおよび青いマーカー	
(3) スーパークラス	右側 赤いテープおよび赤い矢印 左側 青いテープおよび青い矢印	
- 2) マーカーの解釈  
マーカーを起点としたテープを表示した場合、このテープはマーカーとして解釈する。



## 12 採点カード

- 1) ライダーはスタート時に採点カードを受け取り、各ラップ毎に交換すること。
- 2) セクションでのパンチの点数は、その場でライダーが確認すること。
- 3) セクションをトライしてもパンチを受けなくて次のセクションへ入った場合、前セクションはエスケープとみなされる。
- 4) 採点カードの破損等によって採点が確認できない場合、当該セクションはエスケープとみなされる。
- 5) 採点カードは選手自身がパンチを受け、管理しなくてはならない。
- 6) 採点カードを紛失した場合、失格とされる。
- 7) 採点カードはコンピューター処理されるので、折り曲げたりしてはならない。
- 8) 採点カードの交換場所は、大会特別規則または公式通知へ示される。

## 13 タイムキーピング (タイムコントロール)

- 1) ライダーはスタート、ゴールのタイムチェックを受けなくてはならない。
- 2) 公式通知に特に記載のない場合、スタート時のタイムチェックはスタート時に行われ、ゴール時のタイムチェックは最終セクション出口付近にて行われる。
- 3) ゴールに遅れたライダーは、1分につき1点の減点が科せられ、20分以上の遅れは失格とする。
- 4) ゴールタイムチェックを受けたライダーは、定められたコースに従い10分以内にカード交換場所に戻り、採点カードを係員に提出すること。この時点でゴール完了となる。ゴール完了前に指定されたコース外に出たり、パドックに入ったりしてはならない。

## 14 ペナルティ

トリアル競技細則に定める減点に加え、下記減点を科す。

- 1) セクションでの持ち時間  
各セクション毎に2分の持ち時間が与えられ、セクションから2分以内にセクションアウトできなかった場合、減点5が科される。
- 2) 車両、ライダーによるマーカーの破損、移動(修正が必要な移動)は減点5が科される。

## 15 マシンコントロール

- 1) マシンコントロールでは車両、車両へ施されたマーキング、ゼッケン、服装等の検査が行われる。
- 2) ライダーは各ラップ毎にマシンコントロールでの検査を受けなくてはならない。
- 3) 公式通知に特に記載のない場合、マシンコントロールは、大会本部付近にて行われる。

## 16 賞および得点

- 1) 各大会ごとに国際A級、国際B級の各クラス(スーパークラスは除く)へベストクリーン賞が与えられる。(クリーン数が同数の場合は、成績が上位のものとする)
- 2) 国際A級、国際A級スーパークラス、国際B級部門全日本選手権ランキングの得点
  - (1) 得点はMFJ国内競技規則第3章②公式得点(35頁)によって与えられる。
  - (2) 日本グランプリトリアル大会については規定の得点にさらに3点が加算される。
  - (3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。

## '97全日本トライアル選手権大会特別規則

- (4) 国際A級スーパークラスは、国際A級部門から大会ごとの登録希望者によって構成され、ランキングは国際A級の別部門として独立する。スーパークラスにて得点を得た者は、そのシーズンを通じてスーパークラスが指定される。
- (5) 詳細は全日本選手権ランキング決定方法(212頁)に示される。

## 17 本規則の施行

- 1) 本規則は、出場申し込み受付日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則、トライアル競技細則による。

1997年1月1日  
全日本トライアル選手権  
大会事務局長

## '97全日本トライアル選手権シリーズ開催日程

開催日	大会名	出場申込先	会場	出場申込期間
3月8日(出) 3月9日(回)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第1戦 九州大会	MFJ九州 〒812 福岡県福岡市東区箱崎5-2-2-51 福岡軽自動車会館内 ☎092(641)4839	福岡県 八女郡矢部村 奥の院特設会場	1月28日(火) 2月6日(木)
3月22日(出) 3月23日(回)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第2戦 近畿大会	MFJ近畿 〒550 大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06(534)6422	兵庫県 猪名川サーキット	2月11日(火) 2月20日(木)
6月7日(出) 6月8日(回)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第3戦 第25回日本グランプリ トライアル大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 TR係 〒104 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館7F ☎03(5565)0900	茨城県 真壁トライアルランド	4月29日(火) 5月8日(木)
7月19日(出) 7月20日(回)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第4戦 東北大会	MFJ東北 〒983 宮城県仙台市宮城野区扇町3-3-10 宮城県交通会館内 ☎022(284)9484	未定	6月10日(火) 6月19日(木)
8月2日(出) 8月3日(回)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第5戦 北海道大会	MFJ札幌 〒065 北海道札幌市東区東樺来3条1丁目4-3 札幌地区軽自動車会館2F ☎011(782)1492	北海道 夕張マウントレースイ リゾート	6月24日(火) 7月3日(木)
10月4日(出) 10月5日(回)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第6戦 中国大会	MFJ中国 〒733 広島県広島市西区鞆音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会内 ☎082(295)6994	岡山県 應魂山トライアルパー ク	8月26日(火) 9月4日(木)
10月25日(出) 10月26日(回)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第7戦 中部大会	MFJ富山 〒930 富山県富山市藤木521-1 富山県軽自動車協会内 ☎0764(24)6420	富山県 コスモスポーツランド	9月16日(火) 9月25日(木)

## '97トライアル主要競技会開催日程

開催日	大会名	出場申込先	会場
11月9日(回)	第10回 トライアルグランドチャンピオン大会	MFJ中部トライアル委員会 〒470-01 愛知県愛知郡東郷町諸輪字東脇59-99 鈴木唯一方 ☎05613(8)0736	岐阜県 坂内バイクランド

ドラッグレース

# D RAG RACE

## ▼細則 8 ドラッグレース競技細則

1. 適用の範囲	118
2. ドラッグレース	118
3. レース出場車両	118
4. 参加資格	118
5. 出場申し込み	118
6. 参加受理	118
7. ゼッケン・ナンバー	119
8. ライダーの装備	119
9. 出場受付	119
10. 出場車両の変更	119
11. 車両および装備の検査	120
12. 競技	120
13. スタート方法とスターティングシステム	121
14. スタート手順	122
15. 順位の設定	123
16. 計測システムと計時結果	123
17. 禁止行為	124
18. リタイヤ(棄権)と停止	124
19. 賞典	124
20. レース終了後の車両保管と再車検	124
21. レースの成立	124
22. レースおよび大会の延期・中止等	124
23. 抗議	125
24. 違反に対する罰則	125
25. 本規則の解釈	125
26. 本規則の施行	125

## ▼細則 9 '97全日本選手権大会特別規則

1. 公示	126
2. 開催種目と競技会の日程	126
3. 追加のクラス	126
4. コース	126
5. 大会審査委員会	126
6. 参加定員	126
7. 出場料およびMFJ共済会掛金	126
8. ピット要員	126
9. ゼッケンナンバー	127
10. 公式予選	127
11. 決勝レース	127
12. コース選択	127
13. 賞および得点	127
14. 主催者の権限	128
15. 本規則の施行	128

※'97年度の規則変更点は太字で示されています。

# ドラッグレース 競技細則

## 1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技に基づき、すべての国内のドラッグレース競技会に適用される。

## 2 ドラッグレース

- 1) 完全にクローズドされたコースで行われる。2台の車両が直線の区間タイム (Elapsed Time: 以降 E.T. という) を競う。
- 2) 区間タイムについては下記2種類がある。
  - ① SS1/4マイル (402.33m)
  - ② SS1/8マイル (201.165m)

## 3 レース出場車両

- 1) 一大会において同一車両を複数の種目のレースに使用することはできない。
- 2) 一大会において同一車両を複数のライダーが使用することはできない。

## 4 参加資格

- 1) エントラント及びライダー  
エントラント及びライダーは、1997年度版 MFJ 国内競技規則第3章〔⑨競技参加者〕(31頁)に合致していなければならない。

## 5 出場申し込み

- 1) 出場申込場所は、大会特別規則の定めるところとする。
- 2) 出場申込手続き
  - (1) 各クラスとも所定の申込書に必要事項をすべて記入し、出場料および MFJ 共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
  - (2) 2クラス以上に出場を申し込み場合は、別々に、申し込み書を提出しなければならない。
  - (3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締め切り当日の消印のあるものが有効となる。
  - (4) 電話による申込及び締め切り日以降の申込は一切受けない。

## 6 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申込書、金額を大会事務局が受理した時点で、参加受理書が発送される。

- 2) いったん受理された出場料、MFJ 共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合のみ出場料、MFJ 共済会掛金が返還される（申込者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない）。

## 7 ゼッケン・ナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 2) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに規定の書体および色分けて記入しておかなければならない。
- 3) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査以降においても、判断しにくいと判断された場合には修正が要求される場合がある。
- 4) 最初決められたゼッケン・ナンバーは、年度末まで変更できない。

## 8 ライダーの装備

- 1) ヘルメット
  - (1) ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJ が公認したものでなければならない。
  - (2) MFJ の公認したヘルメットには、下記の認証マークが貼付される。
  - (3) 競技会の車両検査受付時に、ヘルメットの検査が行われる。MFJ の公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
  - (4) MFJ 公認ヘルメットであっても、MFJ の公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料（1,000円）を支払い、特別に検査を受けなければならない。
- 2) ライダーの服装
  - (1) レーシングスーツ
    - ① 皮もしくは、同等の素材であること。MFJ 公認スーツが望ましい。スーツはワンピースデザインもしくはウエストでつながるジッパータイプ。



MFJ が公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いている。

- (2) ブーツ・グローブ
  - ブーツはくるぶしが完全に覆われるもので、皮製、サイドボタンタイプ。
  - グローブは、手を覆うサイドボタンタイプ。
- 3) 競技中のライダーは、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。

## 9 出場受付

- 1) 出場受付の時間および場所は、公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ず本人または参加者が MFJ ライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJ ライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

## 10 出場車両の変更

- 1) 車両の変更は国内競技規則・第3章〔⑩ライダーおよび車両の変更〕(34頁)による。

- 2) 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

## 11 車両および装備の検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査の車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を済ませなければならない。これ以後の検査は大会審査委員会が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- 3) ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 4) 車両検査持ち込み台数は、地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られる。
- 5) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判断された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 6) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行うことがある。

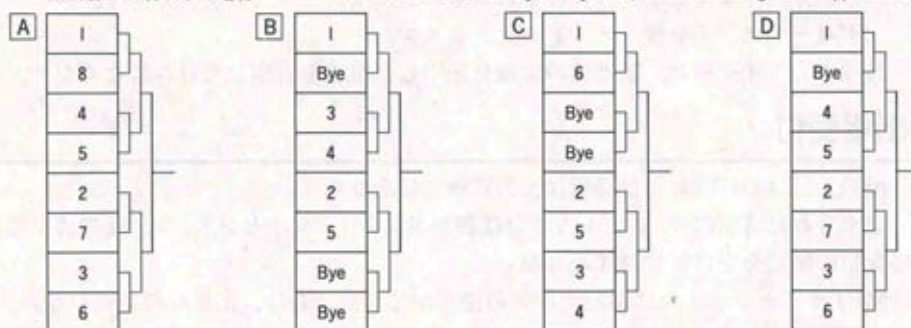
## 12 競技

競技方法は次の2種類とする。

- 1) タイムトライアル競技
  - 2~3回のタイムトライアルを行いE.T.を競う。
- 2) トーナメント競技
  - (1) 公式予選
    - ① 決勝のライダーポジションを決定するために、タイムトライアルを行なう。
    - ② 各ライダーは、最低1回公式予選に出走しなければならない。
  - (2) 決勝
    - ① 決勝レース出場台数は、大会特別競技規則に示される。
    - ② 決勝出走台数は、原則として8台または16台とし、決勝出走組合せ（ライダーポジション）は、タイムトライアルの順位によって下記の表の通りとする。
    - ③ 9~12台の車両で競う決勝レースのライダーポジションは、大会審査委員会の決定による。
    - ④ 一度決まったベアリングは主催者が必要としない限り変更はできない。
    - ⑤ 決勝レースは、先にゴールラインを通過した者を勝者とする。

競技者が8名以下の場合

American Pro ladder by-run system (FIM Road Racing Rules Appendix028)



A : 8名ライダーの組み合わせ

B : 8名ライダーで5台参加の場合の組み合わせ

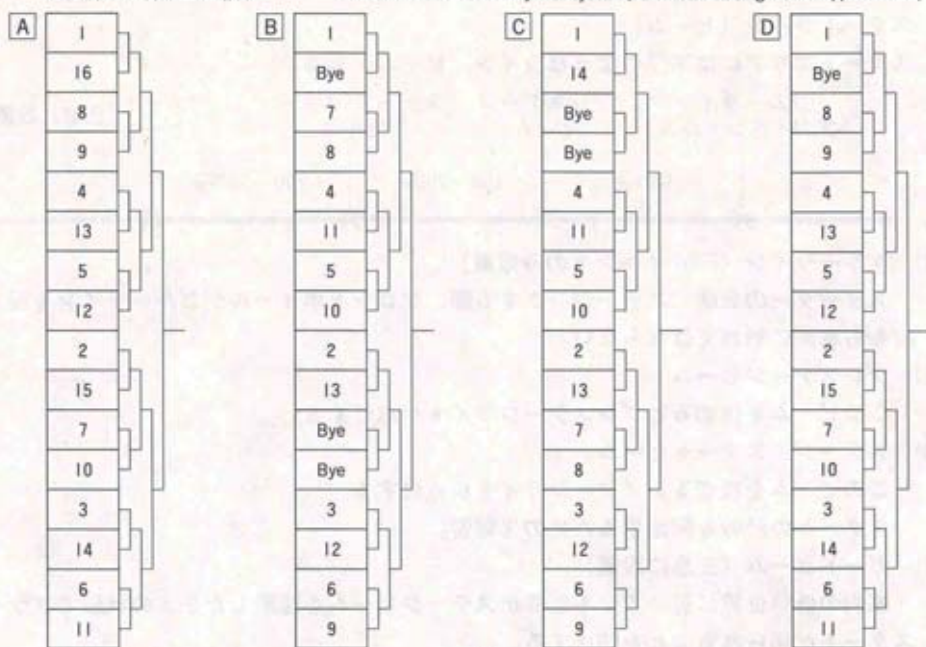
C : 8名ライダーで6台参加の場合の組み合わせ

D : 8名ライダーで7台参加の場合の組み合わせ



競技者が13名以上の場合

American Pro ladder by-run system(FIM Road Racing Rules Appendix028)



A : 16名ライダーの組み合わせ

B : 16名ライダーで13台参加の場合の組み合わせ

C : 16名ライダーで14台参加の場合の組み合わせ

D : 16名ライダーで15台参加の場合の組み合わせ

## 13 スタート方法とスターティングシステム

1) スタート方法はスタンディングスタートとし、下記の2種類とする。クラス毎のスタート方法は大会特別規則に示す。

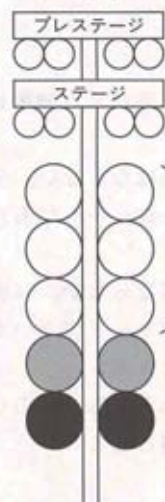
(1) プロスタート

プレスタートライト (3個同時) が点灯してグリーン (スタート) ライトが点灯までの間隔0.4秒。

(2) ストックスタート

プレスタートライト (上よりカウントダウン) が点灯してグリーン (スタート) ライトが点灯までの間隔0.5秒。

2) スターティングシステム (クリスマス・ツリー)



**Pre-Stage light** : スタートするために、まずプレステージライトを点灯させる。

**Stage light** : デュアルスタートの場合、対戦相手がプレステージライトを点灯させる前にステージライトを点灯させてはならない。

**Pre-Start light** : ステージライト点灯後1~5秒後に点灯。

(Three Amber Light)

① Pro-Start : 3段同時点灯。

② Stock-Start : 上段より順次点灯。点灯間隔0.5秒。

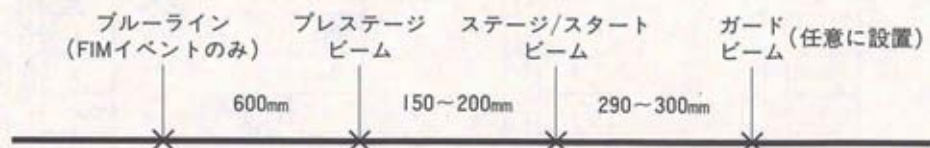
**Green-Start light** : プレスタートライト点灯後

① Pro-Start : 0.4秒、② Stock-Start : 0.5秒で点灯。

**Red light** : Foul Start : グリーンライトが点灯する前にスタート/ガードビームを横切った場合に点灯。ファールスタートした場合は失格。

3) スタートライン (ビーム)

スタートエリアには下図のようなライン/ビームがある。



- (1) ブルーライン (FIM イベントのみ設置)  
スターターの合図でステージングする際、フロントホイールがブルーラインを超えたら何者も車両に触れてはならない。
- (2) プレステージビーム  
このビームを横切るとプレステージライトが点灯する。
- (3) ステージ/スタートビーム  
このビームを横切るとステージライトが点灯する。  
スタートの計時を開始するための光電管。
- (4) ガードビーム (任意に設置)  
車両の低い位置に着いている部品がステージビームを遮断したままの状態でフライングスタートが切られることを防止する。  
ステージビームが遮断されたままガードビームが作動した場合、ファールとなる。

## 14 スタート手順

- 1) バーンアウト
  - (1) クラスにより場所を制限する。
  - (2) バーンアウトの際にセンターラインを超えてしまっても失格にはならない。
  - (3) バーンアウト後ピットクルーが安全確認のために車両進行方向修正を行なう以外に車両に触れることは禁止される。
- 2) コース選択
  - (1) タイムトライアルでは、コースイン順に競技役員の指示に従って行われる。
  - (2) ラダー競技では、前のヒート (公式予選含む) のタイムの良い方に選択権がある。
- 3) ステージング
  - (1) コースインした時点でスタート準備が完了していること。
  - (2) セルフスタートし、セルフステージしなければならない。  
※セルフとは車両のエンジン動力で行うことを言う。
  - (3) ステージビームと車両の位置を確認するために機械や電子装置等補助具を使用してはならず、ライダーの肉眼のみで行うこと。
  - (4) ステージビームに進む前にプレステージライトを点灯させなければならない。デュアルスタートの場合は両者がプレステージライトを点灯するまでステージビームに進んではならない。
  - (5) スタートするためには、プレステージライトを点灯させなければならない。ステージ完了前にステージライトを消灯した場合は、失格となる。ただし決勝ヒートにおいて両者がステージライトを消灯させてしまった場合は再スタートするものとする。
  - (6) ステージのために与えられる時間のリミットはスターターに委ねられる。このリミットを越えた場合およびスターターの指示通りステージしない場合失格となる。
  - (7) ステージ完了後ステージし直すことは禁止される。

#### 4) スタート

- (1) クリスマスツリーのグリーンライトが点灯した時をスタート合図とする。
- (2) 決勝レースにおいてステージ完了後、プレスタートライトが作動（点灯）する前にステージライトを消灯した場合は、タイム無効とする。
- (3) リアクションタイム（以下 R.T.と 言う）によってファール（フライングスタート）となる場合を以下に示す。  
 ※ R.T.とは、プレスタートライト点灯後車両が動き出すまでの反応時間のことを言い、  
 ① プロスタートでは、0.4秒未満 ② ストックスタートでは、0.5秒未満
- (4) 予選において R.T.が 0 秒以上0.4秒未満の場合はファールとなるが、E.T.は計測可能であり予選通過基準を満たす。予選において R.T.が 0 秒未満の場合はファールとなり、E.T.は計測不能となり、予選不通過となる。但し、予選出走台数が決勝出走制限台数に満たない場合は、R.T. 0 秒未満のライダーのライダーポジションは、大会審査委員会の決定による。

### 15 順位の決定

タイムトライアル、公式予選	トーナメント、決勝レース
1. E.T.のベストタイム早い者が上位。 2. 1.が同タイムの場合、トップスピードの速い者が上位。 3. 2.が同速度の場合、前ヒートのE.T.の早い者が上位。	1. 勝者の決定 (1) 2台同時にスタートし、先にゴールラインを超えた者が勝者。 (2) (1)で同着の場合、E.T.の早い者が勝者。 (3) (2)が同タイムの場合、トップスピードの速い者が勝者。 (4) (3)が同速度の場合、前ヒートのE.T.の速い者が勝者。 (5) (4)が同タイムの場合は大会審査委員会の決定による。 2. 順位の決定 (1) 最終ヒートの勝者が WINNER となる。 (2) 最終ヒートの敗者が RUNNER-UP となる。 (3) 決勝前のヒート敗者が SEMI-FINALIST となる。

### 16 計測システムと計時結果

#### 1) タイム計測

- (1) E.T.を光電管計測装置を使用し、1/1000秒単位まで計測を行う。
- (2) 光電管計測装置が故障、事故等によって使用できない場合はストップウォッチを使用し手動計測で1/10秒単位まで計測する。
- 2) タイム発表は原則としてE.T.のみとする。
- 3) タイム計測ができない場合およびレース中の反則行為の取り扱い。

(1) 失格	① ステージング完了前にステージライトを消灯した場合。 ② 相手側がプレステージまたはステージングしてから著しくプレステージまたはステージングが遅い場合。 ③ ファール：リアクションタイム (RT) が規定秒未満の場合 ④ ラダー競技のデュアルスタートにおいてセンターラインを超えた場合。 ⑤ タイムトライアル予選においてセンターラインを超えた場合。 ⑥ コースを区分するラインを超えた場合。 ⑦ コースの設備、計測装置に接触した場合。 ※ラインを超えるとは、タイヤの一部でもライン塗装上を超えることを言う。ただしデュアルスタートで相手との接触を避けるためにラインを超えた場合は失格とはならない。
(2) 計測不能	① ステージング後スタートシステム作動前にステージライトを消灯した場合。 ② グリーンランプ点灯後5秒以内にスタートしない場合。 ※スタート合図と共に「勝者」となるがタイムが計測できないので「計測不能」として扱い次のヒートへ進行権利が与えられる。レーン選択の権利はない。
(3) 59.999秒	タイムトライアル・予選においてスタート後ゴールラインを超えられない場合。

#### 4) 速度計測

ゴールラインの手前20.12 m の位置に設置された光電管によりゴールラインの通過速度（トップスピード）を測定する。

## 17 禁止行為

次の行為を行った場合失格となる。

- 1) バーンアウトで車両を後退させることができない場合：旋回してスタートラインへ戻ることは禁止される。
- 2) スタート前に2回エンジンが止まった場合：エンジンの再始動は1回のみ許される。
- 3) 競技役員の許可なしにコースを逆走した場合。
- 4) パドック内、リターンロードでの最低速度遵守違反。

## 18 リタイヤ(棄権)と停止

- 1) リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章〔⑱競技〕(34頁)による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届を提出できないときには、競技役員の判定によりリタイヤと認めることができる。

## 19 賞典

- 1) 賞典は大会特別規則または公式通知にて示される。
- 2) 賞典は参加台数により制限される場合がある。この制限は、大会特別規則または公式通知にて示される。
- 3) 全日本選手権、地方選手権ポイントは、細則9・13賞および得点項(127頁)による。

## 20 レース終了後の車両保管と再車検

- 1) 上位入賞車両は、所定の位置により競技役員の誘導に従って車両保管区域へ入らなくてはならない場合がある。
- 2) エンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再車検を行うことがある。
- 3) 出場者は、必要に応じて車両保管を行うことがある。

## 21 レースの成立

### 1) 成立の条件

各クラスの参加者が全員1回の走行が終了していればその時点で競技は成立したものとす。走行とは、タイムスケジュールに基づき競技役員の指示によってコースインを完了した以降をいう。この判定に対する抗議は受け付けない。

### 2) レース中断/中止時の順位の設定

タイムトライアル、予選	トーナメント、決勝レース
1. 完了したヒートのE.T.のベストタイムが速い者が上位。	1. 公式予選のみ完了の場合、タイムトライアルに準ずる。
2. 1.が同タイムの場合、トップスピードの速い者が上位。	2. 完了したヒートの勝者のE.T.の速い者が上位。
3. R.T.の速い者	3. 完了したヒートの敗者のE.T.の速い者が上位。
4. 3.が同じ場合、大会審査委員会の決定による。	

## 22 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が参加申込後に中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ 共済金掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

## 23 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔㉔抗議〕(37頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。

## 24 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔㉔違反行為に対する罰則〕(38頁)による。

## 25 本規則の解釈

本特別規則および競技に関する疑義は事務局宛に質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

## 26 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申込受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。本規則は、1997年1月1日から施行する。



## 細則 9

# '97全日本 ドラッグレース選手権 特別規則

### 1 公示

全日本ドラッグレース選手権は、FIM 国際スポーツ憲章に基づいた MFJ 国内競技規則と各大会の特別規則に基づき MFJ 公認の国内格式として開催される。

### 2 開催種目と競技会の日程

- 1) 開催種目は下記とする。  
ドラッグレースライセンスA級 プロストックバイク (PB)
- 2) 競技会の日程は後日、ライディングにて発表。
- 3) ドラッグレースA級所持者であっても全日本選手権に出場するためには、一定の制限が設けられる場合がある。

### 3 追加のクラス

全日本選手権には併催クラスが追加されてもよい。但し下記の条件が満たされなければならない。パドックが充分広く、主催者が全日本選手権のレースを優先させ規定の予選・決勝レースを設定できること。

### 4 コース

コースは MFJ が国内公認したコースとする。

### 5 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長は、MFJ が任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までに会場に到着しない場合は次席の者がこれにあたる。

### 6 参加定員

制限が設けられる場合がある。

### 7 出場料および MFJ 共済会掛金

出場料：各大会特別規則による。

MFJ 共済会掛金 2,000円

### 8 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して3名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンス

が必要である。エントリー時に申請が必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。

## 9 ゼッケンナンバー

- 1) 前年度全日本選手権の有得点者には当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。
- 2) その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。

## 10 公式予選

- 1) 公式予選は、タイムトライアル方式により最低1回行う。

## 11 決勝レース

- 1) 16台によるトーナメント（勝ち抜き方式）によって行われる。また参加台数によって32台のトーナメントを行う場合がある。

## 12 コース選択

- 1) コース選択は、経過タイムにより決定する。予選のE.T.（直線の区間タイム）の速い方が第1ヒートのレーン選択ができる。続くヒートでは、前回のヒートの速い方がレーン選択をできる。同タイムの場合は、トップスピードの速い者が優先される。

## 13 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 得点はトーナメント競技では、下記のポイント表の通りとする。

Winner	Runner-up	Semifinalists	Quarterfinalists	1st-round loser
150	120	90	60	30

- a) 予選に参加し予選を通過して決勝ヒートに残ったライダーには、10ポイント追加される。
- b) 予選の順位により下記のポイントが各ライダーに与えられる。

予選	1位………60	5、6位………30
	2位………50	7、8位………30
	3位………40	9～12位………20
	4位………40	13～16位………10

- c) 大会を通じてベストE.T./ベストR.T./トップスピード（予選を含む）をマークしたライダーにそれぞれ20ポイント追加される。
- d) 国内最高記録（E.T.）を樹立したライダーに対しては、50ポイント追加される。
- e) 競技が当初よりタイムトライアルで行われた場合、a)、b)項は削除し、下記のタイムトライアル競技の〈ポイント表〉に従いポイントが与えられる。

また、トーナメント競技において不可抗力により競技の途中で続行が不可能になった場合は、その時点で決定された順位により、下記のタイムトライアル競技の〈ポイント表〉に従いポイントが与えられる。この場合、a)、b)項のポイントは有効となる。

- f) 出走台数が2台に満たない場合はポイントは与えられない。

タイムトライアル競技では、得点は、下記の〈ポイント表〉の通りとする。

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位	16位
150	130	110	100	90	80	70	60	55	50	45	40	35	30	25	20

※ドラッグレースの全日本選手権・地方選手権は上記の得点を公式得点とする。

## 14 主催者の権限

- 1) 参加申込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。
- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピットの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- 4) やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの指名登録又は変更について許可することができる。
- 5) すべての参加者、ライダーピット要員およびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。

## 15 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申込受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

1997年1月1日  
全日本ドラッグレース選手権  
大会事務局長

※'97年 MFJ 全日本ドラッグレース選手権日程は調整中であり、後日ライディングにて発表する。





# RIDER'Sビック保障プラン

モーターサイクルスポーツのメンタルパートナー

平成8年5月以降  
さらに値下げ

## 1 無配当新定期保険

【割戻金特約、疾病入院・手術特約付】

給付金の種類	支払事由	給付金額
災害入院給付金 【入院日額 × 入院日数 - 4日】 1入院120日、通算700日限度	災害で5日以上 継続入院したとき	日額 <b>5,000円</b>
疾病入院給付金 【入院日額 × 入院日数 - 4日】 1入院120日、通算700日限度	疾病で5日以上 継続入院したとき	日額 <b>5,000円</b>
手術給付金 手術に応じて 【入院日額の50・30・15倍】	災害または疾病で 所定の手術を受けたとき	手術種類により <b>25・15・7.5万円</b>
災害死亡 高度障害保険金	災害によって死亡 所定の高度障害のとき	<b>500万円</b>
疾病死亡 高度障害保険金	疾病によって死亡 所定の高度障害のとき	<b>500万円</b>

### ■月払保険料表【抜粋】

【集団扱い・特約保険料含む】

年齢	男性	女性	年齢	男性	女性
5才	1,830円	1,725円	30才	2,620円	2,370円
10才	2,030円	1,810円	35才	2,915円	2,595円
15才	2,310円	1,980円	40才	3,495円	3,000円
20才	2,455円	2,125円	45才	4,335円	3,555円
25才	2,495円	2,240円	50才	6,700円	4,285円

## 2 資料請求について

■お気軽に下記お電話で資料をご請求ください。  
受付時間 9:30~16:00 (土曜/日曜/祝祭日を除く)



**0120-893104**  
MFJ保険事務局 (直通)

**045-201-2188**

日本団体生命(株) 財日本モーターサイクルスポーツ協会 直営

■おハガキで資料請求する場合は下記要領で

■資料請求■  
●〒 ●住所 (フリガナ)  
●氏名 (フリガナ) ●性別  
●電話 ●生年月日  
●ライセンス番号  
または証券番号  
追加契約を希望  
積立型と比較希望

50 104  
東京都中央区  
築地 2-11-24  
第29興和ビル別館7F  
財団法人  
日本モーターサイクル  
スポーツ協会 内  
ライダーズビック保障プラン  
保険事務局 係

■ご契約の際には「ご契約のしおり・約款」・パンフレットを必ずご覧ください。  
■ご職業・既婚約・既往症・地域などによってはご契約が出来ない場合があります。  
■このプランは【満期金】【配当金】がない掛捨て型の生命保険です。  
■加入年齢は5歳~60歳。医師の診断などはなく【告知不要】です。  
■保険料は抜粋です。ご契約時点の年齢で1才ごみで保険料は異なります。  
■保障期間は【保険期間10年・自動継続型・主契約85才・特約80才】です。  
■保険料は一般契約よりも割安な【集団割引・月払保険料】です。  
■引受保険会社 日本団体生命保険株式会社

## 3 RIDER'Sビック保障プラン Q&A

### Q 1.趣味としてモーターサイクル・スポーツを楽しんでいますか？

もちろん、保障します。  
ロードレース・モトクロス・トライアル・スノーモビル・ドラッグレース  
エンデューロなどモーターサイクルスポーツ中(練習・予選・決勝を含む)  
に発生したケガ/死亡を国内/海外と場所地域を問わず保障します。  
また、海岸・河川敷・林道など一般公道以外で発生した事故もOKです。  
さらに【一般公道上の交通事故】【スキー・ダイビング等レジャー中の事故】  
【仕事上の労災事故】そして【病気】【成人病】【ガン】までも保障します。  
誠にオールマイティな保障を重点においた保険です。  
つまり、モーターサイクルスポーツシーンを含み、キミの生活を24時間にと  
わり一般には加入出来ない割安な保険料で保障する素晴らしい保険です。  
※参考 一般の傷害保険(交通傷害保険・傷害保険等)は「危険なスポーツ」は「危険なスポーツ」とされ保障されません。ご注意ください。

### Q 2.申込締切日と保障開始日とその支払方法は？

■申込書の締切日は 毎月1日  
事務局から保険会社へ提出する締切日が毎月1日。  
事務局には毎月20日ごろまでご返送下さい。  
■保障の開始日は 翌々月の1日~  
■保険料は 第一回目から安心現実な口座自動振替

### Q 3.通院や自宅で療養中の場合は保障されますか？

残念ながら、通院・療養・療養は保障の対象外です。  
また、たとえ入院であっても人間ドックなど検査を目的とする入院や出産  
(異常出産は適用)も保障の対象外です。つまり治療入院が対象です。

### Q 4.現在ケガで通院中ですが、このプランに加入出来ますか？

残念ながらご契約出来ません。契約する時点が(健康な方)が条件です。  
ケガをしっかりと治したあとにお申し込み下さい。  
なお、現在リハビリ中の方、骨折されてギプス/プレート/針金等で固定中  
の方、また医師の指導/指示を受け作業を服用中の方、病気などで定期検査  
を指示されている方、また妊娠中の女性の方も同様に申込み出来ません。  
また、ご職業・既往症などによってもお申し込みが出来ない場合もありま  
すのでお問い合わせください。  
「備えあれば、憂いなし」ということわざがあります。保険も重要なパー  
ツです。マシンとともにメンタル部分もチューンナップが必要。  
是非、ナニかが起こる前に、ご加入する事をおすすめします。

### Q 5.モーターサイクルスポーツ中の保障を具体的に教えてください？

●大腸骨骨折で90日入院。接合手術あり(抜釘手術含む)の場合。  
お支払例  
災害入院給付金 430,000円 (5,000円×(90日間-4日間))  
手術給付金(給付倍率15倍) 75,000円 (5,000円×15倍)  
お支払い合計 505,000円  
1事故なし1入院のお支払対象期間は120日限度です。  
保障期間中の通算日数はケガ・病気とも700日間、計1400日間を保障致します。

### Q 6.加入資格、またモーターサイクルスポーツを卒業された場合は？

このプランは、財団法人、日本モーターサイクルスポーツ協会に登録され  
た会員の方、またその家族に限り加入することが出来ます。保険料は一般  
に契約するよりも割安な集団割引を適用した団体保険です。契約後、モ  
ーターサイクルスポーツをご卒業されたとしても、MFJメンバーサービス  
としてそのままの保険料で継続いたしますので大丈夫。なお保険期間は10  
年間。さらに自動継続制度で終期85歳(特約80歳)まで保障。継続時がた  
たとえ傷病中であってもその時点の年齢別保険料で自動継続します。

### Q 7.保障の額を引き上げたいのですが？また積立型はありますか？

まずはこのプラン【無配当新定期保険】にご加入ください。  
なお、死亡保障額を引き上げたい方はお電話でご相談ください。  
また【積立型】をご希望の方、無配当新定期保険と比較したい方はお電話  
または資料請求時に【積立型と比較希望】と明記して下さい。

### Q 8.すでに加入しています。追加の契約出来ますか？

朗報 すでにRIDER'Sビック保障プランをご加入されている方に朗報。追加契約  
が出来ますのでご用命下さい。【積立型】や従来型【医療保険】もありま  
すのでお気軽にご用命下さい。ただし【医療保険】は2口加入が出来ませ  
んでご了承ください。

すでに契約されている方も追加OK

**MFJ** 会員の皆様へ  
RIDER'Sビック保障プランは【安い保険料】  
【幅広い保障】でキミのレーシングライフを  
24時間体制でサポートいたします。



# 緑の中のモーター ランドは みんなの心の開放区

## '97 HSR九州ロードレース・カレンダー(暫定)

ライセンス区分	公認										承認・その他										開催 コース	申し込み先	エントリー 用紙	
	国際・国内					国内					N・F・J					国際・国内・フレッシュ・なし								
	九州選手権					九州選手権					HSR選手権					HSR選手権								
イベント名	日程	GP 250	GP 125	GP 250	GP 125	SP 400	SP 250	SP 125	GP 80	NK -M	NK -N	S 80	SP 12	N 250	N 400	N 50	S 50	4st スペシャル	リバ パル レーサー	ノー バー 50	シング ル& ツイン	オン フル	申し込み先	エントリー 用紙
ミニバイクフェスタ	2月9日												耐				耐	耐	耐			◇	HSR九州	○
スプリングフェスタ	3月2日																					◇	HSR九州	○
エリア 第1戦	3月23日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎													◇	HSR九州	◎
スポーツワールド	4月6日												耐				耐					◇	ホンダ・菊池	□
モトチャンプカップ	4月27日													◎			◎	◎	◎			◇	HSR九州	○□
ミニバイクフェスタ	5月4日												耐				耐	耐	耐			◇	HSR九州	○
エリア 第3戦	6月15日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎													◇	HSR九州	◎
サマーフェスタ	6月29日													◎			◎	◎	◎			◇	HSR九州	○
モトバラダイス	8月3日												耐				耐					◇	ホンダ・菊池	□
モトチャンプカップ	8月24日													◎			◎	◎	◎			◇	HSR九州	○□
オータムフェスタ	9月7日													◎			◎	◎	◎			◇	HSR九州	○
エリア 第5戦	9月21日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎													◇	HSR九州	◎
モトチャンプカップ	10月12日													◎			◎	◎	◎			◇	HSR九州	○□
ミニバイクフェスタ	10月26日												耐				耐	耐	耐			◇	HSR九州	○
エリア 第7戦	11月16日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎													◇	HSR九州	◎
ミニバイクフェスタ	12月21日												耐				耐	耐	耐			◇	HSR九州	○

※上記日程は予告なく変更することがありますので予めご了承下さい。(1996.11.26 現在)

エリア・九州選手権エントリーに限り、有効なMFJ競技ライセンスでエントリー時点より、大会前日迄スポーツ走行可能と致します。この大会特別措置は97年度に限り実施致します。

### ◆HSR九州サーキットライセンス

HSR九州には2ツサーキットライセンスがあります。  
一般公道車、50ccレース仕様車で走行出来る「ファミリーライセンス」  
レース仕様車で走行出来る「スポーツライセンス」  
料金 ファミリーライセンス 10,000円  
スポーツライセンス 23,000円  
自分の目的にあったライセンスを選びましょう

### ◆会員特典

・年末、年始、会員対象イベント開催、参加無料走行  
・走行料割引  
2,100円/回 ⇒ 1日3回日より1,000円/回  
・HSR九州主催イベント参加者の方へ無料走行チケットプレゼント

## '97 HSR九州オフロードカレンダー(暫定)

イベント名	日程	Jr80	NR80	NA80	NB125	NB250	NA125	NA250	IB125	IB250	IA125	IA250	キッズ50	無し	オープン	耐久	主催者
HSRモトクロス大会	1月26日	◎					◎				◎	◎	◎	◎			HSR九州
80ccモトクロス大会	2月23日	◎	◎	◎									◎	◎			HSR九州
HSRモトクロス大会	3月30日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			HSR九州
九州モトクロスR-4	4月29日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			MFJ熊本/HSR九州
全日本モトクロスR-3	5月11日																MFJ九州ブロック協議会
80ccモトクロス大会	7月27日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			HSR九州
九州モトクロスR-9	9月28日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			MFJ佐賀
九州モトクロスR-10	10月19日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			MFJ熊本/HSR九州
80ccモトクロス大会	11月23日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			HSR九州
HSRモトクロス大会	12月14日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			HSR九州

※上記日程は予告なく変更することがありますので予めご了承下さい。(1996.11.26 現在)

※◎はオープン参加とし、賞典から除外される



ロードレース



シングル&ツイン



ミニバイク



モトクロス



レースクイーン

# HSR九州

熊本県菊池郡大津町平川 1500

☎ 096-293-1370

FAX 096-293-1371

技術規則

# TECHNICAL RULES

■ MFJ 技術規則	132
■ 基本仕様〈ロードレース〉	139
■ 基本仕様〈モトクロス〉	148
■ 基本仕様〈トライアル〉	153
■ SP クラスの仕様	158
■ 耐久レースの追加仕様	163
■ 国内ロードレース GP クラスの仕様	165
■ 国内モトクロスの仕様	169
■ 国内トライアルの仕様	173
■ 全日本・エリア選手権ロードレースの仕様	175
■ FIM 技術仕様〈モトクロス・トライアル〉	190
■ ドラッグレースの仕様	192
■ ロードレースジュニアクラスの仕様	200
■ ミニバイクの仕様	204



### 3 小分類ナンバー

国内の各種目別の規則においては、各「条」に出てくる対象部分には共通の小分類ナンバーが与えられ、許可または制限されていない場合はその項目番は削除されています。

小分類ナンバー	項目	小分類ナンバー	項目
1	エンジンの型式	31	発電機、スパークプラグ、バッテリー
2	シリンダーの数	32	ワイヤーハーネス
3	ピストンストローク	33	予備
4	ケース、シリンダー、シリンダーヘッド、ギヤボックスの材質と形状	34	コントロールワイヤー関係
5	クラッチの型式	35	灯火器
6	エンジン、ミッションの内部の動く部品の材質	36	メーター関係
7	4サイクルの圧縮比、バルブの径とリフト量	37	予備
8	2サイクルのポートタイミング、ポートサイズ、圧縮比	38	保安部品関係
9	ケースに対するシリンダー・シリンダーヘッドの位置	39	予備
10	吸排気バルブ、ポート、キャブの数	40	ドライブチェーン
11	クランクケースカバー廻りの材質、形状	41	ファイナルスプロケット
12	シリンダー、シリンダーヘッド関係	42	リヤホイール
13	クランクシャフト、ピストン、リング関係	43	リヤブレーキ、キャリアー、ディスク、マスターシリンダー
14	カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブ	44	フロントホイール
15	予備	45	フロントブレーキ、キャリアー、ディスク、マスターシリンダー
16	キャブレター	46	ブレーキペダル
17	フュエルタンク、フュエルコック、フュエルライン	47	予備
18	エキゾーストパイプ、チャンバー、マフラー	48	タイヤ
19	ラジエター、水ポンプ、キャッチタンク (冷却系)	49	予備
20	予備	50	フレームボディ、ステップ関係含む、カウルステー類
21	予備	51	フロントフォーク
22	クラッチ関係 (プライマリーを含む)	52	リヤクッション、リヤフォーク、サスリンケージ
23	ミッションギヤ関係 (ドライブスプロケット含む)	53	ハンドル、トップ・ボトムブリッジ、ステアリングダンパー
24	シフト関係、チェンジペダル	54	ストリームライニング (カウリング) とステー
25	スタート装置	55	シートカウル、フェンダー
26	分離給油オイルポンプ関係	56	ワイヤーロック (安全)
27	ブリーザーシステム、エアクリーナーボックス	57	オイルクーラント
28	予備	58	ガソリン
29	材質	59	調整、仕上げ
30	イグニッションコイル、点火ユニット	60	軽量化
		61	ワイリーバー

# MFJ 技術規則

モーターサイクルとは、ホイールが4つまでで、エンジンによって推進され、ひとり、あるいはそれ以上の人間（そのうちのひとは車両のドライバーとなる）の輸送のためにデザインされたすべての車両を意味している。ホイールは、瞬間的またはある種の例外的な場合を除いて、通常路面に設置していなければならない。

## 第1章 目的

- 1 安全の確保
- 2 平等性を最大限に維持する。
- 3 車両のコスト上昇を極力抑える。

## 第2章 クラス

### 1. ロードレース

#### GP フォーミュラ

50cc		50cc以下
80cc	50ccを越え	80cc以下
125cc	100ccを越え	125cc以下
250cc	175ccを越え	250cc以下
500cc	250ccを越え	500cc以下

#### スポーツプロダクションフォーミュラ

			2st	4st
50cc		50cc以下	○	○
80cc	50ccを越え	80cc以下	○	○
125cc	100ccを越え	125cc以下	○	○
250cc	175ccを越え	250cc以下	○	○
400cc	250ccを越え	400cc以下	—	○

※スーパーバイクは全日本・エリア選手権技術仕様参照

### 2. モトクロス

80cc	50ccを越え	80cc以下
125cc	100ccを越え	125cc以下
250cc	175ccを越え	250cc以下

### 3. トライアル 排気量区分は定めない

### 4. エンデューロ 別に定める

### 5. スノーモビル 別に定める

### 6. ドラッグレース 別に定める

(参考) ライセンス区分と規則の適用範囲

	ライセンス区分				
	(全日本・エリア選手権)		(地方選手権)		
ロードレース	IA	IB	NA	NB	J
モトクロス	IA	IB	NA	NB	J
トライアル	IA	IB	NA	NB	
	FIM 規則をもとに定める		MFJ 規則による		MFJ-J 規則

### 第3章 排気量

総排気量はシリンダー容積を測定するのに用いられる幾何学公式に依って計算される。すなわち直径はボアによって表され、高さはピストンがその最上部から最下部まで移動するのに占めるスペースで表される。

公式

$$\text{排気量} = \frac{D^2 \times 3.1416 \times C}{4} \times \text{気筒数}$$

D=ボア C=ストローク 単位=cm 小数点以下4ケタで切り捨て

測定の際にはボアに1/10mmまでの許容誤差が認められる。この許容誤差を考慮しても排気量が当該クラスのリミットを越える場合、エンジンが冷えた状態で再測定が1/100mmのリミットまで行われる。

シリンダーのボアが真円でない場合断面積を測定し、計算することとする。

全てのカテゴリーにおいて、スーパーチャージは禁止される。

### 第4章 テレメトリー

走行中のモーターサイクルから、またはモーターサイクルへの無線等による情報交換は行っていない。

車両には公式計測装置が義務付けられる場合がある。

### 第5章 重量

参加車両は以下に定める最小限重量値を半乾燥重量で満たしていること。バラストによる調整は認められない。ただし重量規制が変更され、新たな規則が実施される初年度に限り、5.0kgを限度として完全に固定されたバラストの使用を認める。

レース終了後は1%の誤差が認められる。

#### 1.1) ロードレース

GP フォーミュラ	スポーツプロダクション	スーパーバイク
50cc 70kg	50 70kg	162kg
80cc 70kg	80 70kg	
125cc 70kg	125 95kg	
250cc 100kg	250 115kg	
500cc 4気筒 130kg	250F 130kg	
3気筒 115kg	400 145kg	
2気筒以下 100kg	750 165kg	

重量測定の際、燃料タンクを外した場合には、下記が規定重量より差し引かれる。

GP フォーミュラ：2 kg (スーパーバイク：4 kg)

※いずれも排気量による違いはない

ただし、世界選手権を除く国内競技会において、上記の方法で規定重量を下まわった場合、燃料を抜いたタンクを装着し、通常の規定重量にて再度計測を受けることができる。

#### 2) モトクロス

80cc 61kg

125cc 88kg

250cc 98kg

#### 3) トライアル 特に定めない

#### 4) エンデューロ 特に定めない

- 5) スノーモビル 特に定めない  
 6) ドラッグレース PBは249.47kg (ライダーが乗車した状態)、他は特に定めない

## 第6章 公認制度

### 公認制度の必要性

公認車両を種目別規定の範囲内で改造を実施する際に、平等性と低コストと安全性を最低限確保するために設定する。

従って平等性を確保するために最低数を設定する。制度設定の主旨に合わない判断された場合は、公認されない場合もあり得る。

1. 参加車両は市販レーサーまたは一般生産型車両で、MFJの公認を受けた車両に限定される。
2. 完成車公認

公認申請を行うには、下記の条件を満たしていること。

#### 1) 台数

最低台数が出荷されていること。

	国産車			輸入車	
	レーサー	市販車		レーサー	市販車
ロードレース	25台	250cc以下 250cc越える	500台 250台	10台	25台
モトクロス	100台	250cc以下 250cc越える	500台 250台	10台	25台
トライアル	5台	250cc以下 250cc越える	500台 250台	5台	25台
スノーモビル	5台	—		5台	25台

#### 2) 種目別付帯条件

スポーツプロダクション (SP) については各々の種目別公認条件を満たしていること。

第11章 08条……SP

(スポーツプロダクションのコンプリート車両の公認申請を行うには、ベース車両が市販車として公認を受けており、ベース車両からの改造の範囲はSPの仕様以内であること。)

#### 3. 部品公認

##### 1) 公認範囲

部品名	ロードレース			モトクロス	トライアル
	SP	SS	GP	80, 125, 250	
シリンダー		○	○	○	
シリンダーヘッド		○	○	○	
カムシャフト		○			
ミッションギヤー	○			○	
キャブレター	○		○	○	
クラッチ	○				
フロントフォーク		○	○	○	
リヤークッション		○	○	○	
リヤフォーク		○	○	○	
タイヤ	○				○
エアクリナーボックス	○				

- 注) 1. ○印は公認時に組み込まれていた部品の追加加工に限定される。またリヤフォーク以外は材料の削除による改造に限る。  
 2. SP用タイヤは一般公道用として製作されたもの、またはレーシングレインタイヤに限る。

##### 2) 数量

最低数量が出荷されていること。

カテゴリー	数量
ロードレース GP	25個以上
ロードレース SP・SS	50個以上
モトクロス	50個以上
トライアル	50個以上

##### 3) 制限

公認申請に際しては各々の部品の仕様は各々のカテゴリー、クラスの種目別仕様に合致し



ていること。

#### 4. 公認申請資格

- 1) 車両及び部品の公認申請を行うことのできる資格者は、MFJの特別会員であるモーターサイクル製造会社または賛助会員であり、かつ当該製品の製造会社、または輸入総代理店でなければならない。申請会社代表者は毎年、車両及び部品の公認申請に関する担当責任者を登録し、その者のみが公認申請を行うことができる。
- 2) 公認申請書は必要書類を添付し、定例技術委員会の開催される月の20日までに事務局に送付されていなければならない。

#### 5. 公認発効と有効期限

- 1) 公認審査は技術委員会が行う。
- 2) 定例技術委員会は原則として毎月第4火曜日に開催される。
- 3) 審査に合格した車両で、すでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きて公認発効する。  
発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヶ月後の同日付きて公認発効する。
- 4) 審査に合格した部品で、すでに発売されている部品の場合は会議日から1ヶ月後の同日付きて公認発効する。  
発売日が会議日以降の場合は、発売日の1ヶ月後の同日付きて公認発効する。
- 5) 競技専用車両（市販レーサー）の場合は上記車両の公認発効までの期間を、各々1ヶ月後とする。
- 6) 有効期限は発効年を含み5年間とし、5年目の12月末日で失効する。
- 7) 失効した車両または部品は、再申請することができる。

## 第7章 ガソリン・オイル・クーラント

- (1) 競技に使用できるガソリン（ドラッグレース・スノーモビルは特別規則による）  
競技に使用できるガソリンは下記の項目のすべてに合致していなくてはならない。
  - ① 競技用ガソリンとは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、あるいはMFJ公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できるガソリンとする。（ロードレースに関しては大会時にサーキットにて購入できるガソリンに限る）
  - ② 競技用ガソリンは下記のMFJの定める仕様以内（無鉛ガソリン）に制限される。  
（AVガス、航空機用ガソリン等は使用できない）
    - Ⓐ 鉛の含有量は0.013g/l以下であること。
    - Ⓑ リサーチオクタン価が100.0（RON）、モーターオクタン価が89.0（MON）以下であること。
    - Ⓒ 密度は15℃において0.725g/ml～0.780g/mlであること。注意：'97年1月1日より、ロードレース2ストロークエンジンに対しても、上記無鉛ガソリンに制限されている。
  - ③ 大会特別規則（全日本選手権特別規則等）によって、ガソリンの銘柄、および供給方法等を指定した場合、それに従わなくてはならない。
- (2) 競技用ガソリンには販売時に混入されている以外のいかなるものも添加されてはならない。ただし一般に販売されているスタンダードの潤滑油および1.5%以下のアルコール（燃料精製中に混入されているものに限る）については認められる。
- (3) 水冷エンジンの冷却水は、水あるいは水とアルコールの混合物に限られる。



## '97 HSPロードレースシリーズ大会

参加可能競技ライセンス			フレッシュマン・国内		フレッシュマン・国内・国際		
開催日	受付	GP80	SP125	NK	SP250 & 400	GP125	
1戦	6/1	4/22~5/1	●	●	●	★	★
2戦	7/6	5/28~6/6	●	●	●	★	★
3戦	8/10	7/1~7/10	●	●	●	★	★
4戦	9/14	8/5~8/14	●	●	●	★	★

1. ★印⇔MFJ昇格ポイント有

2. 暫定ライセンスでの参加者は、参加大会のポイントと賞典は与えられるが、シリーズランキングの対象外とする。

## HSPライセンス講習会

1. 開催日程と場所【注意】開始時間の30分~20分前迄に会場にお越し下さい。

	札幌市内	倶知安町内
開催場所	旭山公園記念会館(2F) 札幌市中央区南9条西18丁目	HSP北海道スピードパーク 虻田郡倶知安町字峠下155
開始時間	PM6:30~PM9:00	AM6:30~PM12:00
4月	5日(土) 19日(土)	27日(日)
5月	10日(土)	18日(日) 25日(日)
6月		8日(日) 22日(日) 29日(日)
7月		13日(日) 20日(日) 27日(日)
8月		3日(日) 17日(日)

《お問い合わせ》 HSP北海道スピードパーク ☎0136-23-3880

2. 取得資格

公安委員会発行の運転免許証を所持している事。(原付きでも可)

3. 持ち物

1. 運転免許証 2. 認印 3. 筆記用具(ボールペン)  
4. ライセンス料金 ¥15,000(フレッシュマンライセンス希望者→¥20,500)  
5. 写真(3cm×3cm)2枚(フレッシュマンライセンス希望者→4枚)  
6. 20才未満の方は、HSPより承諾書を取りよせ、その承諾書に親権者の署名及び実印を捺印の上、印章証明書(承諾書に捺印の印鑑)を添付し、講習会に持参下さい。

4. 該当車両

※GP80cc又は125cc以上の市販バイクカレース用バイク

5. 走行料金

※1単位30分 ¥2,500

6. 事故・怪我・等

事故等による車輛の破損、怪我、死亡は、走行される本人の責任とし、HSP管理責任者、従業員、運営者等、HSPは一切の責任及び補償は負いません。

# ロードレース 基本仕様

\*ロードレース基本仕様は'96年版 FIM ロードレース技術規則をもとに、'97年からの FIM のおもな変更点をもり込んで MFJ ロードレース基本仕様として編集しています。原文との比較がしやすいように、文頭にはもととなった FIM 規則の項目番号が表示してあります。

## 01.25 基本仕様

下記仕様はロードレースのすべての車両、およびすべての競技会に適用されるが、主催者が特別の指示を与えた場合は例外とする。ある種の競技へはさらに細かい仕様が必要になるが、これらはその競技会の特別規則 (SR) に明記される。

### 25.01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用してもよい。

## 01.26 フレームの定義

フレームとは図 (147頁、図D) で示す通り、エンジンが取り付けられる部分を中心にステアリング取り付け部分とリヤサスペンションの取り付け部を含む構造全体をいう。シートを取りつける為のサブフレームはフレーム本体に溶接されている場合はフレームと見なし、ボルトオンタイプ (脱着可能) のものはフレームとみなさない。

## 01.27 スタート装置

スタート装置は耐久レースに関してのみ義務づけられる。

## 01.31 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たさなくてはならない。

- 31.01 エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差 $\pm 10^\circ$ )
- 31.02 排気ガスは後方に排出しなければならないが、ほこりを立てたり、タイヤやブレーキを汚したり、またパッセンジャーや他のライダーに迷惑をかけるような放出方法であってはならない。後続ライダーに迷惑をかけないようにするために、オイルの飛散を防ぐ措置を施さなくてはならない。
- 31.03 エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

**01.33** ハンドルバー

- 33.01.02 ハンドルバーの最低幅は、80ccまでのマシンは最低400mm。80ccを越えるマシンは最低450mmとする。
- 33.04 ハンドルバーの最低幅はグリップの外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。……146～147頁の図参照
- 33.05 ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 33.06 ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側への回転角度は、最低各15°以上なくてはならない。……146～147頁の図参照
- 33.07 ストリームライニングがある場合、ハンドルバーがどの位置にあってもフロントホイールがストリームライニングに接触してはならない。
- 33.08 ライダーの指が挟まれないようにするために、ハンドルを左右いっぱいにも切ってもハンドルバー（レバーを含む）と燃料タンクの間で最低30mmの間隔があるように、ストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取り付けなくてはならない。
- 33.09 ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように、丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 33.11 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

**01.35** コントロールレバー

- 35.01 すべてのハンドルバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなっていてはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部は、レバーと一体構造に固定されていなくてはならない。
- 35.03 各コントロールレバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 35.04 もしブレーキ・レバーが、フットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

**01.37** スロットルコントロール

- 37.01 スロットルコントロールは、手を離した時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

**01.38** フュエルポンプ

- 38.01 電動フュエル・ポンプは、事故の際に自動的に作動するサーキット・カットアウト（回路開閉器）を介して配線されなくてはならない。  
この機能が車両検査時に確認できるよう、電動フュエルポンプにはテスト機能がなくてはならない。

**01.39** フットレスト

- 39.01 フットレストの先端には最低半径8mmの、中空でない球状の一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。  
フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならない。

- 39.02 折りたたみ式でないスチール製フットレストの先端には、プラスチック、テフロンあるいはそれと同等の材質でできた先端（プラグ）が固定されなくてはならない（最低半径8mm）。

## 01.41 ブレーキ

- 41.01 すべてのモーターサイクルは最低2つの効果的なブレーキ（各ホイールにひとつ）がなくてはならず、これは独立してホイールと同心的に作動しなくてはならない。

## 01.43 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 43.01 マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 43.02 フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしていなくてはならない。また、下記角度の範囲内でなければならず、その部分はホイール自体がカバーされてもよい。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイール中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 43.03 リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガード後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。（147頁図D参照）
- 43.04 ストリームライニングがある場合、マッドガードは必要とされない。ストリームライニングが無い場合にはマッドガードが必要とされる。シートのフェアリングがリヤ・タイヤの後側の垂直接線にまで達している場合には（許容誤差-50mm）、リヤ・マッドガードを装着する必要は無い。

## 01.45 ストリームライニング（カウリング）

- 45.01 フロントホイールは（タイヤを除く）、フロントマッドガードに隠れる部分を除き、各サイドからはっきりと見えなくてはならない。
- 45.02 ストリームライニングのいかなる部分も、フロント・ホイール・アクスルから前方100mmを通る垂直線より前にあってはならない。ノーマルのマッドガードはストリームライニングとはみなされない。
- 45.03 ストリームライニングのいかなる部分も、リヤ・ホイール・アクスルを通る垂直線の後部にあってはならない。リヤ・ホイールのリムは、この線の後部円周180°に渡ってはっきり見えなくてはならない。モーターサイクルのいかなる部分も、リヤ・ホイール外側の後端の垂直接線より後方にあってはならない。
- 45.04 エアfoil、またはスポイラーは、それがフェアリングまたはシートと一体構造になっている場合に限り取りつけることができる。これは、フェアリングの幅を越えてはならない。ハンドルバーの高さを越えてはならない。尖っているエッジは、少なくとも半径8mmの丸みを持たせなくてはならない。
- 45.05 ウィンドスクリーンの先端と、全てのストリームライニングの露出部分の先端は丸められていなくてはならない。
- 45.06 通常のライディング・ポジションにおいてライダーは後方の両側及び上から全体（腕の前部を除く）が視認されなくてはならない。ライダーの顔またはヘルメットとストリームライニング（ウィンドスクリーン含む）との間の最低スペースは100mmとする。この規則の適用を免れるために透明な材質を使用することは禁止される。

- 45.07 ライダーシートの後部の高さは最高150mmとする。この高さは、シートの固いベースの最下部から、ライダー後方のフェアリングの最上部までを測った場合のものである。
- 45.08 ハンドルバーの位置がどこにあっても、ストリームライニングとハンドルバー先端あるいはステアリング・システム、およびそれに装着されている装備類との間隔は最低20mmなくてはならない。
- 45.09 ナンバープレートが固定されている前部の傾斜角度は垂直面から後部へ30°以上あってはならない。(147頁図D参照)
- 45.11 シートまたはその後方にある、いかなる部分(排気系を除く)の幅も450mm以上あってはならない。
- 45.12 燃料タンクのキャップは、フェアリングからはみ出さないように、また転倒の際に外れることがないように取り付けられなくてはならない。
- 45.13 スポーツプロダクションのフェアリング下部は、エンジンの破損時に、エンジンに使用されるエンジンオイルおよびエンジン・クーラント総量の最低半分を保持できる構造になっていなくてはならない。(国内のSPは除く)

## 01.46 モーターサイクルの傾斜角とサスペンション

ロードレース(GPクラス)およびプロダクションレースにおけるモーターサイクルは、荷重がかからない状態において、タイヤ以外のいかなる部分も地面に触れることなく、垂直線から50°の角度に傾斜することができなくてはならない。(146~147頁図BおよびDを参照)

## 01.47 ホイールリムとタイヤ

- 47.01 メーカーが出荷した一体構造ホイール(キャスト、モールド、リベット)または従来の着脱式リムに対して、スポーク、バルブまたは安全ボルト以外へはいかなる改造も禁止される。  
ただし、タイヤがリムから外れることを防ぐために使用される、テンションスクリューは例外とする。
- 47.02 リムの最大幅は下記の通りとする。(スポーツプロダクションは限く)  
ホイールリムの幅は、ETRTO(ヨーロッパタイヤリム技術機構)の定める方法によりフランジウォールの内側にて測定される。
- 47.03 リムの最低直径は400mmとする。

クラス	最大幅
125	3.5インチ
250	5.5インチ
500	6.25インチ

## 01.55 ナンバープレート

- 55.03 ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 55.04 プレートは平面から50mm以上カーブ(突出)してはならない。また、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 55.05 1枚のプレートがフロントに、垂直面から後方に向かって30°以内の角度で傾斜して固定されなければならない。他の2枚はモーターサイクルの両側に、外に向かって垂直に固定されなくてはならない。ナンバープレートははっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れ

てしまわないようにしなくてはならない。

ナンバープレートの数字の間に穴を開けることができる。しかしどのような状況においても数字自体に穴を開けてはならない。穴の部分も規定の色に見えなくてはならない。

55.06 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディーマたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。

55.07 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様につや消して書かれなければならない。

数字の最低寸法は下記のとおりとする。

数字の高さ	140mm	数字の幅	80mm
ストローク幅	25mm	数字間のスペース	15mm

55.08 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。

55.09 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。

55.10 すべてのナンバープレートの周囲には最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長によりレース参加の許可を得ることができない。

55.12 ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。(蛍光色は禁止)

GP125	黒地に白文字	SP	黒地に黄文字
GP250	緑地に白文字	SB	白地に黒文字
GP500	黄地に黒文字	耐久	黒地に白文字 (白文字は反射素材のもの)

## 01.56 フュエルタンク及びオイルタンク

56.01.1 フュエルタンクの最大容量は下記の通りとする。

- ・ロードレース 32ℓ
- ・スーパーバイク 24ℓ
- ・耐久 24ℓ
- ・その他スポーツプロダクションは各カテゴリーごとに設定する。

56.01.2 燃料はマシンにしっかりと固定された1つのタンク内に入れるものとする。シートタンクおよび補助タンクは禁止される。すべての競技において、給油の為に容易に脱着出来る取り換えタンクを使用することは厳禁される。

56.01.3 タンクの容量を減少させる一時的充填物の使用は禁止される。

56.01.4 タンクに防爆材を完全に充填することが義務づけられる。

国内 SP クラスで、車両公認時の燃料タンクに一切の改造、変更のない場合は、この条件を免除される。

56.02 オイルキャッチタンクとブリーザーシステム

オイルブリーザーパイプが装着される場合、オイル放出は容易に手が届く場所に設けられたキャッチタンクに行く。このタンクは競技の前に空にしなくてはならない。

オイル・キャッチタンクの最低サイズは、ギヤボックス・ブリーザーの場合250ccとし、エンジン・ブリーザーの場合には500ccが勧められる。

すべての4ストローク車両は、クローズド・ブリーザーシステムを備えていなければならない。オイルブリーザーパイプはエアボックス接続され、ボックス中に排出されなくてはならない。(145頁図A参照)

56.03 オイル・ドレーンプラグおよび供給パイプ

すべてのオイルドレーンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定

の箇所に固定されなければならない。オイル供給パイプは所定の位置に適切にワイヤー止めされなくてはならない。

オイルキャビティに進入する外部オイル・フィルターのスクリューやボルトは、安全にワイヤーロックされなければならない。

56.04 燃料タンク・ブリーザー・パイプ

ノン・リターン・バルブを燃料タンク・ブリーザー・パイプに取り付けなくてはならない。これは、適切な材質でできた、最低容量250ccのキャッチ・タンクに放出されるようになっていなくてはならない。

56.05 燃料タンク・フィルター・キャップおよびオイル・フィルター・キャップ

燃料タンク・フィルター・キャップおよびオイル・フィルター・キャップは、閉じた状態で漏れないようになっていなくてはならない。さらにこれらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。

## 01.63 燃料、燃料/オイルの混合液

すべての車両には、MFJの定める無鉛ガソリンが使用されなくてはならない。(AVガス、航空機用燃料の使用は禁止される)

注意：'97年1月1日より、ロードレース2ストロークエンジンに対してもMFJの定める無鉛ガソリンに制限されている。

仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項(137頁参照)。

\*大会特別規則(全日本ロードレース特別規則等)によりガソリンの銘柄および供給方法が指定される場合、それに従わなくてはならない。

## 01.79 音量規制

79.01 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとする。

ただし高さが200mm以下である場合は45°上方の点で行う。

79.02 ノイズ・テストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルがないマシンは、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。

79.03 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられ、車検後にサイレンサーを変更することが禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスベア・サイレンサーに関しては例外とする。

79.04 ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していなくてはならない。測定は所定のrpmに達した時に行うものとする。

79.05 rpmは、エンジンのストロークに相応するピストンの平均速度に基づく次の式にて求められる。

$$\text{所定のエンジン回転数(rpm)} = \frac{30,000 \times \text{ピストンスピード(m/s)}}{\text{ピストンストローク(mm)}}$$

79.06 ロードレースに関して、音量測定を実施する平均ピストンスピードは13m/秒(2ストロークエンジン)、および11m/秒(4ストロークエンジン)とする。(146頁・図C参照) 全日本・エリア選手権ロードレースにおいては下記規則が適用される。

予告：国内の各クラスにも1998年1月1日より、下記固定回転数方式が適用される。

エンジン型式および排気量ごとに、エンジンストロークはほぼ同等と見なされるので、測定は下記固定回転数にて実施する。



スポーツプロダクション、スポーツプロダクションをベースとしたエンジン。スーパーバイク(国内SPクラス・'98年より)

	1 気筒	2 気筒	3 気筒	4 気筒
250cc(4-stroke)	5,500RPM	7,000RPM		
400cc(4-stroke)	5,000RPM	6,300RPM	7,200RPM	8,000RPM
600cc(4-stroke)	4,400RPM	5,500RPM	6,300RPM	7,000RPM
750cc(4-stroke)	4,000RPM	5,100RPM	5,900RPM	6,500RPM
over 750cc(4-stroke)	3,900RPM	5,000RPM	5,200RPM	5,500RPM

その他レース用エンジン、GP フォーミュラ。(国内 SP および GP クラス・'98年より)

	1 気筒	2 気筒	3 気筒	4 気筒
125cc(2-stroke)	7,000RPM			
250cc(2-stroke)		7,000RPM		
500cc(2-stroke)		5,500RPM		7,000RPM

- 79.07 2気筒を越えるエンジンの音量計測は、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 79.08 規制値をオーバーしているマシンは、レース前車検において再度測定を受けることができる。
- 79.10 パンケルエンジンの場合の測定回転数は、6,000rpmとする。
- 79.11 現行の音量規制値  
2ストローク・エンジンについてはピストンスピード13m/secで測って105dB/Aまで。4ストローク・エンジンについては11m/secで測って105dB/Aまでとする。レース終了後は3dB/Aの許容誤差が認められる。全日本・エリア選手権においては79.06の固定回転数を使用することもできる。

注意：スーパーバイクの規制値は、1997年1月1日より102dB/Aとなった。

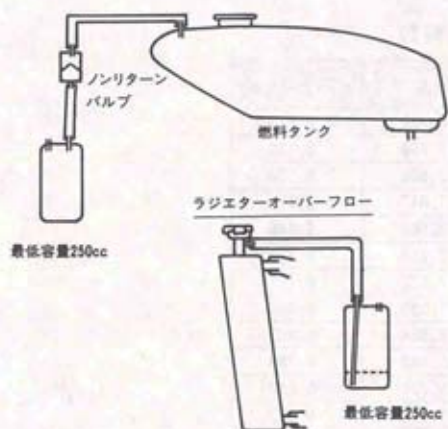
国内のSPクラスの規制値は異なる(99dB/A、SPクラスの仕様162頁参照)

- 79.12 周辺への音量は、モーターサイクルから半径5m以内において90dB/Aまでとする。
- 79.13 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/Aが認められる。

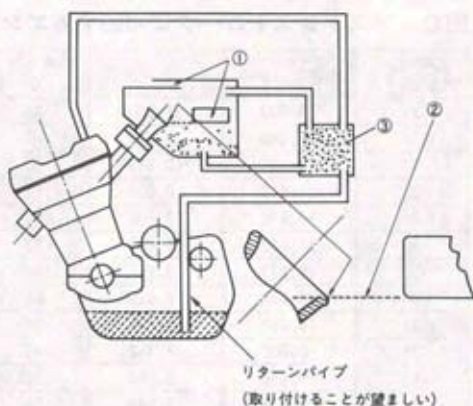
## 1 冷却系のオーバーフロー(国内の仕様)

- 1) 水冷式のすべての車両は冷却液オーバーフローパイプを取りつけた場合、最低容量250cc以上のキャッチタンクを取りつけること。

図A 燃料タンクブリーザー



4サイクルエンジンのブリーザーシステム



クローズドシステム  
エアクリナーボックスが設置されていない場合、ブローパイプがキャブレターに吸入されるような措置を施すこと。  
オイルキャッチタンク  
最低容量500cc

技術規則

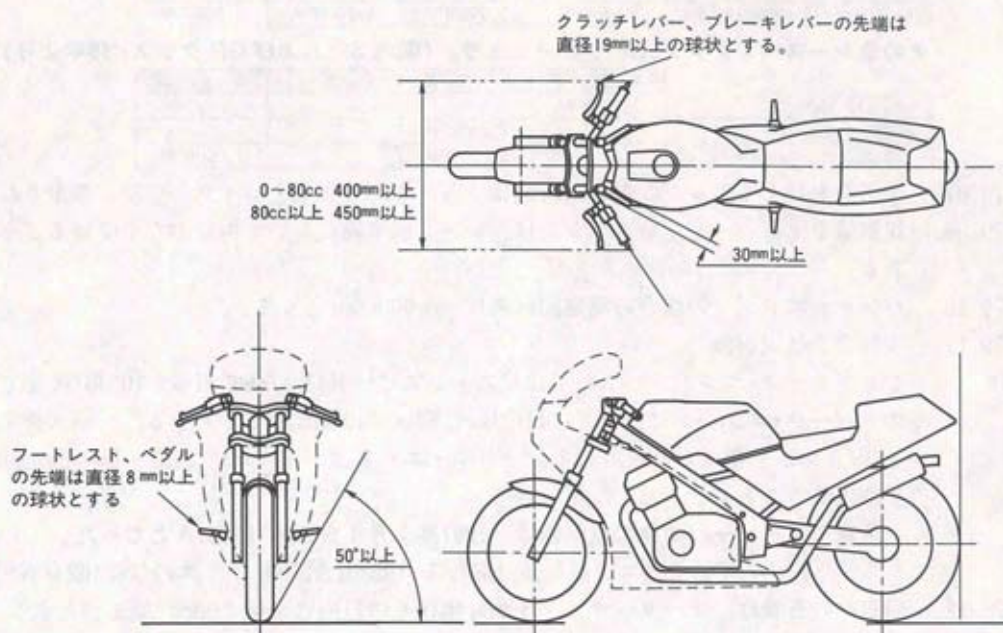
① エア吸入口の面積は、面積の合計で最大8,000 $\text{mm}^2$ 許容誤差10%までとされる。  
※エア吸入口の面積測定条件  
エア吸入口の面積の測定は、ボックスに開けられたすべての吸入口および接続されたエアダクトの最小断面部分の合計値である。

② エア吸入口は、エアファンネルの一番低い箇所より水平線よりも上に位置すること。  
吸入口がこれよりも下にある場合は吸入口に至る吸入通路の底部の少なくとも一部分が、水平線の上に位置すること。

③ ブリーザーシステム(エアクリナーボックスおよびその他のオイルタンク)は、ドレンパイプが詰まった場合に、合計で最低1,000ccの排出液を確保できる容量を持つこと。

※①の条件は、'97年よりスーパーバイクへは適用しなくなった。

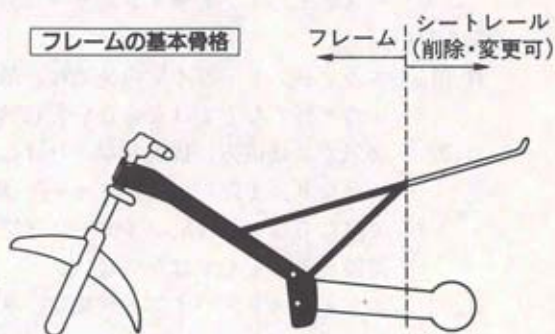
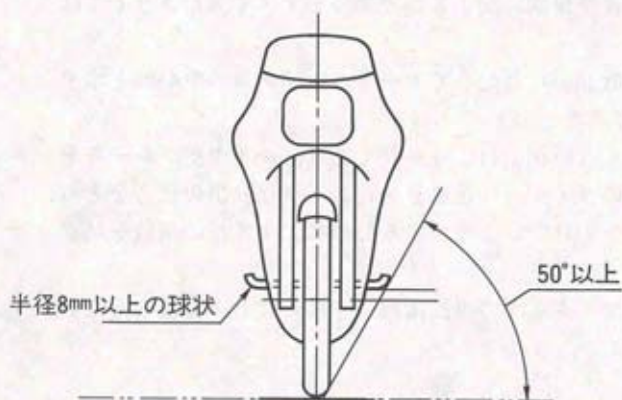
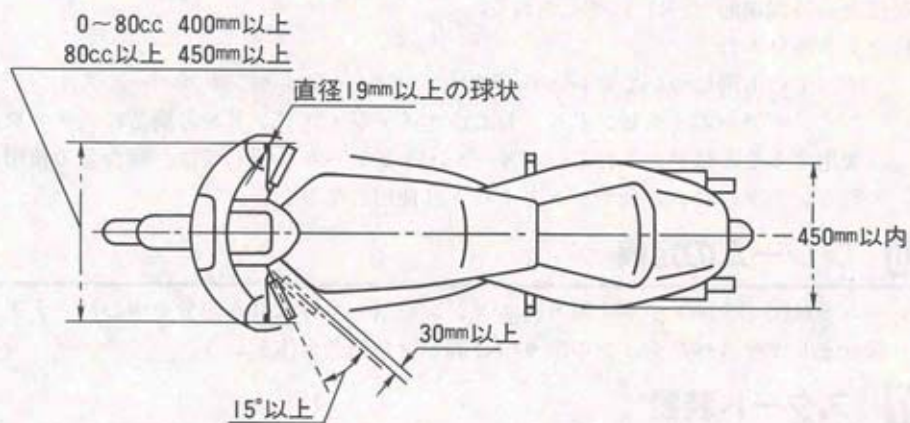
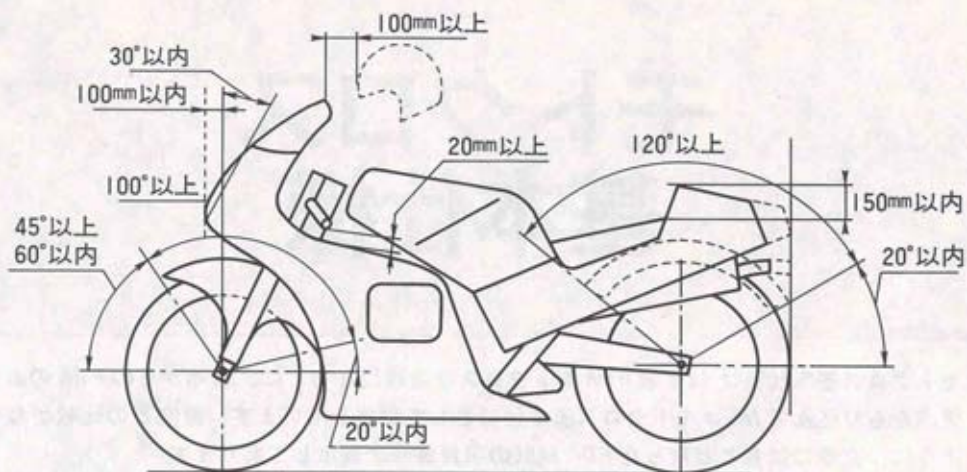
図B [スポーツプロダクション]



図C ピストンストロークに相応するエンジン回転数

ピストン ストローク	2ストローク	4ストローク	ピストン ストローク	2ストローク	4ストローク
30	13,000	11,000	48	8,125	6,875
31	12,580	10,645	49	7,959	6,735
32	12,187	10,313	50	7,800	6,600
33	11,818	10,000	51	7,647	6,471
34	11,470	9,706	52	7,500	6,346
35	11,142	9,429	53	7,358	6,226
36	10,833	9,167	54	7,222	6,111
37	10,540	8,919	55	7,090	6,000
38	10,263	8,684	56	6,964	5,893
39	10,000	8,462	57	6,842	5,789
40	9,750	8,250	58	6,724	5,690
41	9,512	8,049	59	6,610	5,593
42	9,285	7,857	60	6,500	5,500
43	9,069	7,674	61	6,393	5,410
44	8,863	7,500	62	6,290	5,323
45	8,666	7,333	63	6,190	5,238
46	8,478	7,174	64	6,093	5,156
47	8,297	7,021	65	6,000	5,077

図D [GP フォーミュラ]



## モトクロス 基本仕様

\*モトクロス基本仕様は'96年版 FIM モトクロス技術規則をもとに、'97年からの FIM のおもな変更点をもり込んで MFJ モトクロス基本仕様として編集しています。原文との比較がしやすいように、文頭にはもととなった FIM 規則の項目番号が表示してあります。

### 01.25 基本仕様

下記仕様はモトクロスのすべての車両、およびすべての競技会に適用されるが、主催者が特別の指示を与えた場合は例外とする。ある種の競技はさらに細かい仕様が必要になるが、これらはその競技会の特別規則 (SR) に明記される。

#### 25.01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用してもよい。

### 01.26 フレームの定義

フレームとは図 (152頁) で示す通り、エンジンが取り付けられる部分を中心にステアリング取り付け部分とリヤサスペンションの取り付け部を含む構造全体をいう。

### 01.27 スタート装置

- 1) スタート装置は義務づけられる。

### 01.31 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たさなくてはならない。

- 31.01 エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差±10°)
- 31.02 排気ガスは後方に排出しなければならないが、ほこりを立てたり、タイヤやブレーキを汚したり、またパッセンジャーや他のライダーに迷惑をかけるような放出の仕方をしてはならない。後続ライダーに迷惑をかけないようにするために、オイルの飛散を防ぐ措置を施さなくてはならない。
- 31.03 エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

## 01.33 ハンドルバー

- 33.01 ハンドルバーの幅は、660mm未満でも850mmを越えてもならない。
- 33.05 ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 33.09 ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように、慎重に丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 33.10 ハンド・プロテクターが使用される場合には、非粉碎材質でなくてはならない。
- 33.11 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

## 01.35 コントロールレバー

- 35.01 すべてのハンドルバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなっていてはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部はレバーと一体構造に固定されなくてはならない。
- 35.03 各コントロール・レバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 35.04 もしブレーキ・レバーが、フットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、または変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

## 01.37 スロットルコントロール

- 37.01 スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。
- 37.03 モーターサイクルには有効なイグニッション・キルスイッチ、又はボタンがハンドルバーの右か左（ハンドルグリップを握って届く位置）に設けられなくてはならない。このスイッチは始動しているエンジンを停止できなくてはならない。

## 01.39 フットレスト

- 39.01 フットレストの先端には最低半径8mmの、一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。（150頁図E参照）  
フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならない。
- 39.02 フットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を最低半径8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。

## 01.41 ブレーキ

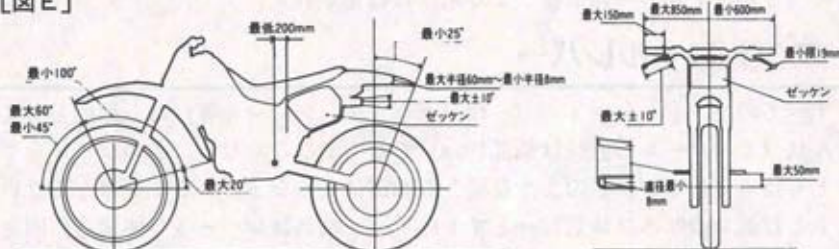
- 41.01 すべてのモーターサイクルは、最低2つの効果的なブレーキ（各ホイールにひとつ）がなくなくてはならず、これは独立してホイールと同心的に作動しなくてはならない。

## 01.43 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 43.01 マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 43.02 フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°にわたってカバーしていなくてはならない。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイール

- ルの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は $20^\circ$ を越えてはならない。(150頁図E参照)
- 43.04 リヤ・マッドガードは、リヤホイール・スピンドルを通る垂直線から $25^\circ$ の角度で後方に引かれる線よりも後方まで及んでいなくてはならない。
- 43.05 マッドガードの後端は丸められていなくてはならず、この丸め方は最低半径8mmで、かつ半径60mmを越えてはならない。
- 43.07 キャストホイール、または溶接されたホイールが使用される場合には、頑丈なディスクでスポークを覆う形でプロテクションが施されなくてはならない。

[図E]



## 01.45 ストリームライニング

ストリームライニングの装着は禁止される。

## 01.47 ホイールリム、タイヤ

- 47.01 メーカーが出荷した一体構造ホイール(キャスト、モールド、リベット)、又は従来の着脱式リムに対してスポーク・バルブ又は安全ボルト以外へはいかなる改造も禁止される。ただし、タイヤがリムから外れることを防ぐために使用されるテンションスクリューは例外とする。

## 01.49 モトクロスタイヤ

- 49.01 使用されるタイヤの種類に制限はない。
- 49.02 スクープまたはパドル(横断面に連続したリップを持つ)タイヤ、あるいは高さが19.5mm以上のラグを持つタイヤの使用は禁止される。
- 49.03 輪郭および外面的な寸法は制限されない。
- 49.04 タイヤ表面に後から滑り止めスパイク、特殊チェーン等の装置を取りつけることは禁止される。

## 01.55 ナンバープレート

- 55.03 ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 55.04 プレートは平面から50mm以上カーブ(突出)してはならない。またカバーされたり曲げたりされてはならない。
- 55.05 フロントナンバープレート  
一枚のプレートがフロントに、垂直面から後方に向かって $30^\circ$ 以内の角度で傾斜して固定されなくてはならない。ナンバープレートには数字の間に穴を開けてもよいが、いかなる場合においても、数字自体に穴を開けてはならない。
- 55.06 サイドナンバープレート

サイド・ナンバープレートは、リヤホイール・スピンドルを通る水平線より上に設けられ、ナンバープレートの前端はライダーのフットレスト後方200mmのところを通る垂直線より後方に位置してはならない。ナンバープレートは、はっきりと見えるように装着されなくてはならず、モーターサイクルの一部分や、シートに座ったライダー自身により隠れないようにしなくてはならない。

別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディーに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。

55.07 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様につや消して書かれなければならない。数字の最低寸法は下記の通りとする。

数字の高さ	140mm	ストローク幅	25mm
数字の幅	80mm	数字間のスペース	15mm

55.08 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。

55.09 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。

55.10 すべてのナンバープレートの周囲には、最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバープレートを装着しているモーターサイクルは、車検長によりレース参加の許可を得ることができない。

55.12 ナンバープレートの色  
ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。

ジュニア……白地に赤文字	国内B級……白地に黒文字
国内A級……黄地に黒文字	国際B級……紺地に白文字
国際A級(125cc)……黒地に白文字	国際A級(250cc)……緑地に白文字

その他、ナンバープレートの地色および数字の色について、モーターサイクルのクラスや競技の形式などによって変わる場合があり、大会特別規則によって示される。

### 01.63 燃料、燃料/オイルの混合液

すべての車両にはMFJの定める無鉛ガソリンを使用しなくてはならない。(AVガス・航空機用燃料の使用は禁止される)

仕様の詳細はMFJ技術規則第7章、ガソリン・オイル・クーラントの項(137頁)参照。

※大会特別規則(全日本モトクロス特別規則等)により、ガソリンの銘柄および供給方法が指定される場合、それに従わなくてはならない。

### 01.79 音量規制

79.01 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとするが、少なくとも地面から20cm上方でなくてはならない。もしこれが不可能な場合、計測は45°上方で行ってもよい。

79.02 ノイズテストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルがないマシンは、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。

79.03 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられ、車検後にサイレンサーを変更する事が禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスペア・サイレンサーに関しては例外とする。

79.04 ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していかななくてはならない。測定は、所定のrpmに達した時に行うものとする。

技術規則



る。

- 79.06 現在のモトクロス車両は排気量ごとに、エンジンストロークはほぼ同等と見なされるので、測定は下記の固定回転数で実施する。

80ccまで	8,000rpm	250ccを越え500ccまで	4,500rpm
80ccを越え125ccまで	7,000rpm	500ccを越える	4,000rpm
125ccを越え250ccまで	5,000rpm		

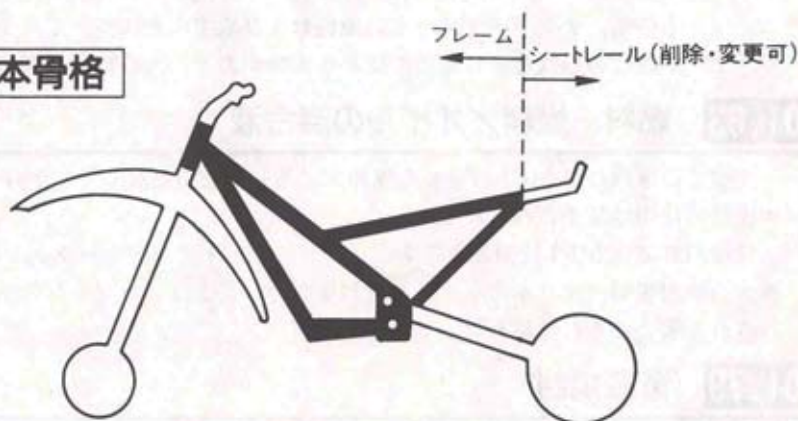
- 79.07 2気筒以上のエンジンの音量計測には、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 79.08 規制値をオーバーしているマシンは、レース前車検において再度測定を受けることができる。
- 79.11 現行の音量規制値  
最大98dB/A、13m/秒で測定する。(原則として事項79.06が適用される)
- 79.12 周辺の音量は、モーターサイクルから半径5 m以内において90dB/A までとする。
- 79.15 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1 dB/A が認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2 dB/A が認められる。
- 79.16 レース後の最終検査においては、2 dB/A の許容誤差が認められる。
- 80.08 メーターの読み方は常に切捨てとする。(100.9dB/A=100dB/A)

#### 国内の仕様

下記の項目は国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よって基本仕様と異なる場合、下記の仕様の解釈が優先される。

- 2) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤロック。

#### フレームの基本骨格





## 第10章

# トライアル 基本仕様

\*トライアル基本仕様は'96年版 FIM トライアル技術規則をもとに、'97年からの FIM のおもな変更点をもり込んで MFJ トライアル基本仕様として編集しています。原文との比較がしやすいように、文頭にはもととなった FIM 規則の項目番号が表示してあります。

### 01.25 基本仕様

下記の仕様は、指定されるグループのすべての車両、およびすべての競技会に適用されるが、FIM スポーツコードに特別の規定がある場合は例外とする。ある種の競技へはさらに細かい仕様が必要になるが、これらはその競技会の特別規則 (SR) に明記される。

#### 25.01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアームの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用されてもよい。もし代替えとして非鉄製のファスナーまたはスピンドルを使用する場合、状況に応じて寸法も増さなくてはならない。

### 01.26 フレームの定義

フレームとは図 (157頁) で示す通り、エンジンが取り付けられる部分を中心にステアリング取り付け部分とリヤサスペンションの取り付け部を含む構造全体をいう。シートを取りつける為のサブフレームはフレーム本体に溶接されている場合はフレームと見なし、ボルトオンタイプ (脱着可能) のものはフレームとみなさない。

### 01.27 スタート装置

スタート装置は義務づけられる。

### 01.31 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たしてはならない。

31.01 エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差 $\pm 10^\circ$ )

31.03 エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

### 01.33 ハンドルバー

33.01 ハンドルバーの幅は、600mm未満でも850mmを越えてもならない。

33.05 ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされてい

- なければならない。
- 33.08 ハンドルを左右いっばいに切った時ライダーの指が挟まないように、ハンドルとタンクの間には30mm以上のすきまを確保するように、ストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取りつけなくてはならない。
- 33.09 ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分を作らないために、慎重に丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 33.10 ハンドル・プロテクターが使用される場合には、非粉碎材質でなくてはならず、手を入れるための開口部分が常に開いていてはならない。
- 33.11 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

### 01.35 コントロールレバー

- 35.01 すべてのハンドルバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなっていてはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部は、レバーと一体構造に固定されていなくてはならない。
- 35.03 各コントロール・レバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 35.04 もしブレーキ・レバーが、フットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

### 01.37 スロットルコントロール

- 37.01 スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。
- 37.03 モーターサイクルには、有効なキルスイッチまたはボタンが、ハンドルバーの容易に手の届く場所に設けられなくてはならない。

### 01.39 フットレスト

- 39.01 フットレストの先端には最低半径8mmの、一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。（155頁図F参照）  
フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならない。
- 39.02 フットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を最低半径8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。

### 01.41 ブレーキ

- 41.01 すべてのモーターサイクルは、最低2つの効果的なブレーキ（各ホイールにひとつ）がなくてはならず、これは独立してホイールと同心的に作動しなくてはならない。

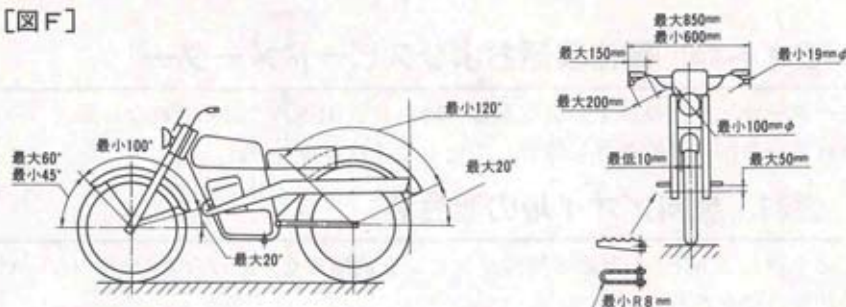
### 01.43 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 43.01 マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 43.02 フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°にわたってカバーしていなくてはならない。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。
- 43.03 リヤ・マッドガードは（インドアトライアルを除く）、ホイールの周囲を最低120°にわた

ってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガード後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は $20^\circ$ を越えてはならない。リヤマッドガードのこの角度(最大 $20^\circ$ )は、ライダーがモーターサイクルに座った状態で計測される。

- 43.04 インドアトライアルまたはアリーナトライアルのような公道を使用しない競技会では、リヤ・マッドガードはリヤ・ホイールスピンドルを通る垂直線と、その垂直線に $25^\circ$ の角度で後方に引かれる線よりも後方まで及んでいなくてはならない。

[図F]



## 01.45 ストリームライニング

ストリームライニングの装着は禁止されている。

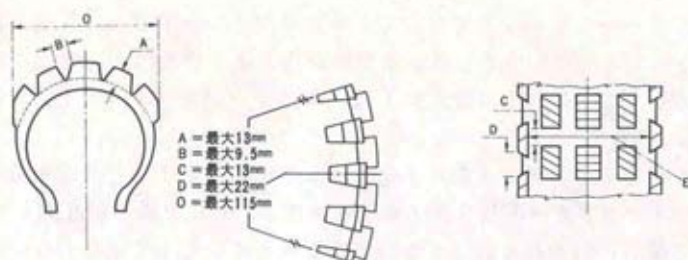
## 01.47 ホイールリム、タイヤ

- 47.01 メーカーが出荷した一体構造ホイール(キャスト、モールド、リベット)、又は従来の着脱式リムに対してスポーク、バルブ又は安全ベルト以外へはいかなる改造も禁止される。ただしタイヤがリムから外れることを防ぐために使用されるテンションスクリューは例外とする。

## 01.49 トライアルタイヤ

- 49.01 ホイールに正常に装着された状態でタイヤの全幅は、115mmを越えてはならない。
- 49.02 トレッドの深さ(A)はトレッド面から直角に測った場合、13mmを越えてはならない。同一円周のブロックはすべて同じ深さでなくてはならない。……156頁の図G参照
- 49.03 ブロック間のトレッドの幅は、タイヤ幅方向(B)で9.5mm、円周方向(C)で13mmを越えてはならない。
- 49.04 ショルダーブロック(D)間のトレッド幅は、22mmを越えてはならない。
- 49.05 トレッド横幅(E)は、タイヤウォールに直角に測った場合、ブロックで中断されていない限り、タイヤ全幅に及んでいなければならない。
- 49.06 すべてのトレッドブロック(ショルダーブロックを除く)は、両側辺が平行で、タイヤの軸に対し直角そして平行な長方形でなければならない。(タイヤは、図Gに適合し、逆回転させても同じ外観でなければならない。)
- 49.10 通常の販売ルート、または小売店を通じて入手できる一般公道用に認可されたタイヤのみが使用を許可される。
- 49.10.1 タイヤは一般の購入者が入手できるマニファクチャラーの商品カタログ、またはタイヤ仕様リストに掲載されているものでなくてはならない。
- 49.10.2 これらのタイヤは、荷重、スピードコードに関してヨーロッパ・タイヤ・リム技術機構(ETRTO)の定める条件に適合し、最低45Mの使用等級のものでなければならない。

[図 G]



A = 最大13mm  
 B = 最大9.5mm  
 C = 最大13mm  
 D = 最大22mm  
 O = 最大115mm

## 01.56 ライト類、警告装置およびスピードメーター

- 1) モーターサイクル及びその装置類は、特別規則 (SR) に記載されない限り、その車両が登録されている国の法的条件に適合してはならない。

## 01.63 燃料、燃料/オイルの混合液

すべての車両には MFJ の定める無鉛ガソリンを使用しなくてはならない。(AV ガス・航空機用燃料の使用は禁止される)

仕様の詳細は MFJ 技術規則第 7 章ガソリン・オイル・クーラントの項 (137頁) 参照。

※大会特別規則 (全日本トライアル特別規則等) により、ガソリンの銘柄および供給方法が指定される場合、それに従わなくてはならない。

## 01.79 音量規制

- 79.01 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとするが、少なくとも地面から20cm上方でなくてはならない。もしこれが不可能な場合、計測は45°上方で行ってもよい。
- 79.02 ノイズテストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルのないマシンについては、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。
- 79.03 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられ、車検後にサイレンサーを変更する事は禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスベア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 79.04 ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定の rpm 域に達するまでエンジンの回転を増していなくてはならない。測定は、所定の rpm に達したときに行うものとする。
- 79.06 現在のトライアル車両のエンジンストロークはほぼ同等と見なされるので、測定は5000 rpm の固定回転数で実施する。
- 79.08 規制値をオーバーしているマシンは、再度測定を受けることができる。
- 79.11 現行の音量規制値  
 最大94dB/A、11m/秒で測定する。(原則として事項79.06が適用される)
- 79.12 周辺への音量は、モーターサイクルから半径 5 m 以内において80dB/A までとする。
- 79.15 温度による測定への影響のため、音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1 dB/A が認められる。気温 0°以下の場合許容誤差+2 dB/A が認められる。
- 79.16 競技後の音量測定  
 競技後に音量測定が行なわれる場合、誤差+1 dB/A が認められる。

下記の項目は国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よって基本仕様と異なる場合、下記の仕様の解釈が優先される。(日本で開催される国際格式競技会を除く)

## 1 マッドガードおよびホイールプロテクション

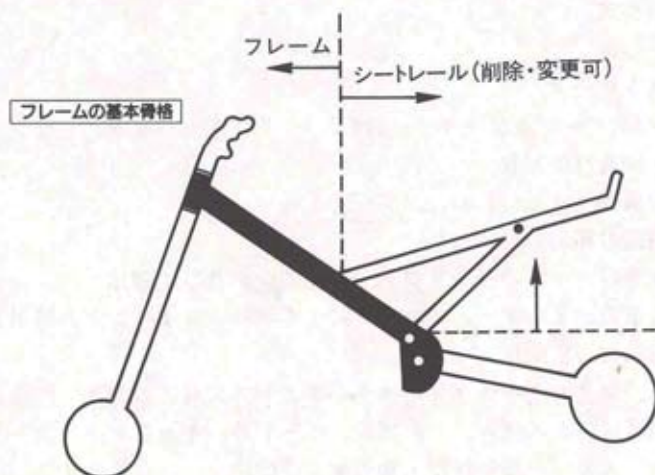
- 1) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°にわたってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガードは、リヤホイール・スピンドルを通る垂直線から25°の角度で後方に引かれる線よりも後方まで及んでいなくてはならない。

## 2 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質でできていなくてはならない。最低寸法は175mm×150mmとする。
- 2) ナンバープレートは1枚を車両の前面に見やすいよう前向きに取り付けなくてはならない。
- 3) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線。「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 4) 数字および地色に蛍光色は一切認められない。
- 5) 判読しづらい文字等は車検長に依りレース参加の許可を得ることができない。
- 6) 国際A級及び国際B級部門についてはプレート下部にライダーの名前を記入するものとする。
- 7) 全日本選手権の国際A級・国際B級に関する特別規則  
数字は英国式とし、観客とオフィシャルが明確に識別できるようにしなくてはならない。  
(デザインされた書体の使用を認める)
- 8) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。  
ジュニア……黒地に白赤字      国内B級……白地に黒文字  
国内A級……黄地に黒文字      国際B級……緑地に白文字  
国際A級……赤地に白文字      国際A級スーパークラス……赤地に黄文字

## 3 ライト類、警告装置およびスピードメーター

- 1) 灯火器のレンズの処理または取りはずし、保安部品(バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類)の取りはずしが義務づけられる。



# 第11章

## SP クラスの 仕様

(スーパープロダクション)

### 01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限変速段数
400	250を越え400以下	×	○	4	6
250	125を越え250以下	○	×	2	6
250F	125を越え250以下	×	○	4	6
125	80を越え125以下	○	○	1	6
80	50を越え 80以下	○	○	1	6
50	50以下	○	○	1	6

### 02 出場車両

- 1) 車両は(市販レーサーを除く)一般生産型車両でMFJが公認したもの、又はSP用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様(第8章)に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) 車両のホイールリムの最大幅は下記のとおりとする。

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	4.5インチ

### 03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更又は取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナー含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鋳造及び形状
- 5) クラッチの構造 \*ただし04.22)参照
- 6) エンジン内部の部品の材質
- 7) 4サイクル車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比
- 8) 2サイクル車のシリンダー、ピストンによるポートタイミング、排気デバイス、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気システムのシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数
- 11) クランクケースカバー類の材質・鋳造および形状

- 12) シリンダー（2サイクル）、シリンダーヘッド（4サイクル）のポートの形状、寸法
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー（リード単体含む）
- 16)(1) キャブレター \*ただし04.16) .(4)及び08.3) .(1)参照
- (2) マニホールドタイプのフェューエルインジェクションは公認車両に装備されているものに限  
り認められる。
- 17) フェューエルタンク \*ただし04.17)参照
- 22) プライマリーギヤ \*ただし04.22)参照
- 23) ミッション \*ただし04.23)参照
- 27) 4サイクル車のエアクリーナーボックス \*ただし04.27)参照
- 42) リヤホイール
- 43) リヤブレーキ関係 \*ただし04.43)参照
- 44) フロントホイール
- 45) フロントブレーキ関係 \*ただし04.45)参照
- 50) フレームボディ \*ただし04.50)参照
- 51) フロントフォーク \*ただし04.51)参照
- 52)(1) リヤフォーク
- (2) リヤサスペンション、サスペンションのシステム \*ただし04.52)参照
- 53) ステアリングシステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ
- 54) ストリームライニング（カウリング）およびマッドガード（フェンダー）の外観形状（原  
則として取り外すことも認められない）。ストリームライニング（カウリング）には、いかな  
るものも追加されてはならない。\*ただし04.55)参照

## 04

### 公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様 （第8章）には適合していることを条件とする

- 16)(1) キャブレターのセッティング（取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブ  
の範囲）
- (2) エアファンネルの取り付け又は寸法の変更（キャブ本体は除く）
- (3) リストリクターの取り付け  
リストリクターは5mmの区間に渡って最小断面積を確保するように処置されていなければ  
ならない。リストリクターの取り付け位置はキャブレターの混合気の通路内であれば自  
由とする。
- (4) 公認キャブレターの使用（マグネシウム等高価素材のものは公認されない）
- 17)(1) フェューエルタンクの給油口は改造変更出来るが位置は変えられない。
- (2) フェューエルパイプ、フェューエルコックの変更
- 18) エキゾーストパイプ、マフラーの変更（但し音量規定に適合していること）
- 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
- 23) ミッションギヤのレシオ（但し公認部品に限られる）
- 27)(1) 2サイクル車両のエアクリーナーボックスの改造または取りはずしは許可される。
- (2) 4サイクル車両のエアクリーナーボックスの改造は、下記条件の基に認められる。いず  
れの場合もクローズドシステム（ブローバイガスを直接大気へ放出しない）を維持してい  
ること。
  - ① 公認キャブ取り付けのための改造（キャブ取り付け部分のみ）
  - ② 口径φ100mm相当（8,000mm<sup>3</sup>誤差10%）を最大とするエア吸入口の拡大

- ③ ボックス内部の切削、取りはずし
- ④ 公認エアクリーナーボックスへの交換（改造は認められない）
- (3) ブローパイプをエアクリーナーボックス内に導入する配管のための加工
- (4) エア吸入口の位置
  - ① エアファンネルの一番低い箇所(145頁の図A参照)の水平線よりも上に位置すること。
  - ② 吸入口がエアファンネルの一番低い箇所の水平線よりも下にある場合は、吸入口に至る吸入通路の底部の少なくとも一部分が、上記水平線の上に位置することを条件とする。
- (5) ブリーザーシステム  
ブリーザーシステム(エアクリーナーボックスおよびその他のオイルキャッチタンク)は、ドレンパイプが詰まった場合に、合計で最低1,000ccの排出液を確保できる容量を持つこと。
- 43) リヤブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 45) フロントブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 48) タイヤは変更出来るが MFJ 公認 SP 用タイヤに限られる。ウエット時は MFJ 公認 SP 用レーシングレインタイヤの使用が認められる。
- 50) フレームボディーの不要なステー類のカット（但しフレームボディーの強度、剛性に全く影響を与えないこと）
- 51) (1) フロントサスペンションのスプリングの変更  
(2) フロントフォークの剛性アップの為にスタビライザーの取り付け
- 52) リヤサスペンションのスプリングの変更
- 53) ハンドルバーの変更
- 54) (1) カウリングの材質（但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く）  
(2) ラジエター、オイルクーラー等にエアを取り入れるためのドリルによる穴開けは許可される。(直径10mm以下に限る)
- (3) 雨天時、寒冷時の追加カバー類は、以下の条件で許可される。
  - ① ライダーのナックル部分をカバーするもので、必要最小限のものである。
  - ② ストリームライニング（カウリング）と別構造で、取り外すことができる。
  - ③ ハンドルバーの位置がどこにあっても、カバーとの間に最低20mmの間隔がある。
- 55) (1) シートカウルの形状・材質(但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く)の変更  
(2) マッドガード（フェンダー）は、タイヤのサイズ変更に合わせて位置を変えることが許可される。
- 58) 公認ロードレースでは MFJ の定める無鉛ガソリンが使用されなくてはならない。  
注意：1997年1月1日以降は MFJ の定める無鉛に制限され、AV ガス、航空機用燃料等は使用できなくなっている。  
仕様の詳細は MFJ 技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項（137頁）参照。  
※大会特別規則により、ガソリンの銘柄および供給方法が指定された場合、これに従わなくてはならない。
- 59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。  
調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること（メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等）をいう。  
仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう（コンロッドみがき、ピストンみがき、シリンダーヘッドの燃焼室みがき等）2サイクル、4サイクルともにポートについては、バリ取り、カーボン除去に限り認められる。  
シリンダーポート、シリンダーヘッドポートにおけるバリとは以下のものを指す。
  - ① 型合わせバリ
  - ② シリンダー加工バリ（161頁の図参照）



「ポート内のザラつき」は錆と解釈し、切削、研磨は認められない。

- 60)(1) 不要なステー類（シートレールの一部含む）のカット  
 (2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加



## 05 重量

SPクラスの最低重量は下記のとおりとする（半乾燥重量）。

クラス	最低重量	クラス	最低重量
400	145kg	250F	130kg
250	115kg	125	95kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

## 06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 16)(1) キャブレターのサイズ（気筒あたりの最大径）

クラス	最大径サイズ	クラス	最大径サイズ
400	直径32mm相当以下	250F	直径31mm相当以下
250	直径32mm相当以下	125	直径32mm相当以下

注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

マニホールドタイプのフェルインジェクションへのキャブサイズ制限値も同様とする。

- (2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストリクターによって口径を調整しなければならない。
- 17)(1) フュエルタンクの給油口を改造した場合、ノンリターンバルブ付きのオーバーフローパイプとキャッチタンク（250cc以上）の取り付け。
- (2) 電動式フュエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け（250cc）
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け（容量は4サイクル車は500cc以上、2サイクルは250cc以上）
- (2) 4サイクル車両のキャッチタンクからのブローパイガスはエンジンに再吸入させること（145頁図A参照）
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け（ハンドルを握って操作可能な位置に取りつけなければならない）。
- 36) 灯火器のレンズの処置また取り外し。
- 38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類）の取り外し。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部部品のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

## 07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更にあたって特殊な材料の使用（チタニウム合金、カーボン、ケブラー強化繊維

等の高価な材料)

(カーボンサイレンサーは完全禁止。)

- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
- 48) タイヤへの追加工
- 53) ステアリングダンパーのハンドルストッパーとしての使用。
- 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。(ガソリン・オイル・クーラントの項137頁、ロードレース規則52頁細則12-11参照)

## 08 MFJへの公認手続き・条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。  
\*最低台数は第6章第2条完成車公認(136頁)参照
- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付けて公認発効。発売日が会議日以降の場合は発売日から2ヶ月後の同日付けて公認発効する。
- 3) 車両は以下の条件に適合している事

- (1) キャブレターのサイズ(気筒あたりの最大径)

クラス	最大径サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下
250F	直径31mm相当以下
125	直径32mm相当以下

注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

マニホールドタイプのフュエルインジェクションへのキャブサイズ制限値も同様とする。

- (2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストリクターによって口径を調整しなければならない。
- (3) ホイールリム最大幅

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	4.5インチ

- (4) 01条のクラス区分に適合していること(排気量内にあること)。
- 4) 専用コンプリートマシンはそのベース車両が公認車両であることを条件とする。

## 09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。  
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

## 10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一のモデル内にあつては、一切の追加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

(コンプリートマシンのベース機種 of 打刻型式に基づき判断される。)

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。

('92年度末を区切りとして、この前後にまたがった組合わせは禁止される)

## 耐久レースの追加仕様

(国内の各クラス)

### 01 クラス区分

一般生産車両をベースとしたSPクラスで行われる。スーパーバイクはFIM規則とする。

### 02 出場車両

- 1) 一般生産型車両でMFJが公認し、参加しようとする各クラスの仕様に適合していること。
- 2) ロードレースの基本仕様に合致していること。
- 3) 耐久用の仕様を満たしていること。

### 05 重量

それぞれの定められたスプリントレース用の最低重量に3kgを加えることとする。

灯火類の装備を義務づけられる耐久レースでは、定められたスプリント用の最低重量に5kgを加えられる。

### 11 耐久仕様

- 1) 車両には確実に作動するスタート装置が装備されていなくてはならない。
- 17)(1) フュエルタンクは給油口を改造することは認められるが、位置は変えられない。
  - (2) 給油口は、最大直径62.5mmとし、2ヶ所取り付けが許可される。
  - (3) 最大容量を増やすための燃料タンクの改造は許されるが、サイドからの外観形状は変えられない。また、タンクの材質は車両公認時のものから変更できない。
  - (4) フュエルフィルターキャップをクイックフィルタイプに変更することが許可される。
 

SP400	18ℓ以下
SP250	18ℓ以下
SP250F	15ℓ以下
  - (5) 燃料は、マシンにしっかりと固定されたひとつのタンク内に入れられるものとする。シートタンク、および補助タンクは禁止される。すべての競技において給油のために簡単に脱着できる取り換えタンクを使用することは厳禁される。
- 31)(1) レースが夜間にかかる場合は公認された発電・充電装置を備えてあること。これらはレース期間中及びレース後の車検において正常に作動するものであること。
  - (2) 灯火器はヘッドライト、ストップランプは正常に作動すること。またエキストラのライトを追加することは認められる。
- 42) ホイールの交換を容易にするための改造は、各々クラスの改造範囲でなければならない。
- 43) ブレーキ廻りのメンテナンス性向上のための改造は、各々のクラスの改造範囲内でなければ

ばならない。

- 49) ジャッキアップのための装置は一部をマシンに取りつけてもよいが、ストリームランニングから外側にあってはならず、レース期間中確実に固定されていること。これらはマシンの重量に含まれるものとする。



## 第14章

# 国内ロードレース GPクラスの仕様

(地方選手権)

車両規則は選手権ごとに下表のように適用される。特に国内ライセンスでは地方選手権とエリア選手権の両方に出場できるので、仕様の違いに注意すること。

選手権ごとの車両規則の適用

選手権	ライセンス区分	適用される車両規則	参照頁
地方選手権	国内ライセンス (NAT)	国内ロードレース GP クラスの仕様(第14章)	165頁～172頁
エリア選手権	国内ライセンス (NAT) 国際ライセンス (INT)	FIM 規則01章 GP フォーミュラの技術仕様	175頁～189頁
全日本選手権	国際ライセンス (INT)	スーパーバイク規則(全日本選手権・エリア選手権へ適用)	

### 01 クラス区分

クラス	排気量範囲	最大限気筒数	最大限変速段数
50	～50以下	1	6
80	50を越え 80以下	1	6
125	100を越え125以下	1	6
250	175を越え250以下	2	6

### 02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両で MFJ が公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様 (第 8 章) に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) 車両のリム幅 (最大限リム幅) は下記のとおりとする。

クラス	最大幅
50	3.5インチ
80	3.5インチ
125	3.5インチ
250	5.5インチ

クラス	最大限サイズ
250	直径39mm相当以下
125	直径39mm相当以下

注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

マニホールドタイプのフュエルインジェクションへのキャブサイズ制限値も同様とする。

- 2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストラクターによって口径を調整しなければならない。

**03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない**

(仕様の変更とはその部分の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4)(1) クランクケース \*ただし04.4)参照
- (2) 市販レーサーのシリンダー、シリンダーヘッド \*ただし10条参照
- 10) バルブ数、ポート数、キャブ数
- 16) キャブレター \*ただし04.16)及び10条参照
- 29) 特殊な高価な材質の使用(チタニウム合金)
- 50)(1) 市販レーサーのフレームボディ
- (2) 一般市販車のフレームボディ \*ただし04.50)参照
- 51) 市販レーサーのフロントフォーク \*ただし04.51)及び10条参照
- 52) 市販レーサーのリヤフォーク及びサスペンションとリンク \*ただし04.52)及び10条参照

**04 公認車両に対して下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様(第8章)に適合していることを条件とする**

- 4) クランクケースの切削に依る加工
- 12)(1) シリンダーの切削によるポートタイミングとポートエリアの変更。
- (2) シリンダーヘッドの切削による圧縮化、燃焼室の形状変更。
- 16) キャブレターのセッティング(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)。
- 50)(1) フレームボディの補強(ただし一般生産車両に限り認められ、市販レーサーにはできない)
- (2) 不要なステー類の取りはずし。ただしフレームボディの強度、剛性に全く影響を与えないこと(ただし一般生産型車両に限り認められ、市販レーサーにはできない)
- 51) フロントサスペンションのスプリングの変更。
- 52) リヤフォークの補強とリヤサスペンションのスプリングの変更。
- 58) 公認ロードレースにはMFJの定める無鉛ガソリンを使用しなければならない。

注意：1997年1月1日以降はMFJの定める無鉛に制限され、AVガス、航空機用燃料等は使用できなくなっている。

仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項(137頁)参照。

※大会特別規則により、ガソリンの供給方法が指定される場合がある。

- 59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。  
調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること(メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等)  
仕上げとは各部品の基準粗度を向上させる作業をいう(ポートみがき、コンロッドみがき、燃焼室みがき等)
- 60) フレームボディとリヤフォークを除き、軽量化の為の改造はできるが、最低重量以上であること。

**05 重量**

- 1) GPクラスの最低重量は下記のとおりとする(半乾燥重量)。

クラス	最低重量
50	70kg
80	70kg
125	70kg
250	100kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。  
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。  
ダミーウェイトによる調整は認められない。

## 06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造変更が義務付けられる

- 16)(1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大径サイズ
250	直径39mm相当以下
125	直径39mm相当以下

- 17)(1) フュエルタンクの給油口を改造した場合、ノンリターンバルブ付きのオーバーフローパイプとキャッチタンク (250cc以上) の取り付け。  
(2) 電動式フルポンプを装備している場合は転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 19) ラジエーターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け (250cc以上)。
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンクの取り付け (4サイクル車は500cc以上、2サイクルのギヤボックスからのブリーザーは250cc以上)。  
(2) 4サイクル車両のキャッチタンクからのブローパイガスはエンジンに再吸入させること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置に)。
- 36) 灯火器のレンズの処理または取り外し。
- 38) 保安部品の取りはずし。
- 56) すべてのオイルドレンボルト及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

## 07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用 (チタニウム合金)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 53) ステアリングダンパーのハンドルストッパーとしての使用
- 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。(ガソリン・オイル・クーラントの項137頁、ロードレース規則52頁細則⑫-11参照)

## 08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること、または競技専用車両 (市販レーサー) として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。  
\*最低台数は第6章第2条完成車公認 (136頁) 参照
- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催される。  
審査に合格した車両で、すでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きて公認発効する。発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヶ月後の同日付きて公認発効する。  
競技専用車両 (市販レーサー) の場合は公認発効までの期間を、各々1ヶ月後とする。
- 3) 車両は以下の条件に適合していること。  
(1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大限サイズ
250	直径39mm相当以下
125	直径39mm相当以下

## (2) 最大限リム幅

クラス	最大限
50	3.5インチ
80	3.5インチ
125	3.5インチ
250	5.5インチ

## (3) 01条のクラス区分内にあること

**09** 音量規定

- 1) FIM 方式で測定し105dB/A 以下のこと。  
2サイクルは13m/s、4サイクルは11m/s のピストンスピードとする。  
レース終了後は3dB/A の誤差値が認められる。

**10** 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一のモデル内にあっては一切工なして単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互の交換が認められる。  
注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。  
(コンプリートマシンのベース機種種の打刻型式に基づき判断される)
- 2) 下記の部品は同一メーカー同士でかつ公認車両であれば流用することが出来る。
  - (1) ミッションアッセンブリーまたは単品
  - (2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品
  - (3) リヤサスペンションユニットおよびリンク関係
  - (4) リヤフォーク
  - (5) キャブレター
  - (6) シリンダー
  - (7) シリンダーヘッド
- 3) 公認部品として下記の部品またはアッセンブリーが認められる。
  - (1) フロントフォークアッセンブリーまたは部品
  - (2) リヤサスペンションユニット、アッセンブリーまたは部品
  - (3) リヤフォーク
  - (4) キャブレター
  - (5) シリンダー
  - (6) シリンダーヘッド

注) 部品公認申請条件を満たしていること。



## 第15章

# 国内モトクロスの仕様

(国際B級、国内A級、国内B級)

### 01 クラス区分

クラス	排気量	最大限気筒数	最大限定速段数
80	~80以下	1	6
125	100を越え125以下	1	6
250	175を越え250以下	1	6

\* ジュニアクラスは80cc以下に限定される。

### 02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びモトクロス基本仕様(第9章)に示されているすべての条件に適合していること。

### 03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドの材質、鋳造及び形状 \*ただし10条参照
- 10) 吸排気系のバブル数、ポート数、キャブ数。
- 12) シリンダー、シリンダーヘッド。
- 16) キャブレター \*ただし10条参照
- 19) 冷却方式の変更
- 23) ミッションギヤ \*ただし10条参照
- 50) フレームボディ
- 51) フロントフォーク \*ただし04.52)及び10参照
- 52) リヤフォーク、リヤサスペンションユニット及びサスリンケージ \*ただし04.52)及び10条参照

### 04 公認車両に対し下記事項の変更はできるが、モトクロス基本仕様(第9章)に適合していることを条件とする

- 5) クラッチの構造
- 11) クランクケースカバーの材質、形状

- 13) クランクシャフト (但しストローク変更は不可)、ピストン、リング。
- 16) キャブレターのセッティング (取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)
- 17) フュエルタンク、フュエルコック、フュエルライン。
- 18) エキゾースト系 (但し音量規定に適合していること)
- 19) 冷却系 (但し方式の変更は不可)
- 26) 分離給油関係の取りはずし、または変更 (但し方式の変更は不可)。
- 41) ファイナルレシオ
- 42) リヤホイールの変更
- 43) リヤブレーキ関係の変更
- 44) フロントホイールの変更
- 45) フロントブレーキの変更
- 48) タイヤの変更
- 51) フロントサスペンションのスプリングの変更
- 52) リヤサスペンションのスプリングの変更
- 58) すべての車両は MFJ の定める無鉛ガソリンを使用しなければならない。(AV ガス、航空機用燃料等は使用できない)  
仕様の詳細は MFJ 技術規則第 7 章ガソリン・オイル・クーラントの項 (137頁) 参照。
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。  
調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等)  
仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ピストンみがき、シリンダーヘッドの燃焼室みがき等) シリンダーポートについては、バリ取り、カーボン除去に限り認められる。

## 05 重量

- 1) 各クラスの最低車両重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
80	61kg
125	88kg
250	98kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。  
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。  
ダミーウエイトによる調整は認められない。

## 06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造、変更が義務づけられる

- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置に取り付けなければならない)
- 36) 灯火器のレンズ処置または取りはずし
- 38) 保安部品 (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類) の取りはずし
- 40) もしプライマリーチェーンが露出している場合、安全措置としてチェーンガードを装着していなければならない。チェーンガードは、いかなる場合においてもライダーがトランスミッションパーツに誤って触れることがないようにガードを取りつけられていなければならない。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック

## 07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用（チタニウム合金）
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用

## 08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は市販レーサー又は、一般公道用として定められた台数以上を出荷し、発売日が明確となっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	100台	10台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きて公認発効する。発売日が会議以降の場合は発売日の2ヶ月後の同日付けて公認発効する。ただし市販レーサーは各々1ヶ月後とする。

## 09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し98dB/A以下のこと。  
レース終了後は、2dB/Aの誤差値が認められる。
- 2) 音量測定の際のエンジン回転数（rpm）は、排気量により異なる。  
80ccまで 8,000rpm  
80ccを越え125ccまで 7,000rpm  
125ccを越え250ccまで 5,000rpm  
250ccを越える 3,000rpm

## 10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一モデル内にある場合は、一切の追加加工なしで単品、またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品については相互に互換が認められる。
- 2) 下記の部品は同一メーカー同士でかつ公認車両であれば流用することが認められる。
  - (1) ミッションアッセンブリーまたは単品
  - (2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品
  - (3) リヤサスペンションユニットまたはリンク関係
  - (4) リヤフォークアッセンブリーまたは単品
  - (5) キャブレター
  - (6) シリンダーコンプリート
  - (7) シリンダーヘッドコンプリート
- 3) 公認部品として下記の部品またはアッセンブリーが認められる。
  - (1) ミッションギヤセットまたは単品
  - (2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品
  - (3) リヤサスペンションユニットアッセンブリーまたは単品
  - (4) リヤフォークコンプリート
  - (5) キャブレター
  - (6) シリンダーコンプリート

(7) シリンダーヘッドコンプリート

注) 部品公認申請条件を満たしていること。

## 第15章 補則 ジュニア部門の仕様

### 02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両で MFJ が公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則書及びモトクロス基本仕様 (第9章) に示されているすべての条件に適合していること。

### 03 公認車両に対し、下記04以外の改造、変更は認められない

### 04 公認車両に対し、下記事項の変更はできるが、モトクロス基本仕様 (第9章) に適合していることを条件とする

- 24) チェンジペダル。
- 26) 分離給油関係の取りはずし、または変更。(但し方式の変更は不可)
- 34) ポジション変更目的のコントロールワイヤーの変更
- 40) ドライブチェーン
- 41) ファイナルレシオ
- 46) ブレーキペダル
- 48) タイヤの変更
- 50) ステップ類
- 53) ハンドル及びその付属品
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等)

仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、燃焼室みがき等)

※ PC 部門は、大会特別規則による。

## 第16章

# 国内トライアルの仕様

(国内A級、国内B級、ジュニア)

### 01 クラス区分

排気量によるクラス区分は特に設定しない。

### 02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びトライアル基本仕様(第10章)に示されているすべての条件に適合していること。

### 03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドの材質、鋳造及び形状
- 10) 吸排気系のバルブ数、ポート数、キャブ数
- 42) リヤホイールスピンドルの材質の変更
- 44) フロントホイールスピンドルの材質の変更

### 04 公認車両に対し下記事項の変更はできるが、トライアル基本仕様(第10章)に適合していることを条件とする

- 18) エキゾースト系(ただし音量規定に適合していること。)
- 48) タイヤは変更できるが、MFJ公認トライアルタイヤに限られる。タイヤにはチェーン、スパイクを装備する等、改造を加えてはならない。
- 50) フレームボディの改造
- 58) すべての車両はMFJの定める無鉛ガソリンを使用しなければならない。(AVガス、航空機用燃料等は使用できない)  
仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項(137頁)参照。
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。  
調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等)  
仕上げとは、各部品の基準付法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、シリンダーヘッドの燃焼室みがき等)

## 06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造、変更が義務づけられる

- 23) カウンターシャフトスプロケットには、指を挟まないようなカバーをつけること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け。
- 38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類）の取りはずし。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へは、ゆるみ、脱落等によるオイル漏れをおこさないような処置を施すこと。

## 07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用。（チタニウム合金）

## 08 MFJ への公認手続き、条件

- 1) 車両は市販レーサー、又は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確となっていること。

	国産者	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	100台	5台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両は、すでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付けて公認発効。発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヶ月後の同日付けて公認発効とする。但し市販レーサーに限り、各々1ヶ月後とする。

## 09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し、94dB/A以下のこと。エンジンスピードは5000rpmとする。競技終了後は1dB/Aの誤差値が認められる。

## 10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一モデル内にある場合は、一切の追加加工なしで単品、またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品については相互に互換が認められる。

## 第17章

# 全日本・エリア選手権 ロードレース 技術仕様

以下のクラスは全日本・エリア選手権ロードレース技術仕様により開催される。

全日本・エリア選手権：GP フォーミュラクラス

全日本・エリア選手権：スーパーバイククラス

地方選手権は別に定める国内の仕様にて開催される。

GP フォーミュラの技術仕様は以下の種目別仕様、スーパーバイクは種目別仕様と MFJ 技術規則第8章ロードレース基本仕様に合致していることとする。種目別仕様とロードレース基本仕様の間で解釈の違いが生じた場合は種目別仕様を優先する。

規則の追加、改訂は MFJ ライディングにて告示される。

\*全日本・エリア選手権ロードレース技術仕様は、'96年版 FIM グランプリ技術規則、'96年版 FIM ロードレース技術規則をもとに、'97年からの車両規則のおもな規則変更点をもり込んで MFJ 技術仕様として編集しています。原文との比較がしやすいように、文頭にはもととなった規則の項目番号が表示してあります。

## GP フォーミュラの技術仕様 (全日本選手権、エリア選手権へ適用)

### 2.1 序論

- 2.1.1 モーターサイクルとは、一本の軌跡を残す二輪車両で、内燃エンジンによって推進され、ひとりのライダーによってコントロールされるものである。
- 2.1.2 下記の MFJ ロードレース GP フォーミュラ規則に適合することを条件に、コンストラクターはデザイン、材質、およびモーターサイクルの全体的構造において自由に革新性を追求することができる。
- 2.1.3 テレメトリー  
走行中のモーターサイクルから、またはモーターサイクルへの情報交換はおこなってはならない。オフィシャルのタイム計測装置は義務付けられる。

### 2.2 クラス

- 2.2.1 エンジン容積に基づいて下記のクラスに分類される  
125cc：80ccを越え125ccまで 最大単気筒  
250cc：175ccを越え250ccまで 最大2気筒  
500cc：350ccを越え500ccまで 最大4気筒

### 2.3 エンジン

- 2.3.1 エンジンは2ストロークまたは4ストロークの原理で作動するもののみとする。

- 2.3.2 エンジンは自然吸気であってはならない。
- 2.3.3 エンジンの排気量はシリンダーの行程容積によって定義される。すなわち、シリンダー・ボア面積×ストロークである。
- 2.3.4 排気量に許容誤差は認められない。
- 2.3.5 エンジン排気量は外気温のもとで測定されなくてはならない。

## 2.4 ギヤ

- 2.4.1 ギヤの最大段数は6速とする。

## 2.5 車重

- 2.5.1 下記が許可される最低車重である：

GP 3	125cc	…………	70kg	
GP 2	250cc	単気筒…………	100kg	*1
		2気筒…………	100kg	*2
GP 1	500cc	単気筒…………	100kg	
		2気筒…………	100kg	
		3気筒…………	115kg	
		4気筒…………	130kg	

\*世界選手権においては\*1=85kg、\*2=95kgが適用される。

- 2.5.2 最低車重を達成するためにバラストの追加が許可される。
- 2.5.3 車重は最初の車検でチェックされる。しかし、最終的な車重検査は、プラクティス・セッション終了後、あるいはレース終了後に実施される。  
モーターサイクルの車重は、モーターサイクルが出場する状態、すなわちオイル、水、及び他の液体を含み（燃料は除く）、他のすべての追加の装備（例えばオフィシャルのタイム計測装置、カメラ装備等）を装着した状態で計測される。
- 2.5.4 燃料の残量といった可変的な要素を除くために、モーターサイクルは燃料タンクなしの状態ですべての重量を計測され、その際全クラスについて2kgの許容誤差が認められる。

## 2.6 燃料タンク

- 2.6.1 燃料キャップはリーク・プルーフ（漏れ防止が施されているもの）で、ポジティブ・クロー징デバイス（確実にしめる装置）を装備していなくてはならない。
- 2.6.2 燃料タンク・ブリーザー・パイプにはノン・リターン・バルブが装着されていなくてはならない。  
ブリーザーパイプは、最低容量250ccの適切な容器に排出しなくてはならない。
- 2.6.3 燃料タンクには火炎防止材質（防爆材）又はフュエルブラダー（燃料セル袋）が充填されていなくてはならない。

## 2.7 安全および構造基準

注意：図1、2、3も参照のこと

- 2.7.1 スロットルツイスト・グリップ
  - 2.7.1.1 スロットルツイスト・グリップは、開放時に自動的に閉じるものでなくてはならない。
- 2.7.2 ステアリング
  - 2.7.2.1 ハンドルバーの幅は最低450mmとし、先端はソリッド（中空でない）またはゴムで覆われたものとする。



ハンドルバーの幅とは、ハンドルバー・グリップまたはスロットル・ツイストグリップの外側と外側の間隔で測定されたものとする。

- 2.7.2.2 中心線から両側に、最低15°のステアリング回転角度がなくてはならない。
- 2.7.2.3 ハンドル・ロックした状態でハンドルバーとタンクの間に最低30mmの間隔があるように、ストッパーを設置しなくてはならない。
- 2.7.3 ブレーキ
  - 2.7.3.1 モーターサイクルには各ホイールに最低1個の、独立して操作されるブレーキが装備されなくてはならない。
- 2.7.4 エキゾースト
  - 2.7.4.1 エキゾーストの排出口は、リヤ・タイヤの後端から垂直に引かれた線の後方に突出してはならない。
  - 2.7.4.2 パイプ最後端の30mmは水平で、モーターサイクルの中心線と平行でなくてはならない。許容誤差は、 $\pm 10^\circ$ とする。
- 2.7.5 フットレスト
  - 2.7.5.1 フットレストの先端は丸型で、中空でなく球状で、その半径は最低8mmでなくてはならない。
- 2.7.6 ハンドルバー・レバー
  - 2.7.6.1 レバーの長さは、ピボットポイントから測定して200mm以上あってはならない。
  - 2.7.6.2 レバーは原則として、端部がホール状でなくてはならない。
- 2.7.7 ストリームライニング（カウリング）
  - 2.7.7.1 ウインドスクリーンエッジ、またはその他のすべてのストリームライニングの露出した部分のエッジは丸められていなければならない。
  - 2.7.7.2 ストリームライニングの最大幅は600mmを超えてはならない。シートまたはその後方にあるすべての物の幅は、450mmを越えてはならない。（エキゾースト・パイプは例外とする。）
  - 2.7.7.3 ストリームライニングは、フロント・ホイール・スピンドルから前へ100mmのところ（マッドガードが装着される場合は例外とする）に垂直に引かれた線とリヤ・タイヤのエッジから垂直に引かれた線を超えてはならない。
  - 2.7.7.4 横から見た場合、下記を判別することができなくてはならない：
    - a) 最低180°にわたるリヤ・ホイール・リム
    - b) マッドガードまたはフォークに覆われた部分を除くフロント・ホイール・リム全体
    - c) ノーマル・ポジションに座ったライダー。上腕を除く。注意：上記の規則の裏をかくために、透明の材質を使用することは禁止される。
  - 2.7.7.5 モーターサイクルのいかなる部分も、リヤ・タイヤの後端から垂直に引かれた線より後方に突出してはならない。
  - 2.7.7.6 シートのベースとシートが一番高い地点と差は最大150mmとする。
  - 2.7.7.7 マッドガードは義務づけられない。装着された場合、フロント・マッドガードは下記まで伸びてはならない：
    - a) フロント・ホイール・スピンドルを通る水平の線から上と前に45°に引かれた線の前
    - b) フロント・ホイール・スピンドルからリヤまで水平に引かれた線の下
  - 2.7.7.8 ウイングは、それがフェアリングあるいはシートの一部で、フェアリングとシートの幅、ハンドルバーの高さを超えない場合には装置を許可される。

尖ったエッジは丸くされなくてはならない。動くエアロダイナミック・デバイスは禁止される。

2.7.8 クリアランス

2.7.8.1 荷重のかからない状態のモーターサイクルは、タイヤ以外が路面に接地しない状態で、垂直線から50°の角度で傾斜が可能でなくてはならない。

2.7.8.2 モーターサイクル・サスペンションがどのようなポジションにあり、リヤ・ホイール・アジャストメントがどのようなポジションにあっても、タイヤの円周に沿って最低15mmのクリアランスがなくてはならない。

2.7.9 ブリーザー・パイプ

2.7.9.1 エンジンまたはギヤボックスからのブリーザー・パイプは、最低容量250ccの適切な容器に排出しなくてはならない。個々のブリーザー・パイプごとに別個の容器が装備されなくてはならない。

2.7.10 チタニウム及び軽合金

フレーム、フロント・フォーク、ハンドル・バー、スイングアーム・スピンドルホイール・スピンドルの構造にチタニウムを使用することは禁止される。

ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。

## 2.8 タイヤとリム

2.8.1 レーシング・タイヤが使用されなくてはならない。

2.8.2 最大リム幅は下記の通りとする

		フロント	リヤ
GP 3	125cc	2.5インチ	3.5インチ
GP 2	250cc	4.0インチ	5.5インチ
GP 1	500cc	4.0インチ	6.25インチ

## 2.9 ナンバーとバックグラウンド(下地)

① 全日本選手権に適用されている規則

2.9.1 モーターサイクルのフロントと両サイドにレーシング・ナンバーが装着され、観客とオフィシャルが明白に識別できるようにしなければならない。

2.9.2 ナンバーは、179頁図4に明記されている寸法に適合しなくてはならない。

2.9.3 ナンバーは黒か白とし、バックグラウンドの色の上に書かれた際に判別しやすいようにする。

2.9.4 バックグラウンドは最低限、下記の面積が単色でなくてはならない。バックグラウンドに蛍光色は禁止される。

幅 275mm          高さ 200mm

2.9.5 ナンバープレートのバックグラウンドは垂直から30°以上傾斜してはならない。

2.9.6 ナンバープレートのバックグラウンドの湾曲による突出は、最低幅と最低高において60mm以上超えてはならない。

2.9.7 ナンバーの周囲には最低25mmのクリアー・エリア(余白)が設けられなくてはならない。

2.9.8 ナンバーの明瞭度に関して論議が持ち上がった場合、車検長の決定が最終的なものとする。

② エリア選手権に適用される規則(国際ライセンス所持者は、上項①が適用される)

エリア選手権においてはロードレース基本仕様-01.55ナンバープレート(142頁)の規則が

適用される。(ナンバープレートの地色、及び数字の色等が規制されている)

## 2.10 燃料、オイル及びクーラント

国内におけるロードレース競技会(世界選手権を除く)において、燃料は下記の仕様に制限されている。

- ① 公認ロードレースには、MFJの定める無鉛ガソリンを使用しなければならない。

ガソリンの仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項(137頁)

参照

- ② 大会特別規則(全日本ロードレース選手権特別規則等)によってガソリンの供給方法を指定した場合、これに従わなくてはならない。

注意：'97年1月1日より、ロードレース2ストロークエンジンに対しても、MFJの定める無鉛ガソリンに制限されている。

図1

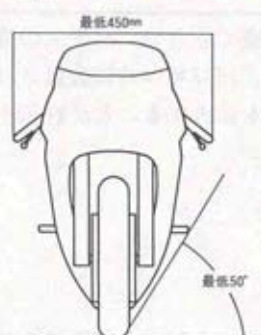


図2

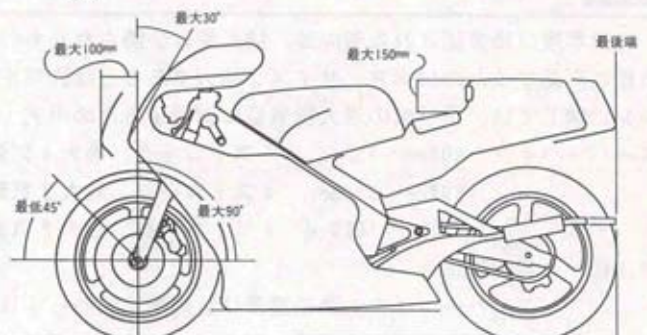
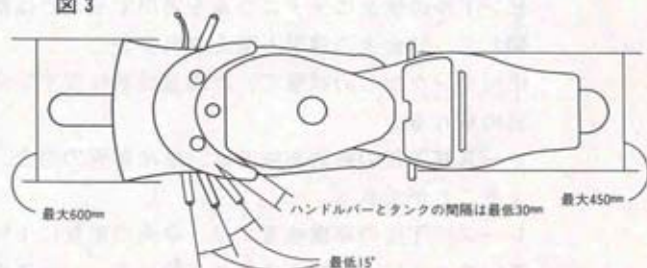


図4

### ナンバープレート



図3



## 全日本選手権、エリア選手権の仕様

下記の項目は、国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よってFIM仕様と異なる場合、下記の解釈が優先される(日本で開催される世界選手権を除く)。

### 2.11 音量規制

FIM方式で測定し105dB/Aとする。詳細はロードレース基本仕様(144頁・音量規制)参照。

### 2.12 キャブレター

キャブレターのサイズ(気筒あたりの最大径)

クラス	最大径サイズ
250	直径39mm相当以下
125	直径39mm相当以下

## スーパーバイク規則 (全日本選手権・エリア選手権へ適用)

この規則は、'96年10月16日現在のFIMスーパーバイク規則原案を翻訳したものです。従来のものから規則の内容に大きな変更はありませんが、規則の整理の方法が変わっています。正式規則が発行された際に追加の変更があった場合は、随時ライディング誌上にて告知されます。

### 01.59 分野別仕様—スーパーバイク

スーパーバイク・モーターサイクルにはFIMの公認が必要とされる。モーターサイクルは、すべての要素に関してロードレース技術規則に明記されているロードレースの必要条件を満たしていなくてはならない。

スーパーバイク・モーターサイクルの前後および側面からの外観形状（別記された場合を除いて）は、原則として車両公認時（メーカー出荷時）のものと合致していなくてはならない。

### 59.01 スーパーバイク・クラス

1997年度以降公認された車両は、排気量は公認されたものから変更できない。クラスの最大排気量に到達するためにボア・サイズを拡大することは許可されない。1996年以前に公認されたマシンに関しては、クラスの最大排気量に到達するためボア・サイズを拡大することが許可される。

スーパーバイク：601cc～750cc	4ストローク	最大4気筒
601cc～900cc	4ストローク	最大3気筒
751cc～1000cc	4ストローク	最大2気筒

#### 59.01.1 最低重量

スーパーバイク：最低重量は気筒数に関わらず162kg

フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム・スピンドルおよびホイール・スピンドルの構造にチタニウムを使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関して、軽合金の使用も禁止される。

燃料タンクなしの状態、車両重量を検査する場合、最低重量より4kgの差し引きが認められる。

レース終了後の最終車検では、水冷車両の場合、車重検査の前にラジエーターに水を加えることができる。

レース終了後の車重検査では、車両の車重に1%の許容範囲が許可される。

ラジエーターに水を加えることを除いて、レース後のモーターサイクルはレースを終えたままの状態、規定車重に適合していなくてはならない。すべての車両車重は、燃料なしの状態とする。

#### 59.01.2 ナンバープレートの色

スーパーバイクのナンバープレートの色は、下地が白で数字が黒とするPAL色番号：黒=9005、白=9010（142頁事項01.55を参照）。

ナンバーの明瞭度に関して議論が持ち上がった場合、車検長（またはテクニカルスタッフワード）の決定を最終的なものとする。

#### 59.01.3 キャブレション・インストルメント（キャブレター、インジェクター等）

キャブレター、またはインジェクション・システムのインタークサイズに制限はしない。

オートバイ製造メーカーは公認された車両のキャブレションまたはエアーインタークコントロールとは別に、レース専用として一機種に一個、下記基準に従い特別公認を受けることが出来る。

1. 年間50,000台以上のモーターサイクルを製造するメーカーの場合、世界中に存在するディストリビュータを通じ最低100セットのキャブレターまたはインジェクター・インストルメントを供給しなければならない。
2. 年間50,000台以下のモーターサイクルの製造メーカーの場合、最低50セットを供給しなければならない。
3. 各メーカーは最低数量の製造証明を提出しなければならない。
4. キャブレターまたはインジェクター・ボディの材質は公認車両のものと同じでなければならない。
5. キャブレター、またはインジェクションの部品はスペアパーツとして入手できるものとし、製造メーカーのレーシング・パーツリストに記載されていなくてはならない。
6. 販売価格は、各メーカーの生産国での希望小売り価格の2倍以上になってはならない。(価格は公認申請用紙に明記される)
7. これらのキャブレターに関しては、ジェット交換以外の変更は禁止される。
8. これらの部品は公認発効後最低3年間は入手できなければならない。  
キャブレターの公認は、モーターサイクルの公認と同じ期間に関して有効とする。
9. 全てのモーターサイクル製造メーカーは、これらの部品のサンプルセットを1セット比較のためFIMに提出する。

## 59.02 燃料

すべてのスーパーバイク・エンジンは、最大鉛含有量0.013 g/l (無鉛)と最大MON値89の通常の無鉛ガソリンで作動するものとする(完全な仕様に関しては137頁第7章を参照のこと)。

## 59.03 マシンの仕様

以下に明記されないすべてのアイテムは、公認車両として製造メーカーが製作した状態のままでなくてはならない。

### 59.03.1 メイン・フレーム・ボディ

メイン・フレームは公認車両として製造メーカーが製作した状態のままでなくてはならない(139頁事項01.26を参照)。

メインフレームには、ガゼット(補強板)またはチューブを追加するという変更のみ許可される。ガゼット(補強板)やチューブを取り除くことはできない。

すべてのモーターサイクルには、メイン・フレーム・ボディに車両識別番号が記されなくてはならない(シャシー・ナンバー)。

リヤのサブフレームは、交換または改修してもよいが、材質は公認を受けたものと同じでなくてはならない。ペイント・デザインに制限はない。

### 59.03.2 フロントフォーク

フロントフォークは全体的に、または部分的に交換することができるが、公認車両に装着されたものと同じタイプとする(リーディング、テレスコピック、倒立等)。

上と下のフォーク・クランプ(三又、フォーク・ブリッジ)は交換してもよいし、モディファイしてもよい。

ステアリング・ダンパーを追加する、あるいはアフターマーケット・ダンパーと交換してもよい。

ステアリング・ダンパーは、ステアリング・ロック制御デバイス(ステアリングスト

- ッパー)としての役割を果たしてはならない。
- 59.03.3 リヤフォーク (スイングアーム)  
リヤフォークは車両公認時に装着されているものから変更されてもよいし、交換されてもよい。カーボンファイバー、またはカーボン・コンポジット材質は、車両公認時に装着されている場合を除いて許可されない。
- 59.03.4 リヤサスペンションユニット  
リヤ・サスペンション・ユニットは変更されてもよいし、位置を移動してもよいが、同じシステムが採用されなくてはならない (すなわちデュアル、またはモノ)。
- 59.03.5 ホイール  
ホイールとその関連部品は、車両公認時に装着されているものから改造されてもよいし、別の物に交換されてもよい。カーボンファイバー、またはカーボン・コンポジット・ホイールは、製造メーカーが公認車両にこのタイプのホイールを装着している場合を除いて許可されない。  
ベアリング、シール、およびアクスルは車両公認時に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。  
直径16インチ以下のホイールリムは許可されない。  
フロント・ホイール・リムの最大幅: 4.00インチ  
リヤ・ホイール・リムの最大幅 : 6.25インチ
- 59.03.6 ブレーキ  
フロント・マスターシリンダーは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。  
リヤ・マスターシリンダーは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。  
フロント・キャリパーは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。  
リヤ・キャリパーは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。  
ブレーキ・パッド、またはブレーキ・シューは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。  
ブレーキ・ホース、およびブレーキ・カップリングは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。  
ブレーキ・ディスクにカーボンファイバー、あるいはカーボン・コンポジット材質を使用することは許可されない。
- 59.03.7 タイヤ  
タイヤは、公認車両に装備されているものから別のものに交換されてもよい。  
タイヤ・ウォーマーの使用が許可される。
- 59.03.8 フットレスト/フット・コントロール  
フットレスト/フット・コントロールの位置は移動してもよい。  
フットレスト/フット・コントロールはリヤ・アクスルの前に設けなくてはならない。  
フットレストはリジッドにマウントされたものか、あるいは通常的位置に戻すデバイス (装置) を持ったホールディング・タイプ (折りたたみ式) のものでなくてはならない。  
フットレストの先端は、最低半径 8 mm の固いボール状 (中空でない玉) でなくてはならない。

ホールディング・タイプ（折りたたみ式）ではないスチール製フットレストの先端には、プラスチック、テフロン、あるいはそれと同等の材質でできた先端（プラグ）が固定されなくてはならない（最低半径 8 mm）。

59.03.9 ハンドルバーとハンド・コントロール

ハンドルバー、ハンド・コントロール、およびケーブルは公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

ハンドルバーには、エンジン・ストップ・スイッチ（キルスイッチ）を設けなくてはならない。

59.03.10 フェアリング（ストリームライニング）

フェアリング、マッドガードおよびストリームライニングは、原則としてメーカー出荷時の形状で車両公認時の形状に合致してはならない。

ウインドスクリーンは別のものに交換されてもよいが、原則としてメーカー出荷時の形状で車両公認時の形状に合致してはならない。

フェアリングからエアボックスに至るオリジナルのエアダクトは、公認車両に装着しているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

フェアリング下部は、エンジン破損時に、エンジンに使用されるエンジン・オイルおよびエンジン・クーラント総量の最低半分（最低 5 l）を保持できる構造でなくてはならない。

フェアリング下部には、直径 25mm の孔を最高二つまで設けてもよい。この孔はドライ・コンディションの時には閉じられなくてはならず、競技監督がウェット・レース・コンディションだと宣言した時にのみ開かれなくてはならない。

ホイール交換用のエレベーター（スタンド）を採用するため、およびフレームやエンジンにプラスチック製プロテクティブ・コーンを装着するために、フェアリングへの最低限の変更が許可される。

オイルクーラーに導入するエアの量を増大するために、フェアリングにドリルで孔を開けることが許可される。直径 10mm 以上の大きな孔はメタルガーゼ、または目の細かいメッシュで覆わなくてはならない。メッシュは周囲の材質にマッチするようにペイントされなくてはならない。

フロント・マッドガードは、原則としてメーカー出荷時の形状で、車両公認時の形状に合致してはならない。

冷却効率を上げるために、フロント・マッドガードにドリルで孔を開けることが許可される。直径 10mm 以上の大きな孔はメタルガーゼ、または目の細かいメッシュで覆わなくてはならない。メッシュは周囲の材質にマッチするようにペイントされなくてはならない。

リヤ・マッドガードは追加してもよいし、取り外してもよい。

フロント・マッドガード、リヤ・マッドガード、およびフェアリングの材質は、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

露出しているエッジ部分はすべて丸められなくてはならない

141頁事項01.45—ストリームライニング（カウリング）を参照。

59.03.11 燃料タンク

側面からオリジナルの外観形状が車両公認時のものに合致していれば、公認時のタンクを改造して最大容量を達成することが許可される。

タンクの各側の間にクロスオーバーラインを設けることが許可される（最大内径 10

mm)。

燃料タンクには防爆材(すなわち explosafe など)が完全に充填されなくてはならない。

タンク・ブリーザーパイプのついた燃料タンクには、適切な材質でできており、最低容量250ccのキャッチタンクに放出するノンリターン(戻らない)バルブが装備されなくてはならない。

燃料タンク・フィルターキャップは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

燃料キャップは、閉じられている状態では漏れない構造になっていなくてはならない。さらに、どのような場合にも事故で開かないように保たれていなくてはならない。

プラクティスで使用されたものと同じサイズの燃料タンクがイベントの期間中ずっと使用されなくてはならない。

燃料タンクの構造の材質は、公認車両に使用されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

#### 59.03.12 シート及びシートカウル

シートは、認証モーターサイクルに装備されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

シート周辺のリヤ・ボディワークの上部分をシングルシートに改造することができる。この場合シートカウルは、リヤゼッケンプレートと一体の構成になっていなくてはならない。前後および両側面からの外観形状は、原則として車両公認時のものと合致しなくてはならない。

シートカウル、またはリヤカウルは、正常な数字が表示できなくてはならない。

冷却効率を上げるためにシートカウル、またはリヤカウルにドリルで孔を開けることが許可される。10mm以上の大きな孔はメタルガーゼ、または目の細かいメッシュで覆わなくてはならない。メッシュは周囲の材質にマッチするようにペイントされなくてはならない。

露出しているエッジ部分はすべて丸められなくてはならない。

シートの構造の材質は、公認車両に使用されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

141頁事項01.45—ストリームライニングを参照。

#### 59.03.13 ラジエーター／オイルクーラー

オリジナルのラジエーター、またはオイルクーラーは、公認車両に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

ラジエーター、またはオイルクーラーを追加してもよい。

オイルクーラーはリヤ・マッドガードの上、またはそれ以上高い位置に設けられてはならない。

マシンの前、後ろ、および側面からの外観形状はラジエーターまたはオイルクーラーを追加したあとも、原則として車両公認時のものと合致していなくてはならない。

#### 59.03.14 エアーボックス

エアーボックスは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい(レース用スペシャル・デザインが許可される)。

エアーフィルター・エレメントは取り外してもよい。

エアーボックスはインダクション・ベルマウス(エアファンネル)とすべてのエンジン・ブリーザー・チューブの周囲を完全に密閉すること。エアーはベルマウス・リッ



ブ（エアファンネルの縁）の一番低い位置より上からのみ吸気できるようにされなくてはならない（145頁図A参照）。キャブレション・インストルメントは、完全にエアボックスの中に収めることもできる。

エアボックス・ドレインは密閉されなくてはならない。

すべてのスーパーバイク・モーターサイクルはクローズド・ブリーザー・システムが義務づけられる。オイル・ブリーザー・ラインはエアボックスに連結され、ここに放出されなくてはならない。

ブリーザー・システム（エアボックス+ブリーザー・オイル・コレクターボックス）は、ドレイン・パイプが詰まった時に、排出液を最低1000cc保持できるものとする。

#### 59.03.15 キャブレター

キャブレション・インストルメントは公認車両に装備されたものとは異なる特別公認レーシング・タイプに交換することができる。180頁事項59.01.3を参照

キャブレション・インストルメントの数は公認時のままとする。

キャブレション・インストルメントの研磨および軽量化は許可されない。

バタフライの交換、またはモディファイは禁止される。

キャブレター・ジェット、ニードル、およびスロットル・バルブは別のものに交換されてもよい。

ベルマウス（エアファンネル）は、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

#### 59.03.16 フュエル・インジェクション・システム

スロットル・ボディは、車両公認時に装備されたものとは異なる特別公認レーシング・タイプに交換することができる。180頁事項59.01.3を参照

キャブレション・インストルメントの数は公認時のままでなくてはならない。

キャブレション・インストルメントの研磨および軽量化は許可されない。

フュエル・インジェクターは車両公認時に装着されたものとは異なる特別公認レーシング・タイプに交換することができる。

バタフライの交換、またはモディファイは禁止される。

フュエル・インジェクション・マネージメント・コンピューター・チップ（EPROM）を交換することはできる。

フュエル・ポンプとプレッシャー・レギュレーターはモディファイされてもよいし、改造、変更されてもよい。

#### 59.03.17 燃料供給

フュエル・ラインは別なものに交換することができる。

フュエル・ベント・ラインは別なものに交換することができる。

フュエル・フィルターを追加することができる。

フュエル・コックは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

#### 59.03.18 エンジン

公認時のエンジン・デザイン・コンセプトを変更することはできない。

クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッド、およびギヤボックス・ハウジングの材質とキャストリングは公認時のものを用いる。クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドおよびギヤボックスハウジングの材質は溶接によってのみ追加され、機械加工でのみ削減できる。

カム・ドライブの方法は公認車両と同じでなくてはならないが、通常の販売ルートを

通じてコンプリート・キットが入手できる場合は例外とする。相当数のコンプリート・キットが販売され、レーシング・スペアパーツ・ブックに記載されていなくてはならない。

バルブ・リテンションの方法は公認車両と同じでなくてはならない。(公認車両に装着されている場合を除いて、エアバルブ・リテンション装置は許可されない)。

エンジン内部の動くパーツ、ギヤボックス・パーツ、およびクラッチ・パーツは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。材質の変更も許可される(改造、変更が許可されていない特定の部分に含まれる部品を除く)。

キャブレション・インストルメントを除くエンジンパーツの研磨と軽量化は許可される(改造、変更が許可されていない特定の部分に含まれる部品を除く)。

#### 59.03.19 シリンダーヘッド

シリンダーヘッドは公認時のままでなくてはならない。改造は許可される。

シリンダーヘッドは公認時の材質とキャストイングが使用されなくてはならない。シリンダーヘッドの素材は溶接による追加および、機械加工による切削のみ許可される。バルブ、ポート(インテークおよびエキゾースト)の数を含む吸排気システムは、公認時のままでなくてはならない。

通常、個人的な調整と考えられるガス・フロー、シリンダーヘッド(燃焼室を含む)の修理のような、シリンダーヘッドのポーティング、研磨は許可される。

圧縮比は自由とする

燃焼室はモディファイしてもよい

バルブは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

バルブシートは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

バルブガイドは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

バルブスプリングは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

バルブ・リテーナーは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

#### 59.03.20 カムシャフト

カムシャフトは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

#### 59.03.21 カム・スプロケット、またはカム・ギア

カム・スプロケット、またはカム・ギアは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

#### 59.03.22 クランクシャフト

クランクシャフトは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

クランクシャフトのストロークは公認時のままでなくてはならない。

研磨または軽量化が許可される。

クランクシャフト、ロッド、およびピストンのバランス取りが許可される。

#### 59.03.23 オイルポンプおよびオイルライン

オイルポンプ及びオイルラインは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

正圧のかかるオイル・ラインは、もし交換されるならば金属強化構造のもの又は、ネジ式のコネクターを持つものを使用しなくてはならない。

59.03.24 コンロッド

コンロッド（コネクティングロッド）は、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。カーボン・コンポジット、またはカーボンファイバー材質は許可されない。

研磨または軽量化が許可される。

コンロッドのバランス取りが許可される。

59.03.25 ピストン

ピストンは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

ピストンのバランス取りが許可される。

研磨または軽量化が許可される。

59.03.26 ピストンリング

ピストンリングは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

59.03.27 ピストンピンとクリップ

ピストンピンとクリップは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

59.03.28 シリンダー

シリンダーは公認時の材質とキャスティングが使用されなくてはならない。シリンダーの素材は溶接による追加、機械加工による切削のみ許可される。シリンダーはスリーブリングまたはライニングによって修理できるが、材質タイプ、表面加工、およびボアは公認時のままでなくてはならない。

1997年度の公認から、排気量は公認時のサイズのままでなくてはならない。クラスの最大排気量に到達するためにボア・サイズを拡大することは許可されない。1997年以前に認証されたマシンに関しては、クラスの最大排気量に到達するためボア・サイズを拡大することが許可される。

59.03.29 クランクケース／ギヤボックス・ハウジング

クランクケースとギヤボックス・ハウジングには公認時の材質とキャスティングが使用されなくてはならない。クランクケースとギヤボックス・ハウジングの素材は溶接による追加、機械加工による切削のみ許可される。

59.03.30 トランスミッション／ギヤボックス

すべてのトランスミッション／ギヤボックスレシオは自由とする。

プライマリー・ギヤレシオは自由とする。

ギヤの最大数は6速に制限される。

クイックシフト・システムのようなものをギヤボックス、またはセレクター機構に追加することが許可される。

カウンターシャフト・スプロケット、リヤホイール・スプロケット、チェーン・ピッチとチェーン・サイズは変更できる。

59.03.31 クラッチ

クラッチ・スプリングは変更できる。

フリクション・ディスクとドライブ・ディスクは変更できる。

クラッチ・タイプと作動方法は、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

59.03.32 イグニッション／エンジン・コントロール・システム

イグニッション／エンジン・コントロール・システムは、モディファイされてもよいし、交換されてもよい。

スパークプラグとプラグワイヤーは別なものに交換することができる。

59.03.33 ジェネレーター

ジェネレーター、電気式、手動式の始動装置（キックレバー、キックペダル、スタータークランクギヤ、スターターシャフト等）は、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

59.03.34 エキゾースト・システム

エキゾーストパイプとサイレンサーは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

※1997年1月1日から、スーパーバイクのノイズ・リミットは102dB/Aとなる。

59.03.35 下記のアイテムは車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

どの種類の潤滑油、ブレーキフルード、サスペンションフルードを用いてもよい。

どの種類のスパークプラグ、およびプラグキャップを用いてもよい。

どのインナーチューブ（装着される場合）またはインフレーション・バルブを用いてもよい。

ホイールのバランスウェイトは外されてもよいし、交換されても、追加されてもよい。

どの種類、あるいはどのブランドのベアリング（ボール、ローラー、テーパー、ブレイン等）を用いてもよい。

ファスナー（ナット、ボルト、スクリュー類）

エレクトロニック・デバイス、電気ケーブル、コネクタ、バッテリー、およびスイッチ

外部の表面加工、およびデカール

59.03.36 下記のアイテムは取り外すことができる

ライトとリフレクター

計器類と計器用ブラケットおよび関連ケーブル

ホーン

ナンバープレート・ブラケット

ツール・ボックス

タコメーター

スピードメーター

ラジエター・ファンとワイヤー

パッセンジャー用フットレスト

パッセンジャー用グラブ・レール

チェーンガード

## 59.04 下記のアイテムは変更されなくてはならない

モーターサイクルには、始動しているエンジンおよび、その他のすべての電気部品を停止することのできる効果的なイグニッション・キルスイッチ、またはボタンが、ハンドル・バーの右あるいは左に設けられていなくてはならない（グリップを握った状態で手の届く距離になくてはならない）。

スロットル・コントロールは手で握っていない時には自動的に閉じるものでなくてはならない。

電動フュエル・ポンプは、レースでの事故の際に自動的に作動する回路遮断システムを介していなくてはならない。

電動フュエル・ポンプの設計には、車検の時にテストできるように回路遮断のテスト機能が設けられていなくてはならない

セーフティバー、センタースタンド、およびサイドスタンドは取り外されなくてはならない（固定されたブラケットは、そのままであればならない）。

すべてのドレーン・プラグはワイヤーロックされなくてはならない。外部オイルフィルター・スクリューおよびオイルフィルター・ボルトでオイル・キャビティ（オイルパン）に進入するのは、すべて安全にワイヤーロックされなくてはならない。

ブリーザー・パイプ、またはオーバーフロー・パイプが装備される場合、排出はそのパイプの排気口からなされなくてはならない。公認時のクローズド・システムは維持されなくてはならず、大気へ排出することは禁止される。

オイル・ブリーザー・パイプが装備される場合、排出は簡単に手の届く位置に設けられたキャッチタンクにされなくてはならない。

キャッチタンクは、レース前に空にされなくてはならない。

オイルクーラーは、リヤ・マッドガードの上、またはそれ以上高い位置に設けられてはならない。

キャッチタンクの最低サイズは、ギヤボックス・ブリーザー・パイプの場合250cc、エンジン・ブリーザーパイプの場合500ccとする。

すべての4ストローク・モーターサイクルには、クローズド・ブリーザー・システムが採用されなくてはならない。オイル・ブリーザー・ラインはエアボックスに連結され、これに排出されなくてはならない。

ヘッドライト、リヤライト、およびウインカーは取り外さなくてはならない。これらを外したあとの穴は、適切な材質で覆わなくてはならない

## 59.05 追加の装備

車両公認時にはない、追加の装備を設けることができる（すなわちデータ収集器具、コンピューター、記録機器等）。しかしながら、事項01.18（テレメトリー）は守られなくてはならない。

## 01.18 テレメトリー

動いているモーターサイクルから情報を受信する、または送信することは禁止される。公式計測装置を搭載することが要請される場合もある。

自動ラップタイマー（オンバイク・ラップタイム・ディスプレイ・ユニット）はテレメトリーとは考えられない。

## 第18章 FIM 技術仕様(モトクロス・トライアル)

### モトクロス

国際A級部門は下記に示す FIM 技術仕様にて開催される。よって下記に示す規則と MFJ 基本仕様第9章モトクロス基本仕様に合致してはならない。FIM 技術仕様と MFJ 基本仕様の間で解釈の違いが生じた場合は、FIM 技術仕様を優先する。

## FIM 規則01章 モトクロス技術仕様

### 01 クラス区分

クラス	排気量範囲	最大限気筒数
125	100を越え125以下	1
250	175を越え250以下	—

### 02 出場車両

- 1) 出場の車両に制限はない
- 2) 車両は MFJ 技術規則第9章モトクロス基本仕様に示される、すべての条件に適合していなければならない。

### 05 重量

車両の最低重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
80	65kg
125	88kg
250	98kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

### 06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 1) もしプライマリーチェーンが露出している場合、安全措置としてチェーンガードを装着しなければならない。チェーンガードはいかなる場合においてもライダーがトランスミッションパーツに誤って触れることがないようにガードを取りつけていなければならない。カウンターシャフトスプロケットにもガードが取り付けられていなければならない。

### トライアル

国際A級・国際B級部門は下記に示す FIM 技術仕様にて開催されるが、下記に示す規則と MFJ 技術規則第10章トライアル基本仕様に適合していることとする。FIM 規則と MFJ 規則が相違する場合は、FIM 技術規則を優先する。

# FIM 規則01章 トライアル技術仕様

## 01 クラス区分

国際A級

国際B級

\*車両の排気量によるクラス区分は設定されない。

## 06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

カウンターシャフト・スプロケットには安全ガードが取り付けられていなければならない。



# ドラッグレースの仕様

## ドラッグレースの基本仕様

### 01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金のナットとボルトの使用は許可される。

### 03 エギゾースト・パイプ

エギゾースト・パイプはリヤホイールの後ろに伸びてはならない。またライダー、燃料タンク、およびタイヤから離れて放出されるようにする。フレキシブル・パイプは許可されない。

### 04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの最低幅は、80ccまでのマシンは最低400mm、80ccを越えるマシンは最低450mmとする。500ccを越えるマシンは最低560mmとする。
- 2) ハンドルバーの最低幅はグリップ外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。
- 3) ハンドルバーの先端が露出される場合は固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 4) ハンドルバーは、標準仕様の位置でなければならない。溶接された鋼鉄またはクロモリ鋼鉄延長ハンドルバーは認める。但し、標準ハンドルバーの位置より100mm以上越えてはならない。
- 5) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側に対する回転角度は最低各15°以上なくてはならない。
- 6) ストリームライニングがある場合、ハンドルバーの位置がどこにあっても、フロント・ホイールがストリームライニングに接触してはならない。
- 7) ライダーの指が挟まれないようにするために、ハンドルを左右いっぱいにも切ってもハンドルバー（レバーを含む）と燃料タンクの間、最低30mmの間隔があるように、ストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取りつけなくてはならない。
- 8) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 9) 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。



## 05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルバー・レバー（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部が丸くなっていなければならない。
- 2) ピボット点からレバーの端（ボール状の先端）まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロールレバー（ハンドルおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーがフットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がったり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

## 06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。
- 2) オートマチック・クラッチを用いるモーターサイクルには、パーナウトの後でアシスタントがマシンをスターティングラインに押し戻す際に、スロットルが開くのを防ぐための安全装置が装着されていなければならない（ツイストグリップ・スリーブとハンドルバーにピンを介し、目立った飾りふさを装着すれば十分）。

## 07 フットレスト

- 1) フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならず、さらにフットレストの先端には半径最低8mmの、一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。
- 2) もしフットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を半径最低8mm以上の球形に丸められていなくてはならない。
- 3) フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線よりも100mm以上、上に設けられてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線よりも380mm以上前になくてはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作が行いやすい位置にしなくてはならない。

## 08 ホイール

モーターサイクルにはフロントにモーターサイクル用に製造されたホイールを装備していなければならない。リヤ・ホイールリムの幅はリヤ・タイヤの接地面よりも50mm以上狭くなければならない。

## 09 タイヤおよびチューブ

タイヤはスリック・タイプまたはトレッドの深さが最低2mmのものとする。トップスピードが200km/hを越えるモーターサイクルの場合、フロント・タイヤは最低“V”レートあるいはロードレース・タイプとする。リヤ・タイヤのチューブは天然ゴム製のレーシングタイプとする。

## 10 ブレーキ

- 1) モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつ、ホイールと同心的に独立して作動する有効なブレーキが装備されていなくてはならない。
- 2) ディスクブレーキの最低直径は175mm、ドラムブレーキの最低直径は、150mmとする。500cc以上のモーターサイクルはフロント及びリアにディスクブレーキを装備していなければならない。フロントシングルディスクは、最低254mm(10インチ)×5mm、フロントダブルディスク

## ドラッグレースの基本仕様

は最低203mm(8インチ)×5mm。フロントシングルディスクの場合、リアディスクは、最低254mm(10インチ)×5mm。フロントダブルディスクの場合、リアディスクは、最低216mm(8½インチ)×5mm。ラインロックの使用を認める。

### 11 フロントフォーク

フロントフォークは油圧タイプとする。フォーク・チューブはトップ・フォーク・クラウンより30mm以上突出してはならない。最低ストロークは、50mmとする。フォークがボトムした状態で、ホイール以外のいかなる部分も路面に接地してはならない。

トップ・フォーク・チューブの最低直径は：

350ccを越え750cc以下 28mm

750ccを越え 32mm

### 12 最低地上高

ライダーがポジションにつき、正当な空気圧(リヤタイヤ4 PSI(0.3気圧))で、フォークが完全に圧縮された状態での最低地上高は50mmとする。垂直位置からモーターサイクルを左右に12°づつ傾けることが可能でなければならない。これはホイール以外のいかなる部分も路面に接地しない状態で達成されなければならない。

### 13 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 2) フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしていなくてはならない。この部分において、下記の角度を守っていればホイール自体がカバーされてもよい。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの后端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 3) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガード后端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は120°を越えてはならない。
- 4) ストリームライニングがある場合には、マッドガードは必要とされない。ストリームライニングが無い場合にはマッドガードが必要とされる。シートのフェアリングがリヤ・タイヤの外側の垂直接線にまで達している場合には(許容誤差-50mm)、リヤ・マッドガードを装着する必要は無い。

### 14 ストリームライニング

- 1) ストリームライニングは、ライダーがストリームライニングのパーツを取り外さずにマシンに乗り降り出来るようにできていなければならない。また、ライダーがモーターサイクルを操作するのを妨げてはならない。

### 15 シート

シートはライダーに安全なライディング・ポジションを提供するように作られ、危険なほど不快適であってはならない。最低シート高は500mm(ライダーが乗車してリヤタイヤ0.3気圧において)。

## 16 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質でできていなければならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 2) 水平面から50mm以上カーブしていないプレートは、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 3) ナンバープレートはモーターサイクルの両側に、外に向かって垂直に固定されなくてはならない。ナンバープレートははっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れてしまわないようにしてはならない。ウィリバーが付いている車両はウィリバーに付けることが望ましい。
- 4) 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディまたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 5) 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に地の色同様につや消して書かなければならない。

数字の最低寸法は下記のとおりとする。

数字の高さ	140mm
数字の幅	80mm
ストローク幅	25mm
数字間のスペース	15mm

- 6) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線
- 7) 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- 8) すべてのナンバープレートの周囲には最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長によりレース参加の許可を得ることができない。
- 9) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。

PB	(プロトックバイク)	黄地に黒文字
SB-EX	(ストックバイクエキスパート)	白地に黒文字
SB	(ストックバイク)	白地に黒文字
MB	(ミッドストックバイク)	白地に黒文字
HD	(ハーレーダビッドソン)	白地に黒文字
CB-I、II	(カスタムプロダクションバイク I、II)	黒字に白文字

## 17 ウィリバー

ウィリバーの装着が強く勧められる。ウィリバーの長さは、フロントアクスルセンターからウィリバーアクスルセンターまで最大3.300mm以内である事。金属製のウィリバー車輪は禁止する。

## 18 プロテクティブ・カバー

すべてのオープン・トランスミッションにはカバーが設けられ、回転するパーツとの接触が保護される。機械式駆動のコンプレッサーには“ポップ・オフ・バルブ” インテーク・マニフォールドへのゴム製コネクション、または爆発を防ぐための他のデバイスが設けられていなければならない。

## 19 フュエルタンク及びオイルタンク

- 1) 燃料タンクはフレームに安全に固定されていなければならない。
- 2) すべてのオイルドレインボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の箇所に固定されなければならない。オイル供給パイプは所定の位置に適切にワイヤー止めされなくてはならない。オイル通路に進入する外部オイル・フィルター及びオイル圧力ラインのスクリューやボルトには、安全にワイヤーロックされなければならない。
- 3) 燃料およびオイル・フィルター・キャップ  
燃料およびオイル・フィルター・キャップは、閉じた状態で濡れないようになっていなくてはならない。さらにこれらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。

## 20 燃料システム

すべてのモーターサイクルには、機械的な燃料シャット・オフ・バルブが装着されていなければならない。ポンプによって駆動されるフュエル・インジェクション・システムにはエアロクイップまたは同様のハイプレッシャー・チューブがもうけられていなければならない。イグニッションによって停止できないエンジンの場合、すぐに作動する燃料シャット・オフ・バルブがもうけられていなければならない。これはライダーが両手でハンドルを握った状態で操作できなければならない。また、これは、ライダーがモーターサイクルを離れた際にエンジンへの燃料の供給を止めるような構造（どの方向においても作動するように）になっていなければならない。シャット・オフ・バルブはエンジンスタート時に延長された状態で1m以内の長さのコードによって、常にライダーに連結されなくてはならない。

## 21 キャブレターとフュエル・インジェクション

キャブレターとフュエル・インジェクター・インレットは、バックファイヤーが生じた際に、ライダーが怪我をしないような位置に置かれるか、覆われていなければならない。フュエル・インジェクションには、デュアル・ケーブルのポジティブ・リターン・スロットル（または2本のリターン・スプリング）が必要とされる。

## 22 キル・スイッチ

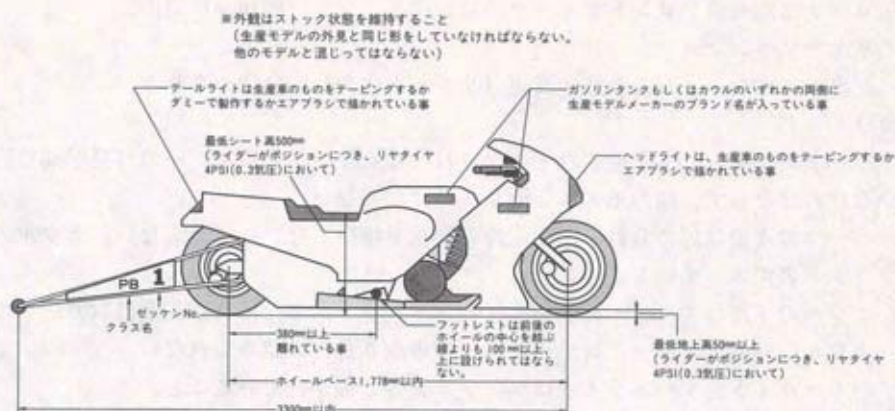
モーターサイクルには、ライダーがモーターサイクルのコントロールを失った時に、エンジンへのすべての電源をカットする電気式接触が装備されていなければならない。これはエンジン始動時には常にライダーに接続されていなければならない。

## 23 オイル・キャッチ・タンク

- 1) オイル・ブリーザー・パイプが装着されている場合、排出口はキャッチ・タンクに放出するようになっていなければならない。（下記の物も安全なようにワイヤー・ロックされていなければならない。リヤ・スプロケット、フロント・アクスル、リヤ・アクスル、ブレーキ・キャリパーのピン、ブレーキ・ディスク、フットブレーキのマスターシリンダー。）
- 2) オイルキャッチタンクはアクシデント発生時でも容易に破損したり脱落せず、かつ高温に耐えられる材質であること。
- 3) キャッチタンクに溜まったオイルはエンジンにもどるリターンパイプを取り付けることが望ましい。……ロードレース基本仕様の図A（145頁参照）。

## 24 チェーン

チェーンはマスターリンクのないクローズド・タイプとする。またはマスターリンクがある場合には安全にワイヤーロックされなくてはならない。



## PB(プロストックバイク)クラスの 車両規制 (A級)

### 01 クラス区分

定義：このクラスはストック（生産モデル）の外観で自然吸気によりガソリンを燃焼するモーターサイクル用のクラスである。

クラス	ベースエンジン	最大限排気量	最大限気筒数	最大限定速数
プロストック バイク(PB)	ハーレーVツイン	2,294.18cc (140立方インチ)	2	6
	2バルブエンジン	1,507.80cc (92立方インチ)	6	6
	4バルブエンジン	1,294.57cc (78立方インチ)	6	6

### 03 車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数

### 04 下記部品は各項の制限内で改造出来る(ドラッグレースの基本仕様 に合致すること)

- 42)(2) リヤホイールは交換出来るが下記制限内とする。  
最低直径 15インチ 最大直径 18インチ
- 44)(1) フロントホイールは交換出来るが下記制限内とする。  
最低直径 16インチ 最大直径 19インチ
- 50)(1) フレームボディ  
修正・変更は認められる。但しキャスター角は最大で40°、シート高は最低50cm (ライダーがポジションにつきリヤタイヤ 4 PSI(0.3気圧)において。) ホイールベースは70インチ

## ドラッグレースの基本仕様

(1778mm) 以内

### 51)(1) フロントサスペンション

フロントサスペンションユニットは交換出来る。ただしサスペンションストロークは最低35mm(O.E.M.タイプ)。アフターマーケット製の場合、最低直径34mm。サスペンションストロークは38mm。フロントフォークの延長は4インチ(約10cm)以内。

### 52)(1) リヤサスペンション

リヤサスペンションの改造・変更(リジット化含む)は認められる。

### 54) カウリング

- (1) オートバイ用として生産されていなければならない。生産モデルの外見と同じ形をしていなければならない。他のモデルと混じってはならない。
- (2) パーツの変更は認められるが生産時の形状を維持しなければならない。カウルの両側にブランド名が入っていること。
- (3) カウルの下部はエキゾーストパイプのクリアランスのために修正及び取り除いてもよい。
- (4) カウルの外側にエアインテークホースの取り付けは認められない。
- (5) ヘッドライト、テールライトはエアブラシ等で描かれていること。

### 55) シート・シートカウル

改造変更出来るがライダーが後ろに滑るのを防ぐステップがついていることが望ましい。

## 05 重量

### 重量、最大排気量

PBクラスの最低重量は下記とする。

ライダーが全装備で乗車した状態で、249.47kg(550ポンド)、ハーレーVツイン272.15kg(600ポンド)。

## 06 車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 17) 電動式フュエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け(4サイクル車は500cc以上、2サイクルは250cc以上)
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し
- 40) チェーンガード  
リヤアクスルを越えてチェーンの上部をカバーすること。チェーンガードは鋼鉄製または厚さ3.2mm以上のアルミ製のものに限る。固定は3カ所以上とする。
- 53) ステアリング・ダンパーの取り付け
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。
- 61) ウイリーバーの取り付け  
フロントアクセルセンターからウイリーバーアクセルセンターまでは最大3,300mm以内である事。金属製のウイリーバー車輪は禁止する。

## 07 いかなる場合も禁止される事項

- 23) シフトは手動またはエアシフターとし、コンピュータによるシフトチェンジは禁止する。
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。

- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
- 58) 燃料はガソリンとし、アルコール等の燃料は禁止する。燃料及び添加剤等のいかなる手段でも亜酸化窒素、一酸化二窒素の使用は一切認めない。輸入レーシングガソリンの使用は事前に申告し許可を得た場合以外は使用を認めない。
- 59) 情報収集以外の目的でのコンピューターの使用。
- 60) キック、電気スターター以外のエンジン始動（押しがけ等）。



## ロードレース ジュニアクラスの仕様

### 01 クラス区分

カテゴリー	クラス	排気量範囲	最大限気筒数	最大限定速段数
SP (スーパープロダクション)	50	~50以下	1	6
	80	50を越え80以下	1	6
GP	50	~50以下	1	6
	80	50を越え80以下	1	6

### 02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両でMFJが公認したもの。または一般生産型車両をベースとしたSP用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びロードレース基本仕様（第8章）に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) ホイールリム直径が16インチ以上で、80cc以下の二輪車。

### 03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、取りはずしをいう)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナーを含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質、鑄造および形状
- 5) クラッチの構造
- 6) エンジン内部の部品の材質及び寸法形状
- 7) 4サイクルエンジンのバルブの径、バルブのリフト量、バルブタイミング及び圧縮比
- 8) 2サイクルエンジンのシリンダー、ピストンによるポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブの数、ポートの数、キャブレターの数
- 11) クランクケースカバー類の材質、鑄造、及び形状
- 12) 2サイクルのシリンダー、4サイクルのシリンダーヘッドのポートの寸法、形状
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストンの材質、寸法、形状
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリーの材質、形状、



## 寸法

- 16) キャブレター \*ただし04.16)及び08.3)(1)参照
- 17) フュエルタンク
- 22) プライマリーギヤのレシオ、及び寸法形状 \*ただし04.22)参照
- 23) ミッションギヤのレシオ、及び寸法形状
- 42) リヤホイール
- 43) リヤブレーキ関係 \*ただし04.43)参照
- 44) フロントホイール
- 45) フロントブレーキ関係\*ただし04.45)参照
- 48) タイヤ \*ただし08.3)(4)参照
- 50) フレームボディ \*ただし04.50)参照
- 51) フロントフォーク \*ただし04.51)参照
- 52) リヤフォーク、リヤクッション、リヤクッションリンケージ
- 53) ステアリングステム、トップ、ボトムブリッジ \*ただし04.53)参照
- 54) ストリームライニングの形状 \*ただし04.54)参照

## 04 公認車両に対して下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様(第8章)に適合していることを条件とする

- 16) キャブレターのセッティング、(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲) エアーファンネルの取り付け、または寸法の変更。(キャブ本体を除く)
- 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
- 25) スタート装置の取り外し
- 27) エアクリーナーボックスの改造
- 43) リヤブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 45) フロントブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 51) フロントサスペンションセッティングのためのオイル交換、セット荷重調整
- 53) ステアリングダンパーの取り付け
- 54) カウリングの材質(但しカーボン、ケブラー等高価素材は除く)
- 55) シートカウルの形状、材質(但しカーボン、ケブラー等高価素材は除く)
- 59) すべての部品についての調整・仕上げは自由である。
- 60) 不要なステー類のカットは可(但し軽量化目的の材料は除く)

## 05 重量

クラス	最低限重量
SP 50	77kg
80	79kg
GP 50	77kg
80	79kg

最低限重量は半乾燥重量とする。  
半乾燥重量とは走行可能状態からガソリンを抜いた値とする。  
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

## 06 公認車両が下記事項に適合していない場合 改造変更が義務付けられる

- 16)(1) キャブレターのサイズ(気筒あたりの最大径)

クラス	最大限サイズ
50(SP、GP)	直径18mm相当以下
80(SP、GP)	直径28mm相当以下

## ロードレースジュニアの仕様

- (2) 規制を越えるキャブレター装着車は公認キャブで、かつ規制以下のキャブレターに交換すること。
- 17) 電動式フュエルポンプを装着している車両は、転倒時に自動的に停止する装置を備えていること。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け (250cc以上)
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンクの取り付け (4サイクル車は500cc以上、2サイクルのギヤボックスからのブリーザー-250cc以上)
- (2) 4サイクル車のキャッチタンクからのブローバイガスはエンジンに再吸入させること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置にとりつけなくてはならない。)
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し。
- 38) 保安部品の取りはずし (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類。)
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

## 07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更にあたって特殊な材料の使用 (チタン合金、カーボン、ケブラー強化繊維等の高価な材料)  
(カーボンサイレンサーも完全禁止)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 48) タイヤへの追加工
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしての使用。
- 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。(ガソリン・オイル・クーラントの項137頁参照)

## 08 MFJへの公認手続、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること、または市販レーサーとして定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	25台	10台

\* SPコンプリート車は、ベースとなる車両が公認を取得していること。台数の制限はない。

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヵ月後の同日付きて公認発行する。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後の同日付け出公認発行とする。但し市販レーサー、SPコンプリート車は各々1ヵ月後とする。
- 3) 申請する車両は以下の仕様に適合していることを条件とする。
- (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大径サイズ
50(SP、GP)	直径18mm相当以下
80(SP、GP)	直径28mm相当以下

注) キャブレターのサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

- (2) ホイールリムのサイズ  
直径は16インチ以上であること。

クラス	最大幅フロント	最大幅フロント
50(SP、GP)	2.15インチ	2.75インチ
80(SP、GP)	2.15インチ	2.75インチ

- (3) タイヤはメーカーのラインで装着されている50/80ccクラスの一般公道用タイヤで、上記リムサイズに適合しているもの。
- (4) 01条のクラス区分内にあること。

## 09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。  
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

## 10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にある場合は一切の追加加工なしで部品またはアセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められるが、'93年1月1日以降の公認車両同士に限られる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。  
(コンプリートマシンのベース機構の打刻型式に基づき判断される。)



## 第21章

# ミニバイクの仕様

### 01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限変速段数
N5(スクーター50cc一部改造)	50cc以下	○	○	1	6
S5(スポーツバイク50cc一部改造)	50cc以下	○	○	1	6
S8(スポーツバイク80cc一部改造)	50ccを越え80cc以下	○	○	1	6

### 02 出場車両

- 1) 車両は(市販レーサーを除く)一般生産型車両で、MFJが公認したもの。

### 03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更または取り外しをいう)

- 1) エンジンの型式。
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク。
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナー含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鋳造及び形状。
- 5) クラッチの構造(但しディスクの材質とスプリングは除く) —04.22参照。
- 6) エンジン内部の部品の材質。
- 7) 4サイクル車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比。
- 8) 2サイクル車のシリンダーピストンに依るポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比。
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き。
- 10) 吸入、排気システムのシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数。
- 11) クランクケースカバー類の材質・鋳造および、形状。
- 12) シリンダー、シリンダーヘッド。
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン。
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー。
- 16) キャブレター(メインジェットのみ変更可)。
- 17) フュエルタンク。
- 22) プライマリーギヤ。
- 23) ミッション。
- 27) ブリーザーシステム。

- 42) リヤホイール。
- 43) リヤブレーキ関係。
- 44) フロントホイール。
- 45) フロントブレーキ関係。
- 50) フレームボディ。
- 51) フロントフォーク。
- 52)(1) リヤフォーク。
- (2) リヤサスペンション。
- 53) ステアリングステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ。
- 54) ストリームライニング。

## 04 公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様(第8章)には適合していることを条件とする

- 16)(1) キャブレターのメインジェットの変更は可。
- (2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加ができる。
- 30) イグニッションコイル、点火ユニット、リミッターの改造・変更は可。
- 31) プラグの変更は可。
- 36) スピードメーターの取りはずしは可。
- 40) チェーンの変更は可。
- 41) スプロケットの変更は可。
- 48) タイヤ  
一般市販され通常ルートで購入出来るもののみ交換は可。ただし、スリックタイヤ(インターメディアイト含む)および摩耗限度を越えたタイヤの使用は禁止。

## 06 公認車両が下記事項に適合していない場合 改造・変更が義務づけられる

- 32) エンジンキルスイッチの取り付け(ハンドルを握って操作可能な位置に)
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し
- 38) 保安部品(スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類)の取り外し
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック

## 07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更にあたって特殊な材料の使用(チタニウム合金、カーボン強化繊維等の高価な材料)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 48) タイヤへの追加工
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
- 58) ガソリンは通常のスタンドで購入できるか各サーキットのスタンドで購入できるMFJの定める無鉛ガスに限る。

## 08 MFJへの公認手続き・条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

		国産車	輸入車
一般生産型車両	250cc以下	500台	25台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヵ月後の同日付けて公認発行。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後の同日付けて公認発行する。

### 09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。  
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

### 10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にあるものは一切の追加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。

('93年1月1日以降の公認車両同士に限られる)



# 細則 10

## MFJ ライセンス 昇格・降格に関する 規則

### 1 目的

本規則は、(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(以下MFJという)が発給管理する競技ライセンスの昇格・降格に関して規定し、モーターサイクル競技の公正を図ることを目的とする。

### 2 自動昇格

#### 1) 自動昇格とは

- (1) 下記に述べる期間内に規定の得点または順位を得た場合、ライセンスは上位区分に昇格する。自動昇格者にはMFJより昇格が通知される。
- (2) 昇格後のライセンス区分が有効になるのは翌年の1月1日からとする。('96年の成績で昇格した場合'97年1月1日から有効とする。)

### 3 '97年度の自動昇格対象期間

'97年度の自動昇格対象期間は1997年1月1日から1997年10月31日までとし、昇格した後、有効となるのは'98年1月1日からとする。

### 4 自動昇格に必要な得点

- 1) 自動昇格に必要な得点(以下ポイントという)は公認競技会の格式別にその成績に応じて下記のように与えられる。(ドラッグレースは別途定める)
- 2) ジュニア部門の公認競技会におけるポイントは競技会の格式にかかわらず下記②その他の公認競技会のポイントとする。(トライアルは別途定める)

#### ①全日本選手権・エリア選手権および地方選手権競技会(台数…出走台数)

順位	25以上	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13			
5位	11	11	11	11	11	11	11	11				
6位	10	10	10	10	10	10	10	10				
7位	9	9	9	9	9	9						
8位	8	8	8	8	8							
9位	7	7	7	7								
10位	6	6	6									
11位	5	5										
12位	4	4										
13位	3											
14位	2											
15位	1											

#### ②その他の公認競技会

順位	出走台数					
	12以上	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	10	10	10	10	10	不成立
2位	9	9	9	9	9	
3位	8	8	8	8		
4位	7	7	7	7		
5位	6	6	6			
6位	5	5	5			
7位	4	4				
8位	3	3				
9位	2					
10位	1					

注：出走台数は、そのクラスの決勝レースのスタートラインに並んだ台数とする。ただし、公式予選がある場合は、予選のスタートラインに並んだ総台数とする。

## 5 ロードレースライセンスの昇格

### 1) ジュニア→フレッシュマン・国内

- (1) ジュニアライセンスにてGP50・GP80クラスにて優秀な成績をおさめ昇格を希望するものは、当該シリーズの主催者の推薦を得て申請しMFJスポーツ委員会にて認められた場合に昇格できる。
- (2) 当該年度に16歳になる者は、自動的にフレッシュマンとなる。
- (3) 昇格した後も16歳に達するまでは参加できるクラスは原則的に下記を上限とする。  
GP125、SP250F(この解除を希望する場合は、親権者の承諾書を添えてスポーツ委員会に申請し許可を得ること)

### 2) フレッシュマン→国内

下記条件のいずれかを満たし申請することにより、国内ライセンスが随時取得できる。

- (1) 公認サーキットでの3時間走行証明を得る(複数のサーキットでの合計は不可)。  
※走行証明の有効期間は発行より1年間。
- (2) 承認ロードレース競技会にて6位以内の成績を納めること。(過去2年以内)
- (3) 承認ロードレース競技会にて過去2回以上参加した実績を有する。(過去2年以内)
- (4) 国内ライセンス講習会を受けること。  
※講習会終了証の有効期限は6ヶ月。

### 3) 国内→国際

国内部門から国際部門への昇格

1. 毎年1月～10月に開催された各地方選手権のGP125/250で下記のポイントで自動昇格。  
(SP250/400にて下記のポイントを得た場合は希望者のみ昇格できる。※申請期限：'98年1月31日まで)

北海道(HSP選手権、十勝選手権の合計)	60点以上
SUGO選手権	50点以上
仙台選手権	50点以上
エビス選手権	50点以上
関東選手権(筑波・富士・那須・間瀬)	50点以上
筑波選手権	50点以上
間瀬選手権	60点以上
那須選手権	60点以上
鈴鹿選手権	50点以上
近畿選手権(猪名川)	60点以上
中山選手権	60点以上
西日本選手権(CP MINÉ)	50点以上
TI選手権	60点以上
四国選手権(阿讃)	60点以上
九州選手権(HSR九州・SPA直入)	60点以上

2. エリア選手権のGP125/250/スーパーバイクで獲得ポイントが30点以上の者  
(SPクラスで30点以上の者は申請により昇格できる)
3. 国内ライセンスにて出場し優勝した場合は、国際ライセンスに昇格する権利を与えられる。

## 6 モトクロスライセンスの昇格

### 1) ジュニア→国内B級



- (1) 公認競技会において各地方で下記に示す得点以上を獲得し、昇格申請を提出した者。(複数のブロックにまたがる得点の合計はしない。)

注：得点は細則10・4自動昇格に必要な得点(207頁)による。(当該年度に16歳になる者は自動的に国内B級となる)

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	20	20	20	20	20	20	20	20

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、ブロック支部の承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。  
 (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

## 2) 国内B級→国内A級

- (1) 公認競技会において各地方で下記のポイントを得た者(複数のブロックにまたがるポイントの合計はしない。)

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	40	40	30	30	30	40	50	40

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、ブロック支部の承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。  
 (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

## 3) 国内A級→国際B級

- (1) 公認競技会において各地方で下記のポイントを得た者(複数のブロックにまたがるポイントの合計はしない。80ccクラスは昇格の対象としない)

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	85	85	50	50	50	60	80	60

- (2) 前記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、ブロック支部の承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。  
 (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

## 4) 国際B級→国際A級

- (1) 全日本選手権ランキングで、各クラス1位から15位にランクされた者。  
 (2) 各地方ブロックの地方選手権にてシリーズチャンピオン(250cc、125cc)となり本人が希望し、かつ当該ブロックの許可を得た者。  
 (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

# 7 トライアルライセンスの昇格

'97年より昇格制度が改定されました。ジュニア、国内B級→国内A級は、年間を通じて得たポイントにより、昇格の可否が決定されます。

## 1) ジュニア→国内A級

- (1) ジュニア部門は国内B級部門との混走が認められ、昇格の基準は国内B級と同格に扱われる。(当該年度に16歳になる者は自動的に国内B級となる)  
 (2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、ブロック支部の承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。  
 (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

## 2) 国内B級→国内A級

- (1) 公認競技会(10月31日まで)において各地方で下記のポイントを得た者(複数のブロックにまたがるポイントの合計はしない)。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	45	50	50	45	45	45	60	60

注) 得点は細則10・4「自動昇格に必要な得点」(207頁)による(地方選手権、その他の公認競技会による年間のポイントを昇格の基準とする)。

- (2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、ブロック支部の承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。
- 3) 国内A級→国際B級
- (1) 各ブロックごとの地方選手権(10月31日まで)において、下記的人数でポイント上位の成績を得た者。ただし、同点者のある場合は、この人数を超えることができる。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	2	5	15	10	10	6	3	7

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、ブロック支部の承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。
- 4) 国際B級→国際A級
- (1) 全日本選手権ランキングで、1位から8位にランクされた者。ただし、同点者のある場合はこの人数を超えることができる。
- (2) 各地方ブロックの地方選手権にてシリーズチャンピオンとなり、本人が希望し、かつ当該ブロックの許可を得た者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

## 8 ドラッグレースライセンスの昇格

- 1) B級部門→A級部門
- (1) 対象クラス：ストックバイク
- (2) 昇格基準：地方選手権において100ポイント以上のポイントを得たもの。

## 9 自動降格の基準

- 1) ライセンスの更新がなされなかった場合は、その期間によって下表によりライセンス等級が自動降格される。

### ●自動降格基準表

種目 部門	モトクロス・トライアル				ロードレース
	国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国際
未更新期間	国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国際
1年	国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国際
2年	//	//	//	//	//
3年	//	国内B級	国内A級	//	//
4年	//	//	国内B級	国際B級	国内
5年	//	//	//	//	//
6年以上	//	//	//	国内A級	//

※ロードレース国内ライセンスについては5年以上の未更新期間がある場合は、MFJ公認サーキットの走行証明が必要。

## 10 特別昇格およびその手続き

- 1) 昇格基準と同等とみなされる成績を得た者で、昇格を希望する者は、特別昇格の申請ができる。

- 2) 申請は、前年の11月1日から12月31日まで MFJ 事務局に到着することを要し、それ以外の申請は受理されない。
- 3) 申請は所定の申請書に必要事項を記入し、所属するブロック支部の承認を得て、MFJ 事務局に申請するものとする。  
なお、所定の申請書は、ブロック支部または MFJ 事務局に用意されており、請求に応じて送布される。
- 4) 申請にあたっては、申請書に申請料3,000円を添えてブロック支部に提出すること。
- 5) 特別昇格についての最終決定は MFJ スポーツ委員会の審査結果による。

## 11 特別降格およびその手続き

- 1) MFJ 競技ライセンス資格の降格を希望する者は次の手続きによって申請し、MFJ スポーツ委員会の審査によって認められた場合は、降格することができる。
- 2) 前項の申請は、特別降格をしようとする前年の11月1日から12月31日まで MFJ 事務局に到着することを要する。申請者の用紙は、ブロック支部又は MFJ 事務局に準備され、それに必要事項を記入し申請料3,000円を添えてブロック支部の承認を得、MFJ 事務局に申請する。
- 3) 降格承認後は降格が決められた日より、その年度の終了する日まで、再昇格基準が適用される。
- 4) 特別降格についての最終的な決定は、MFJ スポーツ委員会の審査結果による。  
※特別降格申請は、原則的にそのライセンス区分にて1年以上経過し、得点の得られなかった者のみを対象とする。

## 12 再昇格基準

ライセンスの降格があった者が、次の基準に適合することとなった場合は、原則として MFJ スポーツ委員会において次の競技会から再昇格することを決定する。再昇格された者は、昇格されたライセンスと引き換えに旧ライセンスを、MFJ 事務局に返納しなければならない。(但し、特別降格申請が認められた年度のみ適用する。)

- 1) **ロードレース**
  - (1) 地方選手権以上のシリーズ大会において、原則として優勝した者。
  - (2) 公式記録によるラップタイム等により、MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。
- 2) **モトクロス**
  - (1) 国際B級部門から国内A級部門に降格した場合は、スポーツ委員会にて審議し、承認された者。
  - (2) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ 公認競技会において優勝した者。
  - (3) MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。
- 3) **トライアル**
  - (1) 国際B級部門に降格した場合、全日本選手権シリーズにおいて優勝した者。
  - (2) 国内A級部門に降格した場合は、地方選手権シリーズにおいて優勝した者。
  - (3) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ 公認競技会において6位以内に入賞した者。
  - (4) その他 MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

# 附 則

本規則は、1997年1月1日から施行する。

### 全日本選手権ランキング決定基準

#### 1) 全日本選手権ランキング順位決定方法

全日本選手権ランキングの順位づけは次の方法により決定される。

- (1) 全日本選手権シリーズ大会で得たすべての得点を合計し、総合得点の多い者から順位を決定する。ただし、40点未満のものはチャンピオンとせず、ランキング2位とする。
- (2) 上記1)で同点となった場合、上位入賞回数の多い者が上位となる。
- (3) 上記2)で決定できない場合、前年度のランキング上位のものを上位とする。
- (4) 上記3)で決定できない場合、MFJ スポーツ委員会において最終決定する。

### 全日本選手権認定表彰式典

全日本選手権ランキング決定基準に基づき決定された、ロードレース、モトクロス、トライアル、ドラッグレース、スノーモビルA級の全日本選手権各クラス上位1位～3位の者は、その栄誉をたたえ、1997年12月13日(土) (暫定) に開催される'97MFJ 全日本選手権ランキング認定表彰式にて表彰される。受賞者は必ず出席しなければならない。



# MFJ 公認クラブ等の 名称に関する規程

この規程は、財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（以下「MFJ」という）に登録するクラブ及び団体（以下「クラブ等」という）の名称の取り扱いに関して規定する。

## 第1条 クラブ等の登録

クラブ等が、MFJに登録する場合は、5名以上のライセンス（Lライセンスを含む）を取得していなければならない。クラブ等が、公認競技会の主催者となる場合の条件は、別に定める。

## 第2条 クラブ等の名称の使用

クラブ等の名称は、MFJの承認を受けたものでなければ使用してはならない。承認の申請は、MFJに行なわなければならない。

## 第3条 使用してはならない名称

次の各項に掲げる名称については承認されない。

1. 国際モーターサイクリスト連盟（FIM）及びFIM加盟の各国モーターサイクリスト連盟（各国モーターサイクル協会）の名称及びその略称。
2. MFJに既に登録されているクラブ等の名称及びその略称、ただし、当該クラブ等の同系列であり、地名等を付し、かつ、名称に関する権利保有者の名称使用についての同意書を得た場合はこの限りでない。
3. 著名な商品名、会社名及びこれに類似する名称。ただし、当該関係会社（二輪車メーカーを除く）と同系列等直接又は間接に関係があり、かつ名称使用の同意書がある場合はこの限りでない。
4. 連盟（Federation）、協会（Association）、組合（Union）など、および同義語など。
5. 日本、国際、アジア、極東、ナショナル、ロイヤル、インペリアル、太平洋などの誇大にわたる名称及びこれとの同意義語。

## 第4条 その他承認されない名称

新規登録の場合、第2条の各項に該当する以外の名称であっても、公序良俗に反するか、または社会通念上奇異に感じられる名称並びに実質と内容が伴わない名称については、MFJスポーツ委員会において審査し、却下または変更を求めることがある。

更新登録の場合において、その名実が相反することとなった場合は、改称を求めることがある。

## 第5条 使用の文字

クラブ等の名称は、漢字、片仮名、平仮名および数字のいずれかを用いた組合せによって表示

されなければならない。略称は、ローマ字で示すこととする。ただし地名を付記するものはこの限りではない。

## 第6条

クラブ等が新規に登録する際、必要により当該クラブ等に対しその名称の由来について、説明書の添付を求めることがある。

## 第7条 名称の変更

MFJに既に登録されたクラブ等の名称変更の申請がなされたときは、これを審査し、この規定の趣旨に反しないと認めた場合は、これを承認することとする。

## 第8条 附 則

本規定は、昭和61年2月20日から施行する。本規定施行の際、既に承認されているクラブ等の名称は、この規定の趣旨に反しない限りはなお従前の例による。



## MFJ 共済会制度

種 目	MFJ 共済会掛金 (1名1大会)	共済会見舞金支払額		請求のために必要な書類
		最高限度額 (死亡、後遺症100%)	共済会見舞金支払額	
ロードレース SP、GP、SB、ノーマル車、シン グル・ツイン、クラシック、 S50、S80等のロードレース	全日本 4,000円  3,500円	MFJ 共済会見舞金 1,000万円 (MFJ 共済会が契約 した傷害保険含む)	MFJ 共済会見舞金 A 通院実日数(ギブス等 の固定期間および通 勤、通学、就業が不可 能として診断された 日数含む)×1,000円 B 入院実日数×2,000円 C 診断書作成補助金 5,000円  ※日の入院見舞金が改定 されました。 ①平成8年12月3日ま では1日、1,000円 ②平成9年1月1日以 降は1日、2,000円	○MFJ 共済会見舞金請 求書 (様式9) ○完治したときの医師の 診断書 (様式10) 死亡、後遺症の場合は、 上記、様式9のほか に傷害保険請求用紙(三 井海上)等の各種書類 が必要となります。
サイドカー (バスセンジャー分含む)				
ミニロードレース (GP50、GP80、SP50、SP80に限る)	2,000円			
ドラッグレース	2,000円			
モトクロス (市販車、レーサー125cc以上)	1,500円			
ミニモトクロス (80cc以下)	500円			
トライアル	300円			
ミニバイクレース	500円			
エンデュロ	1,000円			
ジムカーナ	500円			
スノーモビル	500円			
ツーリング・ラリー	500円			
ロードレースライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	1,000円			
モトクロスライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	500円			
トライアルライセンス講習会 (ライセンス保持者のテクニカルスクール含む)	300円			
スノーモビルライセンス講習会	500円			
ミニバイク講習会	500円			
ロードレース競技役員講習会	200円			
モトクロス競技役員講習会	200円			
トライアル競技役員講習会	200円			
ピットクルー	年間 500円			

☆見舞金の支払われる期間は、受傷日から最高180日間以内の入院および通院の実日数分となります。

☆見舞金の請求期限は、受傷日より一年以内です。一年以上経過しますとその請求権は無効となります。

☆見舞金の支払われる適用範囲は、公認または承認された当該競技会の公式日程期間(主催者が申請した大会期間)で、かつ競技監督の統轄下において行われた競技中、または公式練習中に発生した事故とする(※サーキットが行う特別スポーツ走行時の事故は、見舞金の請求は出来ません)。

☆同一大会で二種目以上出場する場合は、掛金の高い種目が適用されます。

☆MFJ 共済会は治療費の支払いはありません。

☆死亡、後遺症見舞金を受ける場合は、入院見舞金および診断書作成補助金は受けられません。

☆死亡見舞金の請求者は、法定相続人に限られます。

☆競技役員、講師の共済会見舞金は別に定めるMFJ 共済会制度によります。

## 共済会見舞金請求の手続きは…

### 1. まず主催者に連絡

負傷したその日に主催者に連絡してください。万一その日に連絡できない場合は、負傷日より2日後までにご連絡ください。なお、連絡がない場合は、見舞金が支払われませんのでご注意ください。

### 2. 大会主催者からMFJ 共済会 見舞金請求書(様式9)と 診断書書式(様式10)をもらう

ケガをした大会の主催者またはMFJに、MFJ 共済会見舞金請求書(様式9)とMFJ 共済会指定の診断書書式(様式10)を請求してください。

### 3. 請求先は主催事務局

請求書中に必要な事項を記入し、治療先の医師に診断書の記入を依頼してください。書類は一括して負傷者本人(代理人でもよい)が主催者事務局長宛に請求してください。見舞金は書類に不備のない場合に限り、2ヶ月以内に指定口座に振り込まれます。



付  
録

## MFJ公認車両

★は公認が継続された車輛

('96年12月15日現在)

■本田技研工業株式会社 〒107 東京都港区南青山2-1-1 ☎03-3423-1111

## ●一般市販車 (オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
★ VFR750R(初回公認 '87年)	RC30	RC07E	748	70.0×48.6	'93.1.26	○	○				
★ VFR400 (初回公認 '88年)	NC30	NC13E	399	55.0×42.0	'93.11.23	○					
★ NSR250RSP(初回公認 '88年)	MC18	MC16E	249	54.0×54.5	'93.11.23	○					
★ CBR250R(初回公認 '88年)	MC19	MC14E	249	48.5×33.8	'93.11.23	○					
NSR250R	MC28	MC16E	249	54.0×54.5	'94.1.10	○					
NSR250R SE	MC28	MC16E	249	54.0×54.5	'94.1.10	○					
NSR250R SP	MC28	MC16E	249	54.0×54.5	'94.2.10	○					
CBR400RR	NC29	NC23E	399	55.0×42.0	'94.2.28	○					
RVF/RC45	RC45	RC45E	749	72.0×46.0	'94.3.25	○	○				
RVF	NC35	NC13E	399	55.0×42.0	'94.3.25	○					
NSI	AC12	AC08E	49	39.0×41.4	'94.5.22	○					
CB400SUPERFOUR	NC31	NC23E	399	55.0×42.0	'94.5.22	○					
NSR50	AC10	AC08E	49	39.0×41.4	'94.5.22	○					
★ NSR250R(初回公認 '91年)	MC21	MC16E	249	54.0×54.5	'96.1.23	○					
★ CBR400RR(初回公認 '87年)	NC23	NC23E	399	55.0×42.0	'96.6.25	○					

## ●一般市販車 (オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
★ TLR250R(初回公認 '86年)	MD18	MD18E	244	72.0×60.0	'93.1.26					○	
★ TLM200R(初回公認 '87年)	MD15	MD15E	193	67.0×55.0	'93.1.26					○	
XLR200R	MD29	MD29E	196.0	63.5×62.2	'93.10.24						
XLR125R	JD16	JD09E	124.0	56.5×49.5	'93.10.24						
★ TLM220R(初回公認 '88年)	MD23	MD23E	216	69.0×58.0	'93.11.23						
CRM250	MD24	MD24E	246	66.0×72.0	'94.5.22						

## ●スポーツ専用市販車 (モトクロスカー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'93.9.24					○	
CR125R	JED1	JED1E	124.8	54.0×54.5	'93.9.24					○	
CR80R	HE01	HE01E	79.4	46.0×47.8	'93.9.24					○	
★ CR125R (初回公認 '88年)	JED1	JED1E	124.8	54.0×54.5	'93.10.26					○	
★ CR250R (初回公認 '88年)	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'93.10.26					○	
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'94.9.23					○	
CR125R	JED1	JED1E	124.8	54.0×54.5	'94.9.23					○	
★ XR250R (初回公認 '89年)	ME06	ME06E	249	73.0×59.5	'95.7.25					○	
XR250R	ME08	ME08E	249	73.0×59.5	'95.8.25					○	
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'95.9.22					○	
CR125R	JED1	JED1E	124.8	54.0×54.5	'95.9.22					○	
CR80R	HE04	HE04	79.4	46.0×47.8	'95.11.24					○	
CR80R2	HE04	HE04	79.4	46.0×47.8	'95.11.24					○	
CR125R	JED1	JED1E	124.8	54.0×54.5	'96.8.23					○	
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'96.10.24					○	

■株式会社ホンダレーシング 〒351 埼玉県朝霞市泉3-15-1 ☎048-461-9511

## ●スポーツ専用市販車 (ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
'93RS125R	RS125RF	RS125RE	124	54.0×54.5	'93.1.1					○	
★ '87RS250R(初回公認 '86年)	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'93.3.23					○	
★ '87RS125R(初回公認 '86年)	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'93.3.23					○	
★ '88RS125R(初回公認 '87年)	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'93.3.23					○	
'94RS125R	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'93.12.1					○	
'94RS250R	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.1					○	
★ '89RS250R(初回公認 '88年)	RS250SF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.25					○	
★ '89RS125R(初回公認 '89年)	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'94.1.25					○	
★ '88RS250R(初回公認 '88年)	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.25					○	
★ '90RS250R(初回公認 '89年)	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.25					○	
★ '90RS125R(初回公認 '89年)	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'94.1.25					○	
'95RS125R	JR01	JR01E	124.0	54.0×54.5	'94.11.1					○	
'95RS250R	MR01	MR01E	249.0	54.0×54.5	'94.12.1					○	
★ '91-RS250R(初回公認 '90年)	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'95.1.24					○	
★ '90-NSR250R(初回公認 '90年)	NH3F	NH3E	249	54.0×54.5	'95.1.24					○	
'96RS125R	JR01	JR01E	124	54.0×54.5	'95.11.1					○	
'96RS250R	MR01	MR01E	249	54.0×54.5	'95.12.1					○	
★ '91RS125R(初回公認 '90年)	RS125RF	RS125RE	124	54.0×54.5	'96.1.23					○	
★ '92RS250R(初回公認 '91年)	RS250RF	RS250RE	249	54.0×54.5	'96.1.23					○	





TT250R	4GY	4GY	249	72.0×59.6	'95. 5. 1							
TT250RRaid	4GY	4GY	249	72.0×59.6	'95. 6. 1							
TT250RRaid	4WA	4GY	249	73.0×59.6	'96. 5. 1							

## ●スポーツ専用市販車（ロードレーサー）

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
TZ125	4JT	4JT	124	56.0×50.7	'93. 11. 9			○			
TZ250	4DT	4DT	249	56.0×50.7	'93. 12. 15			○			
TZ125	4JT	4JT	124	56.0×50.7	'94. 12. 20			○			
TZ250	4DP	4DP	249	56.0×50.7	'95. 1. 5			○			
★ TZ250（初回公認 '89年）	3TC	3TC	249	56.0×50.7	'95. 1. 24			○			
TZ125	4JT	4JT	124	56.0×50.7	'95. 10. 26			○			
TZ250	4TW	4TW	249	56.0×50.7	'95. 11. 24			○			
★ TZ250（初回公認 '91年）	4DP	4DP	249	56.0×50.7	'96. 1. 1			○			
★ TZ250（初回公認 '90年）	3YL	3YL	249	56.0×50.7	'96. 1. 23			○			
★ TZ250（初回公認 '90年）	3YL	3YL	249	56.0×50.7	'96. 6. 25			○			
★ TZ250（初回公認 '88年）	3LC	3LC	249	56.0×50.7	'96. 6. 25			○			
★ TZ250（初回公認 '87年）	3AK	3AK	249	56.0×50.7	'96. 6. 25			○			
TZ125	4JT	4JT	124.8	56.0×50.7	'96. 11. 1			○			
TZ250	4TW	4TW	249.6	56.0×50.7	'96. 12. 1			○			

## ●スポーツ専用市販車（モトクロス）

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
YZ250	4JX	4JX	249	68.0×68.8	'93. 9. 7				○		
YZ80LW	4LB	4LB	79.4	46.0×47.8	'93. 10. 10				○		
WR250Z	4JW	4JW	249	68.0×68.8	'93. 11. 13				○		
YZ125	4JY	4JY	124	54.0×54.5	'93. 11. 4				○		
YZ125	4PE	4PE	124	54.0×54.5	'94. 9. 10				○		
YZ80LW	4LB	4LB	79.4	46.0×47.8	'94. 9. 1				○		
YZ250	4MX	4MX	249	68.0×68.8	'94. 10. 20				○		
WR250Z	4JW	4JW	249	68.0×68.8	'94. 11. 1				○		
★ YZ250（初回公認 '88年）	3JE	3JE	246	68.0×68.0	'95. 2. 28				○		
YZ80	4GT	4GT	79.4	46.0×47.8	'95. 8. 20				○		
YZ125	4SS	4SS	124	54.0×54.5	'95. 9. 1				○		
YZ250	4SR	4SR	249	68.0×68.8	'95. 9. 25				○		
★ YZ250（初回公認 '90年）	3XK	3XK	249	68.0×68.8	'95. 12. 26				○		
★ WR250Z（初回公認 '91年）	4DC	4DC	249	68.0×68.8	'96. 1. 1				○		
★ YZ250（初回公認 '91年）	4DA	4DA	249	68.0×68.8	'96. 1. 1				○		
★ YZ125（初回公認 '91年）	4DB	4DB	124	56.0×50.7	'96. 1. 1				○		
YZ125	4XM	4XM	124	54.0×54.5	'96. 8. 20				○		
YZ80	4GT	4GT	79.4	46.0×47.8	'96. 8. 20				○		
YZ80LW	4LB	4LB	79.4	46.0×47.8	'96. 8. 20				○		
YZ250	4XL	4XL	249	68.0×68.8	'96. 9. 1				○		
WR250Z	4XK	4XK	249	68.0×68.8	'96. 10. 1				○		

## ●スポーツ専用市販車（トライアラー）

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
TY250Z	4GG	4GG	249	74.0×58.0	'93. 1. 15					○	
TY250Z	4GG	4GG	249	74.0×58.0	'94. 1. 5					○	
TY250Z	4GG	4GG	249	74.0×58.0	'94. 1. 15					○	
TY250Z	4GG	4GG	249	74.0×58.0	'95. 1. 15					○	
TY250Z	4GG	4GG	249	74.0×58.0	'96. 1. 26					○	
TY250Z	4GG	4GG	249	74.0×58.0	'97. 1. 1					○	

## ■スズキ㈱ 〒432-91 静岡県浜松市高塚町300 ☎053-440-2376

## ●一般市販車（オンロードタイプ）

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
GSX-R400RSP	GK76A	K709	397.820	56.0×40.4	'93. 3. 29	○					
RGV250I SP	VJ22A	J206	249.13	56.0×50.6	'93. 2. 22	○					
GSX-R750 SP	GR7BC	R722	794	70.0×48.7	'94. 5. 23	○	○				
★ RGV250I SP（初回公認 '90年）	VJ22A	J206	249.2	56.0×50.6	'95. 5. 23	○					
★ GSX-R400RSP（初回公認 '90年）	GK76A	K709	398	56.0×40.4	'95. 5. 23	○					
GSX-R750	GR70A	R726	749	72.0×46.0	'96. 2. 28		○				
RGV-I750SP	VJ23A	J209	249.6	54.0×54.5	'96. 4. 29	○					

## ●スポーツ専用市販車（モトクロス）

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
RM250R	RJ16A	J114	249.6	67.0×70.8	'93. 8. 27				○		
RM125R	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'93. 8. 27				○		
RM80XR	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'93. 8. 27				○		
DR350R	JS1DK41A	K404	349	79.0×71.2	'93. 8. 30						
RM80 Large-Wheel	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'94. 2. 25				○		
RMX250	PJ12A	J112	249.6	67.0×70.8	'94. 3. 22				○		
RM250S	RJ16A	J114	249.6	67.0×70.8	'94. 7. 28				○		
RM125S	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'94. 7. 28				○		
RM80ラージホイール仕様	RC12B	C114	79.5	46.5×46.8	'94. 12. 22				○		





# MFJ公認部品

('96年12月15日現在)

●**株菅生RC・SUGO** 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
YZF750SPフロントフォークセット	4FN-70-FF	YZF750SP	'93. 4.23				
YZF750SPクロスミッションASSY	4FN-00-SCM	YZF750SP	'93. 4.23				
FZR400RRSPフロントフォークセット	3TJ-70-FF	FZR400RRSP	'93. 4.23				
TZR250RSPクロスミッションキット	SKV-17400-70	TZR250R SP	'93.12.22	○			
TZR250R SPクロスミッションオプション	3XV-17400-0P	TZR250R SP	'93.12.22	○			
FZR400RR-SPインダクションボックスセット	3TJ-14400-7B	FZR400RR-SP	'94. 1.26	○			
FZR400RR'92インダクションボックスセット	3TJ-14410-70	FZR400RR	'94. 2.23	○			
YZF750SP'94インダクションボックスセット	4FN-14410-71	YZF750SP	'94. 2.23	○			
YZF750SP'93インダクションボックスセット	4FN-14410-70	YZF750SP	'94. 2.23	○			
FZR750R'91~'92インダクションボックスセット	3FV-14410-72	FZR750R (OWO1)	'94. 2.23	○			
XJR400クロスミッションASSY	4HM-Y7400-70	XJR400	'95. 2.10	○			

●**株エムシー・インターナショナル** 〒550 大阪市西区新町4-15-18 ☎06-536-0901

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
リザーバータンク一体型リアショック	WP3614 BA/VAP	TZ125/250 RS125/250	'95. 2.24		○		
* USD FORK (初回公認 '90年)	WP-3548RC/MA	125ccレーサー	'95. 1.24		○		

●**株オートリメッサ** 〒431-02 静岡県浜松市篠原町21339 ☎053-448-9851

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
リヤクッションASSY	17E	GSX-R750/W/SP	'94. 5.26				
キャブレターボックス	17E	GSX-R750SP	'94. 4.26	○			
フロントフォークASSY	17E	GSX-R750/W/SP	'94. 5.26				
トランスミッション	17E	GSX-R750WN/SP	'92. 4.10	○			
トランスミッション	B9240	RGV-Γ250SP	'96. 4.28	○			

●**株カロッツェリアジャパン** 〒103 東京都中央区日本橋浜町1-6-8 ☎03-3863-4333

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
MX用フロントフォーク	FG3000	H-Y-S-K各社 125cc, 250ccモトクロス	'93. 4.23			○	
オーリンズショックアブソーバー	YA2430	YZF750	'93. 5.27				
オーリンズショックアブソーバー	YA8283	FZR400RR	'93. 5.27				
オーリンズショックアブソーバー	KA3040	ZXR400	'93. 5.27				
オーリンズショックアブソーバー	HO3250	CR250	'93. 5.27			○	
オーリンズショックアブソーバー	YA3250	YZ250	'93. 5.27			○	
オーリンズショックアブソーバー	SU3250	RM250	'93. 5.27			○	
オーリンズショックアブソーバー	KA3250	KX250	'93. 5.27			○	
オーリンズショックアブソーバー	HO4040	RC45	'94. 5.26				
オーリンズショックアブソーバー	YA3040	TZR250	'94. 5.26				
オーリンズショックアブソーバー	YA4010	TZ125	'94. 5.26			○	
オーリンズ側立フロントフォーク	FG9360	各機種750	'94. 5.26				
オーリンズ側立フロントフォーク	FG9410	各機種125	'94. 5.26			○	
リアサスペンション (初回公認 '91年)	HO5160ビギーバックタイプ	RS125R	'95. 6.23			○	
リアサスペンション	HO5070ビギーバックタイプ	RS250R	'95. 6.23			○	

●**カワサキモーターズジャパン株** 〒673 兵庫県明石市川崎町1-1 ☎078-922-5039

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
ZXR750R SP仕様 (輸出用)トランスミッションセット(A)		'91ZXR750R '91~'93ZXR750	'93. 3.15	○			
ZXR750・750R用トランスミッションセット(A-1)		'91ZXR750R '91~'93ZXR750	'93. 3.15	○			
'93ZXR750R用オプションミッションセット(B)	13330-1004	'91ZXR750R '91~'93ZXR750	'93. 3.15	○			
'93ZXR750R用オプションミッションセット(B-1)		'91ZXR750R '91~'93ZXR750	'93. 3.15	○			
'93ZXR750R用オプションミッションセット(B-2)		'91ZXR750R '91~'93ZXR750	'93. 3.15	○			
ZXR750・750R用エアボックスキット		ZXR750 '93~ZXR750R'93~	'94. 2. 4	○			
ZXR400・400R・ザンザス用エアボックスキット		ZXR400 ZXR400Rザンザス('91~'94)	'94. 2. 5	○			
'91~'93ZXR400・400R・ザンザス用エアボックスキット		ZXR400 ZXR400Rザンザス('91~'93)	'94. 1.28	○			
'93~ZXR750・750R用エアボックスキット		ZXR750 '93~ZXR750R'93~	'94. 1.26	○			
ZXR750・750R用エアボックスキット		ZXR750'91・'92 ZXR750R'91・'92	'94. 1.26	○			
* ZXR400Rトランスミッション (初回公認 '91年)	J9	ZK400H, ZK400J, ZK400L, ZK400M, ZK400O	'95.12.26	○			
ダクト	J914073-1694	ZXR400, ZXR400R, ザンザス	'96.12. 1	○			

●**株日本ビート工業** 〒591 大阪府堺市八下町4-102-10 ☎0722-57-7600

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
NASSETTクロスミッションASSY	ZRM-C	ZEPHYR400/750 GP2400R/600R	'94. 5.26	○			
NASSETTクロスミッションASSY	ZRM-E	ZRX, ZZR400/600	'94. 7.28	○			

●**南バムレーシング** 〒110 東京都台東区台東4-13-23 ☎03-3833-5232

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
'91・'92RS125Rフロントフォークカードリッジキット	T2601-180-0A	RS125R	'93. 4.23		○		
'93RS125Rフロントフォークカードリッジキット	T2601-180-1A	RS125R	'93. 4.23		○		
PWK39MS	1000-45R-0000	TZR125 RS125R	'94. 2.25		○		
PJ39Sキャブレター	1000-532-A000	RS125R RS250R	'94. 2.25		○		
FLATCR4連小型32 $\phi$ VFR用インシュレータセット	FCR-D, FCR32(インシュレータ)	VFR400R RVF	'92. 5. 7	○			
* 2・4サイクルE/G用キャブレターASSY(初回公認'90年)	PWK39SS	RS250R/RS125R	'96. 2.27		○		
* 2・4サイクルE/G用キャブレターASSY(初回公認'90年)	PWK38SS	RS250R/RS125R	'96. 2.27		○		
PWM38キャブレター	1000-556-A000	RS125R, TZ125	'96. 4.26		○		
PWM38キャブレター	1000-555-A000	RS125R, TZ125	'96. 4.26		○		

●株ホンダレーシング 〒351 埼玉県朝霞市泉水3-15-1 ☎048-461-9511

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
トランスミッション NSR250R(MC28)		NSR250R	'94. 1.28	○			
エアクリナーアッパーカバー	NKA	VFR400R RVF	'94. 2.23	○			
エアクリナーボックスセット	NKB	CBR400RR	'94. 3.15	○			
トランスミッション		RVF(NC35)	'94. 3.22	○			
VFR400Rトランスミッション	NLI	VFR400R RVF(NC35)	'92. 2. 4	○			
★NSR250Rトランスミッション(初回公認'90年)	NH3	NSR250R	'95. 1.24	○	○		
★NSR250Rフロントクッション(初回公認'90年)	NH3	NSR250R	'95. 1.24		○		
★NSR250Rリアクッション(初回公認'90年)	NH3	NSR250R	'95. 1.24		○		
★NSR250Rトランスミッション(初回公認'90年)	NH3	NSR250R(NC18)	'95. 4.25	○	○		
★VFR400Rトランスミッション(初回公認'90年)	NLI	VFR400R(NC30)	'95. 4.25	○			
★VFR400Rトランスミッション(初回公認'90年)	NLI	VFR400R(NC30), VFR400R/RVF(NC35)	'96. 1.23	○			

●スズキ株 〒432-91 静岡県浜松市高塚町300 ☎053-440-2376

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
キャブレターアッシュ	B0ST35(φ32)	GSX-R400R	'93. 2.29	○			
キャブレターアッシュ(初回公認'90年)	TM32	RGV250I' RG125I'	'93. 1.22	○			

●株エス・アール・エス スガヤ 〒130 東京都墨田区本所3-3-7 ☎03-3625-7100

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
RG125I'用トランスミッション	93M-SRS-125	RG125FN	'93. 4.15	○			

●オートショップスガハラ㈱ 〒114 東京都北区王子3-20-2 ☎03-3914-7500

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
エアボックスキット		CBR400RR'90~	'94. 3.10	○			

●株アドクリエイション 〒152 東京都目黒区目黒本町2-23-14 ☎03-5721-2878

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
QUANTUM RACING DAMPER(リア・ダンパー)	QRS-4	VFR150 YZF150 GSX-R150 ZXR150	'94. 2.25	○			
QUANTUM RACING DAMPER(リア・ダンパー)	QRS-4	RS125R RS250R TZ125 TZ250	'94. 2.25		○		

●T-CRAFT COMPETITION 〒320 栃木県宇都宮市下戸祭2-4-3 ☎0286-21-5500

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
ラムエアボックスセット	TC31AI	ZXR750R'91	'94. 2.23				

●㈱イトウ 〒355 埼玉県東松山市大字唐子1244 ☎0493-23-0113

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
エアクリナーBOX		ZXR750'91・'92	'94. 3.23	○			

●株ショーワ 〒437-11 静岡県磐田郡浅羽町松原字駒川2601 ☎0538-23-2200

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
リヤダンパーキット	46B	CR125/250	'95. 4.28			○	
フロントフォークキット	45B	CR125/250	'95. 4.28			○	

●株カスノモーターサイクル 〒612 京都府京都市伏見区下鳥羽円面田町95 ☎075-622-0255

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
マルゾッキマグナム45フロントフォーク		YZ125/250, CR125/250, KX125/250	'96. 3.29			○	

●株麗路欧 〒154 東京都世田谷区太子堂2-7-1 ☎03-3419-6053

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
270KIT	VTR	GASGAS CONTACT JTR25	'96. 4.26				○

●㈱ライダーズサロン横浜 〒236 神奈川県横浜市金沢区片吹66-19 ☎045-783-3638

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
フロントフォーク405		GP125	'96. 5.23		○		
リアーダンパーCOMP		GP125	'96. 5.23		○		

# MFJ公認ヘルメット

取得規格/T用=ツーリング用, M用=モトクロス用, TR用=トライアル用,  
R用=ロードレース用, R特選=ロードレース特選  
形状/J=ジェットタイプ, F=フルフェイスタイプ

## ●昭栄化工(株)

〒110東京都台東区上野5-8-5 cp10ビル ☎03-5688-5185

名 称	取得規格	形状	公認年月
JET-X	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
RSV	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
VZ	JIS-C・M用	F	'89.6.13
VZ-II	JIS-C・M用	F	'89.6.13
VX-4R	JIS-C・M用	F	'89.11.7
FX-1	JIS-C・R用	J	'90.5.8
RHV	JIS-C・R用	F	'90.9.4
FX-TOURING	JIS-C・M用	J	'90.4.10
X-8	JIS-C・R特選用	F	'93.1.27
TSV	JIS-C・R特選用	F	'93.1.27
VF-X	JIS-C・M用	F	'93.1.27
X-8 SP	JIS-C・R特選用	F	'93.2.24
FX-AFREET	JIS-C・M用	F	'93.2.24
NEW SR-X7	JIS-C・TR, T用	J	'93.2.24
TR-2P	JIS-B・TR用	J	'93.2.24
FX-J	JIS-C・M用	F	'93.2.24
BL-J	JIS-B・TR, T用	J	'93.2.24
ES-J	JIS-B・T用	F	'93.2.24
X-FOUR Light	JIS-C・R用	F	'93.4.28
NRV	SNELL M90 JIS-C種	F	'93.11.23
X-8V	SNELL JIS-C・R特選	F	'94.12.1
VF-X2	SNELL JIS-C・M用	F	'94.12.1
KH-S(NRV)	SNELL, JIS-C RR 特選	F	'95.1.25
KM-SA(FX-1)	JIS-C・MX用	F	'95.1.25
FX-HORNET	JIS-C・MX用	F	'95.3.1
RFD	JIS-C・R用	F	'95.6.10
ZRV	SNELL, JIS-C種・R特選	F	'96.1.24
X-8J	JIS-C・R用	F	'96.1.24
FX-R	JIS-C・M用	F	'96.1.24
VYRCE	JIS-C・R用	F	'96.4.24
X-8SP II	SNELL, JIS-C種・R特選	F	'96.7.24
SR-FREEDOM	JIS-C・TR, T用	J	'96.7.24
RDV	JIS-C・R用	F	'96.10.23

## ●(株)アライヘルメット

〒330埼玉県大宮市東町2-12 ☎048-641-3825

名 称	取得規格	形状	公認年月
F-V	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
GIGA	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
ASTRO-R	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
MX-2	JIS-C・M用	J	'89.6.13
RAPIDE-VIII	JIS-C・R用, SNELL M85	F	'90.5.8
RAPIDE-μ	JIS-C・R用, SNELL M85	F	'90.5.8
MX-Enduro	JIS-C・M用, SNELL M85	J	'90.5.8
AT-S	JIS-B・TR用	F	'90.5.8
Super cLc RX-7RR	JIS-C・R特用	F	'93.1.27
OW	JIS-C・R, M用	F	'93.2.24
VX	JIS-C種 M用	F	'94.11.30
NT-X NT-GALAXY.Windy-II	JIS-C種 R用	F	'96.4.24
OMNI-R	SNELL, JIS-C種・R特選	F	'96.4.24

## ●東京シート(株)

〒351埼玉県朝霞市栄町3-7-27 ☎048-462-1121

名 称	取得規格	形状	公認年月
AMI(L-06)	JIS-B・TR, T用	F	'87.10.7
AMI(L-07)	JIS-B・TR, T用	F	'87.10.7
AMI(L-08)	JIS-B・TR, T用	F	'87.10.7
RHEOS(R-21)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-92)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-93)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-94)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-95)	JIS-C・R用	F	'87.10.7

RHEOS(R-96)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-97)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
SEED(J-23)	JIS-B・TR, T用	J	'87.10.7
Ami	JIS-B・TR, T用	J	'88.1.18
SEED-R22	JIS-C・R用	F	'88.1.18
SEED-R23	JIS-C・R用	F	'88.1.18
RHEOS R98	JIS-C・R用	F	'88.1.18
RHEOS R99	JIS-C・R用	F	'88.1.18
RHEOS R92LED	JIS-C・R用	F	'88.7.5
RHEOS RR101	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR102	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR103	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR104	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR301	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR302	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS PA101	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS PA102	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS PA103	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS(RC)	JIS-C・R用	F	'91.2.20
Rheos(RD)	JIS-C・R用	F	'92.3.11
Rheos(JB)	JIS-C・M・T用	J	'92.4.17
HONDA Rheos(RC)	SNELL R特選	F	'92.5.13
Rheos RC	JIS-C・R用	F	'93.6.20
ami L10	JIS-C・TR, T用	J	'93.7.28
ami J10	JIS-C・TR, T用	J	'93.7.28
RHEOS		J	'93.1.7
RHEOS(RE2)	JIS-C種	F	'94.4.27
RHEOS HRC RE-2	JIS-C・R用	F	'95.3.1
RHEOS FANG Junior	JIS-C種・M用	J	'96.1.24
RHEOS RE-3	JIS-C種・R用	F	'96.7.24
RHEOS JE 6	JIS-C種・M用	J	'96.8.28
RHEOS RE 3	SNELL, JIS-C種・R用	F	'96.10.23

## ●(株)コミネオートセンター

〒111東京都台東区小島2-20-11 ☎03-3862-9811

名 称	取得規格	形状	公認年月
KF-RV	JIS-C・R用	F	'86.3.26
KF-RC	JIS-C・R用	F	'86.9.9
ANSWER	SNELL JIS-C・M用	F	'86.9.9
NARVA NC-2	JIS-C・R特選	F	'88.10.5
NARVA CROSS	JIS-C・M用	J	'90.1.9
Spazio	JIS-C・R用	F	'90.4.3
JT	JIS-C・M用	J	'90.4.3
Answer	SNELL・MX用	F	'95.8.23

## ●(株)エフイーティー

〒157東京都世田谷区粕谷1-9-24 ☎03-3329-3951

名 称	取得規格	形状	公認年月
NOLAN N35 AIR	JIS-C・R用	F	'88.5.6
NOLAN N35 AIR	JIS-C・R用	F	'88.5.13
AXO SPORT X-49	JIS-C・M用	F	'89.6.13
AXO SPORT RX-1	JIS-C・M用	J	'91.8.20
AXO SPORT RX-2	JIS-C・M用	F	'92.9.25

## ●大日本インキ化学工業(株)

〒103東京都中央区日本橋3-7-20 ☎03-3278-9806

名 称	取得規格	形状	公認年月
DIC(TY-1)	JIS-C・R用	F	'86.4.30
DIC(DF-1)	JIS-C・R用	F	'86.1.9
DIC(DF-2)	JIS-C・R用	F	'87.3.31
DIC(GP'87)	JIS-C・R用	F	'87.7.7
DIC(K)	JIS-C・R用	F	'87.9.4
DIC(AR)	JIS-C・R用	F	'87.9.4
DIC(ZIO)	JIS-C・R用	F	'87.11.4
SUZUKI(ONE)SS0C		F	'81.1.18

## ●興和精機(株)

〒105東京都港区芝1-13-17 ☎03-3453-6011

名 称	取得規格	形状	公認年月
GRIFFIN(G100TD)	JIS-B・TR, T用	J	'86.10.23
GRIFFIN(GS-520)	JIS-B・T用	F	'86.10.23
GRIFFIN(GX-707)	JIS-B・T用	F	'86.10.23

# 付録

GRIFFIN (GS530)	JIS-B・T用	F	'86.11.23
GRIFFIN (GX707)	JIS-C・M用	F	'87.3.4
GRIFFIN (GS530)	JIS-C・R用	F	'87.3.4

## ●(株)光輪モーターズ

〒110東京都台東区東上野4-26-4 ☎03-3841-3411

名称	取得規格	形状	公認年月
AGV (KR2000)	JIS-C・R用	F	'86.1.30
AGV QUASAR	JIS-C・R用	F	'95.3.1

## ●ワールド通商(株)

〒113東京都文京区本郷1-24-1 本郷MFビル3F ☎03-3818-5451

名称	取得規格	形状	公認年月
ボルシェ・デザイン(CP-4)	JIS-C・R用	F	'86.2.25
KIWI(K-16)	JIS-C・R用	F	'86.7.2
KIWI(K-20)	JIS-C・R用	F	'88.1.6

## ●(株)モトワールド

〒110東京都台東区台東3-31-4

名称	取得規格	形状	公認年月
ANSWER A-TECH-5		F	'88.8.4

## ●(株)谷尾商会

〒530大阪府大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎06-358-0651

名称	取得規格	形状	公認年月
NAVA 3A/C	JIS-C・R用	F	'86.4.28
NAVA-8	JIS-C・R用	F	'87.7.7

## ●(株)ヤナセ

〒108東京都港区芝浦1-6-38

名称	取得規格	形状	公認年月
FJ(FJ-01)	JIS-C・R用	F	'86.5.28
FJ(FJ-02)	JIS-C・R用	F	'86.4.28
F-J(FJ-II・インタラク)	JIS-C・R用	F	'87.7.7

## ●クノー工業(株)

〒141東京都品川区西五反田7-22-17 TOC内 ☎03-3494-3371

名称	取得規格	形状	公認年月
EF-2	JIS-C・M用	J	'86.8.5
DELTA	JIS-C・M用	J	'86.8.5
ANGLE	JIS-C・M用	J	'86.8.5
LYNX	JIS-C・M用	J	'86.8.5
SETA(045)	JIS-C・R用	F	'87.3.4

## ●ユニコ(株)

〒106東京都港区六本木7-3-17 ☎03-3478-2707

名称	取得規格	形状	公認年月
VS-2	JIS-C・R用	F	'86.3.26
NEF(VS-2)	JIS-C・R用	F	'86.12.15
NEF-RO2	JIS-C・R用	F	'88.6.10

## ●(株)立花

〒133東京都江戸川区本一色3-16-20 ☎03-3653-6277

名称	取得規格	形状	公認年月
カスタム ES-2 (A型)	JIS-A・T用	J	'92.4.8
カスタム (A型)	JIS-A・T用	J	'92.3.11
ライジン (A型)	JIS-A・TR用	J	'93.2.24
ライジン (レザートップ)	JIS-A・TR用	J	'93.2.24

## ●ヤマハ大船渡製造(株)

〒022岩手県大船渡市大船渡町字欠の下向1-1 ☎0192-27-4101

名称	取得規格	形状	公認年月
GEORAMA-TS	JIS-C・R用	F	'86.1.30
GEORAMA-RS	JIS-C・R用	F	'86.2.24
FE-X	JIS-C・R用	F	'86.2.24
OE	JIS-C・M用	F	'86.2.24
GEORAMA-GFV		F	'86.3.15
GEORAMA-GFV-R	JIS-C・R用	F	'89.9.5
GFS	JIS-C・R用	F	'89.10.11
YFR	JIS-C・R用	F	'90.5.8
YFV	JIS-C・R用	F	'90.5.8
INPURE(YOA)	JIS-C・R用	F	'90.5.8
YFV(HJ1)	SNELL・R特選	F	'91.7.3
GFV(YON)	JIS-C・R用	F	'92.6.3
YJ-X(YON)	JIS-C・M用	J	'92.7.8

STAIR	JIS-C・R特選	F	'93.6.23
GIBSON	JIS-C・M用	F	'92.2.5
YSF(YOH)	JIS-C種 R用	F	'94.7.27
YSF(RODEM)(YOH)	SNELL・R特選	F	'95.1.25

## ●(株)ジャパンプロダクト

〒133東京都江戸川区上一色416-1 ☎03-3655-9055

名称	取得規格	形状	公認年月
R120N R2-1	JIS-C・R用	F	'86.7.2

## ●(株)RSタイチ

〒574大阪府大東市中垣内3-1-25 ☎0720-74-3268

名称	取得規格	形状	公認年月
JT(ALS-1)	JIS-C・M用	J	'87.9.4
JT(ALS-2)	JIS-C・M用	F	'87.9.4

## ●旺文社パシフィック(株)

〒162東京都新宿区横寺町55 ☎03-3266-6035

名称	取得規格	形状	公認年月
NAVA	JIS-C・T用	セミJ	'86.7.26

## ●(株)大都

〒110東京都台東区北上野1-7-1 ☎03-3843-6426

名称	取得規格	形状	公認年月
BELL(MAG-4)	SNELL JIS-C・M用	J	'86.9.30

## ●(株)丸万茂又

〒530大阪府大阪市北区西天満6-1-5 ☎06-364-4678

名称	取得規格	形状	公認年月
MAC	JIS-C・R用	F	'87.8.5

## ●(株)ドルフィン・インターナショナル

〒193東京都八王子市散田町5-24-11 ☎0426-65-7843

名称	取得規格	形状	公認年月
BELL MOTO5	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.5.9

## ●日栄プラスチック(株)

〒362埼玉県北足立郡伊奈町大字小家字志久4429 ☎048-723-0611

名称	取得規格	形状	公認年月
DIC(DFX)	SNELL・R特選	F	'91.2.15
Gibson(YX)	JIS-C・M用	F	'91.2.5
DIC(RT35・061)	JIS-C・R用	F	'92.7.8
DIC-VR	JIS-C・R用	F	'89.12.12
SYDEEN	SNELL C・R用	F	'89.3.7
DIC-Inc State	JIS C・M用	J	'89.5.9
DIC-zio-SX	JIS C・R用	F	'89.7.20
DIC ZR	JIS C・R用	F	'89.11.7

## ●オージーケー販売(株)

〒577大阪府東大阪市御厨西ノ町60 ☎06-783-5906

名称	取得規格	形状	公認年月
RS-1	JIS C・R用	F	'91.6.6
RS-1R	JIS C・R用	F	'92.9.25
EX-R/S-93G	JIS C・R用	F	'93.6.23
S-94G	JIS-C・R用	F	'95.4.20
RX-R	JIS-C・R用	F	'95.4.20

## ●ヤマハ発動機(株)

〒438静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-37-4111

名称	取得規格	形状	公認年月
YZ07	JIS C・R用	F	'93.6.23

## ●(株)イエローコーン

〒154東京都世田谷区新町2-7-1 ☎03-3439-3752

名称	取得規格	形状	公認年月
SIMPSON(BANDIT5)	JIS C種	F	'94.1.26

## ●エッチージェイシージャパン

名称	取得規格	形状	公認年月
FG-X 3	JIS-C・MX用	F	'95.4.26
FG-10K	JIS-C・RR特選	F	'95.4.26



●フランコ商事(株)

〒540大阪府大阪市中央区上町1-14-13 TAPSビル4F ☎06-761-6505

名 称	取得規格	形状	公認年月
SHARK(XRC-CARBON)	JIS-C・R用	F	'95.8.23

●山本光学(株)

〒577大阪府東大阪市長堂3-25-8 ☎06-783-1109

名 称	取得規格	形状	公認年月
YAMAHA	JIS-B・TR用	F	'95.1.25

●岡田商事(株)

〒105東京都港区芝大門1-3-7 ☎03-5473-0371

名 称	取得規格	形状	公認年月
BELL(MOTO6)	JIS C種	F	'94.5.10
BELL(RACE STAR)	JIS C種	F	'94.6.29
FG-TECH	SNELL, JIS-C種・R特選	F	'96.6.26
CL-X	SNELL, JIS-C種・M用	F	'96.6.26
FG-X3	SNELL, JIS-C種・M用	F	'96.6.26
CL-10	SNELL, JIS-C種・R特選	F	'96.6.26
FG-Light	JIS-C種・R用	F	'96.7.24

●(株)洪進クラウン

大韓民国京畿道龍仁郡二東面西里54-2

名 称	取得規格	形状	公認年月
FG-TECH	SNELL, JIS-C種・M用	F	'96.6.26
CL-X	SNELL, JIS-C種・M用	F	'96.6.26
FG-X3	SNELL, JIS-C種・M用	F	'96.6.26
CL-10	SNELL, JIS-C種・M用	F	'96.6.26
FG-Light super	JIS-C種・R用	F	'96.7.24

公認レーシングスーツ

●(株)カドヤ

〒111東京都台東区西浅草3-29-21 ☎03-3843-2000

名 称	型 式	公認年月
ON THE RACE G2	RP, PX, MM, RD, PT	'90.10.23
NEW CONCEPTER	MDシリーズ(MD1,214)	'90.10.23
KADOYA	OR-SR	'90.10.23
ON THE RACE G2	RP-FS 0020	'91.4.10
ON THE RACE G2	G2/RP(G2/RP-125)	'92.3.11
ON THE RACE G2	G2/RP(G2/RP-07,08)	'92.3.11
KADOYA	OR	'95.6.28
K'S LEATHER	CLASH KING	'95.6.28

●(株)クシタニ

〒430静岡県浜松市三島町231 ☎053-441-2251

名 称	型 式	公認年月
KUSHITANI	KR KRN	'90.10.23
KUSHITANI	KI	'90.10.23
KUSHITANI	K	'91.1.18
KUSHITANI	KV	'91.1.18
KUSHITANI	オーダーメイド	'91.2.8
KUSHITANI	KI-101, 102, 103	'91.4.10
KUSHITANI	KX-1	'91.11.5
KUSHITANI	KX-1	'91.11.5
KUSHITANI	KI-X(KI-107X)	'92.11.1
KUSHITANI	KI-XM(KI-106)	'92.11.1
KUSHITANI	KI-X	'93.3.24
KUSHITANI	KI-X(KI-109, KI-111)	'94.1.10
KUSHITANI	KI-X(KI-112, KI-113)	'94.11.23
KUSHITANI	K-DR(K-161, K-162, K-163)	'96.12.26
KUSHITANI	KI-XW(KI-114XX)	'95.12.26
KUSHITANI	KI-XW(KI-115XX)	'95.12.26
KUSHITANI	KI-XW(KI-160XX)	'95.12.26
KUSHITANI	KI-XG(KI-118XX)	'95.12.26
KUSHITANI	KI-XV(KI-150XX)	'96.9.25
KUSHITANI	KI-XV(KI-116XX)	'96.9.25
KUSHITANI	KI-XV(KI-117XX)	'96.11.27

●(株)ルック

〒125東京都葛飾区亀有4-3-7 ☎03-3604-7800

名 称	型 式	公認年月
SR	SR01-03	'90.10.23
RS	RS I-V	'90.10.23
SS	SS I-III	'90.10.23
Look	(オーダー)	'90.10.23
ラファール3	オーダーメイド	'91.4.20
GPシリーズ		'92.11.28
SPシリーズ	SP	'93.11.24

●(株)RSタイチ

〒574大阪府大東市中垣内3-1-25 ☎0720-74-3268

名 称	型 式	公認年月
Nixeレーシングレザースーツ	NXL	'90.9.29
NIXEレーシングレザースーツ	NXL005,006,007,008,009	'91.9.8
NIXEレーシングレザースーツ	NXL,NXL(オーダー)	'91.1.18
NIXEレーシングレザースーツ	NXL(NXL001)	'92.10.7
NIXEレーシングレザースーツ	NXL(NXL012,015)	'92.10.7
NIXEレーシングレザースーツ	NXL(NXL011)	'92.10.14
NIXE NXL	NXL016	'94.1.26
NIXE NXL	NXL017-018	'94.1.26
NIXEレーシングレザースーツ	NXL	'94.12.28
NIXE NXL	NXL030	'95.12.26
NIXE NXL	NXL031	'95.12.26
NIXE NXL	NXL032	'95.12.26
NIXE NXL	NXL035	'96.11.27

●(株)アズ・スポーツ

〒158東京都世田谷区玉川谷1-1-3 ☎03-3709-3750

名 称	型 式	公認年月
Justys /	J-001R-J-023R	'90.10.23
Justys / J-PRO-R	JPR-001R-JPR-004R	'90.10.23
A's Racing	AS001SO-AS007SO	'90.10.23

●(株)大都

〒110東京都台東区北上野1-7-1 ☎03-3843-6426

名 称	型 式	公認年月
THE BIKE	RCシリーズ	'90.10.23
D'S	DRS-3007,3008	'91.5.8
THE BIKE	オーダーメイド	'91.5.8
THE BIKE	FR-10,11,12,13	'91.6.5
THE BIKE	FR-3,5,6,7,8,9	'91.2.6
THE BIKE	GP-3,GP-5	'91.2.6
THE BIKE	RC-355,RS-NB	'93.8.25

●(株)光輪モーターズ

〒110東京都台東区東上野4-26-4 ☎03-3841-3411

名 称	型 式	公認年月
PLICANA	グループC(PT-MS)	'90.10.23
PLICANA	グループA(PT-RXIGP)	'91.2.6
PLICANA	グループB(PT-NIGP)	'91.2.6
PLICANA	グループH(PT-ATILS)	'91.2.6
PLICANA	PT-ZEAI	'91.11.5
PLICANA	グループA PT-DELTA MAX	'95.12.26
PLICANA	グループC PT ISI	'95.12.26
PLICANA	グループC PT ラッキースタイク	'95.12.26

●(有)セクレテール

〒152東京都目黒区目黒本町6-21-15 ☎03-3714-0533

名 称	型 式	公認年月
セクレテール	RF,RC,RS,TR,MFR	'90.10.23
セクレテール	(オーダー)	'90.10.23
セクレテール	MFR-912	'92.3.11
セクレテール	RS-26,27	'92.3.11
セクレテール	RS-28,29,30,REP,	'92.11.28
セクレテール	RF,RS,REP	'93.5.26
セクレテール	RF33,RS43,RF994,RF995	'94.10.25

# 付録

## ●(株)デグナー

〒607京都府京都市山科区上山山講田町57-1 ☎075-501-7137

名 称	型 式	公認月日
デグナー	R-1	'90.10.23
デグナー	R-2	'90.10.23
デグナー	R-6	'90.10.23

## ●(株)ナカタケ

〒721広島県福山市港町2-16-22 ☎0849-23-2423

名 称	型 式	公認月日
ナカタケ	NS・ブースアップシリーズ	'90.10.23
ナカタケ	NS-R	'91.11.5

## ●(株)昌輝総研

〒150東京都目黒区青葉台3-18-10 #201 ☎03-3462-1591

名 称	型 式	公認月日
Boldor	レーシングワンピース	'90.10.23

## ●ツナギのクウタ

〒300-35 茨城県結城郡八千代町佐野16 ☎0296-49-0626

名 称	型 式	公認月日
クウタ	(オーダー)	'90.9.29

## ●(有)ライブラ

〒491愛知県一宮市大和町荻安賀字角出62 ☎0586-44-6451

名 称	型 式	公認月日
ライブラレーシングスーツ	LRS-01	'90.10.23
COSMIC(Libra)	オーダーメイド	'92.1.9

## ●東京ベルト(株)

〒181東京都三鷹市下連雀1-13-7 ☎0422-45-2970

名 称	型 式	公認月日
TO BEL	TBシリーズ	'90.10.23

## ●(有)エムシーコレクション

〒271千葉県松戸市穂台37 ☎0473-64-6555

名 称	型 式	公認月日
フォーヘッド(FOR HEAD)	(オーダーメイド)	'90.11.17
フォーヘッド(FOR HEAD)	FH-001,002,009	'90.11.17

## ●(株)レインボー

〒110東京都台東区北上野1-5-5 ☎03-3843-5606

名 称	型 式	公認月日
レインボー	(オーダーメイドレーシング)	'90.11.17

## ●(有)アールシーエム

〒661兵庫県尼崎市武庫の里1-11-1-104 ☎06-431-8066

名 称	型 式	公認月日
Toril	オーダーメイド	'91.5.8
ファルコン	オーダーメイド	'91.5.8
HAL	オーダーメイド	'91.5.8
FALCON	FS	'91.3.12
Toril	TX, TXR	'91.3.12
HAL	01A, 02A, 03A, 05A, 06A	'91.5.8
プラスト	オーダーメイド	'91.11.5

## ●(株)アイアンドエイ

〒660兵庫県尼崎市大物町1-1-15 ☎06-401-1011

名 称	型 式	公認月日
B-LINE	オーダーメイド	'91.5.8

## ●(株)アダチ

〒462愛知県名古屋市中区丸新町453 ☎052-902-7519

名 称	型 式	公認月日
JRP	オーダーメイド	'91.2.6
MOTO FLASH	オーダーメイド	'91.2.6
RSA	オーダーメイド	'91.2.6
MOTOR KING MICHIO KOSHINO	オーダーメイド	'92.3.11

## ●(株)アチーフ

〒340埼玉県草加市谷塚仲町288-1 ☎0489-24-7519

名 称	型 式	公認月日
レーシングスーツYONEZO	オーダーメイド	'91.1.8

## ●(有)エフワン

〒114東京都北区豊島4-14-2 ☎03-3912-5149

名 称	型 式	公認月日
エフワン	FR-2A, 3B, G3A, Z1, Z2, カスタムG6	'91.5.8
F-ONE	FR-G2B	'91.2.6

## ●ジュベットレザーハウス

〒434静岡県浜北市小松4646-9 ☎053-586-6001

名 称	型 式	公認月日
JUBET	オーダーメイド	'91.4.10

## ●(株)キジマ

〒123東京都足立区西新井4-16-3 ☎03-3897-2167

名 称	型 式	公認月日
KISS	オーダーメイド	'91.4.10
KISS RACING	プロトワン・プロトツー	'91.2.6

## ●(株)ギャロップ

〒171東京都豊島区目白2-2-2平口ビル2F ☎03-3982-7531

名 称	型 式	公認月日
FORZA	FO-404, 405, 406	'91.2.6
FORZA	オーダーメイド	'91.2.6
R-SPORTS	R-SPORTS02, 401, 402, 403	'91.5.8
FORZA	FO-407	'91.10.16
STREET SLIDER	SSシリーズSS-03	'92.9.5
TRX	X-Sシリーズ	'93.1.27
FORZA	FOシリーズ	'93.2.24
ワンズワン	GOシリーズ	'93.5.26
STREET SLIDER	SSシリーズ	'93.5.26
モトブラザGT	GTシリーズ	'93.11.23
FORZA FOシリーズ	FO-411	'94.4.27
FORZA FOシリーズ	FO-412	'94.9.15
FORZA FOシリーズ	FO-413	'94.10.31
FORZA FOシリーズ	FO-414	'96.11.27

## ●(株)ホンダショップアルトモスポーツグラッド

〒537大阪府東成区大今里3-15-25 ☎06-971-6381

名 称	型 式	公認月日
KIKUTANI	AK	'93.2.24

## ●(有)後藤商店

〒208東京都武蔵村山市学園3-18-1 ☎0425-65-6663

名 称	型 式	公認月日
GOTO MD-Performance	MD-1~Ⅷ	'91.1.8
GOTO	オーダーメイド	'91.1.8
GOTO MD-Performance	MD-Y9, 10, 11	'91.4.28

## ●(株)コミネオートセンター

〒111東京都台東区小島2-20-11 ☎03-3862-9811

名 称	型 式	公認月日
Spazioレーシング	A, S-11	'91.2.6
KOMINE Spazio	オーダーメイド	'91.2.6
Spazio	S-14R	'91.5.8
Spazio	S-B, S-8, S-10, S-14	'91.6.5
Spazio	S-15	'92.1.9
Spazio	S-16	'92.11.28

## ●ジニアス

〒539大阪府東大阪市客坊町4-14 ☎0729-87-0165

名 称	型 式	公認月日
ジニアス	SIR-G	'91.2.6

●ステージレザ

〒341埼玉県三郷市高州2-387-3 ☎0489-55-5146

名 称	型 式	公認月日
PRO STAGE	レーシングワンピース	'91.1.18

●ダイネーゼジャパンインク

〒554大阪府吹田市南吹田5-9-1 ☎06-369-0581

名 称	型 式	公認月日
ダイネーゼ	T.MUNZA, T.MISANO, T.SILVERSTONE	'91.8.7
ダイネーゼ	T.GRAPHICA, T.FREDA, T.CHELT TEAM	'91.8.7
ダイネーゼ	T.STROM, T.FCH, T.HOHE, T.SUMATA	'92.5.13
ダイネーゼ	T.K.S	'93.4.28
ダイネーゼ T-SAFETY PRO	T-SAFETY PRO	'94.6.29
ダイネーゼ	T.SCOTT RUSSEL REPLICA	'95.12.26
ダイネーゼ	T.BELZEBU	'95.12.26
ダイネーゼ	T.CAPROSSI REPLICA	'95.12.26
ダイネーゼ	T.FOGARTY REPLICA	'96.3.27
ダイネーゼ	T.BIAGGI REPLICA	'96.3.27
ダイネーゼ	DAINESE T.RD1	'96.4.24

●(株)谷尾商会

〒530大阪府大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎06-358-0651

名 称	型 式	公認月日
ラビーン	RVX-1~5	'91.1.18

●南海部品(株)

〒530大阪府大阪市北区曾根崎新地2-6-28 ☎06-344-1581

名 称	型 式	公認月日
ナンカイ	SDシリーズ	'91.2.6
SRシリーズ	SRシリーズ	'91.2.8
ナンカイ	オーダーメイド	'91.6.5
ナンカイ	NR-011R平レプリカスーツ	'91.6.5
ナンカイ	NR-50プロレーシングスーツ	'91.6.5
ナンカイ	NRシリーズ	'91.1.8
ナンカイ	SR-16	'92.5.13
ナンカイ	SR-17	'92.5.13
ナンカイ	NR-51	'92.5.13
ナンカイ	SD-8	'92.11.1
ナンカイ	NR-52	'92.11.1
ナンカイ	NR-51, SR-16, 17	'93.3.24
SRシリーズ	SR-18	'93.11.24
'94年ドゥーハンレプリカニューモデル	NR-06R8, NR-013R1	'93.4.27
SDシリーズ	SD-SPECIAL	'94.4.27
'94D・ビーター・マルボロレーシングレプリカ	NR-015R1	'94.4.27
'94原田哲也レーシングレプリカ	NR-018R1	'94.7.27
'94A・バロスラックスライクレーシングレプリカ	NR-014R1	'94.7.27
'94辻村猛レーシングレプリカ	NR-016R1	'94.7.27
'94井形とも子レーシングレプリカ	NR-017R1	'94.7.27
ナンカイ	NR-53プロレーシングスーツ	'95.3.1
ナンカイ	NR-54プロレーシングスーツ	'95.3.1
ナンカイ	SD-12レーシングスーツ	'95.3.1
ナンカイ	SD-13レーシングスーツ	'95.3.1
ナンカイ	プロレーシングレプリカスーツ	'95.10.25
ナンカイ	NR-55 8耐セレプリカスーツ	'96.9.25
ナンカイ廉価版レーシングスーツ	SR-20	'96.11.27

●(有)ハイブ

〒116東京都荒川区南千住6-59-16 ☎03-3803-6292

名 称	型 式	公認月日
ハイブ	オーダーメイド	'91.3.12

●バギー(株)

〒636-03 奈良県磯城郡川西町梅戸226 ☎07454-3-0177

名 称	型 式	公認月日
バギー・ベルベットBR	オーダーメイド	'91.4.10
バギー・ベルベットBR	A, AP, AR	'91.1.18

●(有)ビッグスター

〒110東京都台東区北上野1-5-5 ☎03-3487-1480

名 称	型 式	公認月日
ビッグスター	オーダーメイド	'91.4.10

●ファクトリースズキ

〒982宮城県仙台市太白区郡山穴田東25-1 ☎022-248-5315

名 称	型 式	公認月日
PRIDE ONE	オーダーメイド	'91.9.4

●(有)フジタレザ

〒502岐阜県岐阜市福光西2-10-15 ☎0582-33-5620

名 称	型 式	公認月日
フジタレザ	オーダーメイド	'91.6.5
フジタレザ	レザモーター付6000ピーススーツ	'95.12.26

●ユニバース

〒183東京都府中市寿町1-1-10 ☎0423-60-6311

名 称	型 式	公認月日
STUFF U	SU1003, 5, 6, 7 STAGE	'91.3.12
STUFF U	オーダーメイド	'91.3.12
PROSPEC	RC-001, RC-002	'91.6.5

●ブレーションレザ

〒579大阪府東大阪市石中石切町2-44-22 ☎0729-88-2664

名 称	型 式	公認月日
ブレーションレザ	オーダーメイド	'91.3.12

●モータースポーツミスターヒロ

〒580大阪府松原市立部2-499-1 ☎0723-36-1550

名 称	型 式	公認月日
Mr.hiro	オーダーメイド	'91.9.4

●アレス

〒340埼玉県草加市青柳町7-11-22 ☎0489-31-4319

名 称	型 式	公認月日
アレス	オーダーメイド	'91.2.6

●ヤマハ発動機(株)

〒438静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-37-4420

名 称	型 式	公認月日
YAMAHA YL-Aシリーズ	YL-340, 336, 337, 338	'91.2.6
Takai R	TR TRL	'90.10.23
PRO SHOP TAKAI	オーダーメイド	
Takai R	TR TRL	'91.5.8

●ライティングコスチュームT&T

〒673兵庫県神戸市西区池上4-13-8 ☎078-974-8682

名 称	型 式	公認月日
T&T	TS	'91.1.18

●レーシングプロショップO.S.F.C

〒954-04 新潟県西蒲原郡西川町新栄町296 ☎0256-88-7441

名 称	型 式	公認月日
レーシングプロショップO.S.F.C	O.S.F.C	'91.2.6

●(有)ワンステップライダー

〒452愛知県名古屋市西区赤城町1 ☎052-502-7517

名 称	型 式	公認月日
OSR	YR-07	'90.11.17

●パパス

〒116東京都荒川区南千住2-16-15高畑ビル1F ☎03-3801-0438

名 称	型 式	公認月日
Papa's	オーダーメイド	'92.1.9

●(有)福富洋商会

〒300-11 茨城県稲敷郡阿見町大字荒川沖1924-1 ☎0298-42-8161

名 称	型 式	公認月日
SURE (シュア)	オーダーメイド	'92.1.9

●BCピロータ

〒193東京都八王子市千代町3-4-21 ☎0426-46-9661

名 称	型 式	公認月日
BCピロータ	オーダーメイド	'92.1.9

# 付録

## ●(株)プランツ

〒111東京都台東区駒形1-10-7 ☎03-3847-2891

名称	型式	登録月日
ハロスギア レーシングスーツ	OP-1オーダーメイド	'92.1.9

## ●レザーハウスA&M

〒277千葉県柏市花野井1925-6 ☎0471-33-1664

名称	型式	登録月日
レザーハウスA&M	オーダー	

## ●美津濃(株)

〒559大阪府大阪市住之江区南港北1-12-35 ☎06-614-8124

名称	型式	登録月日
MIZUNO	オーダーメイド	'92.3.11

## ●WORK BOX KASAI

〒985宮城県多賀城市笠神2-2-1 ☎022-366-6879

名称	型式	登録月日
[bulit]	オーダーメイド	'92.3.11

## ●ツカサプランニング

〒120東京都足立区青井3-34-3 ☎03-3801-0438

名称	型式	登録月日
HELIO TROPE	HELIO RACING	'92.3.11

## ●(有)レーシングショップアイティーエ

〒982宮城県仙台市太白区若葉町25-25 ☎022-229-0490

名称	型式	登録月日
ITAレーシングスーツ	ITAオーダー	'92.3.11

## ●アトリエ・ワン

〒485愛知県小牧市南外山長田64-1 ☎0568-71-3040

名称	型式	登録月日
A-ONE RACING	オーダーメイド	'92.7.8

## ●レースサービスAxtas

〒182東京都調布市飛田給1-34-16 ☎0424-84-9115

名称	型式	登録月日
Axtas	AYシリーズ	'94.2.23

## ●(株)ホンダアクセス

〒352埼玉県新座市野火止8-18-4 ☎048-477-9143

名称	型式	登録月日
Super Bold'os	デイトナ、イモラ、ネッタンハイム、キャウシ、ラプナセカ、アッセン、イースタングリース、スズカ、ヘルス、シルバーストーン、94オカダ	'94.9.28

## ●アール・エス・イー・レザー

〒485愛知県小牧市大字間々原新田字上芳池186-1 3F ☎0568-76-5596

名称	型式	登録月日
RSA Leathers	フルオーダー	'95.8.23
ドーナークラブ	フルオーダー	'96.9.25

# MFJ 公認タイヤ

## ●井上ゴム工業株

〒450愛知県名古屋市中村区名駅南1-23-17笹島ビル8F ☎052-581-0701

タイヤ名	サイズ	登録月日
TRIAL WINNER	4.00R18, TR-7	'86.3.26
TRIAL WINNER TR-9	4.00R18	'86.7.8
PRO-TECH NS-50F	2.75-174PR, 2.75-184PR, 80/100R16, 80/90R16	
NS-50R	2.75-174PR, 3.00-174PR, 90/90R18, 90/90R17	
PRO-TECH NS-10F	90/90R18, 100/80R17, 100/90R16, 110/70R17, 110/80R17, 110/80R18, 120/70R17, 120/80R16	

NS-10R	110/80R18, 120/80R17, 120/80R18, 130/70R17, 130/90R16, 140/60R18, 140/70R18, 160/60R18	
SPATOLA SPO 1F RADIAL	110/70R17 54H, 120/60R17 55H, 150/60R17 66H, 160/60R17 69H	'92.7.1
TRIAL WINNER TRO11F TUBE TYPE	2.75-21	'92.10.1
TRIAL WINNER TRO11F TUBELESS	4.00R18	'92.10.1

## ●日本ミシュランタイヤ株

〒102東京都千代田区富士見1-6-1富士見ビル ☎03-5210-2731

タイヤ名	サイズ	登録月日
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18 TL	'87.7.8
ラジアル A59X	130/60R16, 120/80R16, 130/60R17 (59H, 59Z), 110/70R17, 120/70R17 (58Z, 58Z)	
ラジアル M59X	160/60R16, 160/80R16, 180/55R17, 160/60R17 (69H, 69Z), 160/60R18, 150/70R70	
ハイスポートラジアル TX11	120/80R16, 130/60R17, 120/70R17, 100/80R17, 116/80R17, 120/80R17 (55H, 55Z), 110/70R17, 110/80R18	
ハイスポートラジアル TX23	160/80R16, 180/55R17, 150/60R17, 160/60R17 (69H, 69Z), 130/70R17, 150/70R17	
P2301	12/60R17	
P3104	15/61R17, 18/67R17	
P1201	12/60R17	
P3103	15/61R17, 18/67R17	
MICHELIN TRIAL COMPETITION	2.75-21TT	'91.11.1
MICHELIN TRIAL COMPETITION	2.75-21TL	'91.11.1
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL A59X	4.00R18TL, 120/60R17 55Z	'91.11.1, '92.4.3
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18TL	'92.5.1
ハイスポートラジアル TX11B/TX23	110/70ZR17, 120/70ZR17, 120/60ZR17, 190/50ZR17, 180/55ZR18	'94.7.28
ハイスポートラジアル TX15	130/70ZR18, 130/70ZR17, 130/60ZR17	'95.5.25
ハイスポートラジアル TX25	150/60ZR17, 160/60ZR17	'95.5.25
ハイスポートラジアル TX15RACE	110/70ZR17, 130/70ZR17, 130/60ZR17	'95.9.22
ハイスポートラジアル TX25RACE	150/60ZR17, 160/60ZR17, 180/55ZR17	'95.9.22

## ●阿部商会株

〒101東京都千代田区神田美土代町3 ☎03-3233-2212

タイヤ名	サイズ	登録月日
ヒレートリアルタイヤ・MT73グラフライアル	2.75-21 MT73	'90.9.7
MP7スポーツレーシング	110/70ZR17, 120/60ZR17, 120/70ZR17, 150/60ZR17, 160/60ZR17, 180/55ZR17, 140/60ZR18, 170/60ZR18	'91.7.4
MT75レーシング	100/80T16, 100/80T17, 130/70T17, 140/70T17, 130/70T18	'91.7.4

●株日本ダンロップ

〒651兵庫県神戸市中央区臨浜町3-6-9 ☎078-265-3000

タイヤ名	サイズ	登録月日
K320	2.75-21 4PR	'86.11.23
K320	4.00R18 4PR	'86.11.23
TT500F GP	80/90R16, 90/90R16, 100/90R16, 90/80R17, 100/18R17 (52H, 57H, 54H)	
TT50GP	90/90R17, 120/80R17, 140/80R17, 130/70R17, 140/70R17, 100/90R18, 130/70R18	
RIDEEN GPR-30E	110/70R17, 120/70R17, 120/60R17, 100/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 170/60R17, 140/60R18, 150/60R18,	
MR677	3.25/4.75R17, 4.00/6.00R18, 2.50/3.00R18, 2.75/3.75R18, 3.25/5.75R17, 3.25/5.75R18, 2.85/3.25R17, 2.85/4.00R17, 3.80/6.00R17, 3.80/6.70R18	
RIDEEN GPR-60F	110/70R1754H, 120/60R1755H	'91.5.9
RIDEEN GPR-60	150/60R1766H, 160/60R1769H 140/60R1864H, 150/60R1867H	'91.5.9
TT700F GP	100/80-1752H, 110/70-1754H 100/90-1654H	'91.5.9
TT700 GP	130/70-1762H, 140/70-1766H 120/80-1761H, 130/70-1863H 130/90-1867H	'91.5.9
TT700F GP	90/90-18, 110/80-17	'92.3.4
TT700 GP	110/80-18, 110/90-18, 120/80-18, 140/70-18, 150/70-17	'92.3.4
K375F	100/80-17	'92.2.4
K375FG	100/80-17	'92.2.4
K375	120/80-17	'92.2.4
K420GP チュープレス	4.00R18 4PR	'92.4.1
K420GP チュープレス	4.00R18 4PR	'92.4.1
TT500F GP	100/80-17 52S	'92.6.20
TT500GP	120/80-17 61S	'92.6.20
K420チューブタイプ	2.75-21 (45K)	'92.11.6
K420チューブレスタイプ	2.75-21 (45K)	'92.11.6
K420GP チューブタイプ	2.75-21 (45M)	'92.12.3
K420GP チュープレス	2.75-21 (45M)	'92.12.3
K420GP チューブタイプ	4.00R18 (64M)	'92.12.15
K420GP チュープレス	4.00R18 (64M)	'92.12.15
GPR50F	110/70R17 54H 120/60R17 54H 120/70R17 58H	'93.2.20
GPR50	140/60R17 63H 140/60R18 64H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'93.2.20
MR777	150/60R17	'93.3.23
MR977	90/75R17, 115/65R17, 120/70R17, 160/60R17,	'94.3.22
D801F チューブタイプ	2.75-21, 4P, R (45M)	'94.5.1
D801F チューブレスタイプ	2.75-21, 4P, R (45M)	'94.5.1
D801チューブタイプ	4.00R18, 4P, R (64M)	'94.5.1
D801チューブレスタイプ	4.00R18, 4P, R (64M)	'94.5.1
MR977	110/70R17	'94.7.28
Rideen GPR-50F SP	110/70R17 54H, 120/60R17 55H 120/70R17 58H	'95.2.15
Rideen GPR-50 SP	140/60R17 63H, 140/60R18 64H 150/60R17 66H, 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'95.2.15
TT900F GP	80/90-16 63P, 90/80-17 65S, 100/80-17 52S, 100/90-16 54H, 100/80-17 52H, 110/80-17 57H, 110/70-17 54H	'95.2.15

TT900GP		90/90-17 69P, 100/80-17 52S, 120/80-17 61S, 120/80-17 61H, 120/80-18 62H, 130/70-17 62H, 140/70-17 66H, 150/70-17 66H, 150/70-18 70H	'95.2.15
KR244	使用可能リム 4.50-5.50	3.25/5.90R17	'95.11.28
TT100GP		110/90-17 60H 120/80-17 61H 3.00-18 47S 3.50-18 56H 4.00-13 64H 90/90-18 51H 110/90-18 61H 100/90-19 57H	'96.12.26

●株ブリヂストン

〒104東京都中央区京橋1-10-1 ☎03-3563-6819

タイヤ名	サイズ	登録月日
BATTLAX BT-72FS	110/80R17, 110/70R17, 120/60R17, 120/70R17	
BATTLAX BT-72RS	140/70R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 120/80R18, 140/60R18, 150/60R18, 170/60R17	
BATTLAX BT-09SS	90/90-16, 90/80-17	
BATTLAX BT-70FS	110/70-17, 120/60-17, 120/70-17, 130/60-17, 140/60-17, 140/60-18, 150/60-17, 150/60-18, 160/60-17, 170/60-17	
ME72	85/595R18, 85/575R17, 110/590R17, 95/600R18, 140/630R18, 120/595R17, 150/600R17	
ME76	105/575R17, 150/635 R18, 155/620R17	
BATTLAX BT-50F	120/70ZR17, 130/60ZR17	'91.6.7
BATTLAX BT-50R	170/60ZR17, 180/55ZR17 160/60ZR18	'91.6.7
ME77	90/575R17	'91.6.1
ME78	105/585R17	'91.6.1
BATTLAX BT-09SS SOFT	90/90-16, 90/80-17, 100/ 80-17	'92.4.20
BATTLAX BT-10SS SOFT	120/80-17, 100/90-18	'92.4.20
BATTLAX BT-80S F RADIAL	110/70R17, 120/70R17, 120/60R17	'92.3.20
BATTLAX BT-80S R RADIAL	150/60R17, 160/60R17, 150/60R18	'92.3.20
BATTLAX BT-50	120/70ZR17	'92.4.20
ME77	90/570R17	'92.6.10
ME77	105/585R17	'92.6.10
ME77	160/625R17	'92.6.20
ME77	150/635R18	'92.6.20
ME77	155/620R17	'93.7.1
BATTLAX BT-39F SS	90/80-17, 100/80-17, 80/90-16	
BATTLAX BT-39R SS	100/90-18, 120/80-17, 100/80-17	
BATTLAX BT-80S F RADIAL	110/70R17, 120/60R17, 120/70R17	
BATTLAX BT-80S R RADIAL	150/60R17, 160/60R17, 150/60R18	
ME01Z	120/600R17	'94.2.10
BATTLAX BT-80F-RADIAL	110/70R17 54H, 120/60R17 55H, 120/70R17 58H	'94.7.20
BATTLAX BT-80R-RADIAL	150/60R17 66H, 160/60R17 69H	'94.5.20
BATTLAX BT-90F-RADIAL	110/70 R17 54H 120/60 R17 55H 120/70 R17 58H	'95.1.20
BATTLAX BT-90R-RADIAL	150/60 R17 66H 160/60 R17 69H 140/60 R18 64H 150/60 R18 67H	'95.1.20
BATTLAX BT-90F RADIAL	110/70R17 54H, 120/60R17 55H 120/70R17 58H	'95.1.20

# 付 録

BATTLAX BT-90R RADIAL	150/90R17 66H, 160/90R17 66H 140/90R18 64H, 150/90R18 67H	'95. 1 .20
ME01F	90/580R17	'95. 3 .15
RACING BATTLAX RADIAL WET ME01Z	110/590R17	'95. 5 . 1
BATTLAX BT-90F RADIAL	110/70R17 54H, 120/70R17 58H	'95. 7 .19
ME77Z 使用可能リム2.75~3.50	110/585R17	'95. 11.28
ME76 使用可能リム3.00~3.75	120/595R17	'95. 11.28
ME04Z 使用可能リム4.50~5.50	160/620R17	'95. 11.28
RACING BATTLAX WET E04Z 使用可能リム3.25~3.50	115/590R17	'96. 4 .20

## ●横浜ゴム株

〒105東京都港区新橋5-36-11 ☎03-3432-7111

タ イ ヤ 名	サ イ ズ	公 認 月 日
F-003A2	80/90R16, 90/90R16, 90/80R17, 90/90R17, 100/90R18,	
F-610	80/595R18, 85/570R17, 90/600R18, 100/580R17, 110/600R17, 120/605R17, 135/640R18, 150/600R17, 150/630R18, 180/630R17, 180/655R18	
F-003	110/70R17, 120/60R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 140/60R18, 150/60R18, 120/70R17, 170/60R17, 170/60R18	
F-006	110/70R17, 120/60R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 140/60R18, 150/60R18, 120/70R17, 170/60R17, 170/60R18	
GETTAR F007RR	110/70F1754H, 120/60F1755H	'91. 6 .10
GETTAR F007RR	140/60R1763H, 150/60R1867H	'91. 7 . 1
GETTAR F007RR	150/60F1766H, 160/60F1769H	'91. 6 .10
GETTAR F007RR	110/70R17 54H	'92. 4 . 3
GETTAR F007RR	120/60R17 55H	'92. 4 . 3
GETTAR F007RR	140/60R17 63H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'92. 4 . 3
GETTAR F007RR	110/70R17 54H 120/60R17 55H	'92. 7 .15
GETTAR F007RR	140/60R17 63H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'92. 7 .15
GETTAR F610 GETTAR R610	110/600R17, 120/605R17, 150/600R17, 105/580R17,	'93. 6 .15
GETTAR F007RR GETTAR R007RR	100/80-17 52S 120/80-17 61S	'93. 6 .10
GETTAR R610	150/600R17, 150/630R18,	'94. 2 .25
GETTAR R007A SPRINT	110/70R17 54H, 120/60R17 55H 150/60R17 66H, 160/60R17 69H 140/60R17 63H, 150/60R18 67H	'94. 7 .20

# MFJ 公認車両(スノーモビル)

クラス		SJクラス	S4クラス	S3クラス	S2クラス	S1クラス
部門 排気量	水冷エンジン	—	~125ccまで	126cc~350ccまで	351cc~500ccまで	オープン
	空冷エンジン	~125ccまで	126cc~350ccまで	351cc~500ccまで	501cc~750ccまで	オープン
モ デ イ フ ア イ ス ポ ー ツ	SV80 (E) SV125E	CS340 (E) S340 S250 ET250 ET300 ET340 GPX338 EC340 TXL340 S300T S350DX INDY SPORTS INDY LITE	PZ480 PZ480ED PZ480E PZ480LT PZ480SP S440 SS440 GPX433 INDY-TRAIL CUTLASS-SS TXL-INDY VT480E FORMURA-SL INDY Super Sports MXZ500F-SP PZ480SE	S540 EC540 XL540 INDY500 (SP) INDY400 PROWER440 SKI-DOO FORMULA MX-Z VX500E EX570SX EX570LT VX500LT INDY XCR440 FORMURA-Z INDY 500EFI Formula SLS INDY 440XC FORMULA500 MXZ440 VX500XTC	EX570 (E) EX570SP INDY650 (FXL) FORMULA-MACH1 EL-TIGER WILD-CAT WILD-CAT700 FORMULA-PLUS VX750 INDY XLT ARCTIC CAT INDY STORM INDY XLT SPECIAL SKI-DOO MACH Z VX600E EX570LT VX600LT VX600XT VX800E VX800LT INDY XCR600 (SP) MXZ583 Formula III INDY Ultra SPX SE INDY Ultra SP INDY 660XC MXZ 670 ZRT 600 VX700SX VX700LT VX600XTC VX600SX VX600LT	⇒他クラス車両

その他の部門車両区分 ▶ フレッシュマンレース、レディース・ジュニア、OBレースのクラス区分は主催者により定める。





レース、ニューモデルからレジャー、用品まで  
速攻情報と充実した内容

面白さ200%。2大バイクマガジン!!

伝統の

**モーター  
サイクリスト**

毎月1日発売 定価550円

ダイナミック編集の

別冊 **MOTOR  
CYCLIST**  
WHEELING FOR THOSE IN THE KNOW, AND THOSE WHO WANT TO KNOW

毎月15日発売 定価650円



# MFJ

## 全国公認サーキット

- 北海道：HSP(北海道スピードパーク)  
：十勝インターナショナルスピードウェイ  
宮城県：スポーツランドSUGO  
：仙台ハイランドレースウェイ  
新潟県：日本海間瀬サーキット  
福島県：エビスサーキット  
：エビスサーキット西コース  
栃木県：那須モータースポーツランド  
茨城県：筑波サーキット  
静岡県：富士スピードウェイ(FISCO)  
三重県：鈴鹿サーキット  
：鈴鹿サーキット南コース  
兵庫県：猪名川サーキット  
岡山県：TIサーキット・英田  
：中山サーキット  
山口県：セントラルパークMINÉサーキット  
徳島県：阿讃サーキット  
大分県：スポーツ&セーフティライディングフィールド・SPA直入  
：オートポリスインターナショナルレーシングコース  
熊本県：HSR九州(ホンダセーフティ&ライディングプラザ九州)

### ▶HSP(北海道スピードパーク)

〒044 北海道虻田郡倶知安町宇峠下155  
☎0136(23)3880

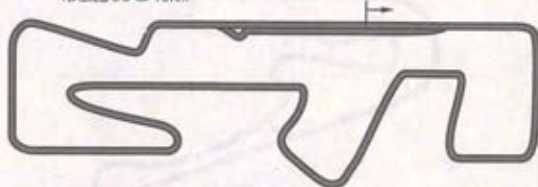
全長距離/1,389.44m  
最大直線長/365m  
ピット数/15個  
走行路幅員/9~12m  
交通/札幌市内より95km



### ▶十勝インターナショナルスピードウェイ

〒089-15 北海道河西郡更別村字弘和477番地  
☎0155(52)3910

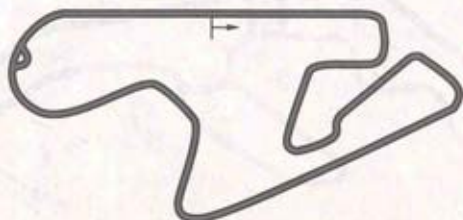
全長距離/グランプリコース 5,091.45m  
/クラブマンコース 3,405.87m  
最大直線長/1,010m  
ピット数/36個  
走行路幅員/13.5~15m  
交通/帯広空港から15km  
帯広駅から40km



### ▶スポーツランドSUGO

〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1  
☎0224(83)3127

全長距離/3,737.5m  
最大直線長/704.5m  
ピット数/45個  
走行路幅員/10~12.5m  
交通/東北自動車道・村田ICより約10km



### ▶仙台ハイランドレースウェイ

〒989-34 宮城県仙台市青葉区新川早坂12  
☎022(395)2120



全長距離/4,029.60m  
最大直線長/584.34m  
ピット数/35個  
走行路幅員/12~15m  
交通/東北自動車道  
仙台宮城ICより約20km

### ▶日本海間瀬サーキット

〒953-01 新潟県西蒲原郡岩室村間瀬810

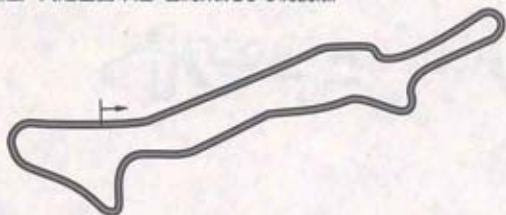
☎0256(85)2201

全長距離/2,000m

ピット数/15個

走行路幅員/8~12m

交通/関越自動車道・巻潟東I.Cより約20km



### ▶エビスサーキット

〒964 福島県二本松市沢松倉1

☎0243(24)2972

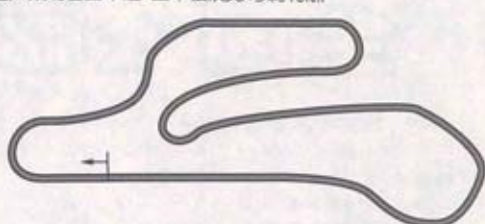
全長距離/2,061m

最大直線長/420m

ピット数/20個

走行路幅員/10~12m

交通/東北自動車道・二本松I.Cより約10km



### ▶エビスサーキット西コース

〒964 福島県二本松市沢倉1

☎0243(24)2972

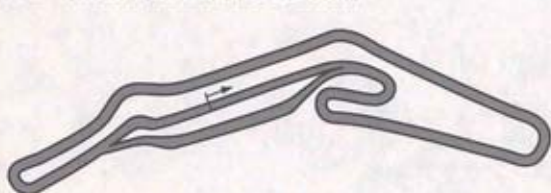
全長距離/2,103m

最大直線長/275.92m

ピット数/60個

走行路幅員/10~15m

交通/東北自動車道・二本松I.Cより約10km



### ▶那須モータースポーツランド

〒325 栃木県黒磯市寺子字坂の上877

☎0287(63)7300



全長距離/1,120m

最大直線長/280m

ピット数/12個

走行路幅員/7.5~12m

交通/東北自動車道・那須I.Cより約10km

### ▶筑波サーキット

〒304 茨城県結城郡千代川村村岡字西原

☎0296(44)3146

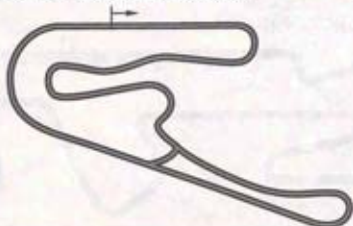
全長距離/2,070m

最大直線長/437.75m

ピット数/30個

走行路幅員/10~15m

交通/常磐自動車道・谷和原I.Cより約25km



### ▶富士スピードウェイ(FISCO)

〒410-13 静岡県駿東郡小山町大御神

☎0550(78)1234

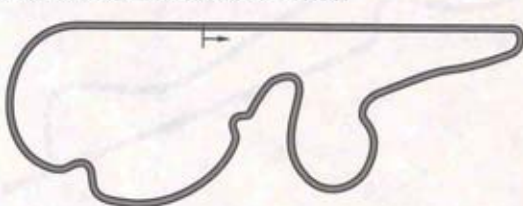
全長距離/4,474m

最大直線長/1,600m

ピット数/45個

走行路幅員/12~15m

交通/東名高速道路・御殿場I.Cより約10km



### ▶鈴鹿サーキット

〒510-88 三重県鈴鹿市稻生町7992

☎0593(78)1111

全長距離/5,864.03m

最大直線長/900m

ピット数/48個

走行路幅員/10~14m

交通/東名阪自動車道・鈴鹿I.Cより約13km



### ▶鈴鹿サーキット南コース

全長距離/1,264m

最大直線長/190m

ピット数/20個



### ▶猪名川サーキット

〒666-02 兵庫県川辺郡猪名川町清水字前谷72-1

☎0727(89)0193

全長距離/1,021m  
最大直線長/131.7m  
ピット数/30個  
走行路幅員/8~12m  
交通/県道川西礪山線から1.5km



### ▶TIサーキット 英田

〒701-26 岡山県英田郡英田町滝宮1210

☎08687(4)3311

全長距離/3,702m  
最大直線長/680m  
ピット数/54個  
走行路幅員/12~15m  
交通/中国自動車道・美作I.Cより約26km



### ▶中山サーキット

〒709-04 岡山県和気郡和気町大中山751

☎0869(83)2333

全長距離/2,007m  
最大直線長/250m  
ピット数/56個  
走行路幅員/10~18m  
交通/山陽自動車道・和気I.Cより約800m



### ▶セントラルパークMINÉサーキット

〒759-21 山口県祿市西厚保町長尾

☎08375(8)0321

全長距離/3,238.98m  
最大直線長/900m  
ピット数/46個  
走行路幅員/10~15m  
交通/中国自動車道  
小月I.Cより約16km、  
美祿I.Cより約18km

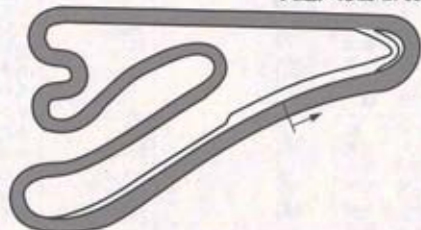


### ▶阿讃サーキット

〒771-25 徳島県三好郡三好町大字東山字滝久保319

☎0883(79)3705

全長距離/1,004.31m  
最大直線長/2229.549m  
ピット数/10個  
走行路幅員/9~12m  
交通/徳島市内より約70km



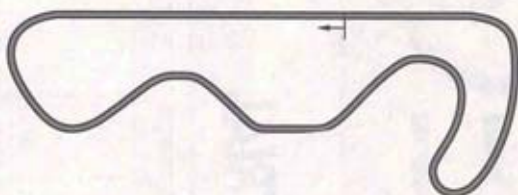
### ▶スポーツ&セーフティ ライディングフィールド・SPA直入

〒878-04 大分県直入郡直入町大字上田北字浦原510-15

☎0974(75)3191

交通/大分市内より40km

全長距離/1,430m  
最大直線長/420m  
ピット数/24個  
走行路幅員/10~11m

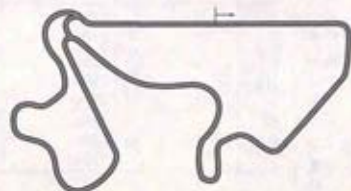


### ▶オートポリスインターナショナルレーシングコース

〒877-03 大分県日田郡上津江村大字上野田1110-12

☎0973(55)1111

全長距離/4,674m  
最大直線長/902m  
ピット数/46個  
走行路幅員/12~15m  
交通/九州自動車道・菊水I.Cより約45km  
大分自動車道・日田I.Cより約45km

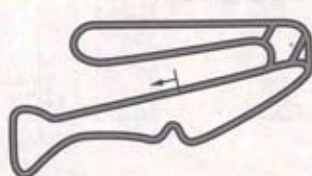


### ▶HSR九州 ホンダセーフティ&ライディングプラザ九州

〒869-12 熊本県菊池郡大津町大字平川11500

☎096(293)1370

全長距離/1,987m  
最大直線長/350m  
ピット数/30個  
走行路幅員/9~12m  
交通/九州縦貫道路・熊本I.Cより約15km



# 歴代チャンピオンレース

ROAD RACE  
TRIAL  
MOTOCROSS  
DRAG RACE  
STADIUM TRIAL  
SNOWMOBIL

## ROAD RACE

●ロードレース部門 ('67~'96年)

年	部 門	クラス	氏 名
'67	ジュニア	50cc	柴田 正之
		90cc	中 陸造
		125cc	大沢 安治
'68	ジュニア	250cc	大沢 安治
		251cc以上	宮沢 善次
		50cc	伊藤 光夫
'69	ジュニア	90cc	野田 正彦
		125cc	青藤 康夫
		250cc	中尾 康夫
'70	ジュニア	251cc以上	角谷 新二
		90cc	高井 俊彦
		125cc	尾崎 俊彦
'71	ジュニア	250cc	小田 豊
		251cc以上	守男 秀夫
		90cc	岩道 博
'72	ジュニア	125cc	岩道 博
		250cc	岩道 博
		251cc以上	岩道 博
'73	ジュニア	90cc	岩道 博
		125cc	岩道 博
		250cc	岩道 博
'74	ジュニア	251cc以上	岩道 博
		90cc	岩道 博
		125cc	岩道 博
'75	ジュニア	250cc	岩道 博
		350cc	岩道 博
		90cc	岩道 博
'76	ジュニア	125cc	岩道 博
		250cc	岩道 博
		350cc	岩道 博
'77	ジュニア	750cc	岩道 博
		90cc	岩道 博
		125cc	岩道 博
'78	ジュニア	250cc	岩道 博
		350cc	岩道 博
		750cc	岩道 博
'79	ジュニア	125cc	岩道 博
		250cc	岩道 博
		350cc	岩道 博
'80	ジュニア	750cc	岩道 博
		125cc	岩道 博
		250cc	岩道 博

## ●ROAD RACE

年	部 門	クラス	氏 名
'73	ジュニア	90cc	杉野 順三
		125cc	松山 久仁
		250cc	橋本 久仁
'74	ジュニア	90cc	新田 茂
		125cc	坂山 公平
		250cc	山崎 達
'75	ジュニア	350cc	佐藤 順道
		90cc	佐藤 順道
		125cc	佐藤 順道
'76	ジュニア	250cc	佐藤 順道
		350cc	佐藤 順道
		750cc	佐藤 順道
'77	ジュニア	125cc	佐藤 順道
		250cc	佐藤 順道
		350cc	佐藤 順道
'78	ジュニア	750cc	佐藤 順道
		90cc	佐藤 順道
		125cc	佐藤 順道
'79	ジュニア	250cc	佐藤 順道
		350cc	佐藤 順道
		750cc	佐藤 順道
'80	ジュニア	125cc	佐藤 順道
		250cc	佐藤 順道
		350cc	佐藤 順道

●ROAD RACE

年	部門	クラス	氏名
'81	国際 B 級	125cc	荒木 利春
		250cc	中山 博文
		125cc	竹村 清生
		250cc	七尾 道夫
国際 A 級	125cc	新井 亮一	
	250cc	一ノ瀬 憲明	
	350cc	藤本 泰東	
	500cc	木下 恵司	
'82	国際 B 級	125cc	福田 雅樹
		250cc	三浦 昇
		125cc	荒木 利春
		250cc	小林 大
国際 A 級	125cc	一ノ瀬 憲明	
	250cc	福田 照男	
	250cc	水谷 勝	
	500cc	水谷 勝	
'83	国際 B 級	フォーミュラ3	宮城 光一
		125cc	吉田 健一
		250cc	宮城 光一
		250cc	宮城 光一
国際 A 級	125cc	福田 雅樹	
	250cc	坂口 彰	
	250cc	栗谷 二郎	
	500cc	斎藤 光雄	
'84	国際 B 級	フォーミュラ3	斉藤 兼一
		125cc	山田 浩史
		250cc	塩森 俊修
		250cc	塩森 俊修
国際 A 級	フォーミュラ1	宮城 光一	
	フォーミュラ3	宮城 光一	
	125cc	清水 雅広	
	250cc	田村 圭二	
'85	国際 B 級	フォーミュラ1	八代 俊二
		フォーミュラ3	江崎 正
		125cc	栗谷 二郎
		500cc	小林 大忠彦
'86	国際 A 級	フォーミュラ1	神田 利明
		フォーミュラ3	太田 浩一
		125cc	井上 賢博
		250cc	塩森 俊修
'87	ジュニア	フォーミュラ1	辻本 聡
		フォーミュラ3	山本 聡
		125cc	吉田 健一
		500cc	片山 恵司
'88	国際 A 級	フォーミュラ3	新垣 敏之
		125cc	佐藤 聡一郎
		250cc	鳴村 健太
		250cc	田口 益充
'89	国際 A 級	フォーミュラ1	大島 行弥
		フォーミュラ3	大島 行弥
		125cc	欽本 清水
		500cc	清水 雅広
'90	国際 A 級	フォーミュラ3	白井 直樹
		125cc	原田 哲也
		250cc	永井 康友
		250cc	永井 康友
'91	ジュニア	フォーミュラ3	塩森 俊修
		フォーミュラ1	宮崎 祥司
		125cc	廣瀬 政幸
		500cc	本間 利彦
'92	ジュニア	フォーミュラ3	福島 聡
		125cc	坂田 和人
		250cc	新井 秀也
		250cc	新井 秀也
'93	国際 A 級	フォーミュラ3	ダグ・ポレン
		フォーミュラ1	ダグ・ポレン
		125cc	山崎 冬樹
		500cc	岡田 忠之

●ROAD RACE

年	部門	クラス	氏名
'90	国内 A 級	SP750	吉川 和多留
		フォーミュラ3	高橋 勝義
		フォーミュラ3	渡辺 学
		250cc	仲内 正明
'91	国内 A 級	フォーミュラ3	森兼 正明
		フォーミュラ1	森兼 正明
		250cc	森兼 正明
		500cc	森兼 正明
'92	国内 A 級	フォーミュラ3	鶴田 竜二
		SP750	森北 貴行
		125cc	小林 敏也
		250cc	岩橋 健一郎
'93	国内 A 級	フォーミュラ3	坂田 和人
		SP750	岡田 忠之
		125cc	伊藤 真一
		250cc	伊藤 真一
'94	国内 A 級	フォーミュラ3	松戸 直樹
		SP750	阿部 徹郎
		125cc	福垣 幸剛
		250cc	宇川 徹
'95	国内 A 級	フォーミュラ3	椎名 明
		フォーミュラ1	高橋 勝義
		125cc	宮崎 祥司
		250cc	小野 真央
'96	国内 A 級	125cc	岡田 忠之
		250cc	ピーター・ゴード
		500cc	ピーター・ゴード
		500cc	ピーター・ゴード
'97	国内 A 級	125cc	斉藤 明
		250cc	原田 哲也
		500cc	丸山 昭一
		500cc	丸山 昭一
'98	国内 A 級	125cc	加藤 義昌
		250cc	阿部 典史
		500cc	北川 圭一
		500cc	北川 圭一
'99	国内 A 級	125cc	宮坂 賢
		250cc	宇川 徹
		250cc	吉川 和多留
		250cc	吉川 和多留
'00	国内 A 級	125cc	宇井 陽一
		250cc	沼田 憲保
		250cc	青木 拓磨
		250cc	青木 拓磨
'01	国内 A 級	125cc	東 雅雄
		250cc	沼田 憲保
		250cc	青木 拓磨
		250cc	青木 拓磨

**MOTOCROSS**  
●モトクロス部門 ('67~'96年)

年	部門	クラス	氏名
'67	アマチュア	50cc	黒川 隆
		90cc	河野 和憲
		125cc	高橋 道雄
		250cc	高橋 道雄
'68	ジュニア	251cc以上	森下 博
		90cc	山本 隆
		125cc	吉村 太一
		250cc	山本 隆
'69	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
		125cc	山下 和男
		250cc	山下 和男
'70	ジュニア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
		125cc	西 信之
		250cc	西 信之
'71	セニア	251cc以上	ロバート・E・エーモ
		90cc	星野 一義
		125cc	星野 一義
		250cc	山本 隆

●MOTOCROSS

年	部門	クラス	氏名
'69	アマチュア	50cc	田中 敏男
		90cc	多田 茂次
		125cc	中里 道夫
		250cc	岩尾 一敏
'70	ジュニア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
		125cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明
'71	セニア	90cc	山本 隆
		125cc	矢島 金次郎
		250cc	鈴木 忠男
		250cc	鈴木 忠男
'72	アマチュア	50cc	一色 薫
		90cc	小田 切信雄
		125cc	平野 芳男
		250cc	青木 雅和
'73	ジュニア	90cc	鈴木 都良夫
		125cc	岩尾 一敏
		250cc	岩尾 一敏
		250cc	岩尾 一敏
'74	セニア	125cc	吉村 太一
		250cc	吉村 太一
		250cc	吉村 太一
		250cc	吉村 太一
'75	アマチュア	90cc	栗原 英夫
		125cc	栗原 英夫
		250cc	栗原 英夫
		250cc	栗原 英夫
'76	ジュニア	90cc	中村 忠
		125cc	杉浦 保
		250cc	竹沢 正治
		250cc	竹沢 正治
'77	エキスパート	125cc	湘尾 勝彦
		250cc	湘尾 勝彦
		250cc	湘尾 勝彦
		250cc	湘尾 勝彦
'78	セニア	125cc	矢島 金次郎
		250cc	上野 広一
		250cc	上野 広一
		250cc	上野 広一
'79	アマチュア	90cc	藤 秀信
		125cc	藤 秀信
		250cc	藤 秀信
		250cc	藤 秀信
'80	ジュニア	90cc	小田 切信雄
		125cc	池田 勝
		250cc	池田 勝
		250cc	池田 勝
'81	ジュニア	90cc	唐沢 栄三郎
		125cc	唐沢 栄三郎
		250cc	唐沢 栄三郎
		250cc	唐沢 栄三郎
'82	セニア	125cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明
'83	アマチュア	90cc	菅家 恵
		125cc	村上 光則
		250cc	菅家 恵
		250cc	菅家 恵
'84	ジュニア	90cc	古田 哲郎
		125cc	古田 哲郎
		250cc	古田 哲郎
		250cc	古田 哲郎
'85	エキスパート	125cc	岸川 清秀
		250cc	岸川 清秀
		250cc	岸川 清秀
		250cc	岸川 清秀
'86	セニア	125cc	鈴木 都良夫
		250cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明
'87	ジュニア	90cc	谷川 徹二
		125cc	光安 鉄美
		250cc	大賀 広美
		250cc	大賀 広美
'88	エキスパート	125cc	渡辺 明
		250cc	渡辺 明
		250cc	渡辺 明
		250cc	渡辺 明
'89	セニア	125cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明
'90	ジュニア	90cc	北村 隆實
		125cc	青山 金助
		250cc	青山 金助
		250cc	青山 金助
'91	エキスパート	125cc	東福寺保雄
		250cc	東福寺保雄
		250cc	東福寺保雄
		250cc	東福寺保雄
'92	セニア	125cc	杉尾 良文
		250cc	杉尾 良文
		250cc	杉尾 良文
		250cc	杉尾 良文
'93	ジュニア	90cc	月岡 尚人
		125cc	月岡 尚人
		250cc	横山 陸夫
		250cc	横山 陸夫
'94	エキスパート	125cc	光安 鉄美
		250cc	光安 鉄美
		250cc	光安 鉄美
		250cc	光安 鉄美
'95	セニア	125cc	鈴木 都良夫
		250cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明

付録

●MOTOCROSS

年	部門	クラス	氏名
'77	ジュニア	90cc	渡辺 義己
		125cc	小沢 正孝
	250cc	福田 正敏	
	エキスパート	125cc	佐藤 健二
		250cc	大泉 浩一
	ジュニア	125cc	瀬尾 勝彦
250cc		瀬尾 勝彦	
'78	ジュニア	90cc	原本 松市
		125cc	庄司 覚
	250cc	ジェン・ルイック	
	エキスパート	125cc	佐々木 隆
		250cc	佐々木 隆
	ジュニア	125cc	瀬尾 勝彦
250cc		光安 鉄美	
'79	ジュニア	90cc	斎藤 武男
		125cc	大久保和親
	250cc	堀口 雅史	
	エキスパート	125cc	秋元 善夫
		250cc	原口 善夫
	ジュニア	125cc	光安 鉄美
250cc		光安 鉄美	
'80	ジュニア	125cc	小野沢良一
		250cc	小野沢良一
	国際B級	125cc	谷川龍太郎
		250cc	庄司 覚
国際A級	125cc	東福寺保雄	
	250cc	杉尾 良文	
'81	ジュニア	125cc	平山 勝一
		250cc	茶谷 学
	国際B級	125cc	岡部 篤史
		250cc	岡部 篤史
国際A級	125cc	東福寺保雄	
	250cc	福本 敏夫	
ジュニア	125cc	ロン・キング	
	250cc	馬場 善人	
'82	国際B級	125cc	小橋 勝年
		250cc	小橋 勝年
	国際A級	125cc	大関 晶典
		250cc	東福寺保雄
'83	ジュニア	125cc	天田 淳
		250cc	天田 淳
	国際B級	125cc	茶谷 学
		250cc	茶谷 学
国際A級	125cc	庄司 覚	
	250cc	杉尾 良文	
'84	ジュニア	125cc	駒所 伸一
		250cc	小栗 伸幸
	国際B級	125cc	菅原 義広
		250cc	藤田 忍
国際A級	125cc	東福寺保雄	
	250cc	スティーブ・マフィン	
'85	ジュニア	125cc	長沼 朝之
		250cc	花田 茂樹
	国際B級	125cc	田崎 武
		250cc	川崎 智之
国際A級	125cc	岡部 篤史	
	250cc	スティーブ・マフィン	
'86	ジュニア	125cc	藤本 正勝
		250cc	吉田 和泉
	国際B級	125cc	花田 茂樹
		250cc	花田 茂樹
国際A級	125cc	伊田井佐夫	
	250cc	東福寺保雄	
'87	ジュニア	125cc	岸田 隆夫
		250cc	橋本 健二
	国際B級	125cc	吉田 和泉
		250cc	石橋 博也
国際A級	125cc	岡部 篤史	
	250cc	東福寺保雄	

●MOTOCROSS

年	部門	クラス	氏名
'88	ジュニア	125cc	大塚 元和
		250cc	大塚 元和
	国際B級	125cc	大塚 忠和
		250cc	大塚 忠和
国際A級	125cc	岡部 篤史	
	250cc	東福寺保雄	
'89	ジュニア	125cc	黒古 尚利
		250cc	黒古 尚利
	国際B級	125cc	芥沢太麻樹
		250cc	榎本 正剛
国際A級	125cc	光安 鉄美	
	250cc	岡部 篤史	
'90	国内A級	125cc	萩島 忠雄
		250cc	萩島 忠雄
	国際B級	125cc	元木 龍幸
		250cc	村橋健太郎
国際A級	125cc	東福寺保雄	
	250cc	東福寺保雄	
'91	国際B級	125cc	半場 謙吾
		250cc	城田 賢一
	国際A級	125cc	萩島 忠雄
		250cc	宮内 隆行
'92	国際B級	125cc	佐々木裕介
		250cc	田沢 豊晃
	国際A級	125cc	講川 恵次
		250cc	エディ・ウォレン
'93	国際B級	125cc	益留信太郎
		250cc	益留信太郎
	国際A級	125cc	佐々木裕介
		250cc	ロン・ティナー
'94	国際B級	125cc	倉林啓一郎
		250cc	成田 亮
	国際A級	125cc	小田切一剛
		250cc	ロン・ティナー
'95	国際B級	125cc	矢島 健一
		250cc	溝口 哲也
	国際A級	125cc	川島雄一郎
		250cc	シェフ・マゼビシ
'96	国際B級	125cc	井上 真一
		250cc	井上 真一
	国際A級	125cc	川島雄一郎
		250cc	シェフ・マゼビシ

TRIAL

●トライアル部門 ('78~'96年)

年	部門	クラス	氏名
'73	選拔	木村 治 男	
'74	ノービス	ジュニア	伊 近 吹 健 次
		ジュニア	伊 近 吹 藤 博 次
'75	ジュニア	エキスパート	蜂 加 藤 秀 男
		エキスパート	蜂 加 藤 文 博
'76	ジュニア	エキスパート	町 野 山 一 男
		エキスパート	町 野 山 一 男
'77	ジュニア	エキスパート	山 本 昌 也
		エキスパート	山 本 昌 也
'78	ジュニア	エキスパート	近 山 田 民 雄
		エキスパート	近 山 田 民 雄
'79	ジュニア	国際A級	佐 藤 雄 一 志
		国際A級	佐 藤 雄 一 志
'80	ジュニア	国際A級	広 木 一 美 保
		国際A級	広 木 一 美 保
'81	ジュニア	国際A級	石 黒 原 正 一 美 郎
		国際A級	石 黒 原 正 一 美 郎
'82	国際B級	国際A級	高 山 雅 孝 也
		国際A級	高 山 雅 孝 也
'83	国際B級	国際A級	和 田 弘 行 也
		国際A級	和 田 弘 行 也
'84	国際B級	国際A級	米 沢 満 夫 也
		国際A級	米 沢 満 夫 也

●TRIAL

年	部門	クラス	氏名
'85	国際B級	国際A級	泉 裕 朗 也
		国際A級	山 本 昌 樹 也
'86	国際B級	国際A級	山 本 昌 樹 也
		国際A級	山 本 昌 樹 也
'87	国際B級	国際A級	小 伊 藤 敏 志
		国際A級	小 伊 藤 敏 志
'88	国際B級	国際A級	成 伊 藤 敏 志
		国際A級	成 伊 藤 敏 志
'89	国際B級	国際A級	宮 道 昌 浩 匠
		国際A級	宮 道 昌 浩 匠
'90	国際B級	国際A級	前 野 繁 志
		国際A級	前 野 繁 志
'91	国際B級	国際A級	本 中 川 義 博
		国際A級	本 中 川 義 博
'92	国際B級	国際A級	小 川 友 幸
		国際A級	バスカル・クトゥリエ
'93	国際B級	国際A級	田 中 善 弘
		国際A級	田 中 善 弘
'94	国際B級	国際A級	寺 澤 慎 也 匠
		国際A級	寺 澤 慎 也 匠
'95	国際B級	国際A級	成 田 亮 久
		国際A級	成 田 亮 久
'96	国際B級	国際A級	田 中 太 一
		国際A級	黒 山 健 一

STADIUM TRIAL

●スタジアムトライアル部門 ('91~'93年)

年	部門	クラス	氏名
'91	国際A級	中 川 義 博	
'92	国際A級	バスカル・クトゥリエ	
'93	国際A級	バスカル・クトゥリエ	

SNOW MOBILE

●スノーモビル部門 ('71~'96年)

年	部門	クラス	氏名
'71	モディファイ300cc	モディファイ400cc	大月 信和
		モディファイ400cc	青木 雅和
		モディファイ401cc	大月 信和
'72	モディファイ300cc	モディファイ400cc	丹治 章
		モディファイ400cc	丹治 章
		モディファイ401cc	丹治 章
'73	モディファイ340cc	モディファイ440cc	伊藤 盛男
		モディファイ440cc	小田切健雄
'74	モディファイ340cc	モディファイ440cc	伊藤 盛男
		モディファイ440cc	伊藤 盛男
'75	モディファイ340cc	モディファイ440cc	伊藤 盛男
		モディファイ440cc	伊藤 盛男
'76	モディファイ340cc	モディファイ440cc	春名 薫
		モディファイ440cc	春名 薫
'77	モディファイ340cc	モディファイ440cc	藤本 整司
		モディファイ440cc	高橋 和雄
'78	モディファイ340cc	モディファイ440cc	丹治 章
		モディファイ440cc	丹治 章
'79	モディファイ340cc	モディファイ440cc	高橋 和雄
		モディファイ440cc	古川 四郎
'80	モディファイ340cc	モディファイ440cc	高橋 和雄
		モディファイ440cc	高橋 和雄
'81	モディファイオープン	モディファイ540cc	領毛 信治
		モディファイ540cc	本田 勝義
		モディファイ340cc	佐々木善之
		モディファイ300cc	南雲 静夫
'82	モディファイオープン	モディファイ540cc	高橋 和雄
		モディファイ540cc	高橋 和雄
		モディファイ340cc	佐野 啓八
		モディファイ300cc	古川 啓八

●SNOW MOBILE

'83	モディファイオープン	藤本 正勝
	モディファイ540cc	中山 忠
	モディファイ340cc	中山 忠
	モディファイ300cc	佐野 博
'84	モディファイオープン	高橋 和雄
	モディファイ540cc	藤本 正勝
	モディファイ340cc	佐野 孝博
	モディファイ300cc	佐野 博
'85	モディファイオープン	高橋 和雄
	モディファイ540cc	江口 享二
	モディファイ340cc	今野 孝
'86	モディファイオープン	熊谷 留夫
	モディファイ540cc	熊谷 留夫
	モディファイ340cc	江口 亨一
'87	モディファイオープン	松田勇五郎
	モディファイ540cc	米田 幸一
	モディファイ340cc	松田勇五郎
'88	モディファイオープン	遠藤 和也
	モディファイ540cc	江口 亨一
	モディファイ340cc	遠藤 和也
'89	モディファイオープン	熊谷 留夫
	モディファイ540cc	江口 享二
	モディファイ340cc	遠藤 和也
'90	モディファイA級S1	江口 享二
	モディファイA級S3	熊谷 留夫
	モディファイA級S4	江口 亨一
	モディファイB級S1	沼倉 照義
'91	モディファイA級S1	成田 正弘
	モディファイA級S3	江口 亨一
	モディファイA級S4	大野 勇
	モディファイB級S1	内野 令一
'92	モディファイA級S1	成田 正弘
	モディファイA級S3	上高 泰隆
	モディファイA級S4	高橋 晴彦
	モディファイB級S1	山内 康裕
'93	モディファイA級S1	上高 泰隆
	モディファイA級S3	三好 一浩
	モディファイA級S4	高橋 晴彦
	モディファイB級S1	千葉 賢一
'94	モディファイA級S1	上高 泰隆
	モディファイA級S2	上高 泰隆
	モディファイA級S3	中村 光貴
	モディファイA級S4	高橋 晴彦

●SNOW MOBILE

'95	モディファイA級S1	戸沢 真司
	モディファイA級S2	上高 泰隆
	モディファイA級S3	三好 一浩
	モディファイA級S4	上野 忠夫
'96	モディファイB級S1	松田 智典
	モディファイB級S2	柏倉 秀伸
	モディファイB級S3	熊谷 留夫
	モディファイB級S4	松田 智典

## DRAG RACE

●ドラッグレース部門 ('93~'96年)

年	クラス	氏名
'93	プロストックバイク	田中 文樹
'94	プロストックバイク	田中 文樹
'95	プロストックバイク	上中 靖司
'96	プロストックバイク	生田目俊之

## SUPERCROSS

●スーパークロス部門 ('94~'96年)

年	クラス	氏名
'94	125cc	高見 俊次
	250cc	榎本 正則
'95	125cc	辻本 幸二
	250cc	小橋 雅也
'96	125cc	溝口 哲也
	250cc	熱田 高輝

## タイトルホルダーの証 MFJチャンピオンカード

MFJ [財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会] では、全日本選手権での最上級クラスでチャンピオンを獲得したライダーの功績をたたえ、チャンピオンを獲得したライダーに対し、MFJチャンピオンカードを発給しています。このチャンピオンカードを提示すると、全日本選手権等のイベント(特別イベント等除く)の入場がフリーパスとなり、過去の功績のあるライダーが気軽にサーキットに来れるものです。その中で建設的な意見を具申するなど、モーターサイクルスポーツ界に寄与してほしいと考えています。

# ピットクルーに関する 指導要項

ピットクルーはライダーを補佐し、レースを円滑に進めるレースに欠かせない重要な役割を負っている。ライダーに代わって必要な情報を得たり、事務手続きをするなどのマネージャー的な役割や、レースの作戦を立てる監督的な役割、直接マシンの調整・修理をするメカニックまで、様々な立場の人がピットクルーライセンスを取得してレースに参加している。実際にレースにおいてピットクルーとして登録し作業する際には、下記のことに注意しなければならない。

## 1) ピットクルーの登録

① 基本的に下記の人数のピットクルーが登録可能である。

- ・ロードレース  
地方選手権以下：2名以内  
エリア選手権：4名以内  
全日本選手権：6名以内
- ・モトクロス  
地方選手権以下：2名以内  
全日本選手権：2名以内

② ロードレースの場合、地方選手権においては最低1名のピットクルーを登録することが義務づけられる。これはライダーが負傷した場合、帰りの交通手段の確保や病院での手続き、家族への連絡が必ず必要となるためである。

## 2) ピットクルーの登録と変更・追加

ピットクルーはエントリー用紙のピットクルー登録欄に記入し、登録する。いったん登録したピットクルーは選手受付時に変更することは可能だが、申請人数より追加することはできない。変更の際は変更手数料1,000円が必要となる。

## 3) ピットクルーの服装

安全上長袖・長ズボンを着用すること。ロードレースのピットロードやスタート時にエンジン始動を手伝うときや足場の悪いモトクロスなどは半ズボンやサンダル履きは避け、品のある服装にすること。

## 4) ピットクルーの立ち入り範囲

① ロードレース

各サーキットによって異なるが、ピット作業エリアとピットサインを出すプラットフォーム、スタート進行時にはコース上に入ることができる。

② モトクロス

各大会ごとにコースレイアウトによってサインエリアが定められ公式通知、ライダーズミーティング等で説明される。

## 5) ピットクルーの遵守事項



全てのピットクルーは、自らの参加する競技に関する規則を熟知していなければならない。  
また、安全に対する認識を持っていること。

① ロードレース

- ・ピットロードにおいては、ピットイン・ピットアウト車両に十分注意すること。  
また、無資格のゲスト、子供等がピットロードに出ないように注意する。
- ・火気に注意する。特に喫煙は指定の場所で行うこと。
- ・スタート進行時は、スタートが遅延しないよう作業すること。時間がきたら速やかにコース外に退去すること。
- ・メカニックは特にブレーキ系とオイル回りの安全対策を常にチェックすること。

② モトクロス

- ・指定されたサインエリアの区分から出てサインを出さないこと。
- ・指定のエリアを遵守すること。

6) ペナルティ

ピットクルーが犯した行為に対するペナルティは、そのピットクルーが登録されているライダーに対して与えられる。

7) レース運営への協力

ライダーが黒旗を提示された場合は、ピット側に向けてもそれを提示するので、ピットサインでもその状況を伝え早急に停止するように伝達する。

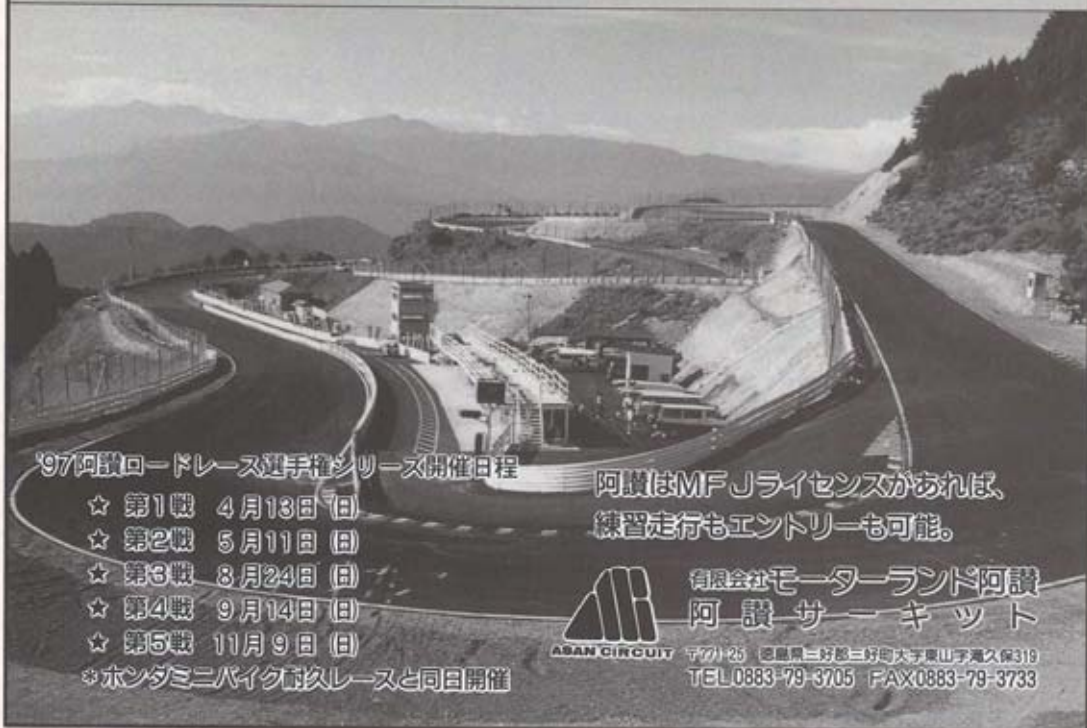
特にオイルを撒いて走行しているときや、部品が脱落しそうな場合は他のライダーに大きな危険を及ぼすので、各自緊急時のサインを取り決めておくこと。

8) MFJ 共済会

MFJ ピットクルーライセンス料には、年間の MFJ 共済会費が含まれている。この MFJ 共済会見舞金制度は、当該ピットクルーが正式に登録され、参加する大会の公式期間中に発生した事故等に対し適用される。



# ASAN CIRCUIT



97阿讃ロードレース選手権シリーズ開催日程

- ☆ 第1戦 4月13日(日)
- ☆ 第2戦 5月11日(日)
- ☆ 第3戦 8月24日(日)
- ☆ 第4戦 9月14日(日)
- ☆ 第5戦 11月9日(日)

\*ホンダミニバイク耐久レースと同日開催

阿讃はMFJライセンスがあれば、  
練習走行もエントリーも可能。



有限会社モーターランド阿讃  
阿讃サーキット

〒771-25 三重県三好郡三好町大字東山字尾久保319  
TEL0883-79-3705 FAX0883-79-3733

(コピー可)

## 住所・氏名変更用紙

※この用紙をコピーして使用しても結構です。

**住所・氏名を変更する場合は届出をお願いします。**

枠内を全て記入して下さい。

住所変更届 (郵送・FAX用)	フリガナ (必ず記入)					
	氏名		1. 男 2. 女			
住所変更	年	月	日	(才)		
氏名変更	ライセンスNo.	都府県				
新住所 〒	都道府県	市区町村				
	TEL	( )				
月 日より変更します / 変更しました (平成 年 月 日)						

※該当するものを○で囲んで下さい。

住所変更の届けは、郵送かFAXをお願いします。

〒104  
東京都中央区築地  
2-11-24  
第29興和ビル別館7F  
MFJ事務局 登録課

☎ 03-5565-0900  
FAX 03-5565-0907

※変更届を提出後、変更までに若干時間がかかります。必ず現住所及び新住所地の郵便局に転居・転入届けを出して下さい。

※氏名変更の方は、その変更を証明する免許証、保険証等のコピーを併せて送って下さい。

(97規則書)

# MFJライセンス募集中!



さあ、始めようモーターサイクルスポーツ  
スタートはMFJライセンスから!!

MFJではモーターサイクルスポーツを楽しむ仲間を募集しています。  
自分に合った競技種目を選び、  
その「MFJ競技ライセンス」を取得して  
モーターサイクルスポーツにチャレンジして下さい。  
MFJでは、皆さんを競技会を通じて応援致します。

## Try and Challenge

### ライセンス取得者の特典

- ①全国各地で開催されている公認・承認競技会への参加。
  - ②最寄りのMFJスポーツ協力店を通じて、各種イベントや「レジャー」情報の提供。
  - ③月刊「MFJライディング」誌、「MFJ国内競技規則書」の送付。
  - ④MFJオリジナルステッカーの贈呈。
  - ⑤MFJオリジナルグッズのメンバー価格でのご提供。
  - ⑥全日本ロードレース、モトクロス、トライアル各選手権シリーズ全戦入場料の特別割引実施。
  - ⑦ライダーズビッグ保障プラン（ライダーのための生命保険）の加入斡旋。
  - ⑧MFJ共済会制度の適用により、見舞金の給付。
- その他特典がいっぱい。

ライセンスの申込書は、MFJ事務局にご請求下さい。  
あなたの元へすぐにご送付致します。  
疑問な点がありましたら、MFJにすぐTELを!

### '97年度MFJライセンス料金（ライセンスの取得条件と料金）

種目	クラス	ライセンスの取得条件(1か2のどちらか)		ライセンス料
		①	②	
ロードレース	国内プロダクション、レーサー 250ccまで、SP400まで、SS750、ネイキッド、GP80	公認サーキットでの3時間以上走行証明(走行券不可)を受けた方(サーキットライセンスが必要)	公認ロードレース・国内ライセンス講習会を受講した方	9,500円
	フレッシュマンレーサー125ccまで、SP400まで、ネイキッド、GP80、シングル・ツインレース	公認サーキットライセンス講習会を受講し、サーキットライセンスを取得した方	公認ロードレース・フレッシュマンライセンス講習会を受講した方	8,000円
	ジュニア(12~15歳) SP50・80、GP50・80	公認ロードレース・ジュニアライセンス講習会を受講した方		8,000円
モトクロス	国内B級	運転免許証を受けている方(原付以上)	公認モトクロスライセンス講習会を受講した方	9,500円
	ジュニア9~15歳まで(80ccまで)			
	PC(8歳以下)	PCライセンス講習会を受講した方		7,500円
トライアル	国内B級	運転免許証を受けている方(原付以上)		9,500円
	ジュニア9~15歳まで		公認トライアル、スノーモビルライセンス講習会を受講した方	
スノーモビル	B級	運転免許証を受けている方(原付以上)		8,000円
	ジュニア9~15歳まで			
ドラッグレース	B級		公認ドラッグレースライセンス講習会を受講した方	8,000円
エンデューロ	-		公認エンデューロライセンス講習会を受講された方	3,000円
Lライセンス	-	運転免許証を受けている方(原付以上)	公認ライセンス講習会を受講された方	3,000円
ビットクルー	-		16歳以上	7,500円

### MFJとは

財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)は、1961年に設立され、レースの安全・公平をモットーに文部省所管のもとモーターサイクルスポーツにチャレンジする皆さんを応援する団体です。

### あなたのお近くの・MFJスポーツ協力店

「MFJスポーツ協力店」は、MFJとライダーのホットコミュニケーション・ショップです。ライセンスや競技会、その他なんでも教えてくれる良きアドバイザー。このステッカーを目印に、お近くのMFJスポーツ協力店にお立ち寄り下さい。



### MFJ事務局

〒104 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館 7F  
TEL 03-5565-0900 FAX 03-5565-0907

- THRILLING ROAD RACE
- EXCITING MOTOCROSS
- MIRACLE TRIAL
- POWER DRAG RACE
- SCRAMBLE SNOWMOBILE



# MFJ競技ライセンス会員申込書



様式 16 (個人用) コピー使用可

太枠内を記入してください。

年度	種目	クラブコード	
MFJライセンス会員No.	フリガナ (必ず記入)	現住所 〒	
氏名	1. 男 2. 女	都道府県	市区郡
※氏名の変更は運転免許証等のコピーを添付して下さい。			
新規	継続	再発行(紛失)	住所変更
ライセンストリプル追加	ライセンストリプル追加	ライセンストリプル追加	ライセンストリプル追加
生年月日	大正・昭和 年 月 日	様方	
自宅 TEL No.	( )	(アパート・マンション名・部屋番号も必ず記入のこと)	
連絡先 TEL No.	(昼間連絡のとれる場所)	住所コード	

いずれの種目にも運転免許が必要です。受けていない人は、講習会修了証を添付して下さい。	種目/ライセンス区分	①ロードレース	サーキット名 ( ) サーキットライセンスNo. ( )	走行証明
		①ジュニア ②フレッシュマン ③国内 ⑥国際		
①原付 ②自二 ③普通 ④講習会修了証	運転免許証No.		公認サーキットで右欄に3時間以上走行の証明印を押してもらって下さい。又は国内ライセンス講習会修了証を添付して下さい。	※走行券、カード不可 ※有効期限 1年

種目/ライセンス区分	②モトクロス	③トライアル	⑤スノーモバイル	①ドラッグレース	②エンデュロ	⑥ピットクルー	Lライセンス
	①ジュニア	①ジュニア	①ジュニア	⑧B級	⑧エンデュロ	①ピットクルー (16歳以上)	Lライセンス (9歳以上)
	③国内B級	③国内B級	③B級	⑨A級			
	④国内A級	④国内A級	④A級				
	⑤国際B級	⑤国際B級					
	⑥国際A級	⑥国際A級					

**写 真**  
近影写真貼付  
(無背景、無帽)  
①サイズ 3×2.4cm  
②枚数 控+種目数  
③裏に氏名を記入

入金ルート							
-------	--	--	--	--	--	--	--

取扱所	①MFJスポーツ協力店 ②県協会 ③MFJ公認サーキット	受付日/受領印	MFJスポーツ協力店	県協会	MFJ公認サーキット
		月 日 受付	月 日 受付	月 日 受付	
	(MFJ指定のゴム印を押して下さい)	受領金額	円	円	円

ライセンス申込書送付先

MFJ	発行
-----	----

〒103 東京都中央区築地2-11-24  
第29興和ビル別館7F TEL 03-5565-0900



開催日程(二輪・四輪)	スケジュール	持参するもの	申込用紙、運転免許証、印鑑、筆記用具、写真2枚(2.5cm×3cm)、承諾書・印鑑証明(未成年者のみ)、受講料33,000円(入会金、年会費含む)、保険証
2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	開催日よりタイムスケジュールが異なりますので、ご予約の際ご確認ください。 *日程の追加及び中止の場合があります。	走行に必要なもの	二輪 実技車両(125cc以上のスポーツバイク・レーサー可) 皮ツナギ、ヘルメット、グローブ、ブーツ
サーキット 事務所に お問い合わせ 下さい。	定員	四輪	実技車両(JAF国内競技車両にもとづく車両、又ノーマル車両、シートベルトは3点式以上のもの) ヘルメット、グローブ、レーシングシューズ、レーシングウェア(運転に適した服装)
	二輪 100名	申込方法	●必ず電話予約してください。 ●開催日の1ヶ月前より受付開始いたします。 ●予約先…エビススポーツクラブ事務所☎0243-24-2972
	四輪 60名 *員、定員になり次第お知らせいたします。		

**ESCライセンス料金とスポーツ走行料金** (ロード二輪・四輪は、西東コース共通会員とする。)

	ロード二輪	ロード四輪	ロードミニバイク西	スーパーカート東	モトクロス	カート	ミニバイク	ジムカーナ
入会金	8,000円	8,000円	5,000円	5,000円	3,000円	3,000円	3,000円	3,000円
年会費	20,000円	20,000円	10,000円	15,000円	8,000円	8,000円	8,000円	8,500円
講習料	5,000円	5,000円						
合計	33,000円	33,000円	15,000円	20,000円	11,000円	11,000円	11,000円	11,500円
*更新料	20,000円	20,000円	10,000円	15,000円	8,000円	8,000円	8,000円	8,500円
走行料	会員 30分 2,000円 非会員 30分 平日2,500円 土日3,000円	30分 1,500円	30分 1,500円	2,000円	1日 1,000円	3H 1,000円	3H 1,000円	3H 1,500円
保険料(1口)	500円	500円	500円	500円	500円	500円	500円	500円

\*更新料は更新時期によって料金が異なります。

# エビスサーキット

福島県二本松市沢松倉1 TEL0243-24-2972

# TOKACHI RIDING CLUB

## ご案内



感動が生まれる



情熱が集まり、



### ■入会資格

- モータースポーツ参加を希望するライダーの方に、TISにおいてスポーツ走行をしていただくためのクラブ・ライセンスです。
- 普通運転免許証の免許所持者の方であれば取得できます。
- ※取得を希望する方が未成年者(満20歳未満)の場合、親権者の承諾が必要となります。

### ■新規・更新費用

- ①発給料.....24,000円
- ②共済金.....6,000円

※取得年度の12月末日迄有効 30,000円

### ■各種利用料金

- グランプリ・クラブマンコース・スポーツ走行料
  - ①2輪.....3,000円/1単位:25分
- ジュニアコース・スポーツ走行料
  - ①カート.....1,000円/1単位:20分
  - ②ミニバイク.....1,000円/1単位:20分
- タイム計測料
  - ①2輪.....1,000円/1単位
- ガレージ使用料(レースウィーク)
  - ①2輪.....1,000円/1台:1日

### ■割引・特典

- 入場料
  - 平常時:無料(本人及び同伴者1名)
  - イベント時:1名様無料(クラブマン&ロードレース入場)
- 2割引優待券3枚発行(JTCC&24時間耐久)& F3000入場券
- 無料走行券 ●無料走行券
  - 初回1単位無料走行券進呈
  - 10回単位走行毎に1単位無料走行券進呈
- レースウィーク無料走行券
  - 1単位無料券発行(各大会エントリーの方)
- スクール・走行会優待
  - 2,000円割引(TIS主催)
- クラブ定例走行会開催:年2回開催

### 1997 十勝ロードレース選手権シリーズ・スケジュール

		GP125	SP250	SP400	ミニバイク Open50	ミニバイク Normal50	特別イベント
第1戦	5月11日	○	○	○	○	○	
第2戦	7月13日	○	○	○	○	○	ミニバイク Normal 50 90分耐久
第3戦	8月10日	○	耐久	耐久	—	—	
第4戦	9月7日	○	○	○	○	○	ミニバイク Normal 50 3H耐久
第5戦	10月12日	○	○	○	○	○	

※日程が変更になる場合があります。

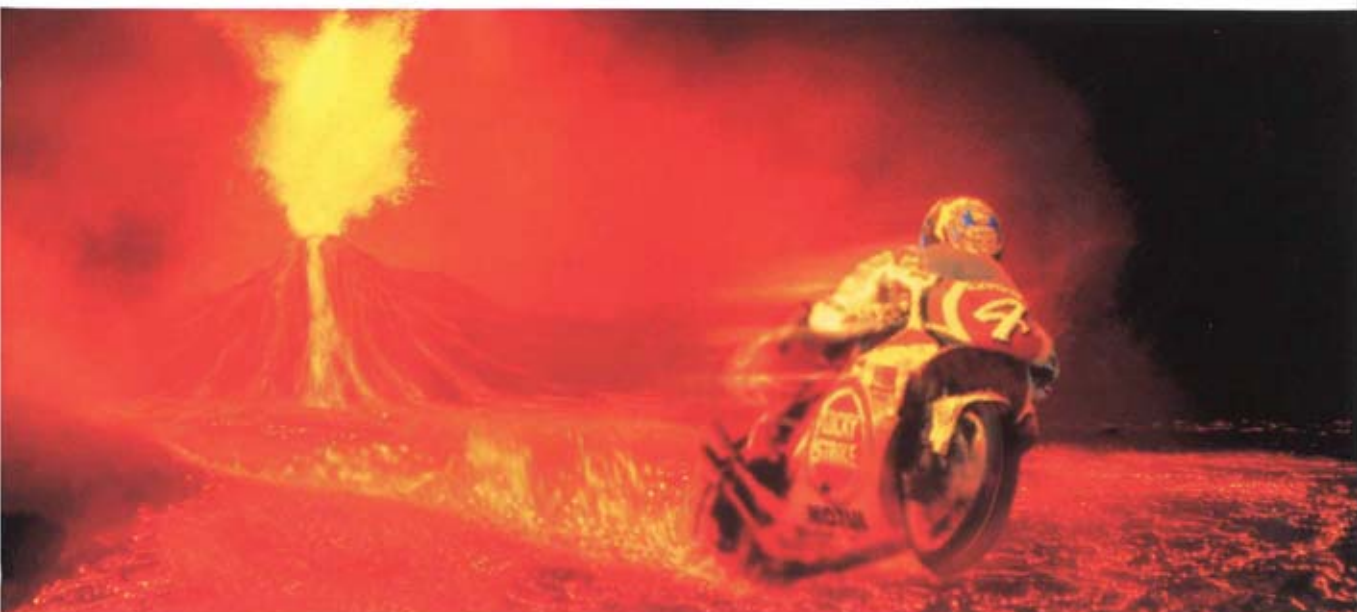
## 十勝インターナショナルスピードウェイ

〒089-15 北海道河西郡更別村字弘和477番地



GO TO サーキット  
Tel.0155-52-3910 Fax.0155-53-3366

# 先駆けるモチュール



## コンプレックス・エステルを選択

1971年の300Vのセンセーショナルなデビュー以来、常に化学合成オイルの最先端を走り続ける **MOTUL** が、さらに独創的な新世代の素材“コンプレックス・エステル”を世に問います。

この“コンプレックス・エステル”は、現在総合的な観点から合成オイルに最適なベース・マテリアルといわれる“エステル系（ポリオール・エステルを含む）”の最新型フォーミュラと言えます。揮発損失が非常に少なく、かつ耐熱性及び耐加水分解性能に優れた性状が見られます。さらに極めて高い性能を保持しながらエコロジカルな特性（高レベルの生分解率）を合わせ持つ為、次世代の潤滑素材として **MOTUL** が着眼し、研究を重ねて来ました。

**MOTUL** の独創的な化学合成技術の歴史は、ベースオイルに“エステル”を選択するところから始まりました。この選択は従来の粘度＝油性という概念を覆し、粘度が負（マイナス）の要因となっていた部分、すなわち、フリクションロスの軽減等に大きく貢献し、レーシングエンジンの設計概念にまで影響を与えました。

**MOTUL** の示した方向性の正しさは、近年、多くのオイルメーカーがエステルを次々と採用して追随している点を見ても明らかです。しかし、高性能潤滑油をリードする **MOTUL** の技術開発陣は新たなチャレンジに成功しました。自己を否定し、自己を乗り越えて行く姿勢が“コンプレックス・エステル”を生み出す力となりました。

最初の **MOTUL** のエステルから四半世紀。“コンプレックス・エステル”は **MOTUL** の第6世代を担うエステルなのです。

より一歩前へ。先駆ける **MOTUL**。  
“コンプレックス・エステル”の選択。



■ 300V COMPETITION  
100% 合成4ストロークエンジンオイル  
コンペティション用  
15W50/SHCF/G4/PD2 2L



■ 300V POWER RACING  
100% 合成4ストロークエンジンオイル  
コンペティション用  
15W50/SHCF/G5/PD2 2L



■ 300V 4T COMPETITION  
100% 合成4ストロークエンジンオイル  
コンペティション用  
15W50/SHG4 1L



■ 800RACING 2T  
100% 合成2ストロークエンジンオイル  
コンペティション用・混合用  
TC-TSC3 1L

# MOTUL

モチュールに関するお問い合わせ窓口  
月～金曜日（祝日を除く）10～17時のあいだにご利用いただけます。

フリーダイヤル ☎ 0120-359-300

※モチュール 総合カタログをご希望の方は、封書に送料として100円分の切手を同封し、住所、年齢、職業、所有車を明記の上、テクノイル・ジャパンK.K. 宛までお申し込みください。

MOTUL 総輸入販売元  
テクノイル・ジャパンK.K.  
**TECHNOIL Japon K.K.**  
〒224 横浜市都筑区南山田3-6-40  
TEL:045-592-9629 FAX:045-592-9646

# MFJ ORIGINAL COLLECTION



**★Tシャツ**  
 商品No:GTS-94-A  
 カラー:ホワイト(WH)、ブラック(BK)、  
 ルージュ(RD)、  
 ネイビー(NY)、  
 グリーン(GN)  
 アッシュグレー(AG)  
 サイズ:M・L  
 メンバー価格:¥2,500  
 一般小売価格:¥2,800



**特典 サービス**  
**★ポロシャツ半袖(刺繍タイプ)**  
 商品No:GSS-94-B  
 カラー:ホワイト(WH)、ブラック(BK)、  
 レッド(RD)、  
 ネイビー(NY)、  
 グリーン(GN)  
 サイズ:M・L  
 メンバー価格:¥4,300  
 一般小売価格:¥4,900

**特典 サービス**

**★ポロシャツ半袖(ワッペンタイプ)**  
 商品No:GSS-94-A  
 カラー:ホワイト(WH)、ブラック(BK)、  
 レッド(RD)、ネイビー(NY)、  
 グリーン(GN)  
 サイズ:M・L  
 メンバー価格:¥4,200  
 一般小売価格:¥4,800



ニューデザインのMFJワッペン  
 お付けします!

ポロシャツ(ワッペンタイプ)をお買い求めの方に、下記ワッペンの中から一つを左胸または左袖のどちらかにお付けします。



商品No:GWP-94-A 商品No:GWP-94-B 商品No:GWP-94-C  
 ※ご注文の際にご希望のワッペン商品No、取付位置(左胸または左袖のいずれか)を忘れずにご記入下さい。

# ライフスタイル一新 by MFJコレクション!



**★トレーナー** **特典 サービス**  
 商品No:GTR-94-A  
 カラー:ホワイト(WH)、  
 アッシュグレー(AG)  
 サイズ:M・L  
 メンバー価格:¥4,800  
 一般小売価格:¥5,800



**★サテンジャンパー**  
 商品No:GSJ-94-A  
 カラー:ホワイト(WH)  
 サイズ:フリー  
 メンバー価格:¥3,800  
 一般小売価格:¥4,800  
 ※背中にトレーナーと同柄のプリントが入ります。



**特典 サービス**

**★フードジャケット(完全防水タイプ)**  
 商品No:GFJ-94-B  
 カラー:ホワイト(WH)  
 サイズ:フリー  
 メンバー価格:¥4,800  
 一般小売価格:¥5,800  
 ※背中にもプリントが入っています。



**特典 サービス**  
**★フードジャケット(フード裏地付き)**  
 商品No:GFJ-94-A  
 カラー:グリーン(GN)、イエロー(YL)  
 サイズ:フリー  
 メンバー価格:¥4,800  
 一般小売価格:¥5,800  
 ※背中にもプリントが入っています。

特典 サービス マークについて	メンバーサポートのご案内
<p>特典サービスマークが表示されている商品については、下記のサービスが受けられます。</p> <p>①2番以上同時購入の方:イニシャルを左袖に刺繍入れ致します。</p> <p>②10番以上一括購入の方:イニシャルサービスに加えて、チーム名などを左袖に刺繍入れ致します。</p> <p>※ただし、チーム名などは10文字以内(日本語・英字)とさせていただきます。</p> <p>■ご注文の際にイニシャル、チーム名を必ずご記入下さい。ご記入無き場合は、特典サービスを受けることはできません。</p>	<p>MFJでは、メンバーの皆さんのモーターサイクルスポーツ活動をさらに応援するために、各地区大会、競技会、イベント等の記念品や賞品のご注文を承っております。</p> <p>一般商品への大会名の名入れから、オリジナル商品の製作、Tシャツ・トレーナーなどアパレルウェアのオリジナルデザインでの製作まで、特別価格にてご提供させていただきます。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。</p> <p>●問い合わせ先:MFJオリジナルグッズ係                  ☎03-5565-0900</p>



# MFJ



### ★クールバンド

商品No:RP-1(ブルー/柄模様)、  
RP-2(レッド/柄模様)、  
RP-3(グリーン/柄模様)、  
RC-1(ネイビー/無地)、  
RC-2(パープル/無地)

サイズ:フリー  
メンバー価格:¥1,700  
一般小売価格:¥2,000  
発売元:EHTEL ☎03-3266-1199

・クールバンドは頭部等に装着することにより、バンド内に入っている樹脂が汗を吸い取る。水に浸して使用すると、その温度が長時間持続し、頭部が涼しく快適になる。(特許出願中)



### ★スポーツタオル

商品No:GST-94-A  
カラー:ホワイト(WH)、ブラック(GK)、エンジ(WR)  
サイズ:38CM×110CM  
メンバー価格:¥1,700  
一般小売価格:¥2,400



### ★ステッカーセット

商品No:STS1  
カラー:シルバー  
サイズ:小・中(3枚1組)  
メンバー価格:¥250  
一般小売価格:¥300



### ★オリジナルワッペン

商品No:GWP-94-D/ブラック(BK)  
GWP-94-E/ホワイト(WH)  
GWP-94-F/シルバー(SL)  
サイズ:左右15.5cm/天地8cm  
メンバー価格:¥600  
一般小売価格:¥1,000

レーシング・ギアを脱いだ後は、少しはオシャレをしたいもの。いいモノを身に着けることは、何もレーシングスーツやジャージとは限らない。レースの後やオフの日はいつもと違ったスタイルで過ごしたい。そんな時は、MFJオリジナル・コレクションがお勧め。きっといつもと違った自分が発見できるだろう。



### ★キーホルダー

商品No:KH-001  
メンバー価格:¥500  
一般小売価格:¥600

●お申し込みは簡単、右下の要領でどうぞ。

## MFJ オフィシャルウエア

MFJオフィシャルウエアは競技役員の方が購入できません。県協会を通じてお申し込み下さい。

### ★ジャンパー

商品No:OF-JN-93  
サイズ:M-L  
価格:¥7,000



### ★ポロシャツ半袖

商品No:OF-PL-93  
サイズ:M-L  
価格:¥4,000



### ★開襟シャツ半袖

商品No:OF-ST-93  
サイズ:M-L  
価格:¥5,200



### ★帽子

商品No:OF-CA-93-002(ロゴエンブレム)  
価格:¥1,500



### ■お申し込み方法

ご希望の商品名、商品No、サイズ、カラー、数量、そしてあなたのメンバーNo、名前、住所、電話番号を用紙に記入して、現金書留でお申し込み下さい。

### ■送料

購入商品が合計5,000円以上お買い上げの方は無料。5,000円未満の方は、300円の送料をプラスしてお申し込みください。

### ■お申し込み先

〒104 東京都中央区築地2丁目11番地24号第29興和ビル別館7F  
☎03-5565-0900  
財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 MFJオリジナル・グッズ係

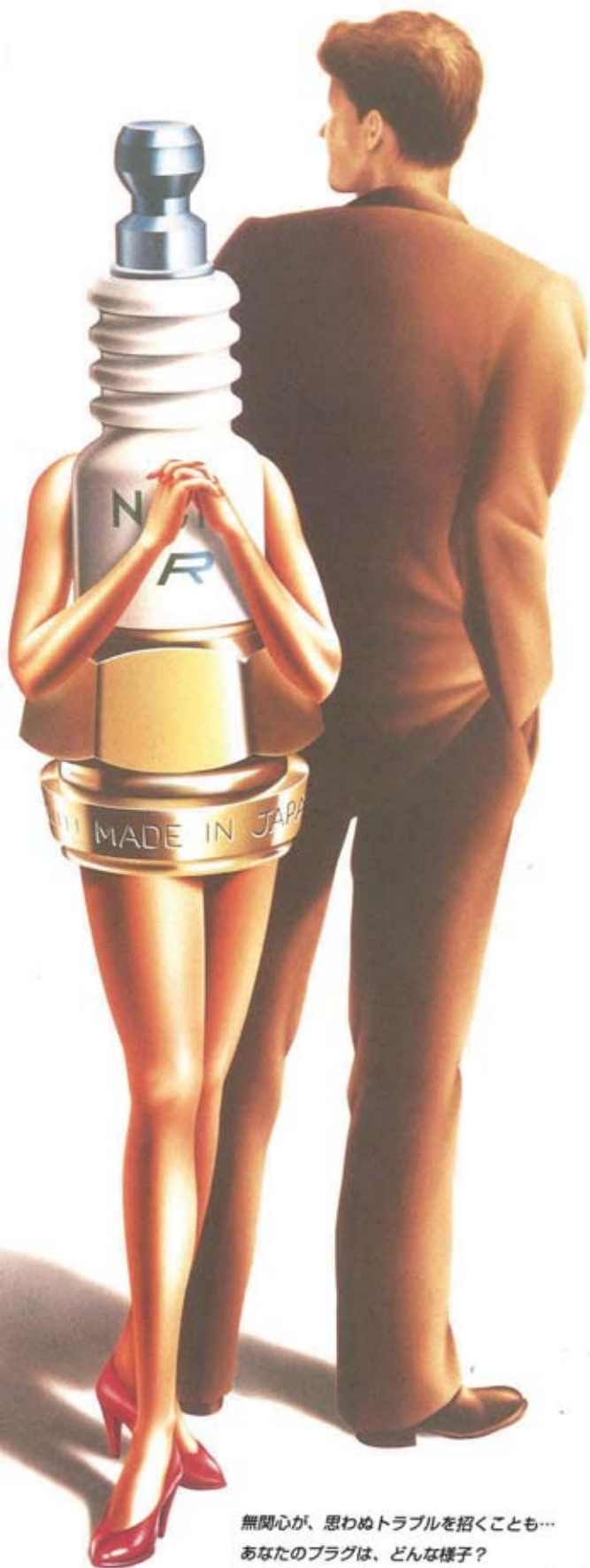
※表示のメンバー価格は、通信販売の料金設定です。  
※料金はすべて消費税込みの価格です。

※写真と実際の商品が若干異なる場合がありますのでご了承下さい。  
※商品によっては発送が少し遅れる場合がありますので、ご了承下さい。





もっと、  
気にして  
ほしい。



無関心が、思わぬトラブルを招くことも…  
あなたのプラグは、どんな様子？  
愛するクルマのために、整備の際には点検を忘れずに。



日本特殊陶業

# THE CHAMP WINS AGAIN.

1996 ROAD RACE WORLD CHAMPIONSHIP GP250 CLASS CHAMPION M.BIAGGI



 **DUNLOP**  
DRIVING TO THE FUTURE